新潟県埋蔵文化財調査報告書　第274集

一般国道８号

柏崎バイパス関係発掘調査報告書XIV

丘 江 遺 跡 Ⅲ

２０１８

新　潟　県　教　育　委　員　会

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

一般国道８号

柏崎バイパス関係発掘調査報告書XIV

丘江（おかえ）遺跡 Ⅲ

２０１８

新　潟　県　教　育　委　員　会

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

序

一般国道８号は新潟市を起点とし、日本海沿いに北陸地方を縦断し、京都市に至る総距離 561.2km の主要幹線道路です。新潟県と北陸地方及び京阪神地方を結ぶとともに、新潟県の産業・経済・文化の交流・発展に大きな役割を果たしています。

しかし、現在の柏崎市域では、市街地化の進展及び交通需要の増加に伴い、慢性的な交通混雑を引き起こしています。柏崎バイパス建設事業は、このような問題を解決し、柏崎市内の安全で円滑な交通を確保することや、地域開発を支援することなどを目的に計画されました。

本書は、この柏崎バイパスの建設に先立ち、2016 年度に実施した丘江遺跡の発掘調査報告書です。

丘江遺跡は中世の集落遺跡で、集落域に隣接して水田も見つかりました。集落と水田が隣接する当時の景観がうかがえます。また中世の井戸からは、漆塗りの鐙が出土し、注目されます。

発掘調査で得られた資料や本報告書が、埋蔵文化財の理解や認識を深める契機となり、地域の歴史資料として広く活用されるものと期待しています。

最後に、この発掘調査で多大なご協力と御理解をいただいた柏崎市教育委員会、柏崎市都市整備部八号バイパス事業室、並びに地元の方々、また発掘調査から本報告書の作成まで、格別な御配慮をいただいた国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所に対して厚くお礼申し上げます。

2018 年 3 月

新潟県教育委員会

教育長　池　田　幸　博

例　　言

1　本報告書は、新潟県柏崎市茨目３丁目字町屋敷に所在する丘江遺跡の発掘調査記録である。

2　本発掘調査（以下、本調査）は、一般国道８号柏崎バイパスの建設に伴い、国土交通省から新潟県教育委員会（以下、県教委）が受託したものである。

3　本調査は県教委が調査主体となり、公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（以下、埋文事業団）に調査を依頼し、2016（平成 28）年度に実施した。

4　埋文事業団は、掘削作業などを、株式会社吉田建設に委託し、発掘調査を実施した。

5　整理作業及び報告書作成に係る作業は、県教委が埋文事業団に委託し、主に 2016（平成 28）年度に実施し、2017（平成 29）年度に印刷・刊行した。

6　出土遺物及び調査・整理作業に係る各種資料は、一括して県教委が新潟県埋蔵文化財センターにおいて保管している。

7　遺物の注記は、「16 オカエ」とし、調査年度（西暦下二桁）・出土地点・層位などを併記した。

8　本書の図中で示す方位は、すべて真北である。

9　遺物番号は通し番号とした。本文及び挿図・観察表・図面図版・写真図版の番号はすべて一致している。

10　引用文献は著者及び発行年（西暦）を文中に［　］で示し、巻末に一括して掲載した。ただし、第Ⅵ章については章末に掲載した。

11　各種図版・挿図作成や本文編集は、有限会社不二出版に委託した。

12　プラント･オパール分析、花粉分析、大型植物遺体分析、テフラ分析、樹種同定は株式会社パレオ･ラボに委託した。

13　本書の作成は、春日真実（埋文事業団　課長代理）、今井昭俊・高柳俊輔（以上、株式会社吉田建設埋蔵文化財調査部調査員）、水科かおり（同、調査補助員）があたり、編集は今井が担当し、春日が補佐した。執筆分担は以下のとおりである。

春日真実：第Ⅰ章、第Ⅶ章６

今井昭俊：第Ⅱ章２、第Ⅲ章、第Ⅳ章 1A・B、2A ～ E、第Ⅴ章１・2A、第Ⅶ章１・５・７

高柳俊輔：第Ⅱ章１、第Ⅳ章 2A ～ E、第Ⅴ章 2B ～ D、第Ⅶ章２～４

森　将志（株式会社パレオ・ラボ）：第Ⅵ章１・２

バンダリ　スダルシャン・佐々木由香（以上、株式会社パレオ・ラボ）：第Ⅵ章３

藤根　久・鈴木正章（以上、株式会社パレオ・ラボ）：第Ⅵ章４

黒沼保子（株式会社パレオ・ラボ）：第Ⅵ章５

14　図版中の網掛けは、各図版に凡例を示した。

15　調査成果の一部は現地説明会資料［2016］、埋蔵文化財事業団年報平成 28 年［2016］、埋文にいがた第 98 号［埋文事業団 2017］などで公表しているが、本報告書をもって正式な報告とする。

16　図書館等（著作権法第 31 条第１項に規定する図書館をいう）の利用者は、その調査研究の用に供するために、本報告書の全体について、複製することができる。

17　発掘調査から本書の作成に至るまで、下記の方々から多くの御教示・御協力をいただいた。ここに記して厚く感謝申し上げます。（敬称略）

柏崎市教育委員会　　柏崎市都市整備部八号バイパス事業室　　柏崎機械金属団地協同組合　　茨目町内会

目　　次

第Ⅰ章　序　　説 …… 1

1　調査に至る経緯 …… 1

2　調査と整理作業の経過 …… 3

A　試掘確認調査 …… 3

B　本発掘調査 …… 3

3　調 査 体 制 …… 4

A　試掘確認調査 …… 4

B　本発掘調査 …… 4

4　整理作業と整理体制 …… 4

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境 …… 5

1　地理的環境 …… 5

2　歴史的環境 …… 7

第Ⅲ章　調査の概要 …… 9

1　グリッドの設定と地区名 …… 9

2　基 本 層 序 …… 10

第Ⅳ章　遺　　構 …… 11

1　遺構の概要と記述の方法 …… 11

A　概　　要 …… 11

B　遺構の記述と表記方法 …… 11

2　遺 構 各 説 …… 12

A　掘立柱建物 …… 12

B　井　　戸 …… 15

C　土　　坑 …… 19

D　溝 …… 22

E　性格不明遺構 …… 25

第Ⅴ章　遺　　物 …… 27

1　概　　要 …… 27

2　遺 物 各 説 …… 27

A　土器・陶磁器 …… 27

B　木　製　品 …… 31

C　石　製　品 …… 33

D　金 属 製 品 …… 34

第Ⅵ章　自然科学分析 …… 36
1　プラント・オパール …… 36
2　花 粉 分 析 …… 39
3　大型植物遺体分析 …… 43
4　テフラ分析 …… 49
5　樹 種 同 定 …… 51

第Ⅶ章　ま　と　め …… 54
1　土器・陶磁器 …… 54
2　舌長鐙について …… 56
3　五輪塔について …… 57
4　鉄　製　品 …… 59
5　遺　　構 …… 60
6　自然科学分析の成果 …… 61
7　遺跡の性格 …… 61

≪引用・参考文献≫ …… 62
≪観　察　表≫ …… 64
遺構観察表 …… 64
遺物観察表 …… 71

挿 図 目 次

第 1 図　柏崎バイパスと遺跡の位置 1 …… 1
第 2 図　柏崎バイパスと遺跡の位置 2 …… 2
第 3 図　試掘・確認調査トレンチ位置図 …… 3
第 4 図　柏崎周辺の地形 …… 6
第 5 図　周辺の遺跡 …… 8
第 6 図　丘江遺跡グリッド設定図 …… 9
第 7 図　丘江遺跡Ⅲの基本層序 …… 10
第 8 図　遺構の平面・断面形態、堆積状況の分類 …… 11
第 9 図　土師質土器の分類 …… 27
第 10 図　植物珪酸体分析結果 …… 37
第 11 図　花粉分布図 …… 40
第 12 図　産出した花粉化石 …… 42
第 13 図　出土した大型植物遺体 …… 48
第 14 図　火山ガラス（4 φ）の屈折率測定結果 …… 50
第 15 図　テフラ中の火山ガラスと重鉱物 …… 50
第 16 図　出土木製品の光学顕微鏡写真 …… 52
第 17 図　土師質土器の法量 …… 54
第 18 図　土器・陶磁器の変遷 …… 55
第 19 図　木製鐙の分類 …… 56
第 20 図　鐙の部位名称図 …… 57
第 21 図　五輪塔部位呼称 …… 58
第 22 図　袋状鉄斧類例 …… 59

表　目　次

第 1 表　周辺の遺跡一覧表 …… 8
第 2 表　分析試料一覧表 ……36
第 3 表　植物珪酸体分析結果 ……37
第 4 表　産出花粉・胞子一覧表 ……41
第 5 表　出土した大型植物遺体 ……44
第 6 表　火山灰試料とその詳細 ……49
第 7 表　火山灰試料の湿式篩分け・
　　重液分離の結果 ……49
第 8 表　4 φ篩残渣中の鉱物組成 ……49
第 9 表　樹種同定結果一覧 ……51
第 10 表　器種別の樹種同定結果 ……53

図 版 目 次

【図面図版】
図版 1　遺跡全体図
図版 2　遺構分割図　調査区西側
図版 3　遺構分割図　調査区東側
図版 4　遺構分割図 1
図版 5　遺構個別図 1
図版 6　遺構分割図 2
図版 7　遺構個別図 2
図版 8　遺構個別図 3
図版 9　遺構個別図 4
図版 10　遺構個別図 5
図版 11　遺構分割図 3
図版 12　遺構分割図 4
図版 13　遺構個別図 6
図版 14　遺構個別図 7
図版 15　遺構分割図 5
図版 16　遺構個別図 8
図版 17　遺構分割図 6
図版 18　遺構個別図 9
図版 19　遺構個別図 10
図版 20　遺構個別図 11
図版 21　遺構個別図 12
図版 22　遺構分割図 7
図版 23　遺構個別図 13
図版 24　遺構分割図 8
図版 25　遺構個別図 14
図版 26　遺構個別図 15
図版 27　遺構個別図 16
図版 28　遺構分割図 9
図版 29　遺構分割図 10
図版 30　遺構個別図 17
図版 31　遺構分割図 11
図版 32　遺構分割図 12
図版 33　遺構個別図 18
図版 34　遺構個別図 19
図版 35　遺構個別図 20
図版 36　遺構個別図 21
図版 37　遺構個別図 22
図版 38　遺構個別図 23
図版 39　遺構個別図 24
図版 40　遺構分割図 13
図版 41　遺構個別図 25
図版 42　遺構個別図 26
図版 43　遺構個別図 27
図版 44　遺構個別図 28
図版 45　遺構個別図 29
図版 46　遺構分割図 14
図版 47　遺構個別図 30
図版 48　土器・陶磁器 1
図版 49　土器・陶磁器 2
図版 50　土器・陶磁器 3
図版 51　土器・陶磁器 4
図版 52　土器・陶磁器 5、木製品
図版 53　柱根、石製品 1
図版 54　石製品 2、金属製品
【写真図版】
図版 55　調査区遠景
図版 56　調査区全景
図版 57　遺跡の位置、基本層序
図版 58　溝①、SB9867 ①
図版 59　SB9867 ②、SB9959 ①
図版 60　SB9959 ②、SB10186、井戸①
図版 61　井戸②
図版 62　井戸③、土坑①
図版 63　溝②、土坑②
図版 64　溝③、井戸④
図版 65　井戸⑤、土坑③
図版 66　土坑④、井戸⑥
図版 67　井戸⑦、土坑⑤、ピット①
図版 68　ピット②、性格不明遺構①、SB10456

図版 69　SB10457、SB10458、SB10459 ①
図版 70　SB10459 ②、SB10460、SB10461
図版 71　SB10462、井戸⑧
図版 72　井戸⑨、土坑⑥
図版 73　土坑⑦、溝④、ピット③
図版 74　ピット④、SB10463 ①
図版 75　SB10463 ②、SB10464、井戸⑩
図版 76　井戸⑪
図版 77　井戸⑫、土坑⑧
図版 78　土坑⑨、溝⑤
図版 79　溝⑥、井戸⑬
図版 80　井戸⑭、土坑⑩
図版 81　溝⑦
図版 82　SB10388、SB10389、SB10390、SB10392
図版 83　SB10391、SB10393、井戸⑮
図版 84　井戸⑯
図版 85　井戸⑰
図版 86　井戸⑱
図版 87　井戸⑲、土坑⑪
図版 88　土坑⑫、溝⑧
図版 89　性格不明遺構②
図版 90　性格不明遺構③、ピット⑤
図版 91　ピット⑥、SB10394、SB10395、SB10396、SB10397 ①
図版 92　SB10397 ②、SB10398、SB10399、SB10400 ①
図版 93　SB10400 ②、SB10442、井戸⑳
図版 94　井戸㉑
図版 95　井戸㉒
図版 96　井戸㉓、土坑⑬
図版 97　土坑⑭、溝⑨、ピット⑦、SX10450 ①
図版 98　SX10450 ②、作業風景
図版 99　土器・陶磁器 1
図版 100　土器・陶磁器 2
図版 101　土器・陶磁器 3
図版 102　木製品
図版 103　石製品、金属製品

第Ⅰ章　序　　説

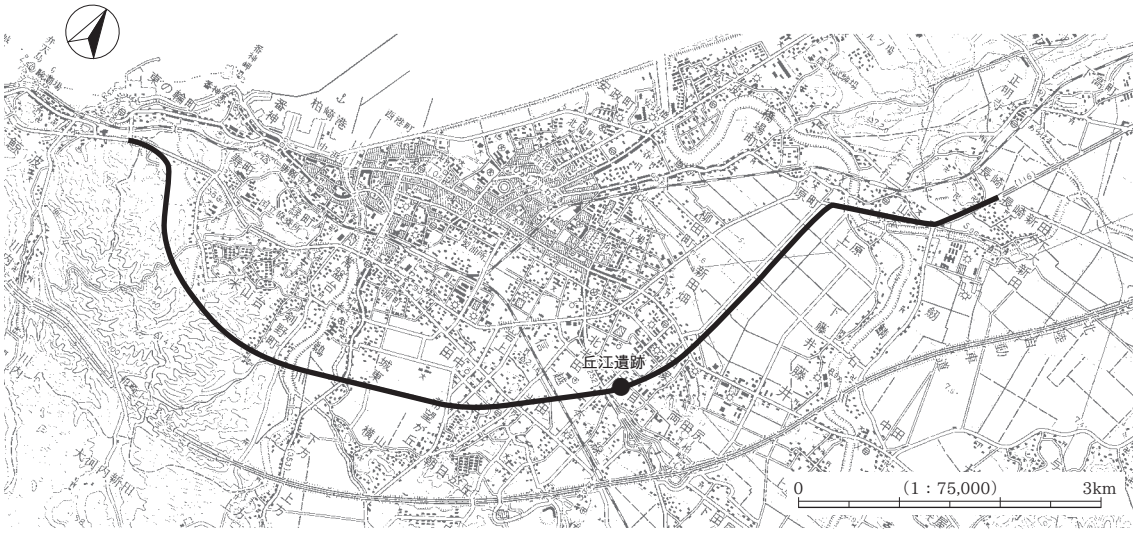
1　調査に至る経緯

一般国道８号柏崎バイパスは、柏崎市長崎を起点に同市鯨波に至る延長 11.0km の幹線道路である。交通混雑の解消、広域地域との交流の促進、都市交通の円滑化、都市機能の活性化などを目的に計画され、1987（昭和 62）年度に事業化された。1991（平成３）年度から用地買収、1993（平成５）年度から工事に着手し、整備が進められている。これを受けて、建設省（現国土交通省、以下、国交省）と新潟県教育委員会（以下、県教委）との間で、事業用地内の埋蔵文化財の取り扱いに関する協議が本格化した。

柏崎市東原町（豊田橋左岸）から茨目（国道 252 号）間の分布調査は、県教委の委託を受けた財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（現公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団、以下、埋文事業団）が 2002（平成 14）年７月に実施した。その結果、対象地域の広範囲で古代・中世・近世の遺物が採取でき、遺跡の存在する可能性が高いことから、道路法線のほぼ全域について試掘調査が必要であると県教委に報告し、県教委はこのことを国交省に報告している。

丘江遺跡に係る試掘確認調査は、埋文事業団が 2012（平成 24）年 10・11 月に、県教委が 2013（平成 25）年７・８月、2014（平成 26）年７月に、計 73,909m² を対象に実施した。その結果、下層から弥生時代後期から古墳時代前期の遺構・遺物が、上層から中世の遺構・遺物が検出された。特に中世の遺物・遺構は多くのトレンチで出土・検出している。丘江遺跡として新規登録し、下層 19,970m²、上層 54,467m²、延 74,437m² について本発掘調査（以下、本調査）が必要となった。その後、県教委・国交省・埋文事業は協議を重ね、丘江遺跡の本調査を 2014 年（平成 26 年）度から複数年に分けて実施することとなった。

「平成 28 年３月 14 日付け国北整長調第 66 号」で国交省から県教委に本調査の依頼があり、県教委は「平成 28 年４月２日付け教文第 1371 号の２」で埋文事業団に平成 2016 年（平成 28 年度）の本調査の実施を依頼した。



第１図　柏崎バイパスと遺跡の位置１
（国土地理院発行「柏崎」「岡野町」1：50,000 を縮小）

第２図　柏崎バイパスと遺跡の位置２

2　調査と整理作業の経過

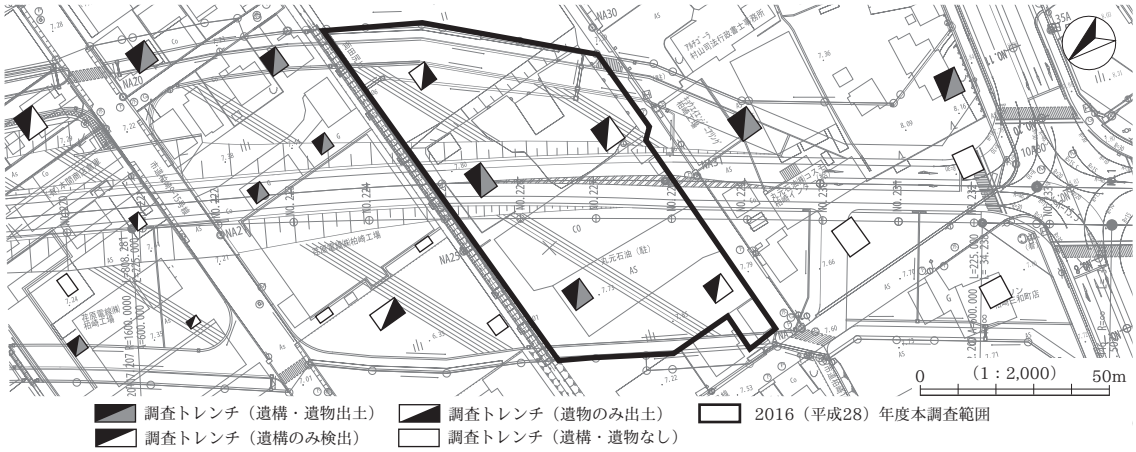
A　試掘確認調査

丘江遺跡の試掘確認調査は埋文事業団が2012（平成24）年10月1～19日・11月12～16日に、県教委が2013（平成25）年7月25日～8月9日、2014（平成26）年7月28・29日に実施した。このうち、2016（平成28）年度の本調査範囲を含む葦薮川から国道252号線までの区間は、県教委が2013（平成25）年・2014（平成26）年に実施した。調査対象面積は25,200m²、調査面積は718.5m²で試掘確認率（対象面積に対する調査面積の比率）は約3%である。調査の方法は、対象地内にトレンチを任意に設定し、掘削用重機及び人力で掘削・精査を行い、土層堆積状況、遺構・遺物の検出状況、トレンチの位置などを図面・写真に記録するものである。多くのトレンチから中世の土器・陶磁器が出土し、ピット・井戸・土坑・溝などの遺構を検出した。

B　本発掘調査

2016（平成28）年4月19日から開始し、11月30日に終了した。調査中に油臭がしたため、土壌試験を行ったところ、基準値を超える砒素が検出され発掘調査を約1月中断した。経過は以下のとおり。

4月19日：掘削用重機による盛土・表土除去を開始。
5月19日：本格的な人力掘削開始。
7月 6 日：調査区東側、ラジコン・ヘリによる航空写真撮影を実施。
8月 4 日：柏崎市立博物館実習・新潟県教育庁文化行政課主催青少年文化財講座受け入れ。
8月29日：調査区内から基準値を超える砒素を検出。作業を中断。
　　調査区内から基準値を超える砒素が検出されたことを、国交省が周辺住民へ周知。
9月29日：安全確認ができたため調査を再開することを、国交省が周辺住民へ周知。
10月 3 日：安全性が確保できたため作業を再開。
11月 2 日：調査区西側、ラジコン・ヘリによる航空写真撮影実施。
11月12日：現地説明会・体験発掘実施。参加者46名。
11月30日：現地調査終了



第3図　試掘・確認調査トレンチ位置図

3 調 査 体 制

A 試掘確認調査

2013（平成 25）年度

調査主体　新潟県教育委員会（教育長　高井　盛雄）
調査期間　7 月 25 日～ 8 月 9 日
総　　括　本田　雄二（文化行政課長）
管　　理　石津　　敦（文化行政課　課長補佐）
調査指導　沢田　　敦（文化行政課　埋蔵文化財係長）
調査担当　小野本　敦（文化行政課　主任調査員）
調 査 員　工藤　祐大（文化行政課　職員）

2014（平成 26）年度

調査主体　新潟県教育委員会（教育長　高井　盛雄）
調査期間　7 月 28・29 日
総　　括　斎藤　靖則（文化行政課長）
管　　理　松本美奈子（文化行政課　課長補佐）
調査指導　沢田　　敦（文化行政課　埋蔵文化財係長）
調査担当　佐藤　友子（文化行政課　埋蔵文化財係　専門調査員）
調 査 員　加藤　元康（文化行政課　文化財調査員）

B 本 発 掘 調 査

調　　査　公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
　総　　括　土肥　　茂（事務局長）
　監　　理　松田　　祐（総務課長）
　庶　　務　星野　美奈（総務課班長）
　調査総括　鈴木　俊成（調査課長）
　調査担当　春日　真実（調査課　課長代理）
支援組織　吉田建設株式会社
　現場代理人　渋木　宏人（埋蔵文化財調査部　調査部長）
　調　査　員　今井　昭俊・高柳　俊輔（埋蔵文化財調査部　調査員）

4 整理作業と整理体制

遺物の水洗・注記の大半は現地プレハブで、本調査と並行して実施した。本格的な整理作業は 12 月 1 日～ 3 月 31 日まで吉田建設三条整理所で行った。整理期間は 2016（平成 28）年 12 月 1 日～ 2017（平成 29）年 3 月 31 日である。整理体制は本発掘調査に以下の 3 名を加えたものである。

整理補助員　水科かおり・佐野美来子・佐藤　則子（以上、吉田建設株式会社　埋蔵文化財調査部）

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

1　地 理 的 環 境

位　置

丘江遺跡は、柏崎市茨目3丁目字町屋敷他に所在する。柏崎市は新潟県の海岸中央やや南西寄りに位置する。2005年5月1日に刈羽郡西山町・高柳町と合併し、現在の市域が形成された。市の北西は日本海に面し、北東は三島郡出雲崎町、東は長岡市、南は十日町市、南西は上越市と接する。江戸時代には、北国街道と長岡街道（北国街道と魚沼街道を結ぶ街道）の分岐点があり、現在も国道8号から分岐する国道116号、JR信越本線から分岐するJR越後線の起点があり、北陸自動車道が市内を横断するなど陸上交通の要衝となっている。また、日本海は東西日本をつなぐだけでなく、国際貿易港の重要な海路となっていることは言うまでもない。

柏崎平野の地勢

丘江遺跡が所在する柏崎平野は、鵜川と鯖石川、鯖石川の支流である別山川によって形成された幅約7km、長さ約18kmの臨海沖積平野である。その東・西・南の3方は、東頸城丘陵、刈羽・三島丘陵、刈羽三山と称される米山（標高992.6m）・黒姫山（標高889.5m）・八石山（標高518m）などの山地によって囲まれている。また平野の北西部は日本海に面している。長軸は北北東－南南西を向き、平野の北半分が別山川流域、南半分が鯖石川と鵜川の流域である。海岸部には荒浜砂丘が発達し、その後背には湿地性の沖積地が展開する［鈴木ほか1988・1989］。砂丘形成の顕著な時期に、河口部が閉ざされることにより湛水した湖沼を「鏡ヶ沖」などと呼んだ。

こうした柏崎平野の地形的特徴は、平野を北流する鵜川・鯖石川によって東部・中央部・西部に三区分できることである。東部は鯖石川以東の地域であり、丘陵や沖積地、砂丘が発達している。刈羽・三島丘陵などの丘陵地帯や別山川･長鳥川地域の沖積地、また日本海沿岸の荒浜砂丘などが、北北東－南南西方向に伸びる。

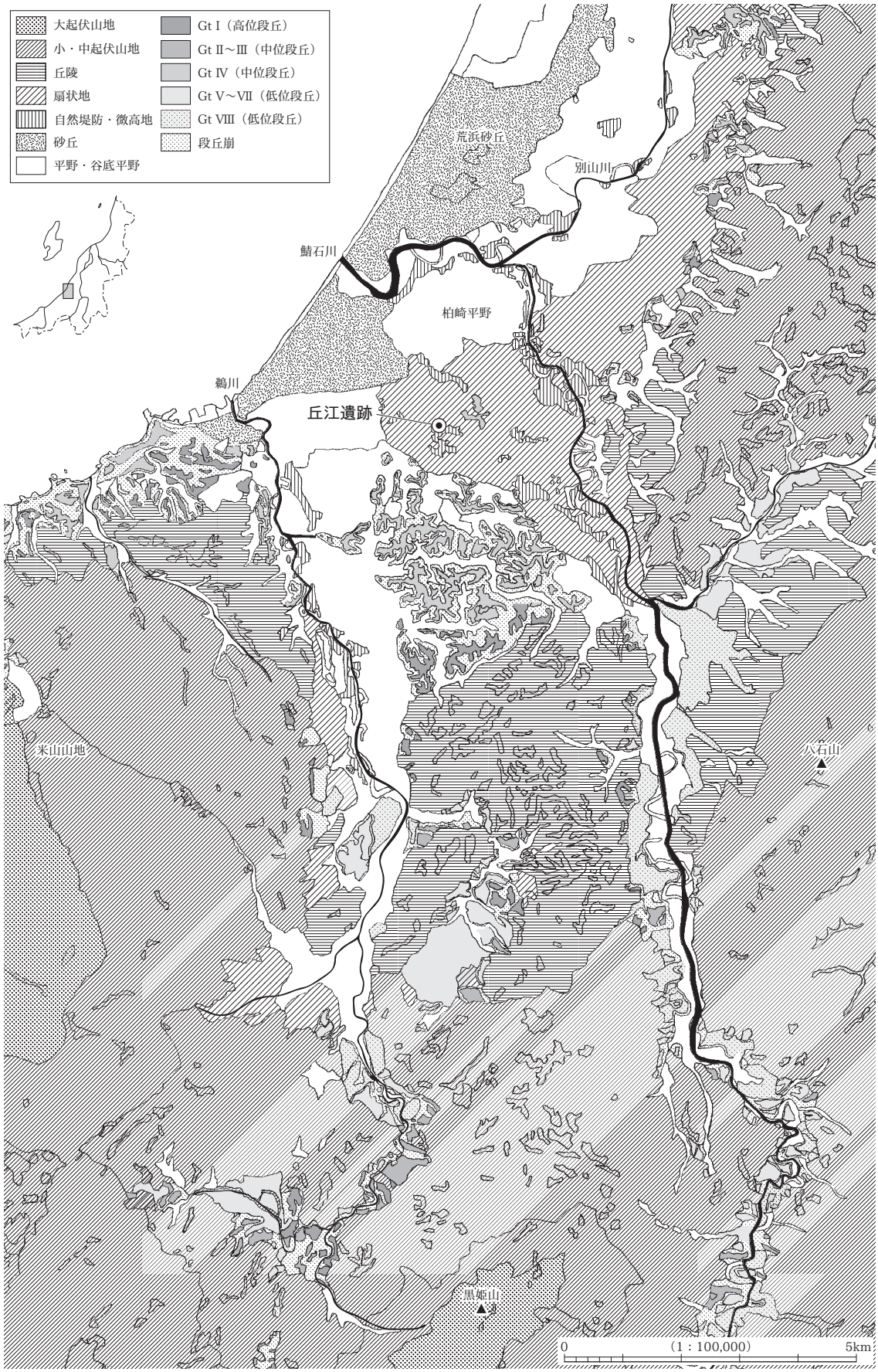
中央部は、鵜川・鯖石川・黒姫山に囲まれた地域である。黒姫山を頂点とする山地や丘陵が、緩やかに南－北方向に伸びる地形をしている。その縁辺では中位河岸段丘の発達が比較的顕著であり、樹枝状の段丘が、鵜川・鯖石川が形成した沖積地に接している。

西部は鵜川左岸一帯で、米山から続く山地（米山山地）や丘陵が発達している。砂丘や沖積地は少ない。米山山地の西部は海岸部まで張り出して断崖をなし、東部では狭小な中・高位段丘面が確認できる。広範囲に発達した沖積地や砂丘が展開する東部や中央部とは対照的な様相を示している［大野・徳間1990］。

丘江遺跡周辺の地形

丘江遺跡は柏崎平野北西部、鯖石川左岸に位置し、扇状地の中の微高地に所在する。標高は6～7mを測る。柏崎平野の三区分では「中央部」に所在する。海岸線からは約3km内陸である。遺跡の北西側には柏崎の市街地が広がっているほか、鯖石川支流の小河川が流れる。

新潟県の河川は上流に地すべり地帯が多く、侵食、運搬作用が盛んである。さらに下流には灌漑用の取水施設が多いため、河川の流れが下流近くで緩やかになり、その結果、天井川が形成されやすくなっている。鯖石川もこの例にもれず、平野の形成、遺跡の形成に大きな影響をもたらしている。



第４図　柏崎周辺の地形

［飯坂ほか 2015『宝田遺跡』］を一部改変

2　歴史的環境

中　世　11 世紀末から 12 世紀中葉頃には『和名類聚抄』に記載される郡・郷は再編され、各地に荘園や郷・保を単位とする国衙領が成立した。中世の鵜川流域は、古代の三嶋郡三嶋郷をほぼ踏襲した鵜河荘の荘域であった。古代の三嶋郡一帯は、中世では鵜河荘、佐橋荘、比角荘といった荘園名で表記され、3 荘園のほかに原田保、赤田保など、わずかな資料に保名があることから、国衙領の存在が知られている。現状として、荘園・国衙領の所在は、鵜河荘などの荘園を柏崎平野南部の鵜川・鯖石川流域に、原田保などの国衙領を主に北部の別山川流域に比定するのが定説化している［金子 1976］。史料として、『吾妻鏡』1186 年（文治 2 年）3 月 12 日条の「三箇国庄々未進注文」には、柏崎平野に比定される荘園として「宇河（鵜川）荘」・「佐橋（鯖石）荘」・「比角荘」の三荘園が記載されている［荻野 1986］。

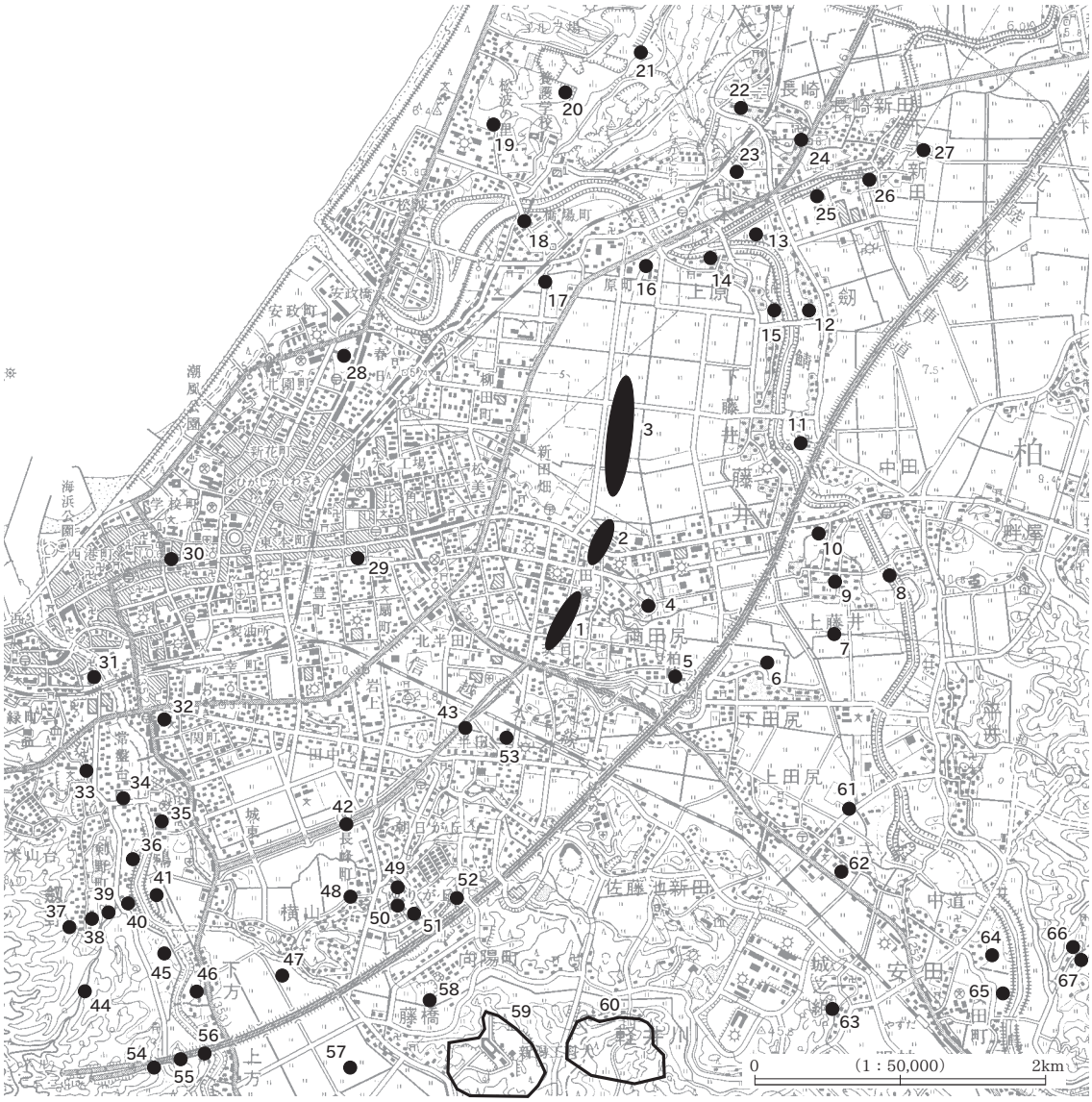
中世の遺跡は、集落遺跡が丘陵裾部や自然堤防などの沖積地に分布し、墳墓や塚・経塚などが丘陵裾部や中位段丘などの台地上に立地する傾向が認められる［品田 1995］。

本遺跡の周辺の遺跡には、山崎遺跡（2）、宝田遺跡（3）、小峯遺跡（43）、田塚山遺跡群（4）などがある。田塚山遺跡群は本遺跡から東へ約 300m に立地し、仏堂とその関連施設が築造され、周囲に墳墓が配置されている［品田ほか 1996］。田塚山遺跡群から南側の丘陵上に立地する小児石遺跡（5）は、中世全般にわたって墓地として機能し、礫石経・六道銭などが出土している［品田ほか 1991］。山崎遺跡は、13 世紀中頃から 15 世紀後半を主体とする集落遺跡で、掘立柱建物 28 棟や井戸 141 基が検出され、土師質土器や珠洲焼のほかに風炉や茶臼が出土している［白井 2016］。宝田遺跡は古代から断続的に水田耕作を行った生産遺跡である。多数の水田遺構を検出し、須恵器や土師質土器、珠洲焼のほかに、15 世紀中頃と推定されるおにぎり状炭化米が出土している［飯坂ほか 2014］。

鯖石川と別山川の合流点付近には、東原町遺跡（16）、角田遺跡（13）などがある。両遺跡は自然堤防上に立地しており、河川交通などの物流関係を背景に成立したと考えられる。東原町遺跡は 13 世紀後半から 14 世紀が主体の集落遺跡で、掘立柱建物 4 棟、井戸 28 基、溝 92 条などが検出され、溝によって居住域と生産域が区画されている。居住域では、鍛冶関連の工房、饗宴に使用された土師質土器の一括廃棄土坑が検出され、1 万枚以上の銭貨を埋納した珠洲焼の壺が出土している［山崎ほか 2005］。角田遺跡は 13 世紀後半が主体の遺跡で、掘立柱建物 13 棟に多数の井戸と土坑が検出され、交通の要衝を押さえる目的で在地小領主が家屋敷を営んだとみられる［品田ほか 1999］。

鵜川流域の遺跡としては、下沖北遺跡（41）、鶴巻田遺跡（56）などが自然堤防上に立地する。下沖北遺跡は 13 世紀から 14 世紀を主体とする集落遺跡で、溝による方形区画内に掘立柱建物や井戸が集中する居住域とその外側に水田が検出されており、集落の様相が明らかにされている［山本ほか 2003、山崎ほか 2005］。鶴巻田遺跡では、丘陵裾に素掘りの井戸や貯蔵穴が検出され、珠洲焼、青磁、製塩土器、銭貨などのほかに鉄滓などの製鉄関連の資料が出土している［藤巻 1988］。

鵜川の河口に近い右岸域の柏崎砂丘では、現在の市街地と重複する柏崎町遺跡（30）が立地する。中世柏崎において、比角荘域にあたり、15 世紀には既に東本町まで開発がおよび、17 世紀には現市街地の原形が形成されていく過程が明らかにされている。中世の柏崎は町人集団が支配する港湾都市であった可能性が指摘されているが［矢田 1999］、それを示すように青花、青磁、白磁などの輸入陶磁器が、柏崎平野のどの中世遺跡よりも多数出土している［品田・伊藤ほか 2001］。



［国土地理院「柏崎」1：50,000 原図 2007 年発行］

第５図　周辺の遺跡

No	遺跡名	時　代	No	遺跡名	時　代	No	遺跡名	時　代	No	遺跡名	時　代
1	丘江遺跡	弥生～中世	19	沙鉢山遺跡	平安・中世	37	香積寺沢遺跡	縄文・古代・中世	55	桐山遺跡	縄文・古代・中世
2	山崎遺跡	古代・中世	20	旧荒浜小学校Ａ	古代	38	剣野沢遺跡	縄文・古代・中世	56	鶴巻田遺跡	縄文・弥生・古墳・平安・中世
3	宝田遺跡	古代・中世	21	旧荒浜小学校Ｂ	古代	39	剣野Ｂ遺跡	縄文・古代・中世			
4	田塚山遺跡群	縄文・弥生・中世	22	西岩野遺跡	弥生・中世	40	千古作遺跡	中世	57	沢田遺跡	古代
5	小児石遺跡	中世（墓地）	23	宮ノ浦遺跡	古代・中世	41	下沖北遺跡	平安・中世	58	藤橋向山遺跡	古代
6	不退寺遺跡	古代・中世	24	土合殿屋敷跡	中世	42	箕輪遺跡	弥生・平安・中世	59	藤橋東遺跡群	縄文・古代（製鉄関連）・中世
7	前田遺跡	古代・中世	25	下境井西遺跡	古代	43	小峯遺跡	古代・中世			
8	関野遺跡	縄文・古墳～中世	26	下境井遺跡	古墳・平安	44	剣野水上遺跡	製鉄関連	60	軽井川南遺跡群	古代（製鉄関連）
9	藤井城跡	古代・中世・近世	27	下才見遺跡	中世	45	下沖遺跡	古代	61	大新田遺跡	中世
10	中田久保川原遺跡	中世	28	桜木町遺跡	古代	46	嶋屋敷遺跡	中世	62	大坪遺跡	中世
11	中田下川原遺跡	古代	29	四谷遺跡	中世	47	茅原遺跡	古代・中世	63	安田城跡	中世
12	剣下川原遺跡	古墳・古代	30	柏崎町遺跡	中・近世	48	京田遺跡	古代・中世	64	中道遺跡	古代・中世
13	角田遺跡	古墳・古代・中世	31	大久保東遺跡	古代・中世	49	大沢Ａ遺跡	縄文・平安	65	門田遺跡	中世
14	上原遺跡	古代・中世	32	関町遺跡	中世	50	大宮遺跡	縄文・古代	66	堂の浦遺跡	中世
15	境川原遺跡	中世	33	剣野Ｆ遺跡	縄文・古代・中世	51	大沢Ｂ遺跡	古代（製鉄関連）	67	今熊薬師堂裏	中世
16	東原町遺跡	古代・中世	34	三島神社	古墳・古代	52	雨池・雨池古窯	縄文・平安			
17	藤元町遺跡	古代	35	琵琶島城	古墳・古代・中世	53	城塚遺跡	古代			
18	開運町遺跡	縄文・弥生・古代	36	渋柿遺跡	縄文・古代	54	西田遺跡	縄文・古代・中世			

第１表　周辺の遺跡一覧表

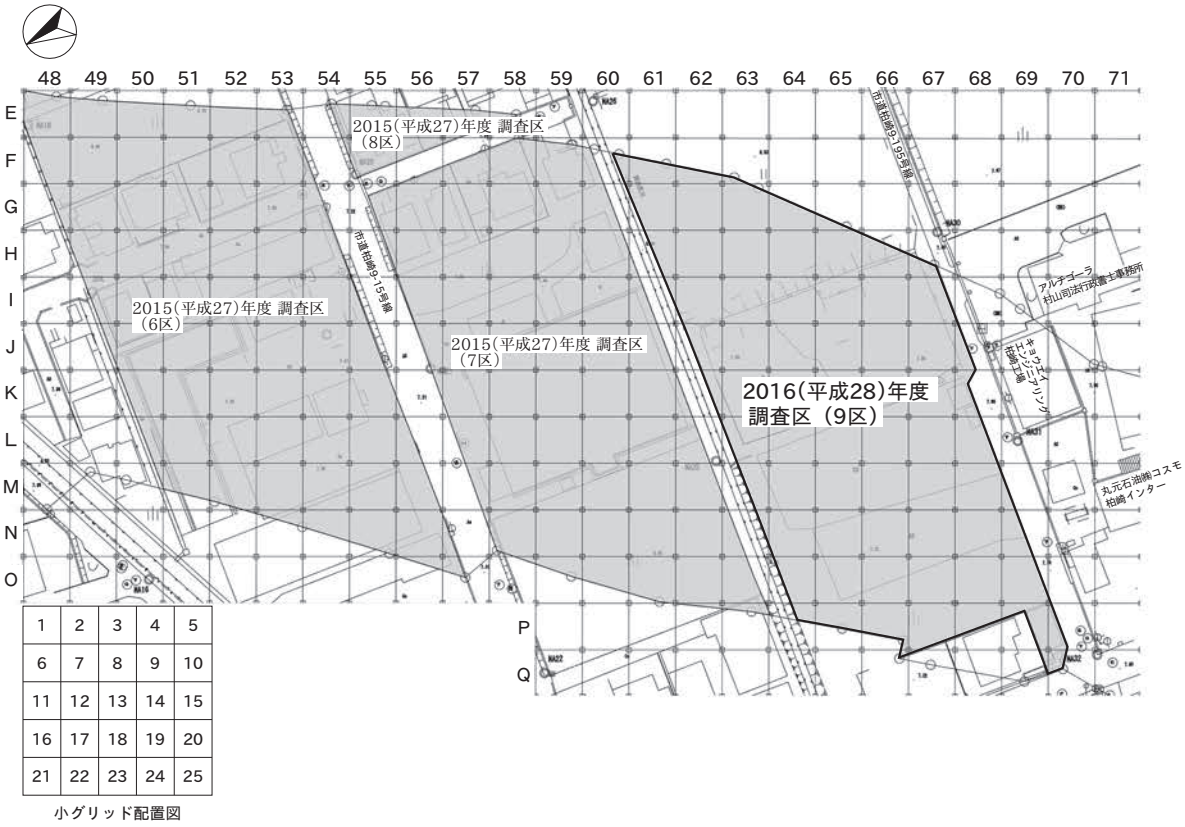
第Ⅲ章　調 査 の 概 要

1　グリッドの設定と地区名

丘江遺跡は、2012 年度の試掘調査で存在が新たに確認された遺跡である。グリッドの設定は、2014 年度の発掘調査時に柏崎バイパスの法線に沿うよう、道路建設予定地内のセンター杭 2 点を基準とした。基準としたセンター杭は、No.198（X=151919.385、Y=7642.954）と No.213（X=151602.171、Y=7474.344）である。この両センター杭を結んだ直線を横軸とし、これに直交する線を縦軸として設定した。グリッドの基準線方位は、横軸が真北から 29 度 3 分 57 秒東偏している。2016（平成 28）年度の発掘調査では、上記のグリッドを南へ延長し使用した。

グリッドは大小 2 種類を用いた。大グリッドは縦横 10m 間隔に設置して、横列は算用数字を用いて、北東から南西に向かい「1、2、3、4…」列、縦軸はアルファベットを用いて、南東から北西に向かって「A、B、C、D…」とした。大グリッド名は、北東隅にある基準線の交点を「1A、1B、1C、1D…」と呼称した。小グリッドは、大グリッド内を縦横 2m 間隔で 25 分割した。小グリッド北東隅を 1 として南西に数え南西隅を 25 とし算用数字で表した。グリッド表記は「7B2」のように呼称した。

丘江遺跡の調査範囲は、法線距離で約 700m あり、調査も複数年度にわたる。調査区は市道などによっていくつかのブロックに分かれており、年度により調査区の範囲が異なる。そのため、調査区名は 2014



第 6 図　丘江遺跡グリッド設定図（S=1：1,625）

年度調査の「1 区」からブロックごとに「2 区、3 区…」と通しで付与した。今年度の調査区は、「9 区」にあたる。

2 基 本 層 序

丘江遺跡は柏崎市茨目 3 丁目字町屋敷ほかに所在し、鯖石川左岸の標高 6 ～ 7m 前後の扇状地に立地する。現況は水田及び宅地盛土と工場跡地の盛土である。地形は、調査区の中央西寄り及び東端に沢状地形の存在があるため、場所によって高低差がある。

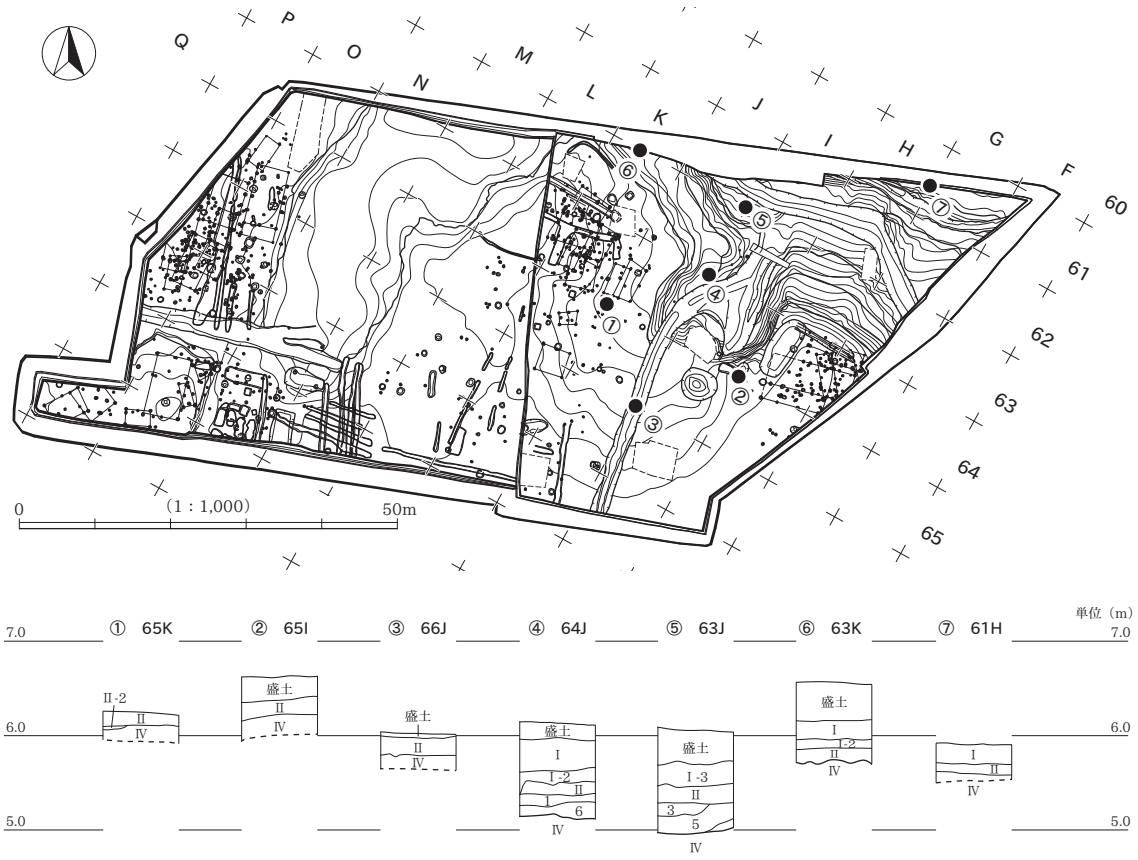
基本土層はⅠ～Ⅳ層に大別した。同一の土層でも土質・色調に多少の差異があり、さらに 2 ～ 4 層に細分可能な層もある。このうちⅡ層が鎌倉・室町時代の遺物包含層であり、上位のⅠ層からは同時期の遺物も含まれるが近世の遺物も混じる。今回の調査区では弥生時代後期～古墳時代の遺物包含層であるⅢ層は確認されなかった。遺物包含層であるⅡ層と遺構検出面であるⅣ層の境界は、基本的に平坦である。一部、水田耕作等の存在が疑われる箇所では、境界の凹凸が著しい。

Ⅰ層：灰褐色土（7.5Y4/2）粘性としまりが共に強い。近・現代の水田や畑の耕作土。地点により 2 ～ 3 層に細分される。

Ⅱ層：灰色シルト（7.5Y4/1）粘性がやや強く、しまりが強い。鎌倉・室町時代の遺物包含層。

Ⅲ層：黒色シルト（7.5Y2/1）弥生時代後期～古墳時代前期の遺物包含層。

Ⅳ層：灰色シルト（10Y6/1）粘性としまりが共に強い。基盤土層であり、遺構検出面。



第 7 図　丘江遺跡Ⅲの基本層序

第Ⅳ章　遺　　構

1　遺構の概要と記述の方法

A　概　　要

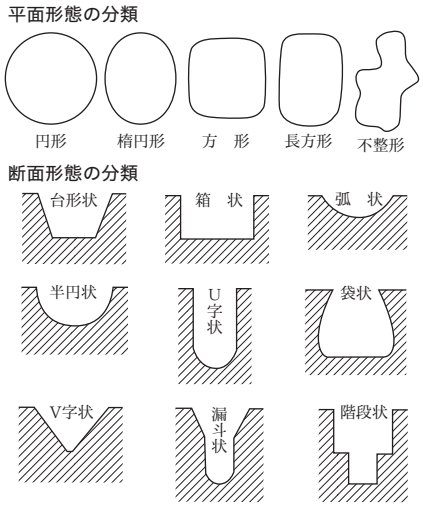
検出した遺構は、掘立柱建物 26 棟、井戸 45 基、土坑 33 基、溝 40 条、性格不明遺構 12 基、ピット 769 基である。出土遺物や遺構の埋土の特徴から、多くは中世の所産と判断した。

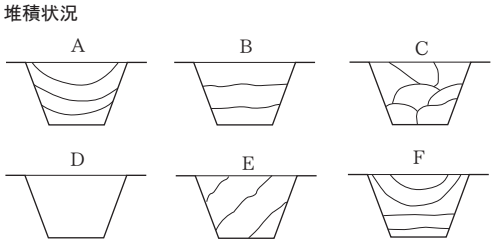
B　遺構の記述と表記方法

遺構の記述には、本文・観察表・図面図版・写真図版を用いた。図面図版は全体図・分割図・個別図で構成し、写真図版は図面図版の掲載順に合わせた。本文は種別ごとに図面図版の掲載順に合わせて記述している。なお、本文中の遺構の記述は、形状や土層の堆積状況を勘案して種別ごとに抽出したものに止めた。抽出した遺構については、すべて遺構個別図を掲載した。本文で記述した以外の遺構は、観察表や図表に示した。

遺構種別は略号を用い、掘立柱建物「SB」、井戸「SE」、土坑「SK」、溝「SD」、性格不明遺構「SX」、ピット「P」とした。遺構略号の後ろに遺構番号を付した。遺構番号は平成 27 年度調査からの通し番号で、過去の調査と重複しないように今年度は「9501」からとした。

遺構の平面形及び断面形状の表記は、和泉 A 遺跡［荒川・加藤ほか 1999］の分類基準（第 8 図）に準拠した。規模は、平面を長軸（最大長・最大径）と短軸、深さを遺構検出面からの最深部までとして計測した。重複関係で計測が困難なものについては残存値を（　）で記載した。方位は、長軸が真北に対して東西に何度振れているかを計測し、N-○°-E（W）と表記した。土層断面図の色調は『新版標準土色帖』［農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所 2004］を使用した。





レンズ状	複数層がレンズ状に堆積する。
水平	複数層が水平に堆積する。
ブロック状	ブロック状に堆積する。
単層	埋土が単一層のもの。
斜位	斜めに堆積するもの。
水平レンズ	埋土下位は水平、上位はレンズ状に堆積する。

第 8 図　遺構の平面・断面形態、堆積状況の分類［荒川・加藤ほか 1999 を転用］

2 遺 構 各 説

A 掘 立 柱 建 物

掘立柱建物については、柱間数の多い方向を桁行（長軸）、少ない方向を梁行（短軸）とした。方位は北に対して桁行が東西に何度傾くかを N- ○° -E（W）と表した。建物の面積は桁行と梁行で囲まれた部分を計算した。建物 26 棟を復元した。

SB9867（図版 6・7・58・59）

64・65G・H に位置する。建物の東側が調査区外へ延伸するため全容は把握できないが、桁行 5 間以上、梁行 1 間で平廂を持つ建物（11.2 × 6.1m）と推定する。桁行方位は N-76° -W の東西棟である。13 基の柱穴によって構成され、面積は推定 68.3m² である。柱間は 1.7 ～ 2.8m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面は大半が U 字状を呈し、径 0.26 ～ 0.60m、深さ 0.12 ～ 0.77m である。P9608 から柱根（130）が出土した。

SB9959（図版 6・8・59・60）

63・64G、64H に位置する。桁行 3 間（4.0m）、梁行 2 間（2.3m）の建物で、桁行方位は N-76° -W の東西棟である。7 基の柱穴によって構成され、面積は 9.2m² である。柱間は 0.9 ～ 2.2m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面は U 字状または V 字状を呈し、径 0.23 ～ 0.64m、深さ 0.20 ～ 0.50m である。

SB10186（図版 6・8・60）

63G・H に位置する。桁行 3 間(6.0m)、梁行 1 間(2.0m)の建物で、桁行方位は N-10° -W の南北棟である。8 基の柱穴によって構成され、面積は 12.0m² である。柱間は 0.9 ～ 2.0m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面は U 字状または半円状を呈し、径 0.23 ～ 0.54m、深さ 0.16 ～ 0.76m である。

SB10456（図版 17・18・68）

64J・K に位置する。桁行 2 間（4.1m）、梁行 2 間（2.1m）の建物で、桁行方位は N-18° -E の南北棟である。7 基の柱穴によって構成され、面積は 8.6m² である。柱間は 0.6 ～ 2.3m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面は U 字状または V 字状を呈し、径 0.22 ～ 0.50m、深さ 0.13 ～ 0.44m である。

SB10457（図版 17・18・69）

64K に位置する。桁行 4 間（5.3m）、梁行 1 間（2.2m）の建物で、桁行方位は N-27° -E の南北棟である。8 基の柱穴によって構成される。面積は 11.7m² である。柱間は 1.3 ～ 2.4m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面は U 字状または半円状を呈し、径 0.24 ～ 0.32m、深さ 0.14 ～ 0.57m である。

SB10458（図版 17・18・69）

64K に位置する。桁行 4 間(5.5m)、梁行 1 間(2.1m)の側柱建物で、桁行方位は N-22° -E の南北棟である。9 基の柱穴によって構成され、面積は 11.6m² である。柱間は 1.1 ～ 2.2m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面は U 字状または半円状を呈し、径 0.22 ～ 0.47m、深さ 0.15 ～ 0.74m である。

SB10459（図版 17・19・69・70）

64K・L に位置する。桁行 3 間（5.7m）、梁行 2 間（3.9m）の側柱建物で、桁行方位は N-74° -W の東西棟である。10 基の柱穴によって構成される。面積は 22.2m² である。柱間は 0.8 ～ 2.6m である。柱

穴は平面が円形または楕円形、断面はＵ字状または半円状を呈し、径 0.22 ～ 0.40m、深さ 0.12 ～ 0.72m である。

SB10460（図版 17・19・70）

64J に位置する。桁行２間（5.2m）、梁行１間（2.6m）の建物で、桁行方位は N-24°-E の東西棟である。6 基の柱穴によって構成され、面積は 13.5m² である。柱間は 2.2m ～ 2.9m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面はＵ字状または半円状などを呈し、径 0.21 ～ 0.31m、深さ 0.24 ～ 0.49m である。

SB10461（図版 17・20・70）

63・64K・L に位置する。桁行２間（4.9m）、梁行１間（2.8m）の建物で、桁行方位は N-53°-W の東西棟である。6 基の柱穴によって構成される。面積は 13.7m² である。柱間は 2.0 ～ 2.8m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面はＵ字状または半円状を呈し、径 0.26 ～ 0.40m、深さ 0.17 ～ 0.57m である

SB10462（図版 17・20・71）

64・65K に位置する。桁行２間(4.1m)、梁行２間(3.7m)の建物で、桁行方位は N-15°-E の南北棟である。7 基の柱穴によって構成される。面積は 15.2m² である。柱間は 1.5m ～ 4.1m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面はＵ字状を呈し、径 0.32 ～ 0.68m、深さ 0.17 ～ 0.51m である。

SB10463（図版 24・25・74・75）

65K に位置する。桁行２間(2.5m)、梁行１間(1.8m)の側柱建物で、桁行方位は N-84°-W の東西棟である。5 基の柱穴によって構成される。面積は 4.5m² である。柱間は 1.2m ～ 2.1m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面はＵ字状または半円状を呈し、径 0.24 ～ 0.32m、深さ 0.10 ～ 0.37m である。

SB10464（図版 24・25・75）

65・66K に位置する。桁行２間（3.8m）、梁行１間（3.6m）の側柱建物で、桁行方位は N-77°-E の東西棟である。5 基の柱穴によって構成される。面積は 13.7m² である。柱間は 1.8 ～ 3.8m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面はＵ字状をまたは半円状などを呈し、径 0.26 ～ 0.42m、深さ 0.23 ～ 0.38m である。

SB10388（図版 31・33・82）

69P に位置する。建物の南側が調査区外へ延伸するため全容は把握できないが、桁行２間（5.0m）以上、梁行２間（3.3m）以上の建物で、桁行方位は N-65°-E の東西棟と推定する。4 基以上の柱穴によって構成され、面積は 16.5m² 以上である。柱間は 2.3 ～ 3.3m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面はＵ字状や漏斗状などを呈し、径 0.29 ～ 0.40m、深さ 0.18 ～ 0.53m である。

SB10389（図版 31・33・82）

69P に位置する。建物の北側が調査区外へ延伸するため全容は把握できないが、桁行２間（4.7m）以上、梁行２間（4.0m）以上の建物と推定する。桁行方位は N-35°-W の南北棟と推定する。5 基以上の柱穴によって構成され、面積は 18.8m² 以上である。柱間は 1.7 ～ 2.5m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面はＵ字状または半円状を呈し、径 0.25 ～ 0.45m、深さ 0.19 ～ 0.39m である。

SB10390（図版 31・33・82）

69O に位置する。桁行１間（3.4m）、梁行１間（2.1m）の側柱建物で、桁行方位は N-84°-W の南北棟である。4 基の柱穴によって構成される。面積は 7.1m² である。柱間は 2.0 ～ 3.4m である。柱穴は平面が円形、断面はＵ字状を呈し、径 0.32 ～ 0.35m、深さ 0.32 ～ 0.58m である。

SB10392（図版 32・33・82）

68O に位置する。桁行 1 間（2.0m）、梁行 1 間（2.2m）の建物で、桁行方位は N-19°-E の南北棟である。4 基の柱穴によって構成され、面積は 4.4m² である。柱間は 1.6 ～ 2.2m で、柱穴は平面が円形または楕円形、断面は U 字状または漏斗状を呈し、径 0.32 ～ 0.38m、深さ 0.20 ～ 0.44m である。

SB10391（図版 31・34・83）

68O・69O に位置する。桁行 3 間（8.1m）、梁行 2 間（4.7m）の側柱建物で、桁行方位は N-14°-E の南北棟である。9 基の柱穴によって構成される。面積は 38.1m² である。柱間は 2.1 ～ 5.4m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面は U 字状や半円状などを呈し、径 0.25 ～ 0.45m、深さ 0.11 ～ 0.45m である。

SB10393（図版 32・34・83）

68O に位置する。桁行 1 間（3.2m）、梁行 1 間（1.6m）の建物である。桁行方位は N-11°-W の南北棟である。4 基の柱穴によって構成される。面積は 5.1m² である。柱間は 1.2 ～ 3.2m である。柱穴は平面が円形または楕円形、断面は U 字状または弧状を呈し、径 0.29 ～ 0.50m、深さ 0.10 ～ 0.45m である。

SB10394（図版 40・41・91）

67P に位置する。桁行 2 間、梁行 2 間で、北面に妻廂が付く建物（4.7 × 2.2m）で、桁行方位は N-10°-E の南北棟である。11 基の柱穴によって構成され、面積は 10.3m² である。柱間は 0.6 ～ 2.2m である。柱穴は平面が円形や楕円形、断面は U 字状または弧状を呈し、径 0.27 ～ 0.86m、深さ 0.11 ～ 0.34m である。

SB10395（図版 40・41・91）

65O・P に位置する。桁行 2 間（4.2m）、梁行 1 間（2.4m）の建物である。桁行方位は N-35°-E の南北棟である。6 基の柱穴によって構成され、面積は 10.1m² である。柱間は 0.9 ～ 2.6m である。柱穴は平面が円形や楕円形、断面は U 字状または弧状を呈し、径 0.11 ～ 0.29m、深さ 0.11 ～ 0.40m である。

SB10396（図版 40・41・91）

65・66O に位置する。桁行 4 間、梁行 2 間の南側に妻廂が付く建物（9.6 × 4.3m）で、桁行方位は N-13°-E の南北棟である。14 基の柱穴によって構成され、面積は 41.3m² である。柱穴は平面が円形や楕円形、断面は U 字状または弧状を呈し、径 0.26m ～ 0.38m、深さ 0.13 ～ 0.55m である。

SB10397（図版 40・42・91・92）

65・66O・P に位置する。建物の南側一部が調査区外へ延伸するため全容は把握できないが、桁行 4 間（6.5m）、梁行 1 間（4.4m）の建物である。桁行方位は N-15°-E の南北棟と推定する。8 基以上の柱穴によって構成され、面積は推定で 28.6m² である。柱穴は平面が円形や楕円形、断面は U 字状または弧状を呈し、径 0.32 以上、深さ 0.21 ～ 0.41m である。P10092 から珠洲焼甕が出土した。

SB10398（図版 40・42・92）

66O・P に位置する。桁行 3 間（5.1m）、梁行 1 間（2.4m）の建物で、桁行方位は N-11°-E の南北棟である。7 基の柱穴で構成される。面積は 12.2m² である。柱穴は平面が円形や楕円形、断面は U 字状または弧状を呈し、径 0.20 ～ 0.40m、深さ 0.08 ～ 0.35m である。

SB10399（図版 40・42・92）

66・67O に位置する。桁行 2 間（4.2m）、梁行 1 間（3.2m）の建物で、桁行方位は N-27°-E の南北棟である。6 基の柱穴によって構成され、面積は 13.4m² である。柱穴は平面が円形や楕円形、断面は U 字

状または弧状を呈し、径 0.21 ～ 0.50m、深さ 0.20 ～ 0.56m である。

SB10400（図版 40・43・92・93）

66・67O・P に位置する。桁行 3 間（6.9m）、梁行 1 間（3.6m）の建物で、桁行方位は N-21°-E の南北棟である。7 基の柱穴によって構成され、面積は 24.8m² である。柱穴は平面が円形や楕円形、断面は U 字状または弧状を呈し、径 0.25 ～ 0.58m、深さ 0.15 ～ 0.58m である。

SB10442（図版 40・43・93）

66・67P に位置する。建物の北側一部が調査区外へ延伸するため全容は把握できないが、桁行 5 間（8.9m）以上、梁行 1 間（3.4m）の建物と推定され、桁行方向は N-12°-E の南北棟と見られる。8 基の柱穴によって構成され、面積は推定で 30.3m² である。柱穴は平面が円形や楕円形、断面は U 字状または弧状を呈し、径 0.20 ～ 0.64m、深さ 0.14 ～ 0.66m である。

B　井　　戸

井戸は 45 基検出した。平面は円形・楕円形が多く、少数ながら方形も見られる。土坑と区別が難しいものもある。井戸側は、残骸や杭、礫などを含めて出土していない。すべて素掘りである。側壁は垂直から急斜度が多く、底面は平坦なものが多い。埋土はレンズ状堆積が大部分を占めるが、斜位やブロック状堆積なども見られる。井戸の時期は出土遺物などから判断して、おおむね中世の所産である。

SE9527（図版 6・9・60・61）

63H5、64H1 に位置する。SD9526 に切られる。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.80m・短径 0.80m・深さ 0.80m である。埋土は 3 層でレンズ状に堆積する。

SE9538（図版 6・9・61）

65H2 に位置する。遺構の東側が調査区外へ広がる。平面は残存部で楕円形、断面は台形状を呈すると推定される。残存値は長径 1.12m・短径 0.98m・深さ 1.28m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。

SE9554（図版 6・9・61）

64G21・22、64H1・2 に位置する。平面は円形、断面は U 字状を呈する。規模は長径 0.76m・短径 0.72m・深さ 0.91m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。漆器小片が出土した。

SE9594（図版 6・9・61）

64H12 に位置する。SK9624 に切られる。平面は残存部で円形、断面は階段状を呈する。遺構の残存値は長径 0.86m・短径 0.86m・深さ 0.81m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。

SE9606（図版 6・9・62）

63G25、64G21 に位置する。SD9526・P9605 に切られる。平面は円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 0.89m・短径 0.83m・深さ 1.24m である。埋土は 3 層で水平に堆積する。漆器椀（125）が出土した。

SE9607（図版 6・9・62）

64H1・2 に位置する。9620・P9621 が近接する。平面は楕円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 0.72m・短径 0.42m・深さ 0.88m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SE9619（図版 6・9・62）

64H24・25、64I4・5 に位置する。平面は円形、断面は漏斗状を呈する。規模は長径 1.39m・短径

1.35m・深さ 1.38m である。埋土は 9 層でレンズ状に堆積する。鉄滓が 2 点出土した。

SE9623（図版 12・14・64・65）

65I2・6～8・11～13・16～18 に位置する。平面は円形、断面は半円状を呈する。規模は長径 4.74m・短径 4.16m・深さ 1.87m である。埋土は 12 層でレンズ状に堆積する。ほかの井戸と比して規模が大きい。落盤（崩落）などを繰り返したためだと推定する。土師質土器小皿（19）、珠洲焼甕（21）、青磁椀（20）、曲物（113）、漆器椀（119）、板状木製品、石塔類（139 ～ 142）などが出土した。

SE9513（図版 15・16・66）

67J12・17 に位置する。平面は円形、断面は U 字状を呈する。規模は長径 0.73m・短径 0.66m・深さ 1.06m である。埋土は 5 層で斜位に堆積する。

SE9514（図版 15・16・67）

67J13 に位置する。平面は楕円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.83m・短径 0.64m・深さ 1.59m である。埋土は 8 層で水平に堆積する。土師質土器、、鍬（116）が出土した。

SE9688（図版 17・21・71）

63K14・15・19・20 に位置する。平面は楕円形、断面は U 字状を呈する。規模は長径 1.52m・短径 1.08m・深さ 1.54m である。埋土は 6 層でレンズ状に堆積する。

SE9717（図版 17・21・71）

64K16 に位置する。P9841・P9855 を切る。平面は楕円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 1.23m・短径 0.96m・深さ 1.46m である。埋土は 9 層で下部は斜位、上部はレンズ状に堆積する。越前焼の擂鉢（22）、土師質土器が出土した。

SE9899（図版 17・21・72）

63K10・15、64K6 に位置する。試掘坑に切られる。平面は円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 1.56m・短径 1.37m・深さ 0.82m である。埋土は 3 層で斜位に堆積する、土師質土器が出土した。

SE10268（図版 24・25・75）

67K6・11 に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 1.09m・短径 0.94m・深さ 1.50m である。埋土は 7 層でレンズ状に堆積する。木製品（板材）が出土した。

SE10269（図版 24・25・75・76）

66K15 に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.69m・短径 0.66m・深さ 0.88m である。埋土は 7 層でレンズ状に堆積する。珠洲焼甕（23）が出土した。

SE10270（図版 24・25・76）

67K9・10・14・15 に位置する。SD10226 に遺構の一部が切られる。平面は残存部で方形、断面は箱状を呈する。残存値は長径 0.95m・短径 0.90m・深さ 0.73m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。総漆塗の舌長鐙（115）が出土した。

SE10277（図版 24・26・76）

67K24 に位置する。SX10235 に遺構の一部を切られる。平面は残存部で円形、断面は台形状を呈する。残存値は長径 0.71m・短径 0.69m・深さ 1.22m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。土師質土器皿（24）が出土した。

SE10342（図版 24・26・76）

66L4・5 に位置する。平面は楕円形、断面は U 字状を呈する。規模は長径 1.14m・短径 0.88m・深

さ 1.56m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。珠洲焼が出土した。

SE10366（図版 24・26・77）

65L9 に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.84m・短径 0.81m・深さ 1.10m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。土師質土器が出土した。

SE10230（図版 28・29・30・79）

67L17・22 に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.98m・短径 0.96m・深さ 1.54m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。

SE10231（図版 28・30・79・80）

66L18 に位置する。平面は円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 0.78m・短径 0.68m・深さ 0.94m である。埋土は 4 層で水平・レンズ状に堆積する。

SE9906（図版 31・34・83）

69P18・23 に位置する。遺構の北側が調査区外へ広がる。平面は残存部で円形、断面は箱状を呈する。遺構の残存値は長径 0.78m・短径 0.60m・深さ 0.64 である。埋土は 5 層で斜位に堆積する。土坑とすべき遺構かもしれない。

SE9972（図版 31・34・83）

68O15・69O11 に位置する。平面は円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 1.05m・短径 1.02m・深さ 1.01m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。

SE10007（図版 32・35・84）

68N8・13 に位置する。平面は方形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.62m・短径 0.55m・深さ 0.44m である。埋土は褐灰色粘土の単層である。土坑とすべき遺構かもしれない。

SE10001（図版 32・35・84）

68N22・23 に位置する。平面は円形、断面は U 字状を呈する。規模は長径 0.90m・短径 0.85m・深さ 0.92m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。珠洲焼が出土した。

SE10003（図版 32・35・84）

68N16・17 に位置する。SX10002 に切られる。平面は残存部で円形、断面は U 字状を呈する。遺構の残存値は長径 0.81m・短径 0.74m・深さ 0.61m である。埋土は 6 層でレンズ状に堆積する。土師質土器（29）が出土した。

SE10014（図版 32・35・84）

68N8 に位置する。SD10022 に切られる。平面は残存部で円形、断面は U 字状を呈する。残存値は長径 0.68m・短径 0.64m・深さ 0.68m である。埋土は 3 層でレンズ状に堆積する。

SE10015（図版 32・35・85）

68N12・17 に位置する。平面は方形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.94m・短径 0.84m・深さ 0.68m である。埋土は 8 層でレンズ状に堆積する。下部で木片を多く検出した。土坑とすべき遺構かもしれない。

SE10036（図版 32・35・85）

68N14・15 に位置する。SK10018 に切られる。平面は残存部で円形、断面は箱状を呈する。残存値は長径 0.72m・短径 0.60m・深さ 0.92m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。

SE10037（図版 32・35・85）

68N1・2・6・7 に位置する。P10038 に切られる。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。規模は長径 0.91m・短径 0.83m・深さ 0.98m である。埋土は４層でブロック状に堆積する。

SE10181（図版 32・35・85・86）

68O2 に位置する。P10039・P10040 に切られる。平面は残存部で円形、断面はＵ字状を呈する。残存値は長径 0.90m・短径 0.87m・深さ 0.88m である。埋土は３層で、水平堆積である。

SE10227（図版 32・35・86）

68N10・15 に位置する。SK10018 に切られる。平面は残存部で円形、断面は台形状を呈する。残存値は長径 0.94m・短径 0.82m・深さ 0.92m である。埋土は４層で下部が水平、上位が斜位に堆積する。

SE10232（図版 32・36・86）

68N2・3・7・8 に位置する。P10275・P10276 を切り、SD10221・SX10029 に切られる。平面は残存部で円形、断面はＵ字状を呈する。残存値は長径 1.15m・短径 1.00m・深さ 1.68m である。埋土は８層でレンズ状に堆積する。青磁が出土した。

SE10239（図版 32・36・86・87）

66N14・15・19・20 に位置する。SX10030 に切られる。平面は残存部で円形、断面は箱状を呈する。残存値は長径 0.90m・短径 0.84m・深さ 0.78m である。埋土は６層でレンズ状に堆積する。土坑とすべき遺構かもしれない。

SE10053（図版 40・44・93）

67O に位置する。P10054 に切られる。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。残存値は長径 0.80m・短径 0.79m・深さ 1.13m である。埋土は２層で水平に堆積する。

SE10057（図版 40・44・93・94）

66O・14・15 に位置する。P10055 に切られる。平面は円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 1.08m・短径 0.99m・深さ 1.4m である。埋土は３層でレンズ状に堆積する。土師質土器、珠洲焼壺(41)、木片が出土した。

SE10069（図版 40・44・94）

67O1・6 に位置する。平面は方形、断面は台形状を呈する。規模は長径 1.05m・短径 0.92m・深さ 0.84m である。埋土は４層で、上部は斜位に、下部は水平に堆積する。

SE10132（図版 40・44・94）

66O22・23 に位置する。SD9942 に切られる。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.75m・短径 0.70m・深さ 1.54m である。埋土は３層で水平に堆積する。

SE10167（図版 40・44・94）

65O15・66O11 に位置する。SD10111 に切られる。平面は円形、断面は台形状を呈する。残存値は長径 1.05m・短径 0.93m・深さ 1.36m である。埋土は４層で斜位に堆積する。

SE10169（図版 40・44・95）

65O19・24 に位置する。平面は円形、断面はＵ字状を呈する。規模は長径 0.68m・短径 0.64m・深さ 1.30m である。埋土は３層で、斜位に堆積する。

SE10170（図版 40・44・95）

65O20・25 に位置する。平面は円形、断面はＶ字状を呈する。規模は長径 0.94m・短径 0.93m・深

さ 1.16m である。埋土は 3 層でレンズ状に堆積する。

SE10241（図版 40・44・95）

66O4・9 に位置する。P10255 に切られる。平面は方形、断面はＵ字状を呈する。規模は長径 0.74m・短径 0.74m・深さ 0.83m である。埋土は 6 層でレンズ状に堆積する。

SE10280（図版 40・45・95）

66O13・14 に位置する。P10281・P10416 に切られる。平面は残存部で円形、断面は階段状を呈する。規模は長径 1.26m・短径 1.12m・深さ 1.41m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。珠洲焼、土師質土器などが出土した。

SE10321（図版 40・45・96）

67O16・21 に位置する。SD9941 に切られる。平面は残存部で円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 1.24m・短径 1.14m・深さ 1.36m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。土師質土器皿（42）、珠洲焼（43・44）、柱痕（131）が出土した。

SE10339（図版 40・45・96）

67O22・67P2 に位置する。P10338 に切られる。平面は楕円形、断面はＵ字状を呈する。規模は長径 1.09m・短径 0.56m・深さ 1.21m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。

C　土　　坑

土坑は 33 基検出した。平面は円形が大部分を占め、次いで楕円形が多く、少数ながら長方形・方形も見られる。側壁は垂直から急斜度が多く、底面は平坦なものが多い。埋土はレンズ状堆積が大部分を占め、少数ながらブロック状と斜位の堆積が見られる。土坑の時期は出土遺物などから判断して、おおむね中世の所産である。

SK9655（図版 6・9・12・62）

64I5・10、65I1・6 に位置する。平面は楕円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 2.20m・短径 1.10m・深さ 0.43m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。青磁・珠洲焼が出土した。

SK9624（図版 6・10・63）

63H15・20・11～14、64H16～19・21～24 に位置する。SE9594・SD9526・P10449 に切られる。平面は楕円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 8.29m・短径 3.51m・深さ 0.89m である。埋土は 15 層でレンズ状に堆積する。土師質土器皿（3）・珠洲焼片口鉢（4）・珠洲焼壺Ｔ種（5）・曲物・鉄斧（144）などが出土した。

SK9630（図版 12・14・65）

64I10・15 に位置する。P9629 に切られる。平面は残存部で楕円形、断面は弧状を呈する。残存値は長径 1.18m・短径 0.63m・深さ 0.28m である。埋土は 6 層でレンズ状に堆積する。曲物などが出土した。

SK9755（図版 12・14・65）

65J19・20 に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.64m・短径 0.56m・深さ 0.86m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。

SK9816（図版 12・14・65・66）

64J18・23 に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.82m・短径 0.77m・深さ

0.61m である。埋土は 5 層でレンズ状に堆積する。

SK9817（図版 12・14・66）

63J25 に位置する。平面は楕円形、断面は台形状を呈する。規模は長径 0.76m・短径 0.61m・深さ 0.30m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SK9895（図版 12・14・66）

65J11 に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.70m・短径 0.68m・深さ 0.62m である。埋土は 3 層でレンズ状に堆積する。

SK9896（図版 12・14・66）

65J9・10・14・15 に位置する。平面は円形、断面は弧状を呈する。規模は長径 0.92m・短径 0.88m・深さ 0.13m である。埋土は褐灰色粘土の単層である。

SK9515（図版 15・16・67）

66J5 に位置する。SK9516 を切る。平面は円形、断面は U 字状を呈する。規模は長径 0.87m・短径 0.84m・深さ 0.45m である。埋土は 7 層でレンズ状に堆積する。礫が 3 点出土した。

SK9516（図版 15・16・67）

66J5 に位置する。SK9515 に切られる。平面は残存部で円形、断面は箱状を呈する。遺構の残存値は長径 0.82m・短径 0.21m・深さ 0.32m である。埋土は 5 層で水平・斜位に堆積する。礫が出土した。

SK9511（図版 15・16・24・67）

66J24・25、66K4・5、67K1 に位置する。開渠・SK9517 に切られる。平面は残存部で楕円形、断面は弧状を呈する。遺構の残存値は長径 2.93m・短径 1.74m・深さ 0.21m である。埋土は灰色粘土の単層である。土師質土器が出土した。

SK9685（図版 17・21・72）

63K8・9・13・14 に位置する。平面は方形、断面は箱状を呈する。規模は長径 1.06m・短径 0.93m・深さ 0.90m である。埋土は 7 層でレンズ状に堆積する。

SK9780（図版 17・21・72）

65K11 に位置する。平面は方形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.91m・短径 0.80m・深さ 0.81m である。埋土は 8 層でレンズ状に堆積する。

SK9709（図版 17・21・72）

64K20 に位置する。平面は楕円形、断面は弧状を呈する。規模は長径 0.83m・短径 0.63m・深さ 0.11m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SK9874（図版 17・21・73）

64K6 に位置する。P9885・P9886 を切り、P9852・P9861 に切られる。平面は楕円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.88m・短径 0.67m・深さ 0.30m である。埋土は黒褐色シルトの単層である。

SK9788（図版 22・23・73）

64L5 に位置する。P9715 に切られる。平面は楕円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.93m・短径 0.68m・深さ 0.20m である。埋土は 2 層で水平に堆積する。

SK10368（図版 22・23・73）

65L1 に位置する。平面は楕円形、断面は半円状を呈する。規模は長径 0.47m・短径 0.32m・深さ 0.32m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SK9517（図版 24・26・77）

66K5、67K1 に位置する。SK9511 を切る。平面は円形、断面は箱状を呈する。遺構の長径 0.48m・短径 0.45m・深さ 0.51m である。埋土は 7 層で下位が水平、上位がレンズ状である。土師質土器、越前焼擂鉢、板状木製品が出土した。

SK9650（図版 24・26・77）

65K13・14 に位置する。平面は方形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.59m・短径 0.51m・深さ 0.61m である。埋土は灰色粘土の単層である。

SK9756（図版 24・26・77）

65K19 に位置する。平面は方形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.85m・短径 0.79m・深さ 0.85m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。珠洲焼片口鉢（25）、礫が出土した。

SK9814（図版 24・27・78）

65K9・10 に位置する。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.58m・短径 0.42m・深さ 0.12m である。埋土は 4 層で水平に堆積する。珠洲焼片口鉢（26）が出土した。

SK10272（図版 24・27・78）

66K13・14 に位置する。平面は円形、断面は弧状を呈する。規模は長径 0.71m・短径 0.68m・深さ 0.10m である。埋土は褐灰色粘土の単層である。

SK10358（図版 24・27・78）

67K21、67L1 に位置する。SD10234 に切られ、P10359 を切る。平面は残存部で楕円形、断面は半円状を呈する。遺構の残存値は長径 0.78m・短径 0.60m・深さ 0.18m である。埋土は褐灰色粘土の単層である。

SK10229（図版 24・27・78）

66L15・20、67L11・12 に位置する。平面は楕円形、断面は弧状を呈する。規模は長径 3.50m・短径 0.72m・深さ 0.17m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SK10197（図版 28・30・80）

68M8 に位置する。開渠に切られる。平面は残存部で円形、断面は箱状を呈する。残存値は、長径 0.80m・短径 0.75m・深さ 0.50m である。埋土は 4 層でレンズ状に堆積する。珠洲焼が出土した。

SK10222（図版 28・29・30・80）

67M2・3 に位置する。平面は円形、断面は半円状を呈する。規模は長径 0.84m・短径 0.70m・深さ 0.26m である。埋土は 3 層でレンズ状堆積である。

SK10360（図版 28・30・80）

66L14・15 に位置する。平面は楕円形、断面は弧状を呈する。規模は長径 0.79m・短径 0.63m・深さ 0.22m である。埋土は黒褐色粘土の単層である。

SK10228（図版 28・30・80）

66L19・24 に位置する。平面は楕円形、断面は U 字状を呈する。規模は長径 0.72m・短径 0.58m・深さ 0.68m である。埋土は黒褐色粘土の単層である。

SK9975（図版 32・36・87）

68N13・18・19 に位置する。SK9980・SK9981 を切る。平面は長方形、断面は弧状を呈する。規模は長径 1.65m・短径 0.78m・深さ 0.10m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SK9976（図版 32・36・86）

68N19・20・24・25 に位置する。SK9981・P9997・P10012 を切る。平面は長方形、断面は箱状を呈する。規模は長径 2.37m・短径 1.15m・深さ 0.21m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。珠洲焼が出土した。

SK9980（図版 32・36・87）

68N13 に位置する。SK9975・9976 に切られる。平面は残存部で方形、断面は弧状を呈する。残存値は長径 1.31m・短径 1.20m・深さ 0.21m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SK9981（図版 32・36・87・88）

68N18・19・24 に位置する。SK9976 に切られる。平面は残存部で楕円形、断面は弧状を呈する。残存値は長径 0.85m・短径 0.81m・深さ 0.20m である。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SK10024（図版 31・32・36・88）

68N2・7 に位置する。P10032・P10035 を切る。平面は長方形、断面は箱状を呈する。規模は長径 2.24m・短径 0.86m・深さ 0.41m である。埋土は 5 層で斜位に堆積する。土師質土器などが出土した。

SK10224（図版 32・37・88）

67M19・20・24・25、67N4・5・9・10 に位置する。P10453・P10454 を切る。平面は楕円形、断面は弧状を呈する。規模は長径 2.90m・短径 1.58m・深さ 0.38m である。埋土は 10 層でレンズ状に堆積する。珠洲焼甕（30・31）が出土した。

SK10016（図版 32・38・89）

68N9・10・14・15 に位置する。遺構の南側が調査区外へ延伸する。平面は残存部で楕円形、断面は箱状を呈する。規模は、残存値で長径 2.62m・短径 1.15m・深さ 0.20m である。埋土は 4 層でレンズ状堆積である。

SK10018（図版 32・38・89）

68N9・10・14・15 に位置する。SE10227・SE10036・P10017 を切る。平面は楕円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 3.00m・短径 1.15m・深さ 0.26m である。埋土は 4 層でブロック状に堆積する。

SK9944（図版 40・45・96）

67O13・14 に位置する。SD9941 を切る。平面は円形、断面は箱状を呈する。規模は長径 0.89m・短径 0.80m・深さ 0.60m である。埋土は 3 層で斜位に堆積する。珠洲焼が出土した。

SK10115（図版 40・45・96・97）

65O4・9 に位置する。平面は円形、断面は V 字状を呈する。規模は長径 0.82m・短径 0.76m・深さ 0.65m である。埋土は 3 層で斜位に堆積する。

D 溝

溝は 40 条検出した。断面は弧状を呈するものが大部分を占め、少数ながら台形状や半円状もある。埋土は多くがレンズ状堆積と単層である。SD9622・SD9938 が区画溝、SD9941・SD9942・SD9943・SD9946 などが耕作溝、SD9501 が沢状の自然流路であったと推定する。溝の時期は出土遺物などから判断して、中世のものが主体を占めるが、SD9501 は中世以前である。また耕作溝には近世（以降）になるものも存在すると考えている。

SD9824（図版 4・5・58）

61F・G・H に位置する。平面はやや弧状を呈しながら東西方向に延伸する。規模は長さ 19.16m 以上・幅 0.66m・深さ 0.17m で、断面は半円状を呈する。埋土は 6 層でレンズ状に堆積する。

SD9501（図版 4・5・11・58）

61G ～ 63G、61H ～ 63H、62I・63I、62J ～ 64J に位置する。自然流路である。SD9520 を切る。規模は長さ 27.0m 以上・幅 2.82m・深さ 1.01m で、断面は半円状を呈する。

SD9526（図版 6・9・63）

64G、64H に位置する。SE9527・SE9606、SK9624 を切る。東西方向に延伸する。規模は長さ 9.05m 以上・幅 0.71m・深さ 0.12m で、断面は弧状を呈する。埋土は灰黄褐色粘土の単層である。

SD9622（図版 12・13・15・64）

64 ～ 67I、64 ～ 66J に位置する。南北方向に延伸し、南は調査区外へ、北は SD9519 に合流する。規模は長さ 33.91m 以上・幅 2.10m・深さ 0.74m で、断面は台形状を呈する。埋土は 7 層でレンズ状に堆積する。土師質土器皿（9・10）、珠洲焼壺（11）珠洲焼甕（12・13）・片口鉢（14・15）越前焼・甕か壺（16・18）、青磁椀（17）、鉄滓、礫、杭、漆器などが出土した。

SD9519（図版 6・11・12・13・64）

63I・64I に位置する。南北方向に延伸し、北は SD9501 に合流し、南は 64I8 付近で急激に立ち上がる。SD9622 が 63J16 付近で合流する。土師器小甕（6）・杯または小甕（7）が出土した。自然の沢状の落ち込みと考える。

SD9665（図版 17・22・23・73）

63K・63L に位置し、東西方向に延伸する。規模は長さ 9.50m 以上・幅 0.86m・深さ 0.18m で、断面は弧状を呈する。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。土師質土器、珠洲焼などが出土した。

SD10237（図版 24・27・79）

67L に位置し、南北方向に延伸する。規模は長さ 3.74m・幅 0.57m・深さ 0.15m で、断面は半円状を呈する。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SD10271（図版 24・27・79）

66K・67K に位置し、南北方向に延伸する。規模は長さ 3.31m・幅 0.74m・深さ 0.09m で、断面は弧状を呈する。埋土は灰白色粘土の単層である。

SD10273（図版 24・27・79）

66K に位置し、南北方向に延伸する。規模は長さ 2.79m・幅 0.55m・深さ 0.16m で、断面は台形状を呈する。埋土は 2 層でレンズ状に堆積する。

SD10274（図版 24・27・79）

66K に位置し、南北方向に延伸する。規模は長さ 1.78m・幅 0.35m・深さ 0.05m で、断面は弧状を呈する。埋土は灰白色粘土の単層である。

SD10234（図版 24・27）

66K・66L に位置し、南北方向に延伸する。SK10358、SX10235 などを切る。規模は長さ 6.43m・幅 0.35m・深さ 0.09m で、断面は弧状を呈する。埋土は褐灰色土の単層である。

SD10021（図版 29・30・81）

68L・M・N に位置し、東西方向に延伸する。SE10232・SD10191・SD10192・SD10193・SD10233、

SX10029 を切る。規模は長さ 13.48m 以上・幅 0.72m・深さ 0.07m で、断面は弧状を呈する。埋土は褐灰色粘土の単層である。

SD10184（図版 29・30・81）

67M・68M に位置し、東西方向に延伸する。SD10191・SD10192・SD10193・SD10233 を切る。規模は長さ 7.74m 以上・幅 0.59m・深さ 0.08m で、断面は弧状を呈する。埋土は灰白色粘土の単層である。

SD10185（図版 29・30・81）

67M・68M に位置し、東西方向に延伸する。SD10191・SD10192・SD10233 を切る。規模は長さ 6.25m・幅 0.54m・深さ 0.07m で、断面は弧状を呈する。埋土は灰白色粘土の単層である。

SD10191（図版 28・29・30・81）

67M・68M に位置し、南北方向に延伸する。SD10021・SD10183・SD10184・SD10185 に切られ、遺構の南側は調査区外へと延伸する。残存値は、長さ 11.43m・幅 0.66m・深さ 0.13m で、断面は弧状を呈する。埋土は褐灰色粘土の単層である。土師質土器、珠洲焼壺（27）が出土した。

SD10192（図版 28・29・30・81）

67M・68M に位置し、南北方向に延伸する。SD10021・SD10183・SD10184・SD10185 に切られ、遺構の南側は調査区外へと延伸する。残存値は長さ 11.85m 以上・幅 0.44m・深さ 0.21m で、断面は弧状を呈する。埋土は 2 層でレンズ状堆積である。土師質土器、珠洲焼壺（28）が出土した。

SD10193（図版 29・30・81）

67M・68M に位置し、南北方向に延伸する。SD10021・SD10183・SD10184 に切られ、遺構の南側は調査区外へと延伸する。規模は、残存値で長さ 8.34m 以上・幅 0.71m・深さ 0.29m で、断面は台形状を呈する。埋土は 3 層で水平状堆積である。

SD10226（図版 24・29・30・81）

67J・K・L、68L に位置し、東西方向に延伸する。開渠に切られ、SE10270 を切る。規模は、残存値で長さ 17.52m 以上・幅 0.49m・深さ 0.09m で、断面は弧状を呈する。埋土は灰白色粘土の単層である。

SD10233（図版 29・30・81）

67M・68L・68M に位置し、南北方向に延伸する。SD10021・SD10183・SD10184・SD10185 に切られ、遺構の南側は調査区外へと延伸する。規模は、残存値で長さ 11.32m 以上・幅 0.68m・深さ 0.12m で、断面は箱状を呈する。埋土は褐灰色粘土の単層である。

SD9938（図版 28・31・32・37・88）

67O・68O・67P・68P に位置し東西方向に延伸する。SD9941・SD9942・SD9943・SD9946・P9950・P9951 に切られる。溝の西側は調査区外に出るため全容は不明であるが、東側は 67N12 付近で二又に分かれ、それぞれ 67M17、67N1 付近で収束する。規模は、残存値で長さ 26.56m 以上・幅 2.43 ～ 2.70m・深さ 0.48 ～ 0.54m で、断面は弧状を呈する。埋土は 4 層で、レンズ状堆積である。断面からは、溝が埋没した後に再び掘削した様子がみてとれる。遺構の東端が SX10450 と重複しているが、埋土が近似するために新旧関係の判断はできていない。土師質土器皿（32 ～ 34）、珠洲焼片口鉢（36・37）・甕（35・38）、礫、木製品などが出土した。遺物は 1 層からの出土が多い。

SD9941（図版 31・37・40・45・88・97）

65・66P、66・67O に位置し、南北方向に延伸する。SE10132、SK9944・P9945 に切られ、ほか

の遺構をすべて切る。残存値は、長さ 21.55m・幅 1.54 ～ 2.24m・深さ 0.10m で、断面は弧状を呈する。埋土は褐灰色粘土の単層である。SD9942・SD9943・SD9946 に並行する。珠洲焼が出土した。

SD9942（図版 32・40・45・97）

66O・67O に位置し、南北方向に延伸する。重複する遺構をすべて切る。残存値は長さ 15.58m 以上・幅 0.57 ～ 0.64m・深さ 0.06 ～ 0.12m で断面は弧状を呈する。埋土は褐灰色粘土の単層である。SD9941・SD9943・SD9946 に並行する。

SD9943（図版 32・40・45・97）

67O に位置し、南北方向に延伸する。重複する遺構をすべて切る。規模は長さ 6.07m・幅 0.61m・深さ 0.09m で、断面は弧状を呈する。埋土は褐灰色シルトの単層である。SD9941・SD9942・SD9946 に並行する。土師質土器皿（46）が出土した。

SD9946（図版 40・45）

67N・67O に位置し南北方向に直線的に延伸する。SD9938・P10067 を切る。規模は長さ 4.65m・幅 0.46 ～ 0.60m・深さ 0.05m で、断面は弧状を呈す。埋土は褐灰色シルトの単層である。SD9941・SD9942・SD9943 に並行する。

SD10111（図版 40・45・97）

65・66O に位置し、南北方向に直線的に延伸する。P10429・SE10167 を切る。規模は長さ 2.82m・幅 0.61m・深さ 0.08m で、断面は弧状を呈する。埋土は褐灰色粘土の単層である。

SD10249（図版 40・45・97）

66O に位置し、南北方向に直線的に延伸する。P10107 に切られる。規模は長さ 0.79m・幅 0.28m・深さ 0.10m で、断面は半円状を呈する。埋土は明緑灰色粘土の単層である。

E　性格不明遺構

性格不明遺構は 11 基検出した。平面は長方形・楕円形・不整形が見られ、断面は多くが弧状を呈する。側壁は垂直から急斜度が、底面は平坦なものが、埋土はレンズ状堆積が多く、ブロック状の堆積も見られる。性格不明遺構の時期は出土遺物などから判断して、おおむね中世の所産である。

SX9503（図版 15・16・68）

66J20、67J16 に位置する。平面楕円形、断面は弧状を呈する。規模は長径 0.59m・短径 0.47m・深さ 0.11m である。埋土は黒褐色粘土の単層である。

SX10235（図版 24・27・79）

67K18・19・22 ～ 24 に位置する。SD10234 に切られ、SE10277 を切る。平面は残存部で長方形、断面は弧状を呈する。残存値は、長径 3.61m・短径 1.19m・深さ 0.10m である。埋土は褐灰色粘土の単層である。土師質土器が出土した。

SX10002（図版 32・38・89）

68N11・12・16・17・21・22 に位置する。SD10022 に切られ、SE10003 や P10195 などを切る。平面は長方形、断面は弧状を呈する。規模は長径 4.96m・短径 1.63m・深さ 0.12m である。埋土は褐灰色粘土の単層である。

SX10019（図版 32・38・89）

68N15、69N11 に位置する。遺構のほとんどが調査区外へと広がるため全容は不明である。平面は残存部で楕円形と推定され、断面は箱状を呈する。規模は、残存値で長径 1.04m・短径 0.37m・深さ 0.31m である。埋土は 4 層でレンズ状堆積である。

SX10029（図版 32・39・89）

68M18・19・22-24、68N2 ～ 4 に位置する。SD10021 に切られ、SE10232 を切る。遺構の南側が調査区外へと広がる。平面は残存部で長方形、断面は弧状を呈する。規模は、残存値で長径 4.20m・短径 1.33m・深さ 0.13m である。埋土は 6 層でブロック状堆積である。土師質土器皿（39）、珠洲焼が出土した。

SX10030（図版 32・39・89）

68N14・19 に位置する。SE10239、P10012 を切る。平面は不整形である。規模は長径 1.50m・短径 1.32m・深さ 0.25m である。埋土は 3 層でブロック状堆積である。

SX10031（図版 32・39・90）

68N20、69N16 に位置する。遺構の南側が調査区外に広がる。平面は残存部で楕円形、断面は半円状と推定する。規模は、残存値で長径 1.29m・短径 0.81m・深さ 0.48m である。埋土は 3 層でレンズ状堆積である。

SX10450（図版 46・47・97・98）

63L・63M、64L・64M・64N、65M・65N・65O、66M・66N・66O に位置する。自然の沢状地形である。調査区北西部の一角を占める沢状地形、北側が調査区外へと広がるため全容は不明である。規模は長さ 33.0m 以上、幅 13.5m 以上、深さ 0.63m 以上で、断面は弧状を呈すると推定される。埋土は 5 層に大別され、いくつかの層には枝番を付した。埋土の堆積状況はレンズ状である。埋土の様相が SD9501 と近似するが、調査区内では同一遺構と認められる確証を得られなかった。調査区外でそれぞれが繋がっている可能性が示唆される。64N10 付近や 63N5 付近などに入り江状の地形の変化が見られる。土師質土器皿（49 ～ 59）、珠洲焼片口鉢（61 ～ 70）・甕（71 ～ 73・76）・壺（74・75・77）・肥前系陶磁器（80・81・84）・越前焼（85）・青磁（78・79・82）などが出土した。

第Ⅴ章　遺　　物

1　概　　要

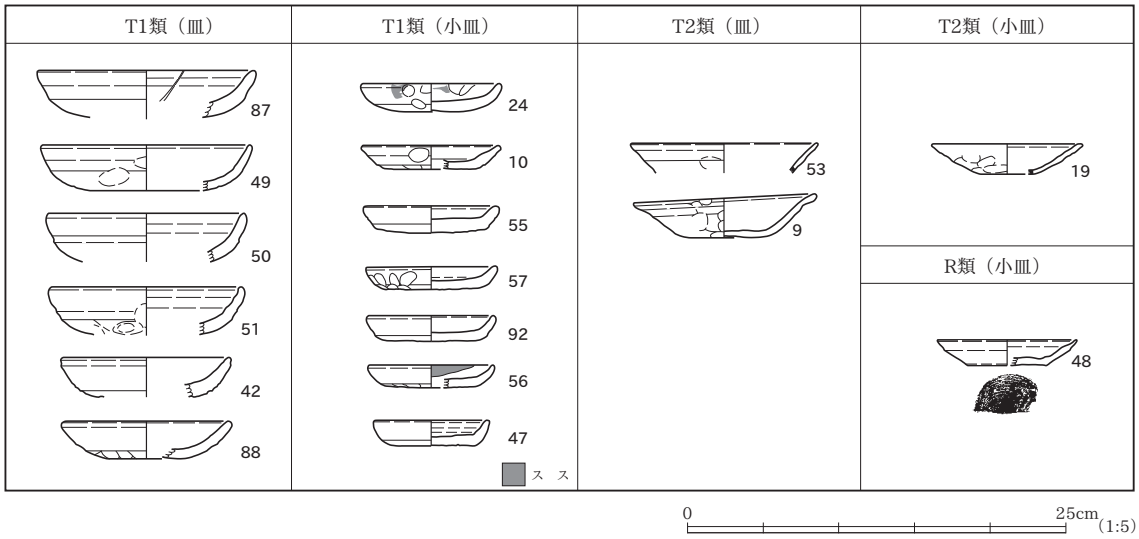
2016（平成 28）年度の調査では、浅箱（内法長 54cm ×幅 34cm ×深さ 10cm）換算で 58 箱の遺物が出土した。内訳は土器・陶磁器 18 箱、木製品 18 箱、石製品 18 箱、金属製品 3 箱である。遺物は、土師質土器、珠洲焼、越前焼、瀬戸・美濃焼、肥前系陶器、青磁、白磁、青白磁、木製品、石製品、金属製品、銭貨などが出土した。木製品では漆器椀、曲物のほか、馬具の舌長鐙が井戸（SE10270）から出土した。石製品の多くは砥石と石塔類である。時代は異なるものの石鏃 1 点が区画溝(SD9622)から出土した。石塔類（五輪塔･宝篋印塔）は井戸（SE9623）から出土した。金属製品では、鉄斧、包丁、鑿などが見られる。これらの遺物は多くが中世の所産である。

記述は土器・陶磁器→木製品→石製品→金属製品の順で、土器・陶磁器については、遺構出土から遺物包含層出土の順、木製品、石製品、金属製品に関しては報告遺物が少量のため種別ごとにまとめて記述した。

2　遺　物　各　説

A　土器・陶磁器

土師質土器、珠洲焼、越前焼、瀬戸･美濃焼、肥前系陶器、輸入陶磁器があり、器形により大別した。分類･年代観については、輸入陶磁器は［上田 1982］･［森田 1982］･［山本 2000］、珠洲焼は［吉岡 1994］、瀬戸焼・美濃焼は［藤澤 2008］、肥前系陶器は［大橋 1989］の論考を用いた。土師質土器については、品田氏・水澤氏などの論考［品田 1991・1999］･［水澤 2005］に従い、成形技法・形態などにより、手づくね成形を T 類とし、形態により T1 類と T2 類に細分し、ロクロ成形で底部糸切りを R 類とした。また、口径 10cm を境にして以上を皿、未満を小皿に細分した（第 9 図）。



第 9 図　土師質土器の分類

SB9867-P9626（図版 48・99-1・2）

1 は土師質土器皿 T1 類である。2 は珠洲焼壺 T 種の底部である。静止糸切り痕が底面に残り、内面は滑らかである。

SK9624（図版 48・99－3 ～ 5）

3 は土師質土器皿 T1 類で、胎土中の石英や角閃石の含有量が他の土師質土器よりも多い。内外面に炭化物が付着する。4・5 は珠洲焼である。4 は片口鉢の体部で、9 目 1 単位の卸目が 1 条残る。内面下部は使用により器面が凹凸になる。5 は壺の体下部で、外面にタタキ、内面に当て具痕と輪粘土紐の痕が残る。

SD9519（図版 48・99－6・7）

6 は土師器の底部片で、全体が摩耗している。7 は非ロクロ成形の土師器の小甕または鉢である。器形は、全体的に歪みが大きい。内外面に無数の指頭圧痕が残る。時期は 8 ～ 9 世紀前半であろう。

SD9520（図版 48・99－8）

8 は珠洲焼の片口鉢である。器形は、体部から僅かに内傾しながら立ち上がる。口縁部上端に平坦な面を持ち、端部は斜めに挽き出される。平坦面には櫛目波状文が施されている。Ⅴ期の所産である。

SD9622（図版 48・99－9 ～ 18）

9・10 は土師質土器である。9 は T2 類の皿で、底部から口縁部にかけて直線的に伸び、端部がやや外傾する。指頭圧痕が体部下半に残る。15 世紀の所産である。10 は T1 類の小皿で、13 世紀後半から 14 世紀前半の所産である。11 ～ 15 は珠洲焼である。12・13 は甕の口縁部、11 は壺 T 種の体部である。14・15 は片口鉢で、口縁端部が外側を向く面を持つ。14 は 11 目以上 1 単位の卸目が内面に 1 条、15 は 11 目 1 単位の卸目が内面に 2 条残る。どちらもⅡ～Ⅲ期の所産である。16・18 は越前焼の甕または壺である。16 は体部片である。18 の器形は底部から直線的に立ち上がる。外面に付着物、内部に降灰釉が掛かる。22 は青磁の底部で、高台は破損し残存しない。山本分類の龍泉窯系椀Ⅳ類にあたり、14 世紀初頭から後半の所産と推定する。

SE9623（図版 48・99－19 ～ 21）

19 は土師質土器小皿の T2 類である。器形は底部から直線的に立ち上がり、口縁端部は上方へわずかに挽き出される。指頭圧痕が体部下半に残るが、全体的に丁寧な作りである。20 は青磁椀の底部で、畳付けから内側は露胎している。山本編年の龍泉窯系椀Ⅱ類にあたり、13 世紀中頃から 14 世紀初の所産である。21 は珠洲焼甕の体部片を素材とする転用研削具である。外面のタタキが磨滅するほど使用されている。

SE9717（図版 48・99－22）

22 は越前焼の擂鉢である。器形は底部から直線的に立ち上がる。口縁部上面に平坦な面を持ち、端部は斜めに挽き出される。内面口縁下には沈線が巡る。9 目 1 単位の卸目が 7 条内面に残存するが、底部に近いところは摩耗が著しく、卸目が消えている。炭化物が内面に付着する。15 世紀に比定される。

SE10269（図版 48・99－23）

23 は珠洲焼の甕の底部である。器形は底部から外反して立ち上がる。底部外面は砂底である。割れ口の一部に炭化物が付着する。

SE10277（図版 49・99－24）

24 は土師質土器小皿 T1 類で、口縁部に炭化物が付着する。灯明皿としての使用が推定される。

SK9756（図版 48・99－25）

25 は珠洲焼の片口鉢口縁部である。口縁部上端に平坦な面を持ち、端部は外側へ少し挽き出す。

SK9814（図版 49・99－26）

26 は珠洲焼壺Ｔ種の底部である。器形は底部から直線的に立ち上がる。静止糸切り痕が底部外面に、底部外縁には指頭圧痕が残る。Ⅲ期の所産である。

SD10191（図版 48・99－27）

27 は珠洲焼壺Ｔ種の体部である。調整痕はやや崩れた綾杉状のタタキが外面に施される。

SD10192（図版 49・99－28）

28 は珠洲焼片口鉢の底部である。静止糸切り痕が底面に、卸目の痕跡が内面に残る。しかし、内面は著しく摩耗し、卸目の単位など判別することは難しい。

SE10003（図版 49・99－29）

29 は土師質土器皿 T1 類で、口縁部外面に炭化物が付着する。13 世紀後半から 14 世紀前半の所産である。

SK10224（図版 49・100－30・31）

30・31 は珠洲焼甕である。30 は口縁部断面が丸みを持ち、やや水平方向に挽き出される。Ⅳの所産である。31 は珠洲焼甕の体部片を素材とする転用研削具である。外面のタタキが、使用されたことにより摩耗している。また、内面には細かい線状の擦痕が多数残る。

SD9938（図版 49・100－32 ～ 38）

32 ～ 34 は土師質土器皿 T1 類で、いずれも 13 世紀後半から 14 世紀前半の所産である。38 は全体的に摩耗しており、口縁部内面には炭化物が付着する。33 は器壁がやや厚みを持つ。34 は口縁部内面には炭化物が付着する。35 ～ 38 は珠洲焼である。36・37 は片口鉢である。36 は 10 目 1 単位の卸目が内面に 3 条残る。37 は口縁部の上端中央がやや窪む面を持ち、端部は外側へ水平に挽き出される。3 目以上 1 単位の卸目が内面に 1 条残る。内外面に炭化物が付着する。Ⅲ期の所産である。35・38 は甕で、38 は体部、35 は口縁部付近の破片である。

SK10029（図版 49・99－39）

39 は土師質土器皿 T1 類で、胎土中の石英や角閃石の含有量が他よりも多い。体部外面には炭化物が付着する。13 世紀後半から 14 世紀前半の所産である。

P9911（図版 49・99－40）

40 は青磁の口縁部片である。口縁端部はやや外反し、外面に鎬蓮華文が残る。山本分類の龍泉窯系椀Ⅱb 類にあたり、13 世紀の所産と推定する。

SE10057（図版 48・100－41）

41 は珠洲焼壺Ｔ種の底部である。器形は底部から外反して立ち上がる。静止糸切り痕が底部外面に、指頭圧痕が底部外縁に残る。底部内面に降灰が確認できる。体部には炭化物が付着する。

SE10321（図版 48・100－42 ～ 44）

42 は土師質土器皿の T1 類で、胎土中の白色粒子などが他よりも多い。13 世紀後半から 14 世紀前半の所産である。43 は珠洲焼片口鉢である。口縁部上端に平坦な面を持ち、端部は外側へ水平に挽き出される。10 目 1 単位の卸目が内面に 2 条残る。Ⅱ～Ⅲ期の所産である。44 は瓷器系陶器壺または甕の底部である。

P9956・SD9622（図版 50・100－45）

45 は珠洲焼の片口鉢である。器形は、底部から直線的に立ち上がる。静止糸切り痕が底面に、削り技法による成形痕と指頭圧痕が底部外縁に残る。8 ないし 9 目 1 単位の卸目が内面に隙間なく施される。Ⅳ期の所産である。

SD9943（図版 50・100－46）

46 は土師質土器皿 T1 類で、器面の摩耗が著しい。13 世紀後半から 14 世紀前半の所産である。

P10107（図版 49・100－47）

47 は土師質土器小皿 T1 類で、口縁部外面にはススが付着する。13 世紀後半から 14 世紀前半の所産である。

P10421（図版 49・100－48）

48 は土師質土器小皿 R 類である。回転糸切り痕が底面に残り、内外面には炭化物が付着する。15 世紀の所産である。

SX10450（図版 50・51・100・101－49 ～ 85）

49 ～ 58 は土師質土器である。53 のみ T2 類の皿で、それ以外は T1 類の皿（49 ～ 52・54・58）と小皿（55 ～ 57）である。前者は 15 世紀に、後者は 13 世紀後半から 14 世紀前半に比定される。50 の体部、51 の内外面には炭化物が付着する。52 は内外面に炭化物が付着する。60 は古代の土師器甕口縁部片である。

61 ～ 77 は珠洲焼である。61 ～ 68 は片口鉢の口縁部である。61 は、体部から内湾気味に立ち上がり、口縁部上端は外側を向く面を持つ。端部は上方に強く挽き出され、断面は三角形を呈する。片口部の痕跡をわずかに残す。62 は体部が内湾しながら立ち上がる。口縁部上端に内傾する面を持ち、端部は挽き出される。10 目 1 単位の卸目が内面に 1 条、指頭圧痕が口縁部に残る。63 は、体部から直線的に立ち上がり、口縁部上端は外側を向く面を持つ。端部は上方に強く挽き出され、断面は三角形を呈する。5 目以上 1 単位の卸目が内面に 2 条残る。64 は体部が直線的に立ち上がる。口縁部上端に内傾する面を持ち、端部は挽き出され、櫛目波状文が施される。10 目 1 単位の卸目が 3 条残る。62・64 はⅤ期の所産である。65 は、体部から直線的に立ち上がり、口縁部上端に外側を向く面を持つ。66 は、体部から直線的に立ち上がり、口縁部上端に外側を向く面を持つ。端部は斜め下に挽き出される。4 目以上 1 単位の卸目が内面に 2 条残る。61・63・65・16 はⅡ・Ⅲ期の所産である。67 は、体部から内湾気味に立ち上がる。口縁部上端にやや窪む面を持ち、口縁部上面には櫛目波状文が施されている。8 目以上 1 単位の卸目が内面に 1 条残る。Ⅴ期の所産である。69･70 は片口鉢の底部である。69 は単位不明の卸目が内面に複数条施され、複数の指頭圧痕が底部外縁に残る。内面は卸目が消えそうなほど摩耗が著しい。また、底部外面の一部も摩耗する。70 は 10 目 1 単位の卸目が内面に 3 条残る。静止糸切り痕が底部外面に、指頭圧痕が底部外縁に残る。71 ～ 73・76 は珠洲焼甕で、71 ～ 73 は口縁部、76 は体部である。74・75 は壺 T 種で 74 は口縁部、75 は体部である。77 は壺 R 種の体部である。

78・79 は青磁である。78 は口縁部で、79 は底部である。79 は畳付けまで施釉され、高台の内側は釉を抉り取った痕跡が見られる。山本編年の竜泉窯系Ⅲ類にあたり、13 世紀後半ころの所産と推定する。80・81・84 は唐津焼の皿である。81 はにぶい橙色の地に灰釉が掛かるが、体部下半から高台内には掛からない。削り出し高台で、内面に胎土目が 4 か所残る。Ⅰ期（16 世紀末ころ）の所産である。

83 は瀬戸美濃焼の天目茶椀である。器形は、やや内湾気味に立ち上がり、口縁部で上方に屈曲する。

端部はやや外反気味に挽き出される。鉄釉が体部中位まで掛かる。古瀬戸の後期様式Ⅱ期にあたり、14世紀後半から15世紀前半の所産である。85は越前焼擂鉢の体部片である。内面には卸目が2条残る。

SX10450・SD10437（図版51・101－86）

86は土師質土器皿のT1類で、13世紀後半から14世紀前半の所産である。

遺構外

87～94まで土師質土器で、すべてT1類の皿（87～91・93）と小皿（92・94）である。90は器形が全体的に歪む。ススが内外面に付着する。

95・96・98～101は珠洲焼の片口鉢である。95は体部が直線的に立ち上がり、口縁部上端に面を持つ。端部はあまり挽き出されない。器面はロクロナデによる凹凸が顕著である。14目1単位の卸目が内面に1条残る。Ⅳ期の所産である。96は、体部が内湾気味に立ち上がり、口縁部上端に面を持つ。端部は上方に強く挽き出され、断面が三角形を呈する。片口部は外側へわずかに挽き出される。10目1単位の卸目が内面に1条残る。Ⅵ期の所産である。97は壺T種の底部である。静止糸切り痕が底面に、削り技法による成形痕が底部外縁に残る。内外面の磨耗が著しい。98は、体部が内湾し立ち上がる。口縁上端は外側を向く面を持つ。外面のロクロナデによる凹凸が擦れて磨耗している。100は全体的に摩耗が著しい。5目1単位の卸目が内面に3条ほどに残る。100は12目1単位の卸目が内面に1条残る。101は静止糸切り痕が底部外面に、指頭圧痕が底部外面に残る。8目以上1単位の卸目が内面に3条残る。

102は唐津焼甕の口縁部である。103は唐津焼の皿で、灰釉がにぶい橙色の地に掛かる。ヘラケズリ痕から高台内に釉は掛からない。高台は削り出しで、高台内部の底面に墨書で「＋」が書かれている。内面には砂目の痕跡が3か所残る。Ⅱ期（17世紀前半）の所産である。104は青磁椀である。内面底部と体部の境に沈線が巡る。高台は内端接地である。上田編年では15世紀代の所産と考える。105は瀬戸・美濃焼の天目茶碗である。口縁部は、やや内湾気味に立ち上がり、口縁部で上方に屈曲する。端部はやや外反気味に挽き出される。鉄釉が体部に掛かる。古瀬戸の後期様式Ⅱ期にあたり、14世紀後半から15世紀前半の所産と考える。106は瀬戸・美濃焼の袴腰形香炉である。回転糸切り痕が底面に残り、体部と底部の境に三足が付く。鉄釉が口縁部内面から体部に掛かる。墨痕が底部に付着する。古瀬戸の後期様式Ⅳ期新にあたり、15世紀後半の所産である。107は瀬戸・美濃焼折縁皿の口縁部で、2条の沈線が上面を巡る。108は唐津焼の溝縁皿で、釉は高台まで掛かるが、高台の内側は掛からない。高台は削り出しで、砂目の痕跡が残る。内面にも2か所残る。Ⅱ－1期（17世紀前半）の所産である。109は白磁皿である。山本氏の編年で白磁皿Ⅸ類1b、13世紀後半から14世紀前半の所産である。110は青磁壺の底部である。111は青白磁梅瓶で13世紀の所産と見られる。112は越中瀬戸焼壺または匣鉢の底部で、回転糸切り痕が底面に、底部内面にはロクロナデ痕が残る。

B　木　製　品

木製品は、主に曲物、鐙、漆器、柱根などが出土している。このうち器種が分かるもの、用途不明のもののうち加工痕が特徴的なものを抽出し、19点掲載した。

曲物（図版52・102－113・114）

113は底板と側板が残存する曲物である。SE9623から出土した。底板は柾目材を素材とする。木釘や木釘穴は見られず、樺皮綴じが3か所ある。側板は半面が潰れている。114は板目材を素材とする曲物の底板である。SE10036から出土した。樺皮綴じ紐が1か所残存している。加工痕は明瞭ではない。

鐙（図版 52・102－115）

115 は板目材を素材とする馬具の鐙である。SE10270 から出土した。舌部が伸びる形状から、舌長鐙であると考えられる。内外面に黒色漆が塗布され、内面には赤色漆も点々と残るが、文様などは見られない。鳩胸の上部から吊り手にかけては欠損するが、鳩胸の張り出しはあまり強くはない。また、鳩胸の欠損部分の断面は整っており、切断されている可能性がある。鳩胸の両側には笑があるが、舌裏に至るまでの間で稜線が消滅する。柳葉についても欠損している。大きさは長さ 28.2cm、幅 13.3cm、高さ 7.6cm である。樹種はケヤキである。

鍬（図版 52・102－116）

116 は板目材を素材とする直柄平鍬であると考えられる。SE9514 から出土した。正面と背面には、長軸に並行した加工痕が見られるが、磨滅しているためはっきりとはしない。樹種はブナ属である。大きさは長さ 18.2cm、幅 10.7cm、厚さ 1.1cm である。

刀子形木製品（図版 52・102－117）

117 は柾目材を素材とする刀子形の木製品である。SX10450 から出土した。全体的に炭化しており、加工痕ははっきりとしない。大きさは、長さ 17.1cm、幅 1.7cm、厚さ 0.7cm である。樹種はスギである。

杭（図版 52・102－118）

118 は心去材を素材とする杭である。杭 9683 から出土した。棒状の原材について上端は平坦に、下端は鋭角的に加工している。断面形は四角形を呈する。樹種はスギである。

挽物（図版 52・102－119 ～ 125）

119 は柾目材を素材とする漆器椀である。SE9623 から出土した。口縁部は欠損する。外面には黒色漆が塗布され、赤色漆による草花文が 2 か所に描かれる。内面には赤色漆が塗布されている。樹種はブナ属である。120 は柾目材を素材とする漆器椀である。SD9622 から出土した。高台や体部の半分以上が欠損する。内外面に赤色漆、底面には黒色漆が塗布されている。樹種はブナ属である。121 は横木取りの漆器椀である。SE10366 から出土した。高台や体部の約半分が欠損する。内外面に黒色漆が塗布されている。樹種はケヤキである。122 は横木取りの挽物の皿である。SE10366 から出土した。半分以上が欠損しているが、残存部分では轆轤目が確認できる。樹種はブナ属である。123 は柾目材を素材とする挽物の皿である。SE10366 から出土した。ほぼ完形であり、内外面に轆轤目が確認できる。樹種はブナ属である。124 は柾目材を素材とする漆器皿である。SX10450 から出土した。内外面に黒色漆が塗布されている。底部は漆がはげており、約半分が欠損する。樹種はブナ属である。124 は漆器椀である。SE9606 から出土した。口縁部と高台は欠損している。外面には黒色漆が塗布され、その上から赤色漆で文様を描いていると考えられるが、欠損のため意匠は定かではない。内面には赤色漆が塗布されている。樹種はブナ属である。

器種不明（図版 52－126）

横木取りの木製品である。SX10450 から出土した。弧状に加工されている。用途は不明であるが、何らかの部材である可能性もある。樹種はスギである。新発田市住吉遺跡［高橋ほか 2006］の図版 84－851 などに類例がある。手代木の可能性がある。

柱根（図版 53－127 ～ 131）

127 は丸木取りの心持材を用いる柱根である。SD9707 から出土した。側面には長軸に並行した加工痕が見られるが、全体的に風化が著しい。底面は平坦に仕上げられている。断面は楕円形を呈する。樹種

はクマシデ属イヌシデ節である。128 は丸木取りの心持材を用いる柱根である。P9601 から出土した。側面には長軸に並行した加工痕が見られるが、風化が著しい。底面は多方向から加工されており、中心が張り出す形状である。断面は円形を呈する。樹種はサクラ属である。129 は丸木取りの心持材を用いる柱根である。側面には、半面の下端に鉈や斧を使用したと考えられる鋭角的な加工が残る。底面は平坦に仕上げられている。断面は円形を呈する。樹種はクリである。130 は丸木取りの心持材を用いる柱根である。側面には長軸に並行した加工痕が見られるが、風化が著しい。底面は多方向から加工されており、中心が張り出す形状である。断面は円形を呈する。樹種はケヤキである。131 は丸木取りの心持材を用いる柱根である。側面には、下端の一部に鉈や斧を使用したと考えられる鋭角的な加工が残る。底面は多方向から加工されており、平坦に仕上げられている。断面は円形を呈する。樹種はクリである。

C　石　製　品

石製品は主に砥石や五輪塔などが出土している。そのうち器種が分かるもの、用途不明のもののうち加工痕が特徴的なものを抽出し、11 点掲載した。

砥石（図版 53－132 ～ 137）

132 は緑灰色を呈した砂岩製の砥石である。SX10450 から出土した。全体的にもろく、触ると表面の砂が崩れそうな印象を受ける。断面は正方形で、上下両端を欠損している。正面・背面・側面のすべてに砥面がある。133 は灰色を呈した安山岩製の砥石である。SD9622 から出土した。断面は長方形を呈するが、側面や裏面を欠損しているため、正確な形状は不明である。正面に砥面がある。134 は灰色を呈した安山岩製の砥石である。Ⅱ層 64J18 から出土した。断面は蒲鉾形を呈するが、側面や背面を欠損しているため、正確な形状は不明である。正面に砥面がある。135 は灰色を呈した安山岩製の砥石である。断面は隅丸長方形を呈する。SD9622 から出土した。正面と背面に砥面があると考えられるが、磨滅が著しくはっきりしない。端部は欠損している。136 は灰色を呈した安山岩製の砥石である。SE10241 から出土した。断面は長方形を呈するが、側面は全体的に欠損する。正面に砥面がある。137 は灰色を呈した安山岩製の砥石である。Ⅱ層 62K10 から出土した。断面は台形を呈する。下端は欠損する。正面・背面・側面のすべてに砥面がある。

石鏃（図版 53－138）

138 は頁岩製の凸基有茎の石鏃である。SD9622 から出土した。基部は破損している。SD9622 からは珠洲焼や陶磁器がある程度まとまって出土していることから、石鏃は同遺構の時期とは異なる遺物である。

五輪塔（図版 54・103－139 ～ 141）

139 は黄褐色を呈した凝灰岩製の五輪塔の火輪である。SE9623 から出土した。空隙が多く、含有物は少ない。黄色を呈するため、140 や 141 と共に、在地石材の中山石［大野・徳間 1990］を用いたものである可能性がある。ホゾ穴はなく、種字も確認できない。大きさは上面幅 11.5cm、軒上幅 37.7cm、軒下幅 29.2cm、火輪高 24.8cm、軒中厚 4.7cm、軒端厚 4.5cm、返り高 1.4cm である。軒口には平鑿様工具による痕跡が残る。140 は黄褐色を呈した凝灰岩製の五輪塔の火輪である。SE9623 から出土した。石の質が 139 よりも細粒であり、空隙も少ない。砂岩質との印象を受けるが、やや硬質である。黄色を呈するため、139 や 141 とともに在地石材の中山石を用いたものである可能性がある。ホゾ穴は無く、正面に種字が確認できるが判別はできない。大きさは上面幅 10.4cm、軒上幅 26.7cm、

軒下幅 23.5cm、火輪高 20.0cm、軒中厚 4.6cm、軒端厚 5.7cm、返り高 2.7cm である。大きさや石の質が 141 の地輪と同程度であるため、同じ五輪塔の部材であった可能性が高い。軒口には平鑿様工具を鋭角に当てて削った痕跡が残る。141 は黄褐色を呈した凝灰岩製の五輪塔の地輪である。SE9623 から出土した。石の質は 140 と類似しており、砂岩質でやや硬質である。黄色を呈するため、139 や 140 とともに在地石材の中山石を用いたものである可能性がある。正面には「アー」と考えられる種字が確認できるが、全体的に風化や欠損がある。底面には平鑿様工具による痕跡が多く残り、窪んでいる。当初この窪みは水輪を置くために加工されたものと想定したが、種字の天地と矛盾が生じている。しかし、五輪塔の水輪は完全な球ではなく、火輪と地輪に接する面は平らにカットされることもあるため、種字を優先して天地を決定した。大きさは地輪高 20.2cm、上幅 22.0cm、下幅 22.4cm である。大きさや石の質が 140 の火輪と同程度であるため、同じ五輪塔の部材であった可能性が高い。

宝篋印塔（図版 54・103－142）

142 は灰色を呈した礫岩製の宝篋印塔の基礎である。SE9623 から出土した。風化により表面が崩れやすくなっている。階段部分は存在せず、種字や格狭間は確認できない。大きさは高さ 34.1cm、上幅 33.3cm、下幅 29.9cm である。

器種不明（図版 54・103－143）

143 は黄褐色を呈した砂岩製の石製品である。Ⅱ層 64L17 から出土した。全体的にもろく崩れやすい。中山石と色は類似するが、それよりも軟質である。判別はできないが、正面は種字の可能性がある。断面は長方形を呈するが、背面や側面は欠損している。

D 金 属 製 品

鉄製品は、鉄斧、刀子、鑿、鉄滓、銭貨が出土し、11 点図示した。

鉄斧（図版 54・103－144・145）

144 は袋状鉄斧である。SE9623 から出土した。柄に装着する部分が袋状になっており、袋部の断面は四角形を呈する。また肩部は有さず、刃部が扇状に広がる。大きさは、長さ 9.6cm、幅 4.9cm、厚さ 2.8cm である。145 は鉄斧である。SE9619 から出土した。鉄板を両側から折り返し、重ねている。刃部が折れているが、接合すると考えられる。大きさは刃部の長さ 4.9cm、茎部の長さ 9.6cm、幅 1.8cm、厚さ 0.5cm である。

刀子（図版 54・103－146・147）

146 は丸棟平造りの刀子である。SE9623 から出土した。腐食しており、茎に目釘穴は認められない。大きさは長さ 21.9cm、幅 3.2cm、厚さ 0.4cm である。147 は刀子の先端である。SD9526 から出土した。大きさは長さ 6.1cm、幅 1.8cm、厚さ 0.5cm である。

鑿（図版 54・103－148）

148 は鑿である。Ⅱ層 64K21 から出土した。上端が刃部であり、下端が柄との接合部（茎部）である。刃部については片刃である。胴部の断面は円形を呈し、鉄を折り返すような加工はしていない。茎部の断面は四角形を呈する。大きさは長さ 13.0cm、幅 1.6cm、厚さ 0.5cm である。

鉄滓（図版 54・103－149・150）

149 は鉄滓である。SD9622 から出土した。断面は円形を呈する。大きさは径 7.5 ～ 9.8cm である。150 は鉄滓である。SX10450 から出土した。断面は円形を呈する。大きさは径 4.4 ～ 8.0cm である。

銭貨（図版 54・103－151 ～ 154）

151 は元祐通寶（1086 年初鋳）である。152 は祥符元寶（1009 年初鋳）である。153 は寛永通寶（1636 年初鋳）である。背文字や輪への刻印は見られない。「寛」字の 12 画と 13 画の頭が相接し、「寶」字の貝画末尾が「ス」（ス貝寶）になっているため、古寛永であると考えられる［永井 1996］。154 は元祐通宝（1086 年初鋳）である。

第Ⅵ章　自然科学分析

1　プラント・オパール

A　は　じ　め　に

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸（SiO_2）が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている［杉山 2000・2009］。また、イネの植物珪酸体の密度の消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である［藤原・杉山 1984］。以下では、丘江遺跡において植物珪酸体分析を実施し、イネ科植物相について検討した。なお、同一試料を用いて花粉分析も行われている。

B　試料と分析法

調査区は北側の標高が低く、沢状地形を呈している。この沢状地形の東区では水田跡や流路が見つかっており、西区では幅約 15m の沢状の落ち込みが南北方向に伸びている。分析試料は、沢状の凹地において東壁から採取された 8 点（No.1 ～ No.8）と、西区沢から採取された 6 点（No.1 ～ No.6）の、計 14 点である。試料一覧表を第 2 表に、試料採取箇所を第 10 図の柱状図に示す。これらの試料について、ガラスビーズ法［藤原 1976］を用いて次の手順で植物珪酸体の抽出と定量を行った。

採取地点	資料 No.	層序	土層	年代
62G15（図版5D-D'）	1	①層	灰褐色粘土（10YR4/1）	15 ～ 17 世紀？
	2	②層上	灰褐色粘土（10YR4/1）	
	3	②層下	灰褐色粘土（10YR4/1）	
	4	③層	黒褐色粘土（10YR3/1）	
	5	④層	黒褐色粘土（10YR3/1）	14 世紀？
	6	⑤層	灰色シルト（5Y4/1）	
	7	⑥層	褐灰色粘土（10YR4/1）	中世以前
	8	⑦層	灰色シルト（5Y4/1）	
SX10450 66N13（図版47A-A'）	1	1b 層	明褐灰色粘土（7.5YR7/2）	15 ～ 17 世紀？
	2	2 層	灰白色シルト（7.5YR8/1）	
	3	3b 層上	灰褐色粘土（10YR5/1） 灰白色粘土多量	13 ～ 14 世紀
	4	3b 層下		
	5	4 層	黒褐色粘土（10YR3/1）	13 世紀以前
	6	10 層	黒褐色粘土（2.5YR3/1）	

第 2 表　分析試料一覧表

1）試料を 105℃で 24 時間乾燥（絶乾）
2）試料約 1g に対し、直径約 40 μm のガラスビーズを約 0.02g 添加（0.1mg の精度で秤量）
3）電気炉灰化法（550℃・6 時間）による脱有機物処理
4）超音波水中照射（300W・42KHz・10 分間）による分散
5）沈底法による 20 μm 以下の微粒子除去
6）封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
7）検鏡・計数

同定は、400 倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が 400 以上になるまで行った。これは、ほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。試料 1g あたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料 1g 中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0 と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸

体１個あたりの植物体乾重）をかけて、単位面積で層厚 1cm あたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などが具体的にとらえられる［杉山 2000］。なお、タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

C　分　析　結　果

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を第３表および第 10 図に示した。主要な分類群について、顕微鏡写真を図版１に示す。

〔イネ科〕

イネ、ヨシ属、シバ属型、キビ族型、ススキ属型（おもにススキ属）、ウシクサ族Ａ（チガヤ属など）

〔イネ科－タケ亜科〕

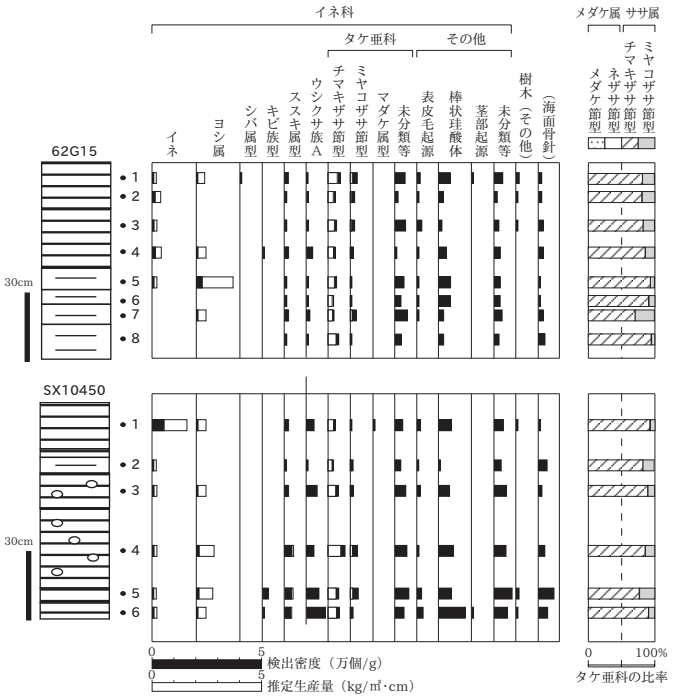
チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、マダケ属型（マダケ属、ホウライチク属）、未分類等

〔イネ科－その他〕

表皮毛起源、棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来）、茎部起源、未分類等

〔樹木〕

その他



第 10 図　植物珪酸体分析結果

検出密度（単位：×100個/g）

分類群	学名	地点・試料 東壁 1	2	3	4	5	6	7	8	西区沢 1	2	3	4	5	6
イネ科	Gramineae														
イネ	*Oryza sativa*	6	13	7	14	7	–	–	–	55	6	7	7	6	7
ヨシ属	*Phragmites*	6	–	–	7	27	–	7	–	7	–	7	13	12	7
シバ属型	*Zoysia* type	6	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
キビ族型	Paniceae type		–	–	7	–	–	–	–	–	–	–	–	25	7
ススキ属型	*Miscanthus* type	13	7	7	14	7	7	14	7	14	6	14	33	31	26
ウシクサ族A	Andropogoneae A type	6	7	7	27	7	7	14	7	34	6	48	33	56	86
タケ亜科	Bambusoideae														
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	58	33	40	34	40	26	28	50	34	25	48	80	50	53
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	32	20	20	14	7	7	28	7	7	13	14	33	37	13
マダケ属型	*Phyllostachys*	–	–	–	–	–	–	–	–	7	–	–	–	–	–
未分類等	Others	45	13	47	7	40	26	56	28	34	25	48	53	62	40
その他のイネ科	Others														
表皮毛起源	Husk hair origin	13	7	20	7	7	7	7		14	6	14	7	19	26
棒状珪酸体	Rodshaped	51	20	13	34	53	52	21	21	55	6	48	66	56	119
茎部起源	Stem origin	6	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7
未分類等	Others	38	13	20	27	27	26	35	21	41	31	55	53	81	60
樹木起源	Arboreal														
その他	Others	13	7	7	–	–	–	–	–	7	–	–	–	12	7
（海綿骨針）	Sponge spicules	13	13	20	20	7	7	21	28	7	38	14	27	69	40
植物珪酸体総数	Total	295	138	187	191	220	157	210	141	308	126	303	379	450	457
おもな分類群の推定生産量（単位：kg/㎥・cm）：試料の仮比重を1.0と仮定して算出															
イネ	*Oryza sativa*	0.19	0.39	0.20	0.40	0.20	–	–	–	1.61	0.19	0.20	0.20	0.18	0.19
ヨシ属	*Phragmites*	0.40	–	–	0.43	1.68	–	0.44	–	0.43	–	0.43	0.84	0.79	0.42
ススキ属型	*Miscanthus* type	0.16	0.08	0.08	0.17	0.08	0.08	0.17	0.09	0.17	0.08	0.17	0.41	0.39	0.33
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	0.43	0.25	0.30	0.26	0.30	0.20	0.21	0.37	0.26	0.19	0.36	0.60	0.37	0.40
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	0.10	0.06	0.06	0.04	0.02	0.02	0.08	0.02	0.02	0.04	0.04	0.10	0.11	0.04
タケ亜科の比率（%）															
チマキザサ節型	*Sasa* sect. Sasa etc.	82	81	83	86	94	91	71	95	93	83	90	86	77	91
ミヤコザサ節型	*Sasa* sect. Crassinodi	18	19	17	14	6	9	29	5	7	17	10	14	23	9
メダケ率	Medake ratio	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第３表　植物珪酸体分析結果

D　考　　察

1）稲作跡の検討

稲作跡（水田跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネの植物珪酸体（プラント・オパール）が試料 1g あたり 5,000 個以上の高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している［杉山 2000］。なお、密度が 3,000 個 /g 程度でも水田遺構が検出される事例があるため、ここでは判断の基準を 3,000 個 /g として検討する。

a　62G15

No.1 から No.8 までの層準について分析を行った。その結果、No.1 から No.5 までの層準からイネの植物珪酸体が検出されたが、密度はいずれも 600 ～ 1,400 個 /g と低い値である。イネの植物珪酸体の密度が低い理由としては、稲作が行われていた期間が短かった可能性、土層の堆積速度が速かった可能性、採取地点が畦畔などで耕作面ではなかった可能性、および上層や他からの混入の可能性などが考えられるが、今回の詳細は不明である。

b　SX10450（66N13）

No.1 から No.6 までの層準について分析を行った。その結果、すべての試料からイネの植物珪酸体が検出された。このうち、No.1 では密度が 5,500 個 /g と高い値である。したがって、同層では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。その他の層準では、密度が 600 ～ 700 個 /g と低い値である。イネの植物珪酸体の密度が低い理由としては、前述のような可能性が考えられる。

2）イネ科栽培植物の検討

植物珪酸体分析で同定される分類群のうち、栽培植物が含まれる分類群には、イネ以外にもムギ類、ヒエ属型（ヒエが含まれる）、エノコログサ属型（アワが含まれる）、キビ属型（キビが含まれる）、ジュズダマ属型（ハトムギが含まれる）、オヒシバ属（シコクビエが含まれる）、モロコシ属型、トウモロコシ属型などがあるが、これらの分類群はいずれの試料からも検出されなかった。

イネ科栽培植物の中には検討が不十分な分類群もあるため、その他の分類群の中にも栽培種に由来する分類群が含まれている可能性がある。これらの分類群の給源植物の究明については、今後の課題としたい。なお、植物珪酸体分析で同定される分類群は主にイネ科植物に限定されるため、根菜類などの畑作物は分析の対象外である。

3）植物珪酸体分析から推定される植生と環境

上記以外の分類群では、全体的にススキ属型、ウシクサ族 A、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型が検出され、多くの層準でヨシ属も認められたが、いずれも比較的少量である。また、部分的にキビ族型、樹木（その他）なども検出され、SX10450 の No.1 ではマダケ属型が出現している。おもな分類群の推定生産量によると、量的には少ないものの、おおむねチマキザサ節型が優勢であり、部分的にヨシ属も比較的多くなっている。

以上の結果から、各層準の堆積当時は、おおむねヨシ属が生育するような比較的湿潤な環境であったと

考えられ、この湿潤な場所を利用して調査地点もしくはその近辺で水田稲作が行われていたと可能性が高い。また、周辺の比較的乾燥したところには、ササ属（おもにチマキザサ節）などの笹類をはじめ、ススキ属、ウシクサ族なども生育していたと考えられる。

ササ属のうち、ミヤコザサ節は太平洋側の積雪の少ないところに分布し、冬季の乾燥に適応しているが、チシマザサ節やチマキザサ節は日本海側の多雪地帯に分布し、冬季の乾燥に弱い［室井 1960、鈴木 1996］。今回の試料では、後者が優勢であるため、堆積当時は相対的に積雪（降水量）の多い気候環境であったと推定される。

E　ま　と　め

植物珪酸体分析の結果、SX10450 の No.1 ではイネの植物珪酸体が多量に検出され、稲作が行われていた可能性が高いと判断された。また、62G15 の No.1 ～ No.5、SX10450 の No.2 ～ No.6 でも少量ながらイネの植物珪酸体が検出され、調査地点もしくはその近辺で稲作が行われていた可能性が認められる。

各層準の堆積当時は、おおむねヨシ属が生育するような比較的湿潤な環境であったと考えられ、湿潤な場所を利用して調査地点もしくはその近辺で水田稲作が行われていたと推定される。また、周辺の比較的乾燥したところには、ササ属（おもにチマキザサ節）などの笹類をはじめ、ススキ属、ウシクサ族なども生育していたと考えられる。

引用・参考文献

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（1）－数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，15-29.

藤原宏志・杉山真二（1984）プラント・オパール分析法の基礎的研究（5）－プラント・オパール分析による水田址の探査－．考古学と自然科学，17，73-85.

室井　綽（1960）竹笹の生態を中心とした分布．富士竹類植物園報告，5，103-121.

杉山真二・藤原宏志（1986）機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定－古環境推定の基礎資料として－．考古学と自然科学，19，69-84.

杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．辻誠一郎編「考古学と植物学」：189-213，同成社.

杉山真二（2009）植物珪酸体と古生態．小杉康ほか編「大地と森の中で－縄文時代の古生態系－縄文時代の考古学 3」：105-114，同成社.

鈴木貞雄（1996）日本タケ科植物図鑑．聚海書林，271p.

2　花　粉　分　析

A　は　じ　め　に

新潟県柏崎市に所在する丘江遺跡において、古植生を検討するために花粉分析用の試料が採取された。以下では、採取された試料について行った花粉分析の結果を示し、遺跡周辺の古植生について検討した。なお、同一試料について植物珪酸体分析も行われている（第 2 表）。

B　試 料 と 方 法

調査区は北側の標高が低く、沢状地形を呈している。この沢状地形の東区では水田跡や流路が見つかっ

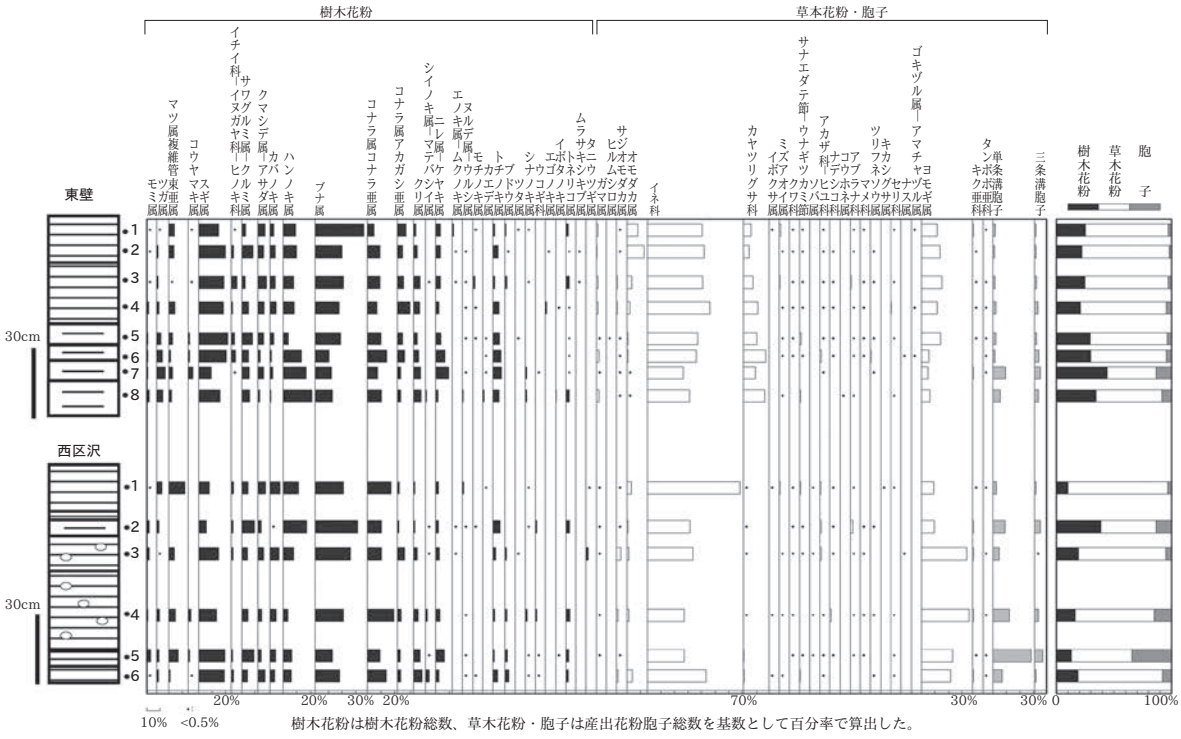
ており、西区では幅約 15m の沢状の落ち込みが南北方向に伸びている。分析試料は、沢状地形の東側（62G15No.1 ～ 8）と西側（SX10450No.1 ～ 6）から採取された計 14 点である。分析試料一覧を第 2 表に示す。これらの試料について、以下の手順で分析を行った。

試料（湿重量約 3 ～ 4g）を遠沈管にとり、10% 水酸化カリウム溶液を加え 10 分間湯煎する。水洗後、46% フッ化水素酸溶液を加え 1 時間放置する。水洗後、比重分離（比重 2.1 に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収し水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続いてアセトリシス処理（無水酢酸 9：濃硫酸 1 の割合の混酸を加え 20 分間湯煎）を行う。水洗後、残渣にグリセリンを滴下し保存用とする。検鏡は、この残渣より適宜プレパラートを作製して行った。各プレパラートは樹木花粉が 200 を超えるまで検鏡し、その間に現れる草本花粉・胞子を全て数えた。また、保存状態の良好な花粉を選んで単体標本（PLC.2123 ～ 2130）を作製し、写真を図版 1 に載せた。

C 結　　果

14 試料から検出された花粉・胞子の分類群数は、樹木花粉 41、草本花粉 33、形態分類のシダ植物胞子 2 の総計 76 である。これらの花粉・胞子の一覧表を第 3 表に、花粉分布図を第 11 図に示した。花粉分布図では、樹木花粉の産出率は樹木花粉総数を、草本花粉・胞子の産出率は産出花粉胞子総数を基数とした百分率で示してある。また、図表においてハイフン（－）で結んだ分類群は、それらの分類群間の区別が困難なものを示す。さらに、クワ科やユキノシタ科、バラ科、マメ科の花粉には樹木起源と草本起源のものがあるが、各々に分けるのが困難なため、便宜的に草本花粉に一括して入れてある。

検鏡の結果、樹木花粉組成は 2 地点間や層位間で顕著な違いは見られなかった。樹木花粉で産出が目立つ分類群には、スギ属やサワグルミ属－クルミ属、ハンノキ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属などがある。草本花粉組成では、2 地点間に若干の相違が見られ、62G15 は、ガマ属やカヤツリグサ科が産出してい



第 11 図　花粉分布図

学名	和名	62G15								SX10450					
		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6
樹木															
Podocarpus	マキ属	−	−	−	1	−	−	1	1	−	−	−	−	−	−
Abies	モミ属	1	1	1	3	2	2	2	4	1	4	4	2	6	1
Tsuga	ツガ属	1	2	2	4	7	9	13	9	8	4	1	5	4	3
Pinus subgen. *Diploxylon*	マツ属複維管束亜属	9	8	1	9	6	3	6	4	25	−	9	11	14	2
Pinus subgen. *Haploxylon*	マツ属単維管束亜属	−	1	−	1	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−
Sciadopitys	コウヤマキ属	1	−	1	−	2	2	7	−	−	−	−	4	2	1
Cryptomeria	スギ属	31	41	38	37	45	42	19	32	16	12	31	29	39	39
Taxaceae-Cephalotaxaceae-Cupressaceae	イチイ科−イヌガヤ科−ヒノキ科	1	3	8	2	5	6	1	−	3	3	3	−	2	3
Salix	ヤナギ属	−	−	−	−	2	−	−	3	−	1	−	−	−	−
Myrica	ヤマモモ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	−	−	−
Platycarya	ノグルミ属	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Pterocarya-Juglans	サワグルミ属−クルミ属	6	18	5	10	17	10	12	12	10	20	9	10	19	9
Carpinus-Ostrya	クマシデ属−アサダ属	11	9	13	9	9	4	9	3	12	5	9	6	5	11
Corylus	ハシバミ属	−	−	−	−	1	−	−	1	−	−	−	−	−	−
Betula	カバノキ属	6	8	8	9	6	2	4	1	15	1	14	10	8	7
Alnus	ハンノキ属	19	20	16	16	8	27	35	42	23	36	16	8	13	12
Fagus	ブナ属	76	41	42	36	39	21	25	26	43	66	55	46	26	37
Quercus subgen. *Lepidobalanus*	コナラ属コナラ亜属	10	19	19	14	21	29	16	21	36	22	22	43	19	29
Quercus subgen. *Cyclobalanopsis*	コナラ属アカガシ亜属	13	8	9	19	8	11	5	5	3	2	11	6	4	5
Castanea	クリ属	4	6	10	9	6	8	11	11	2	2	6	8	10	13
Castanopsis-Pasania	シイノキ属−マテバシイ属	−	−	1	−	−	−	−	1	−	1	1	3	1	6
Ulmus-Zelkova	ニレ属−ケヤキ属	7	7	7	5	8	14	20	3	4	4	6	7	13	5
Celtis-Aphananthe	エノキ属−ムクノキ属	2	1	1	−	−	−	−	−	−	1	1	−	−	−
Phellodendron	キハダ属	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	1	−	2	−
Rhus-Toxicodendron	ヌルデ属−ウルシ属	−	1	1	1	1	−	1	1	2	1	−	1	1	1
Ilex	モチノキ属	1	−	4	1	1	−	−	−	−	1	−	−	−	1
Celastraceae	ニシキギ科	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1
Acer	カエデ属	−	−	−	−	1	1	1	2	1	−	−	−	−	−
Aesculus	トチノキ属	3	8	3	9	10	12	13	9	−	11	4	3	2	7
Vitis	ブドウ属	2	1	3	−	−	−	−	−	−	−	3	4	4	6
Parthenocissus	ツタ属	1	−	−	−	1	−	−	−	−	−	1	−	−	−
Tilia	シナノキ属	1	−	1	−	−	−	2	2	1	1	−	3	1	1
Camellia	ツバキ属	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Araliaceae	ウコギ科	−	−	−	−	−	−	1	−	−	2	−	2	1	1
Ericaceae	ツツジ科	−	−	−	1	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−
Styrax	エゴノキ属	−	1	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Ligustrum	イボタノキ属	−	−	−	1	−	−	−	1	−	−	−	−	1	−
Fraxinus	トネリコ属	4	1	5	1	1	1	1	5	−	6	−	7	4	4
Callicarpa	ムラサキシキブ属	−	1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Viburnum	ガマズミ属	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−
Weigela	タニウツギ属	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	3	−	−	−
草本															
Typha	ガマ属	9	5	9	10	3	12	1	11	1	1	2	2	2	−
Potamogetom	ヒルムシロ属	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
Alisma	サジオモダカ属	2	4	6	6	3	3	1	2	7	1	35	14	3	9
Sagittaria	オモダカ属	69	120	30	23	5	6	1	1	69	5	18	21		46
Gramineae	イネ科	337	394	330	447	260	247	123	181	1380	171	370	363	425	477
Cyperaceae	カヤツリグサ科	47	40	56	104	70	113	42	92	4	2	3	6	8	8
Commelina	ツユクサ属	−	−	−	1	−	−	−	−	1	−	−	−	−	1
Aneilema	イボクサ属	1	−	−	−	−	−	−	−	7	−	−	1	−	1
Monochoria	ミズアオイ属	10	3	5	2	3	2	−	1	16	−	3	2	−	3
Moraceae	クワ科	4	3	1	1	1	1	−	−	2	1	1	1	1	−
Polygonum sect. *Persicaria-Echinocaulon*	サナエタデ節−ウナギツカミ節	1	2	1	1	9	1	−	4	18	1	2	−	2	7
Fagopyrum	ソバ属	−	−	−	−	−	−	−	−	7	−	2	1	1	−
Chenopodiaceae-Amaranthaceae	アカザ科−ヒユ科	3	3	3	1	2	6	1	−	14	5	13	6	1	2
Caryophyllaceae	ナデシコ科	−	3	2	1	2	2	−	−	8	2	3	12	7	−
Nuphar	コウホネ属	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−
Thalictrum	カラマツソウ属	−	−	1	1	1	−	−	2	−	2	1	−	−	1
Brassicaceae	アブラナ科	1	2	5	3	2	2	−	1	3	9	1	1	1	−
Saxifragaceae	ユキノシタ科	−	−	−	1	−	−	−	−	2	1	−	−	−	−
Rosaceae	バラ科	−	1	2	2	1	1	−	−	1	−	−	−	1	3
Sanguisorba	ワレモコウ属	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
Leguminosae	マメ科	2	−	1	2	1	2	−	−	−	1	3	2	2	−
Impatiens	ツリフネソウ属	−	1	1	−	3	4	1	−	−	2	−	1	−	1
Rotala	キカシグサ属	−	−	−	−	−	−	−	−	10	−	−	−	−	−
Epilobium-Ludwigia	アカバナ属−ミズユキノシタ属	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	1	1	−	2
Apiaceae	セリ科	2	−	1	5	2	−	−	1	2	−	−	1	1	2
Labiatae	シソ科	1	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	1	−	−
Solanum	ナス属	−	−	−	−	−	3	−	−	−	−	2	−	−	−
Plantago	オオバコ属	1	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−
Actinostemma-Gynostemma	ゴキヅル属−アマチャヅル属	1	−	−	1	−	2	−	−	−	−	−	−	−	−
Ambrosia-Xanthium	ブタクサ属−オナモミ属	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	2	−	1
Artemisia	ヨモギ属	97	130	123	113	101	40	24	38	186	52	369	474	358	236
Tubuliflorae	キク亜科	6	1	1	1	2	−	3	−	5	4	7	8	3	7
Liguliflorae	タンポポ亜科	3	−	1	1	1	1	1	−	4	−	5	2	6	4
シダ植物															
monolete type spore	単条溝胞子	16	11	12	21	15	11	43	31	49	49	51	163	443	75
trilete type spore	三条溝胞子	9	8	11	22	10	21	19	16	16	23	2	36	94	12
Arboreal pollen	樹木花粉	210	206	202	201	207	204	205	200	206	209	210	219	201	205
Nonarboreal pollen	草本花粉	597	712	581	727	473	448	198	335	1749	261	841	922	822	811
Spores	シダ植物胞子	25	19	23	43	25	32	62	47	65	72	53	199	537	87
Total Pollen & Spores	花粉・胞子総数	832	937	806	971	705	684			2020	542	1104	1340	1560	1103
unknown	不明	5	5	11	6	8	2	13	10	4	8	4	10	6	12

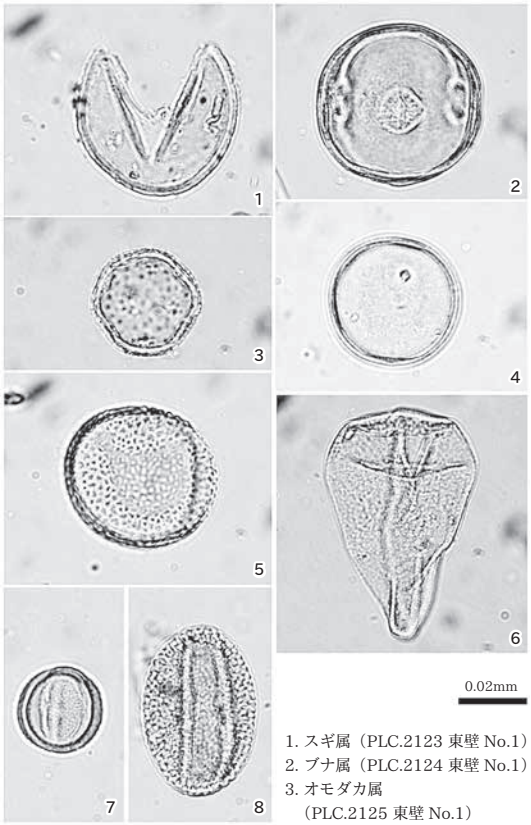
第４表　産出花粉・胞子一覧表

るが、SX10450 ではこれらの分類群の産出が少ない。逆に SX10450 ではヨモギ属の産出が 62G15 よりやや多く、栽培植物のソバ属が検出されている。

D 考　　察

62G15 と SX10450 の 2 地点の分析試料から検出された花粉化石群集の組成には、共通する部分と相違が見られる部分がある。双方の試料に共通するのは、樹木花粉がほぼ同一の組成を示している点である。樹木は風媒花であるため、遺跡周辺に生育する樹木から飛散した花粉が沢状地形の周辺に均一に堆積したと考えられる。樹木花粉では落葉広葉樹の産出が目立ち、ブナ属をはじめクマシデ属－アサダ属、カバノキ属、コナラ属コナラ亜属、クリ属などが遺跡周辺の丘陵地に生育していたと思われる。丘陵地の沢沿いなど比較的水分条件の良好な場所には、サワグルミ属－クルミ属やニレ属－ケヤキ属、トチノキ属なども分布を広げていたであろう。さらに、低地にはコナラ属アカガシ亜属などからなる照葉樹林やハンノキ属やトネリコ属などからなる湿地林も存在していたと思われる。スギ属の産出も多く見られ、低地から丘陵地にかけてスギ林も分布していたと考えられる。樹木花粉組成に層位的な違いは顕著には見られないため、こうした樹木植生は試料堆積期間に継続して見られたと考えられる。また、東側と西側の両地点ではイネ科の多産と共に、水田雑草を含む分類群であるサジオモダカ属やオモダカ属、イボクサ属、ミズアオイ属、キカシグサ属（西区沢のみ）の産出が確認できた。沢状地形において水田稲作が行われていた可能性がある。植物珪酸体分析においても沢状地形の東側と西側の同一試料からイネの機動細胞珪酸体の産出が確認されており、水田の存在を裏付ける。

62G15 と SX10450 の花粉化石群集で相違が見られるのは、草本花粉組成である。62G15 では、ガマ属やカヤツリグサ科の産出が目立つが、SX10450 では少ない。ガマ属は抽水植物であり、カヤツリグサ科はスゲ属など好湿性を含む分類群である。これらの分類群の産出状況の違いは水分条件の違いを示している可能性がある。すなわち、同じ沢状地形でも、場所によって若干の相違があり、62G15 では水分条件が比較的良好であったため、抽水植物のガマ属や好湿性植物のカヤツリグサ科が多く生育していたが、SX10450 は水分条件がやや劣悪であったため、これらの分類群の生育が乏しかった可能性が考えられる。SX10450 ではヨモギ属がやや多く産出しており、比較的乾燥した状態にあった西側でヨモギ属が分布を広げていたと思われる。さらには、西区沢のみで栽培植物のソバ属が検出された。沢状地形では水田稲作が行われていた可能性があるが、比較的乾燥状態にあった西側はソバ栽培に適していたため、稲作と共にソバ栽培が行われていた可能性が考えられる。



1. スギ属（PLC.2123 東壁 No.1）
2. ブナ属（PLC.2124 東壁 No.1）
3. オモダカ属（PLC.2125 東壁 No.1）
4. イネ科（PLC.2126 東壁 No.1）
5. ガマ属（PLC.2127 東壁 No.1）
6. カヤツリグサ科（PLC.2128 東壁 No.1）
7. ヨモギ属（PLC.2129 東壁 No.1）
8. ソバ属（PLC.2130 西区沢 No.1）

第 12 図　産出した花粉化石

3　大型植物遺体分析

A　は　じ　め　に

ここでは、鎌倉時代～室町時代（13 ～ 15 世紀）の遺構から得られた大型植物遺体を同定し、食用などに利用された植物や、栽培植物の栽培状況、当時の植生について検討する。

B　試 料 と 方 法

試料は水洗済みの試料で、11 遺構から採取された 30 袋である。試料は、井戸（SE）の底面や墓と推定されている土坑（SK）の覆土、性格不明遺構（SX）の覆土から採取された。

堆積物の水洗と大型植物遺体の抽出は、新潟県埋蔵文化財調査事業団で行なわれた。水洗は、5.0mm、3.0mm、1.0mm 目の篩を用いて行われた。井戸については、全点同定し、土坑と性格不明遺構は、5.0mm と 3.0mm 目の篩に回収された大型植物遺体のみを検討した。

同定可能な分類群の抽出・計数・同定は、肉眼および実体顕微鏡下で行った。計数の方法は、完形または一部が破損していても 1 個体とみなせるものは完形として数え、1 個体に満たないものは破片とした。試料は、新潟県埋蔵文化財調査事業団に保管されている。

C　結　　果

同定した結果、木本植物では広葉樹のコブシ種子と、アオツヅラフジ核、ヤマブドウ種子、ウメ核、キイチゴ属核、エノキ属核、クワ属核、クリ果実、キブシ種子、トチノキ炭化種子、カラスザンショウ種子、サンショウ種子、カキノキ種子・炭化種子、クサギ種子、ニワトコ核、タラノキ核の 16 分類群、草本植物では、ツユクサ種子と、ヘラオモダカ果実・炭化果実、ウキヤガラ果実、スゲ属アゼスゲ節果実、ハリイ属果実、テンツキ属果実・炭化果実、サンカクイ－フトイ果実、ホタルイ属果実、ミクリ属核、ヒエ炭化有ふ果・炭化種子、ヒエ属炭化種子、イネ炭化籾・籾殻・炭化籾殻・炭化種子、アワ炭化有ふ果・炭化種子、エノコログサ属有ふ果・炭化有ふ果、オオムギ炭化種子、コムギ炭化種子、ムラサキケマン種子、クサネム果実・炭化果実、ダイズ属炭化種子、ササゲ属アズキ亜属炭化種子、アサ核・炭化核、カナムグラ核、メロン仲間種子、ヒョウタン仲間種子、カタバミ属種子、エノキグサ属種子、スミレ属種子、ソバ果実、ヤナギタデ果実・炭化果実、イヌタデ果実、サナエタデ－オオイヌタデ果実、ミチヤナギ属果実、イヌタデ属 A 炭化果実、イヌタデ属 B 炭化果実、アリノトウグサ属種子、アカザ属種子、キケマン属種子、ミドリハコベ種子、ナス種子、ナス属種子、キランソウ属果実、メハジキ属果実、エゴマ果実、シソ属果実・炭化果実、ニガクサ属果実、タカサブロウ果実、ゴボウ果実、メナモミ属果実、オナモミ総苞、オトコエシ属果実、セリ果実の 51 分類群、シダ植物ではワラビ裂片の 1 分類群の、計 68 分類群が見いだされた。この他に、植物遺体ではないが硬質の不明の遺体が得られ、不明とした（第 4 表）。

以下、産出した大型植物遺体について遺構別に記載する（同定不能種実は除く）。

SE9514：ヘラオモダカが非常に多く、キイチゴ属とホタルイ属、シソ属が多く、イヌタデがやや多く、エノコログサ属とエノキグサ属、アサ、アカザ属、メナモミ属が少量、エノキ属とイネ、オオムギ、クサネム、メロン仲間、カタバミ属、ヤナギタデ、オトコエシ属、ワラビがわずかに得られた。

SE9619：エノキ属が少量、エノキグサ属とイヌタデ、シソがわずかに得られた。この他の分類群は産

3　大型植物遺体分析

分類群	遺構	SE9514	SE9619	SE9688	SE10001	SE10015	SE10037	SE10167	SE10321	SE10339	SE9623	SK10024
	時期	鎌倉時代～室町時代（13 ～ 15世紀）										
	水洗量	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	土嚢袋2袋	不明
コブシ	種子							2				
アオツヅラフジ	核										2	
ヤマブドウ	種子			(1)				1 (5)	(2)	(1)		4
ウメ	核							(4)				
キイチゴ属	核	119 (21)		1 (1)			2 (1)	5 (3)	3			
エノキ属	核	2 (3)	3 (19)					2 (9)				
クワ属	核								1			
クリ	果実								(5)			
キブシ	種子							4 (1)	7			
トチノキ	炭化種子								(6)			
カラスザンショウ	種子					1 (1)		(1)	1 (1)			
サンショウ	種子		(1)	(4)								
カキノキ	種子									(1)		
	炭化種子								7 (2)	(1)		
クサギ	種子		(1)								1	
ニワトコ	核							2 (1)				
タラノキ	核			1								
ツユクサ	種子			1				(1)				
ヘラオモダカ	果実	265	2					1				
	炭化果実							1				
ウキヤカラ	果実							15				
スゲ属アゼスゲ節	果実							3	7			
ハリイ属	果実					35 (1)	4	104 (10)	39 (3)			
テンツキ属	果実							(13)	1 (3)			
	炭化果実								4			
サンカクイ－フトイ	果実					1		2 (1)	2			
ホタルイ属	果実	103 (4)	1	5	1	25	6	70 (9)	74 (7)			
ミクリ属	核				2	41 (2)	1		2			
ヒエ	炭化有ふ果								13			
	炭化種子							1	21			
ヒエ属	炭化種子							2				
イネ	炭化籾								12 (2)	3		
	籾殻	2				1	(1)	(2)	1 (10)	(5)		
	炭化籾殻						3 (1)	(1)	(5)	(5)		
	炭化種子		(1)			2 (1)		15 (16)	352※3.24g	258※2.37g		1 (2)
アワ	炭化有ふ果								21 (2)			
	炭化種子								33			
エノコログサ属	有ふ果	28 (3)		1 (3)		10 (6)	1	(4)	17 (6)			
	炭化有ふ果							1	4			
オオムギ	炭化種子	1		2			1	4 (2)	1			
コムギ	炭化種子							8				
ムラサキケマン	種子		2				1				1	
クサネム	果実	(8)										
	炭化種子								1			
ダイズ属	炭化種子							1 (3)	3 (3)			
ササゲ属アズキ亜属	炭化種子							2 (2)	1 (4)			
アサ	核	(13)			3 (214)	2 (15)	(5)	(76)	9 (150)	(12)	2 (1)	
	炭化核								2			
カナムグラ	核							1 (2)	1			
メロン仲間	種子	(1)			2 (3)	(1)		3 (5)				
ヒョウタン仲間	種子				(10)			2 (3)				(1)
カタバミ属	種子	3										
エノキグサ属	種子	8 (12)	1 (4)	2 (14)			1 (1)	8 (31)	8 (5)			
スミレ属	種子						1	10 (6)				
ソバ	果実					9 (11)	3					
ヤナギタデ	果実	2				(2)	58 (39)	8 (8)	18 (1)			
	炭化果実								1			
イヌタデ	果実	43 (7)	2 (2)	12 (9)			7	21 (7)	16 (4)		(1)	(1)
サナエタデ－オオイヌタデ	果実					2 (2)		1	1 (20)			
ミチヤナギ属	果実							1				
イヌタデ属A	果実						1					
イヌタデ属B	炭化果実								1			
アリノトウグサ属	種子							1				
アカザ属	種子	17		3		1	1	55 (5)	56 (3)			1
キケマン属	種子					1		16 (3)	80 (2)			
ミドリハコベ	種子							2 (1)				
ナス	種子			1	6	1		7 (1)	10 (1)	2		
ナス属	種子		1									
キランソウ属	果実					1	1	8 (1)	1			
メハジキ属	果実					1						
エゴマ	果実				(2)	3 (1)			32 (7)			
シソ属	果実	249 (9)	3	7		5 (2)	6	20 (9)	13 (1)			
	炭化果実					1			1			
ニガクサ属	果実							2				
タカサブロウ	果実					1						
ゴボウ	果実							2				
メナモミ属	果実	23 (1)	1				1 (1)	1				
オナモミ	総苞						(1)					
オトコエシ属	果実	2										
セリ	果実							1				
ワラビ	裂片	1										
同定不能	炭化種実								(2)			
不明											1	

※ 完形個体換算数
　イネ炭化種子10点の重量を0.092gとして完形個体に換算した場合の数

第５表　出土した大型植物遺体（括弧内は破片数）

出数 2 点以下であった。栽培植物ではイネがわずかに得られた。

SE9688：エノキグサ属とイヌタデが少量、サンショウとホタルイ属、エノコログサ属、アカザ属、シソ属がわずかに得られた。この他の分類群は産出数が 2 点以下であった。栽培植物ではオオムギとナスがわずかに得られた。

SE10001：アサが非常に多く、ホタルイ属とミクリ属、メロン仲間とヒョウタン仲間、ナス、エゴマがわずかに得られた。

SE10015：ハリイ属とホタルイ属、ミクリ属、エノコログサ属、アサ、ソバが少量、イネとエゴマ、シソ属がわずかに得られた。この他の分類群は産出数が 2 点以下であった。栽培植物ではメロン仲間とナスがわずかに得られた。

SE10037：ヤナギタデがやや多く、キイチゴ属とホタルイ属、イネ、アサ、ソバ、イヌタデ、シソ属がわずかに得られた。この他の分類群は産出数が 2 点以下であった。栽培植物ではオオムギとナスがわずかに得られた。

SE10167:ハリイ属が多く、ホタルイ属とアサ、アカザ属がやや多く、テンツキ属とイネ、エノキグサ属、スミレ属、ヤナギタデ、イヌタデ、キケマン属、シソ属が少量、ヤマブドウとウメ、キイチゴ属、エノキ属、キブシ、ニワトコ、サンカクイ - フトイ、オオムギ、コムギ、ダイズ属、ササゲ属アズキ亜属、カナムグラ、メロン仲間、ヒョウタン仲間、ミドリハコベ、ナス、キランソウ属がわずかに得られた。この他の分類群は産出数が 2 点以下であった。栽培植物ではヒエとゴボウがわずかに得られた。

SE10321：イネが非常に多く、アサが多く、ホタルイ属とアカザ属、キケマン属がやや多く、ハリイ属とヒエ、アワ、エノコログサ属、エノキグサ属、ヤナギタデ、サナエタデ - オオイヌタデ、ナス、エゴマ、シソ属が少量、キイチゴ属とクリ、キブシ、トチノキ、カキノキ、スゲ属アゼスゲ節、テンツキ属、ダイズ属、ササゲ属アズキ亜属がわずかに得られた。この他の分類群は産出数が 2 点以下であった。

SE10339：イネが非常に多く、アサが少量、ヤマブドウとカキノキ、ナスがわずかに得られた。

SX9623：アオツヅラフジとクサギ、ムラサキケマン、アサ、イヌタデがわずかに得られた。

SK10024：ヤマブドウとイネ、ヒョウタン仲間、イヌタデ、アカザ属がわずかに得られた。

次に、得られた主要な分類群の記載を行い、図版に写真を示して同定の根拠とする。なお、分類群の学名は米倉・梶田（2003-）に準拠し、APG Ⅲリストの順とした。

（1）ウメ　*Armeniaca mume*（Siebold et Zucc.）de Vriese　核　バラ科

褐色で、完形ならば上面観は両凸レンズ形、側面観は卵円形。表面全体に不規則で深く小さな孔がある。着点は凹む。縫合線に沿って深い溝が入る。残存高 10.0mm、残存幅 9.6mm。

（2）カキノキ　*Diospyros kaki* Thunb.　種子・炭化種子　カキノキ科

黒褐色で、上面観は両凸レンズ形、側面観は倒卵形で、基部がやや曲がる。表面にはちりめん状のしわが見られる。明らかに大型の果実であったと想定される種子をカキノキとした。長さ 14.4mm、幅 7.8mm。

（3）ヒエ　*Echinochloa esculenta*（A.Braun）H.Scholz　炭化有ふ果・炭化種子（顆果）　イネ科

有ふ果は、紡錘形。縦方向に細かい顆粒状の模様がある。壁は薄く弾力がある。内顆側は平坦で、外顆側は中央が山状に膨らむ。長さ 3.5mm、幅 2.1mm。種子（顆果）は、側面観は卵形、断面は片凸レンズ形で、厚みは薄くやや扁平である。胚は幅が広く、長さは全長の 2/3 程度と長い。臍は幅が広いうちわ型。長さ 2.1mm、幅 1.6mm。

（4）イネ　*Oryza sativa* L.　炭化籾・籾殻・炭化籾殻・炭化種子（頴果）　イネ科

籾は側面観が長楕円形。縦方向に明瞭な稜線があり、基部は突出する。表面には規則的な縦方向の顆粒状突起がある。長さ 6.9mm、幅 3.4mm。籾殻は茶褐色で残存長 2.9mm、残存幅 1.9mm。炭化籾殻は、残存長 5.3mm、残存幅 3.0mm。種子（頴果）は上面観が両凸レンズ形、側面観は楕円形。一端に胚が残り、両面に縦方向の 2 本の浅い溝がある。長さ 5.7mm、幅 3.1mm。

（5）アワ　*Setaria italica* P.Beauv.　炭化有ふ果・炭化種子（頴果）　イネ科

有ふ果は、紡錘形。内頴と外頴に独立した微細な乳頭状突起がある。長さ 1.7mm、幅 1.4mm。種子（頴果）の上面観は楕円形、側面観は円形に近い。腹面下端中央の窪んだ位置に細長い楕円形の胚があり、胚の長さは全長の 2/3 程度。長さ 1.2mm、幅 1.2mm。

（6）エノコログサ属　*Setaria* spp.　有ふ果　イネ科

黄褐色で、上面観は楕円形、側面観は紡錘形。アワよりも細長く、乳頭突起が畝状を呈する。長さ 2.5mm、幅 1.4mm。

（7）オオムギ　*Hordeum vulgare* L.　炭化種子（頴果）　イネ科

側面観は長楕円形。腹面中央部には上下に走る 1 本の溝がある。背面の下端中央部には三角形の胚がある。断面形状は楕円形。長さ 5.3mm、幅 2.8mm、厚さ 2.1mm。

（8）コムギ　*Triticum aestivum* L.　炭化種子（頴果）　イネ科

完形ならば上面観・側面観共に楕円形。腹面中央部には、上下に走る 1 本の溝がある。背面の下端中央部には、扇形の胚がある。オオムギに比べて長さが短く、幅に対して厚みがあるため、全体的に丸っこい。断面形状は腹面側が窪み、背面側が円形となる。長さ 3.4mm、幅 2.4mm、厚さ 2.5mm。

（9）ダイズ属　*Glycine* spp.　炭化種子　マメ科

上面観は楕円形、側面観は長楕円形。臍は全長の 1/2 程度で、長楕円形。小畑ほか（2007）に示されたダイズ属の特徴である中央に縦溝（hilar groove）と、その周囲に隆線（rim-aril）はみえない。小畑（2008）に示された現生種と大きさを比較すると、大きさは栽培種のダイズに近い。長さ 7.7mm、幅 5.8mm、厚さ 3.0mm。

（10）ササゲ属アズキ亜属　*Vigna* subgenus *Ceratotropis* spp.　炭化種子　マメ科

上面観は方形に近い円形、側面観は方形に近い楕円形。臍は全長の半分から 2/3 ほどの長さで、片側に寄ると推定されるが、残存していない。小畑（2008）に示された現生種と比較すると、大きさは栽培種のアズキに近い。長さ 5.6mm、幅 3.6mm、厚さ 3.5mm。

（11）アサ　*Cannabis sativa* L.　核・炭化核　アサ科

褐色で、上面観は両凸レンズ形、側面観は倒卵形で側面に稜がある。下端にはやや突出した楕円形の大きな着点がある。表面には脈状の模様がある。長さ 3.9mm、幅 3.2mm、厚さ 2.7mm。炭化核は残存長 3.1mm、残存幅 3.2mm、厚さ 2.6mm。

（12）メロン仲間　*Cucumis melo* L.　種子　ウリ科

赤褐色で、上面観は扁平、側面観は狭卵形で頂部が尖る。幅狭でやや厚みがある。藤下（1984）は、種子の大きさからおおむね次の 3 群に分けられるとしている。長さ 6.0mm 以下の雑草メロン型、長さ 6.1 ～ 8.0mm のマクワウリ・シロウリ型、長さ 8.1mm 以上のモモルディカメロン型である。図版に示した種子の大きさは長さ 7.4mm、幅 3.9mm で、マクワウリ・シロウリ型であった。

（13）ヒョウタン仲間　*Lagenaria* sp.　種子　ウリ科

やや淡黄褐色～褐色で、上面観は扁平、側面観は完形ならば逆三角形。やや湾曲して左右は非対象、先端はW字状で、基部から先端まで、浅く広い溝が2本走る。壁はややスポンジ質。長さ18.2mm、幅7.5mm。

（14）ソバ　*Fagopyrum esculentum* Moench　果実　タデ科

暗褐色で、完形の果実は三稜形。稜の端部は翼状に突き出る。長さ5.2mm、幅3.9mm。

（15）ナス　*Solanum melongena* L.　種子　ナス科

橙褐色で、上面観は長楕円形、側面観は楕円形。着点は明瞭に窪む。表面には畝状突起が覆瓦状となる細かい網目状隆線がある。長さ2.9mm、幅3.1mm。

（16）エゴマ　*Perilla frutescens*（L.）Britton var. *frutescens*　果実　シソ科

暗赤色で、いびつな球形。端部にやや突出する着点がある。表面には不規則で多角形の低い網目状隆線がある。網目部分の周囲はわずかに凹む。長さ2.5mm、幅2.2mm。

（17）シソ属　*Perilla* spp.　果実　シソ科

赤褐色で、いびつな球形。端部に着点がある。表面には、低い隆起で多角形の網目状隆線がある。エゴマ以外のシソ属である。長さ1.7mm、幅1.6mm。

（18）ゴボウ　*Arctium lappa* L.　果実　キク科

長さ5.5mm、幅2.4mm。

（19）ワラビ　*Pteridium aquilinum*（L.）Kuhn subsp. *japonicum*（Nakai）Á. et D.Löve　裂片　コバノイシカグマ科

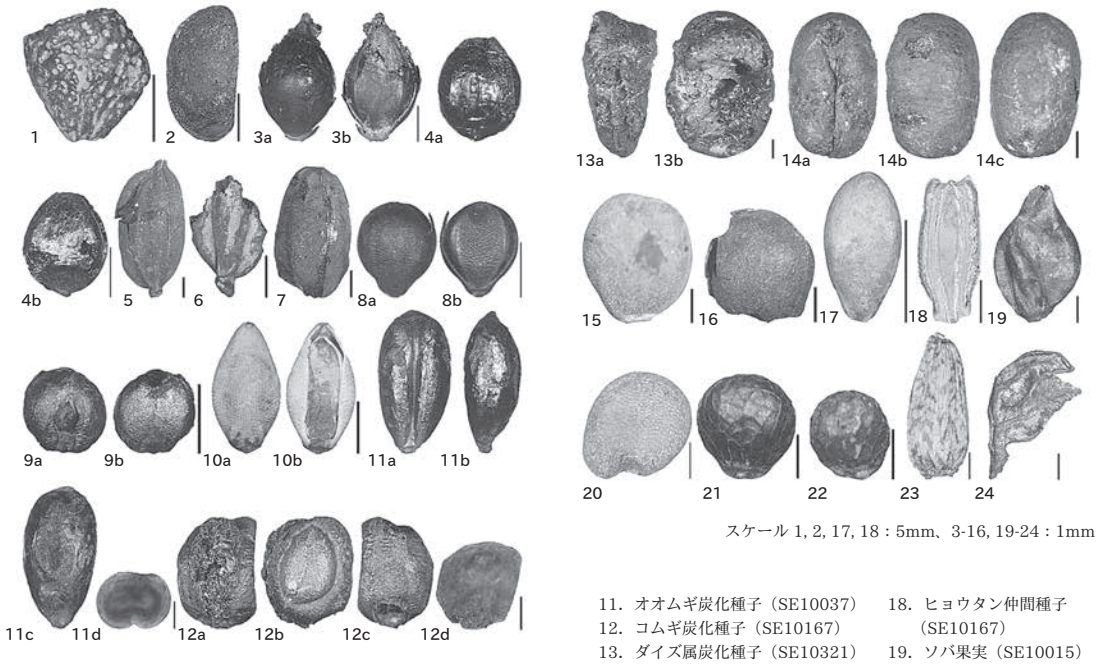
暗褐色で、長楕円形。鈍頭で全縁。葉脈は2～3叉状分岐し平行に並ぶ。長さ5.2mm、幅3.6mm。

D　考　　察

丘江遺跡Ⅲの鎌倉時代～室町時代（13～15世紀）の遺構から出土した大型植物遺体を同定した結果、種実を中心とした大型植物遺体が得られ、特に井戸の堆積物からは多量かつ多種類の種実が得られた。

食用可能な種実として、ヤマブドウとウメ、キイチゴ属、エノキ属、クワ属、クリ、トチノキ、カラスザンショウ、サンショウ、カキノキ、ニワトコ、タラノキ、ヒエ、イネ、アワ、オオムギ、コムギ、ダイズ属、ササゲ属アズキ亜属、アサ、メロン仲間（マクワウリ・シロウリ型）、ヒョウタン仲間、ソバ、ナス、エゴマ、シソ属、セリ、ワラビが得られた。栽培植物では、果樹のウメとカキノキ、水田作物のイネ、畑作物のヒエとアワ、オオムギ、コムギ、アサ、メロン仲間、ヒョウタン仲間、ソバ、ナス、エゴマ、ゴボウが得られた。ダイズ属とササゲ属アズキ亜属には野生種と栽培種の両方があるが、大きさは栽培種に近かった。サンショウやカラスザンショウ、アサ、エゴマは油や調味料として利用された可能性もある。

井戸からは種実が多く得られ、特にSE9514とSE10167、SE10321からは大量の大型植物遺体が得られた。井戸から得られた種実のうち、抽水植物であるヘラオモダカやホタルイ属などは、井戸内に生育していた可能性がある。井戸内及び周辺の湿地には、湿生～抽水～沈水植物のハリイ属など、湿地にはヤナギタデなど、井戸周辺の道端や草地には、エノコログサ属やエノキグサ属、カタバミ属、イヌタデ、アカザ属など、やや湿った場所にはスゲ属アゼスゲ節とムラサキケマンなどが生育していたと推定される。また、栽培植物が多種類みられ、中でも穀類は炭化している個体が多く、遺構周辺で行われた調理などの行為によって炭化した穀類が、遺構内に堆積したと考えられる。多産したキイチゴ属やシソ属も食料残滓の可能性がある。



スケール 1, 2, 17, 18：5mm、3-16, 19-24：1mm

1. ウメ核（SE10167）
2. カキノキ炭化種子（SE10321）
3. ヒエ炭化有ふ果（SE10321）
4. ヒエ炭化種子（SE10321）
5. イネ炭化籾（SE10321）
6. イネ籾殻（SE9514）
7. イネ炭化種子（SE10321）
8. アワ炭化有ふ果（SE10321）
9. アワ炭化種子（SE10321）
10. エノコログサ属有ふ果（SE9514）
11. オオムギ炭化種子（SE10037）
12. コムギ炭化種子（SE10167）
13. ダイズ属炭化種子（SE10321）
14. ササゲ属アズキ亜属炭化種子（SE10321）
15. アサ核（SE10321）
16. アサ炭化核（SE10321）
17. メロン仲間種子（SE10001）
18. ヒョウタン仲間種子（SE10167）
19. ソバ果実（SE10015）
20. ナス種子（SE10001）
21. エゴマ果実（SE10321）
22. シソ属果実（SE9514）
23. ゴボウ果実（SE10167）
24. ワラビ裂片（SE9514）

第 13 図　出土した大型植物遺体

SE10321 と SE10339 からはイネが大量に得られた。得られた部位はいわゆる炭化米の種子（頴果）であるが、胚が残存している個体が多く、炭化籾や籾殻が得られている点、調理などをした場合に起こる変形も少ないため、籾の状態で保管されていて、籾殻の大部分は炭化時に灰になった可能性がある。

SE9623 からは、栽培植物のアサがわずかに得られたものの、つる植物のアオツヅラフジや落葉高木のクサギ、草地に生育するイヌタデとムラサキケマンがわずかに得られたのみである。

形状から墓の可能性がある土坑 SK10024 の覆土からは、栽培植物のイネやヒョウタン仲間、食用可能なヤマブドウ、イヌタデ属、アカザ属が得られた。墓とすればイネやヒョウタン、ヤマブドウは供献された食物に由来する可能性がある。

引用・参考文献

藤下典之（1984）出土遺体よりみたウリ科植物の種類と変遷とその利用法．渡辺直経編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学－総括報告書」：638-654，同朋舎出版．

小畑弘己（2008）マメ科種子同定法．小畑弘己編「極東先史古代の穀物 3」：225-252，熊本大学．

小畑弘己・佐々木由香・仙波靖子（2007）土器圧痕からみた縄文時代後・晩期における九州のダイズ栽培．植生史研究，15-1，97-114．

米倉浩司・梶田　忠（2003-）BG Plants 和名－学名インデックス（YList），http://ylist.info

4　テフラ分析

A　はじめに

丘江遺跡は、新潟県柏崎市茨田３丁目字町屋敷ほかに所在し、鯖石川左岸の標高６～7m に位置する。調査では、鎌倉時代・室町時代の遺物が出土する層と弥生時代・古墳時代の遺物が出土する層が確認されている。沢状地形の東壁では、火山灰層が観察された。ここでは、この火山灰層についてテフラ分析を行った。

B　試料と方法

分析試料は、SD9501 から採取した２層中の火山灰層１点である（第６表、図版４・５）。

分析 No.	位置	層位	時期	堆積物の特徴
1	SD9501	2 層	中世	黒褐色粘土（10YR 3/1）

第６表　火山灰試料とその詳細

テフラ試料は、以下の方法で処理した。

湿潤重量 35.73g を超音波洗浄機で分散した後、１φ（0.5mm）、２φ（0.25mm）、３φ（0.125mm）、４φ（0.063mm）、５φ（0.031mm）の５枚の篩を重ね、湿式篩分けをした。４φ篩残渣について、重液（和光純薬工業㈱製テトラブロモエタン（$CHBr_2CHBr_2$、比重 2.96））を用いて軽鉱物と重鉱物に分離した。なお、分析試料とは別に、約 10g を乾燥・秤量して、含水率と分析試料の乾燥重量を求めた。

軽鉱物は、簡易プレパラートを作製し、軽鉱物組成と火山ガラスの形態分類を行った。火山ガラスの形態は、町田・新井（2003）の分類基準に従い、バブル（泡）型平板状火山ガラス（b1）、バブル（泡）型Ｙ字状火山ガラス（b2）、軽石型繊維状火山ガラス（p1）、軽石型スポンジ状火山ガラス（p2）、急冷破砕型フレーク状火山ガラス（c1）、急冷破砕型塊状火山ガラス（c2）に分類した。

重鉱物は、封入剤カナダバルサムを用いてプレパラートを作製し、斜方輝石（Opx）、単斜輝石（Cpx）、角閃石（Ho）、磁鉄鉱（Mg）などを同定・計数した。

４φ篩残渣の火山ガラスは、横山ほか（1986）に従い、温度変化型屈折率測定装置を用いて屈折率測定を行った。

C　結　　果

以下に、各試料の湿式篩分け結果、軽鉱物組成、重鉱物組成、火山ガラスの屈折率測定結果を示す。

湿式篩分けを行った結果、４φ篩残渣が最も多く、処理乾燥重量に対して 9.58% であった。１φ篩残渣中には、褐鉄鉱が多く含まれていた。なお、含水率は、37.75% であった（第７表）。

重液分離を行った結果、軽鉱物が 94.89% と多く、重鉱物の割合は低かった（第８表）。

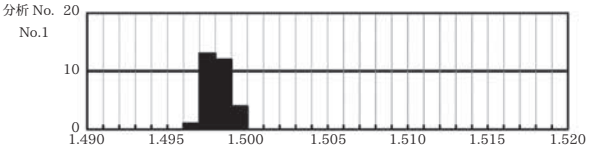
４φ篩残渣中の火山ガラスは、軽鉱物 265 粒中 25 粒と少なかった。火山ガラスの形態分類では、バブル（泡）型平板状火山ガラス（b1）と急冷破砕型フレーク状火山ガラス（c1）がやや多く検出され、バ

分析 No.	処理湿重（g）	乾燥重量（g）	含水率（%）	粒度組成（上段：重量g, 下段：重量%）					重液分離（上段:重量g, 下段:重量%）	
				1φ	2φ	3φ	4φ	5φ	軽鉱物	重鉱物
1	35.73	22.24	37.75	1.4551	0.0835	0.7551	2.1306	1.5470	0.2229	0.0120
				6.54	0.38	3.39	9.58	6.96	94.89	5.11

第７表　火山灰試料の湿式篩分け・重液分離の結果

分類群 / 分析No.	石英（Qu）	長石（Pl）	不明（Opq）	火山ガラス						ガラス合計	軽鉱物の合計	重鉱物					重鉱物の合計
				バブル（泡）型		軽石型		急冷破砕型				斜方輝石（Opx）	単斜輝石（Cpx）	角閃石（Ho）	磁鉄鉱（Mg）	不明（Opq）	
				平板状（b1）	Y字状（b2）	繊維状（p1）	スポンジ状（p2）	フレーク状（c1）	塊状（c2）								
1	11	113	116	11	4		2	8		25	265	66	43	22	16	91	238

第８表　４φ篩残渣中の鉱物組成



範囲（range）	平均（mean）	個数
1.4966 − 1.4977	1.4981	30

第 14 図　火山ガラス（4 φ）の屈折率測定結果

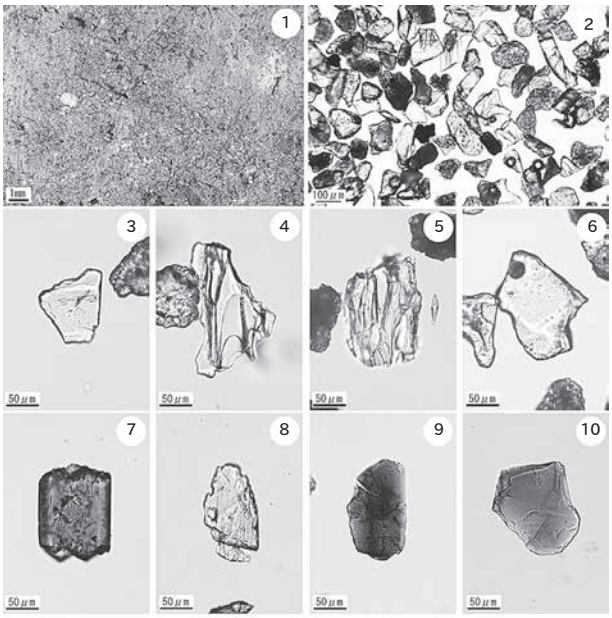
ブル（泡）型 Y 字状火山ガラス（b2）や軽石型スポンジ状火山ガラス（p2）が検出された。また、重鉱物組成は、斜方輝石（Opx）が多く検出され、単斜輝石（Cpx）や角閃石（Ho）が含まれていた（第 8 表）。

火山ガラスの屈折率測定では、範囲（range）が 1.4966-1.4997 の狭い範囲を示し、平均値（mean）が 1.4981 であった（第 14 図）。

D 考　　察

東壁から採取した⑥層中の火山灰層についてテフラ分析を行った。火山ガラスは少ないものの、斜方輝石（Opx）が多く検出され、単斜輝石（Cpx）や角閃石（Ho）が含まれていた。また、火山ガラスの屈折率は、範囲（range）が 1.4966-1.4997 の狭い範囲を示した。

以上の鉱物組成の特徴や火山ガラスの屈折率から、10 世紀頃の新潟焼山・妙高火山東麓に分布する高谷池火山灰 c（KGc，火山ガラスの屈折率 1.496-1.500：［早津・新井 1985］）に類似する。この KGc は、新潟焼山あるいは妙高火山のいずれかの可能性があるが、新潟焼山から妙高火山東麓および関川周辺の遺跡で産出し、その分布は、新潟焼山よりもむしろ妙高火山に近い南に偏る［早津 1994、早津 2007］。この KGc の年代は、1,100 ± 70 ～ 890 ± 30 yrs BP（cal AD 780 ～ 1,050）が得られている［早津 2007、早津 2008］。なお、この KGc に対比される可能性のある新潟焼山の早川火砕流中の炭化材のウィグルマッチング年代では、cal AD 1,225 ～ 1,244 の年代が得られている［早川ほか 2011］。



1. 堆積物断面の実体顕微鏡写真
2. 4 φ篩残渣中の軽鉱物
3. バブル（泡）型平板状火山ガラス（bl）
4. バブル（泡）型Y字状火山ガラス（b2）
5. 軽石型スポンジ状火山ガラス（p2）
6. 急冷破砕型フレーク状火山ガラス
7. 斜方輝石（0px）
8. 単斜輝石（Cpx）
9. 角閃岩（Ho）
10. 角閃岩（Ho）

第 15 図　テフラ中の火山ガラスと重鉱物

引用文献

早川由紀夫・藤根　久・伊藤　茂・Zaur Lomtatize・尾嵜大真・小林紘一・中村賢太郎・黒沼保子・宮島　宏・竹之内耕（2011）新潟焼山早川火砕流噴火の炭素 14 ウィグルマッチング年代．地学雑誌，120，536-546.

早津賢二（1994）新潟焼山火山の活動と年代－歴史時代のマグマ噴火を中心として－．地学雑誌，103，149-165.

早津賢二（2007）上越市用言寺遺跡における火山性堆積物とそれに関係した 2･3 の問題．新潟県埋蔵文化財調査報告書，183，66-73.

早津賢二（2008）妙高火山群－多世代火山のライフヒストリー．424p．実業広報社.

早津賢二・新井房夫（1985）妙高火山群テフラ地域のテフラ層．早津賢二著「妙高火山群－その地質と活動史－」：253-305，第一法規出版．
町田　洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス．336p，東京大学出版会．
横山卓雄・檀原　徹・山下　透（1986）温度変化型屈折率測定装置による火山ガラスの屈折率測定．第四紀研究，25，21-30．

5　樹　種　同　定

A　は　じ　め　に

丘江遺跡は柏崎平野の西部、鯖石川左岸の沖積地に立地する集落遺跡である。ここでは、出土した木製品 17 点について樹種同定を行った。

B　試 料 と 方 法

試料は、井戸や土坑、溝などから出土した木製品 17 点である。遺構の時期は、いずれも鎌倉～室町時代と推測されている。

これらの試料から、剃刀を用いて 3 断面（横断面・接線断面・放射断面）の切片を採取し、ガムクロラールで封入してプレパラートを作製した。これを光学顕微鏡で観察および同定、写真撮影を行った。

C　結　　果

樹種同定の結果、針葉樹はスギのみ 1 分類群、広葉樹はサクラ属とケヤキ、クリ、ブナ属、クマシデ属イヌシデ節（以下、イヌシデ節）の 5 分類群の、合計 6 分類群が確認された。結果の一覧を第 9 表に示す。

報告番号	種別	グリッド	遺構	層位	木取り	樹種
129	柱根	68N11	P10017	1	－	クリ
128	柱根	64H4	P9610	1	－	サクラ属
130	柱根	64G19	P9608	1	－	ケヤキ
127	柱根	－	SD9707	5	－	クマシデ属イヌシデ節
126	手代木？	66M20	SX10450	4	横木	スギ
117	刀子形	66M7	SX10450	3	柾目	スギ
118	杭	63L2	杭 9683	1	柾目	スギ
122	皿	65L9	SE10366	5	横木	ブナ属
123	皿	65L9	SE10366	5	柾目	ブナ属
124	漆器皿	66N18	SX10450	3	柾目	ブナ属
123	漆器椀	65L9	SE10366	5	横木	ケヤキ
125	漆器椀	64G21	SE9606	3	－	ブナ属
120	漆器椀	65I17	SD9622	5	柾目	ブナ属
119	漆器椀	65I17	SK9623	12	柾目	ブナ属
116	鍬	67J13	SE9514	5	板目	ブナ属
115	鐙	67L20	SE10270	4	板目	ケヤキ
131	柱根	67O21	SE10321	2	－	クリ

第 9 表　樹種同定結果一覧

以下に、同定根拠となった木材組織の特徴を記載し、光学顕微鏡写真を第 16 図に示す。

（1）スギ　*Cryptomeria japonica*（L.f.）D.Don　ヒノキ科

図版 1　1a-1c（実測 No.7）

仮道管と放射組織、樹脂細胞からなる針葉樹である。早材から晩材への移行はやや急である。樹脂細胞は主に晩材部に散在する。分野壁孔は大型のスギ型で、1 分野に通常 2 個並ぶ。

スギは暖帯から温帯下部に生育する常緑高木である。材は比較的軽軟で、切削加工は容易であり、割裂性は大きい。

（2）サクラ属（広義）　*Prunus* s.l.　バラ科

図版 1　2a-2c（実測 No.2）

やや小型の道管が、単独あるいは斜め方向に 2 ～ 3 個複合する散孔材である。道管の穿孔は単一で、内壁にはらせん肥厚がみられる。放射組織は同性で、1～5 列幅である。

サクラ属は温帯に生育する落葉または常緑の高木または低木である。サクラ属はさらにサクラ亜属やス

モモ亜属、モモ亜属、ウワミズザクラ亜属などに分類され、25 種がある。木材組織からはモモとバクチノキ以外は識別困難なため、この 2 種を除いたサクラ属とする。材は比較的重硬および緻密だが、加工容易である。

（3）ケヤキ　*Zelkova serrata*（Thunb.）Makino　ニレ科　図版 1　3a-3c（実測 No.18）

大型の道管が年輪のはじめに 1 列に並び、晩材部では小道管が集団をなして接線状から斜線状に配列する環孔材である。道管の穿孔は単一で、小道管にはらせん肥厚がみられる。放射組織は 3 ～ 5 列幅程度の異性で、上下端の細胞に大きな結晶をもつ。

ケヤキは暖帯下部に分布する落葉高木で、肥沃地や渓畔によく生育する。材は重硬だが、加工はそれほど困難ではなく、保存性が高い。

（4）クリ　*Castanea crenata* Siebold et Zucc.　ブナ科　図版 2　4a-4c（実測 No.1）

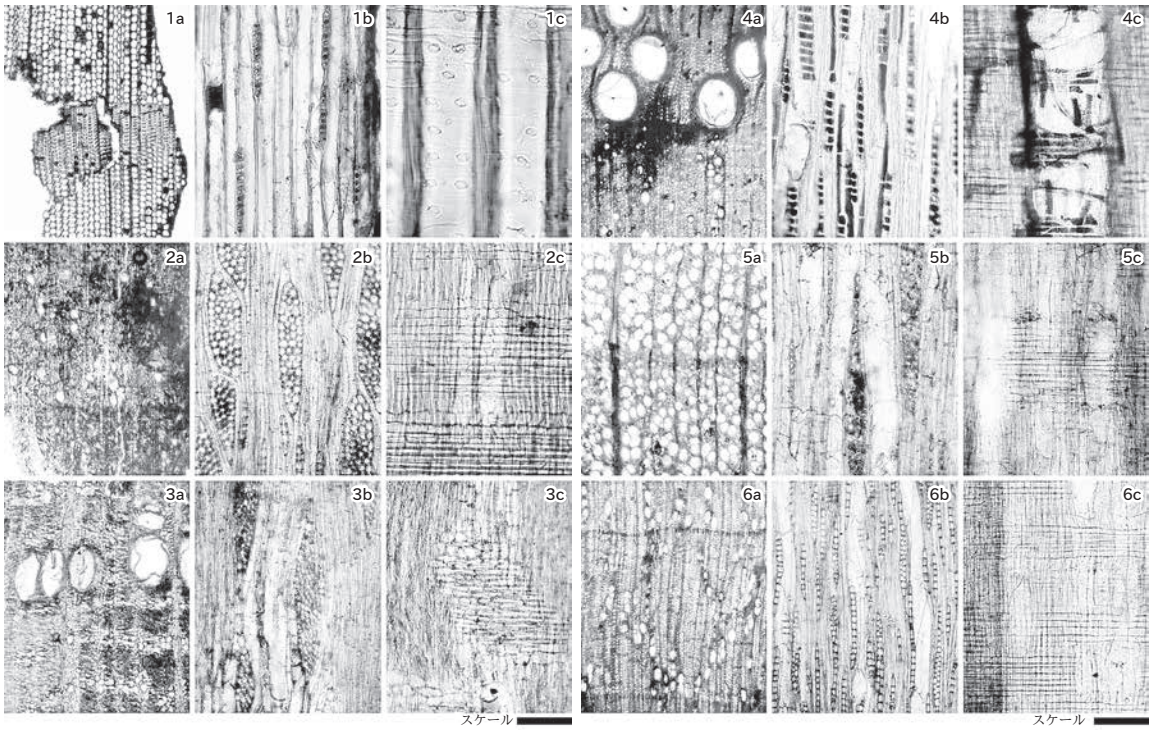
大型の道管が年輪のはじめに数列並び、晩材部では薄壁で角張った小道管が火炎状に配列する環孔材である。軸方向柔組織はいびつな線状となる。道管の穿孔は単一である。放射組織は同性で主に単列である。

クリは暖帯から温帯下部に分布する落葉高木である。材は重硬で、耐朽性および耐湿性に優れ、保存性が高い。

（5）ブナ属　*Fagus*　ブナ科　図版 2　5a-5c（実測 No.17）

小型で単独の道管が密に分布し、晩材部ではやや径を減ずる散孔材である。道管の穿孔は、単一のものと階段状の 2 種類がある。放射組織はほぼ同性で、単列のもの、2 ～数列のもの、広放射組織の 3 種類がある。

ブナ属は温帯に分布する落葉高木で、ブナとイヌブナがある。材は堅硬および緻密で、靱性があるが保



1a-1c. スギ（実測 No.7）、2a-2c. サクラ属（実測 No.2）、3a-3c. ケヤキ（実測 No.18）
a：横断面（スケール＝ 250μm）、b：接線断面（スケール＝ 100μm）、c：放射断面（スケール＝ 1：25μm、2-3：100μm）
4a-4c. クリ（実測 No.1）、5a-5c. ブナ属（実測 No.17）、6a-6c. クマシデ属イヌシデ節（実測 No.4）
a：横断面（スケール＝ 250μm）、b：接線断面（スケール＝ 100μm）、c：放射断面（スケール＝ 100μm）

第 16 図　出土木製品の光学顕微鏡写真

存性は低い。

（6）クマシデ属イヌシデ節　*Carpinus* sect. *Eucarpinus*　カバノキ科　図版２　6a-6c（実測 No.4）

やや小型から中型の道管が、単独もしくは放射方向に数個複合して分布する散孔材である。道管の穿孔は単一である。軸方向柔組織は晩材部で１列幅の接線状となる。放射組織は同性で１～３列幅、集合放射組織がみられる。

イヌシデ節は暖帯から温帯の低山地に分布する落葉中高木で、イヌシデとイワシデ、アカシデがある。材は重硬で靱性が大きく、割裂しにくい。

D　考　　察

器種別の樹種同定結果を第９表に示す。

皿２点と漆器皿１点はすべてブナ属で、漆器椀はケヤキが１点とブナ属が３点であった。中世以降の挽物容器は、全国的にブナ属やケヤキ、トチノキが良く使われる傾向があり［伊東・山田編 2012］、今回の分析でも同様の傾向がみられた。

樹種／器種	鐙	皿	漆器皿	漆器椀	刀子形	棒状	柱根	不明	総計
スギ					1	1		1	3
サクラ属							1		1
ケヤキ	1			1			1		3
クリ							2		2
ブナ属		2	1	3				1	7
クマシデ属イヌシデ節							1		1
総計	1	2	1	4	1	1	5	2	17

第 10 表　器種別の樹種同定結果

鐙はケヤキであった。全国の分析事例は古墳～平安時代の試料が多いが、ケヤキが最も多く、その他にアカガシ亜属やクリなどがみられ［伊東・山田編 2012］、中世でも同様の木材利用傾向であった可能性がある。いずれも重硬な木材であり、丈夫な材質の樹種が選択されたと思われる。

刀子形と杭・手代木？はスギで、鍬はブナ属であった。スギの材は軽軟で、加工容易である。

柱根は、クリが２点と、サクラ属とケヤキ、イヌシデ節が各１点であった。いずれも重硬な材である。新潟県内の遺跡では、中世の柱材にクリを中心とした多様な広葉樹が利用されている［伊東・山田編 2012］。今回の分析でも、特定の樹種ではなく複数の広葉樹が使用されており、これまでに知られているのと同様の傾向を示していると思われる。

参考・引用文献

平井信二（1996）木の大百科．394p，朝倉書店．
伊東隆夫・山田昌久編（2012）木の考古学－出土木製品用材データベース－．449p，海青社．

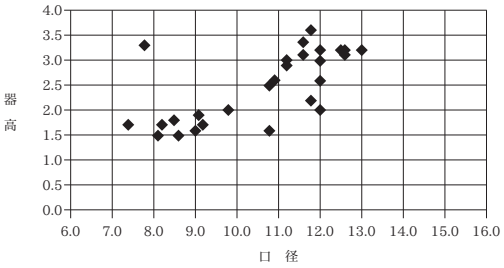
第Ⅶ章　ま　と　め

1　土器・陶磁器

丘江遺跡では、土師質土器を中心に珠洲焼などの国産陶磁器、白磁･青磁などの輸入陶磁器が出土した。遺物量は多くないが、各々の所産期をつかむことにより、丘江遺跡の主体となる時期を検討したい。検討するうえで、土器・陶磁器の分類・年代観は、既存の研究［上田 1982、小野 1982、春日 2015、小池 1999、品田 1999ab、鶴巻 1999、岩田 1997、森田 1982、藤澤 2008、水澤 2005、山本 2000・2010、吉岡 1994］などを参考にした。

土師質土器皿は、多くがＴ類で、Ｒ類は少ない。Ｔ類は形状から１類・２類に大別でき、さらに口径 10cm を境として皿・小皿に細分できる。両者の出土量はT1 類が多数を占め、T2 類は少量である。

土師質土器皿・小皿 30 点を対象として、器高×口径による法量分布を行ったところ、第 15 図の結果が出た。皿は口径 12cm 前後、小皿は 8.5cm 前後にまとまりが認められる。器高は、皿が 1.5cm から 3.5cm と幅を持つのに対し、小皿は 1.5cm から 2.0cm の範囲に収まる。

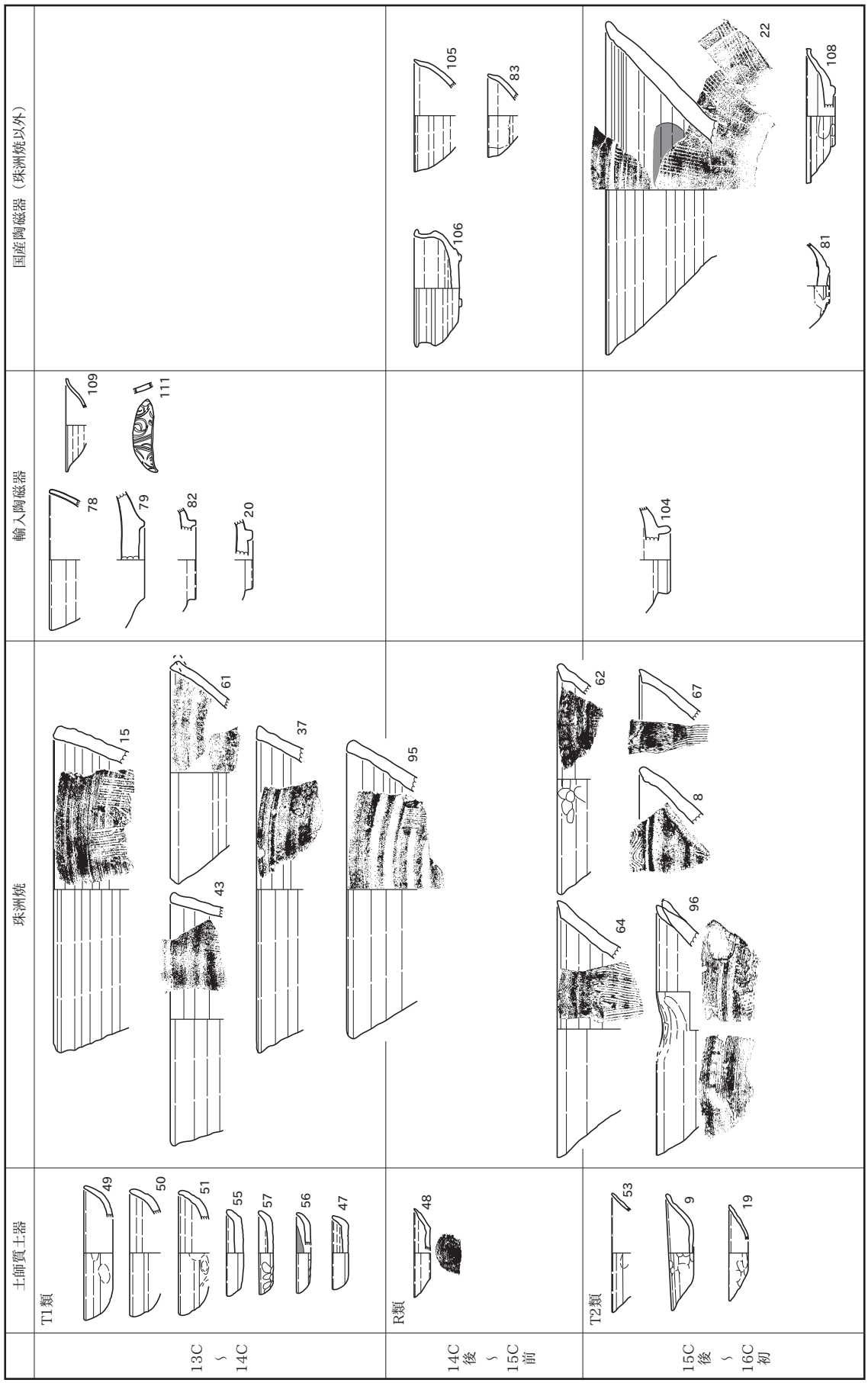


第 17 図　土師質土器の法量

この結果を基に、水澤氏の論考［水澤 2005］を用いて比較検討を行う。13 世紀～ 14 世紀は形態的な変化は明確でないが、大きくみると口径が縮小傾向にあり、口径が皿は 12 → 11cm、小皿は 8 → 7cm と変化する。本期に属する遺物群の類例として、丘江遺跡から南西へ約 3.5 キロにある下沖北遺跡の SK86 の資料群［山本 2003］が挙げられている。SK86 の資料群は、皿：口径 12cm 台主体、器高 3cm 台、小皿：口径 8cm 前後、器高 1.5 ～ 1.7cm で、時期は 13 世紀後半に位置付けられ、14 世紀前半には下らないとされる［水澤 2005］。SK86 から出土した資料群と丘江遺跡の法量は近い傾向にある。しかし、SK86 では見られない口径 11cm 台の皿が定量存在する。これは時代が下るにつれて、口径が縮小傾向にあるためで、丘江遺跡では 14 世紀前半の土師質土器皿も存在したと考える。後に続く、Ｒ類やT2 類の出土量が少量なことからも丘江遺跡の主体は 13 世紀中頃から 14 世紀前半と考える。

珠洲焼は、甕・壺・片口鉢が出土した。甕・壺に関しては多くが体部片で時期を比定することができなかったが、片口鉢の器形や口縁端部の形状からⅡ～Ⅴ期までのものを確認した。甕・壺も同時期内の所産と考える。片口鉢は、Ⅱ～Ⅲ期の出土量が最多で、Ⅳ期に入ると出土量が減少傾向となる。しかし、Ⅴ期では再び出土量が増加していることから、Ⅱ～Ⅲ期（13 世紀中頃）とⅤ期（14 世紀後半～ 15 世紀前半）に主体があった。Ⅲ期では竜泉窯系青磁椀（Ⅲ類）、口禿げ白磁皿類（Ⅸ類）が、Ⅳ期では瀬戸・美濃焼の天目茶碗、香炉が共伴することが多くなるとされる［吉岡 1994］。

輸入陶磁器は、白磁（109）、青磁（17・20・40・78・79・82・104）、青白磁（111）が出土した。109 は山本氏の分類では白磁皿Ⅸ類で、13 世紀中頃～ 14 世紀の所産である。青磁は椀が大半を占め、山本氏の分類では龍泉窯系椀のⅡ類が多く、これは 13 世紀中頃から 14 世紀初めの所産である。青白磁は梅瓶で年代は 13 世紀である。



第18図　土器・陶磁器の変遷

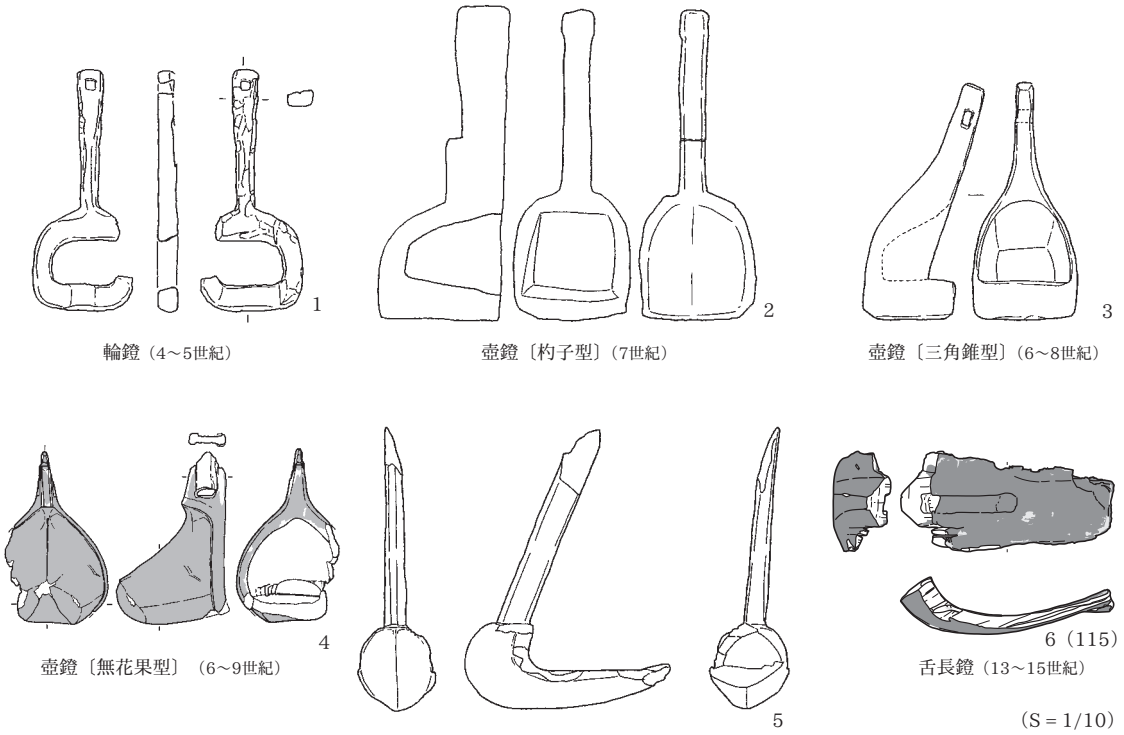
珠洲焼以外の国産陶磁器では、瀬戸・美濃焼、越前焼、肥前系陶器が出土した。瀬戸・美濃焼は、袴腰形香炉（106）と天目茶椀（83・105）がある。藤澤氏の編年では、106 は古瀬戸の後期様式Ⅳ期新にあたり、15 世紀後半の所産と考える。83・105 は古瀬戸の後期様式Ⅱ期にあたり、14 世紀後半から 15 世紀前半の所産である。越前焼擂鉢（22）は 15 世紀後半～ 16 世紀前半、肥前系陶器は、唐津焼の皿（80・81・103・108）で見込みに胎土目・砂目の痕跡が残り、大橋氏の編年ではⅠ期～Ⅱ 1 期のもので、年代は 16 世紀末～ 17 世紀前半である。

以上のことを踏まえて、出土土器の時期的変遷を示すと第 16 図となる。土師質土器をはじめ、輸入陶磁器は 13 ～ 14 世紀の時期に多く、この時期の国産施釉陶器はほとんど見当たらない。15 世紀前半から 16 世紀前半までの間は遺物出土量が減少する。16 世紀末に入ると肥前系陶器を含む国産施釉陶器の量が徐々に増す。遺物を見る限り、丘江遺跡の主体は 13 世紀から 14 世紀であるといえる。

2　舌長鐙について

鐙とは騎乗時に足を乗せる馬具で、乗り降りの際の足がかりとなるほか、馬上の騎乗者の騎座を安定させる役割を持つ。またその形状によって、輪鐙・壺鐙・舌鐙の 3 種類に分類できる。そのうち舌鐙は、舌部が短い半舌鐙と踵まで乗せ得る長さを持った舌長鐙がある。木製鐙の変遷は、5 世紀代の輪鐙に始まり、5 ～ 8 世紀代に壺鐙が流行し、8 世紀以降に舌鐙が出現するというものである［永井ほか 1996］。

今回の調査では、舌長鐙と考えられる木製鐙(115)がSE10270から出土した。木製鐙は新潟県において、柏崎市箕輪遺跡［春日・坂上ほか 2015］、胎内市草野遺跡［水澤 2004］から出土している。また箕輪遺跡は、



1　藤田新田遺跡（宮城県）　4　箕輪遺跡Ⅱ（新潟県）
2　嶋遺跡（山形県）　5　大毛沖遺跡（愛知県）
3　伊場遺跡（静岡県）　6　丘江遺跡（新潟県：本書）

第 19 図　木製鐙の分類（［坂上 2015］を転載・改変、（　）は主体時期）

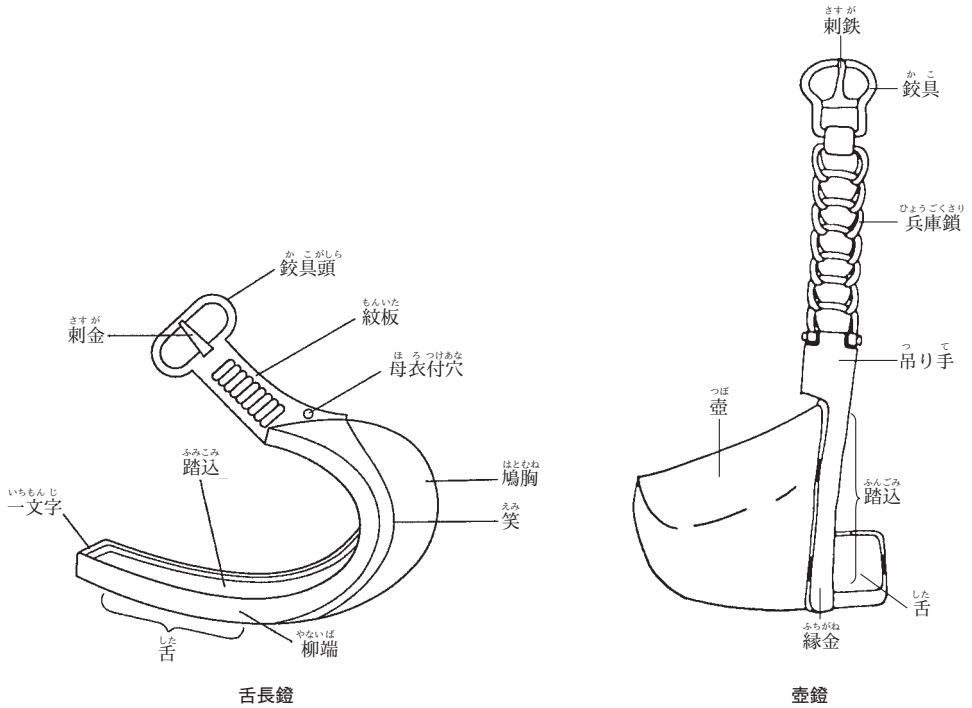
丘江遺跡と直線距離にして約 3km と近い場所に立地している。これらの出土例はどちらも壺鐙で、箕輪遺跡例（第 19 図 4）は 8 世紀後半～ 9 世紀前半、草野遺跡例は 8 世紀～ 9 世紀のものである。

舌鐙は 8 世紀～ 9 世紀に出現し、鎌倉時代以降に主流を占める。壺鐙から舌鐙への変遷の過程で、壺部の退化、そして舌部が発達していく変化が確認できる（第 19 図）。丘江遺跡の舌長鐙は壺部の古様は残しておらず、舌部が踵を覆うほど長い。また鳩胸の上部は切断されているため、吊り手に当たる部分の構造は不明であるが、長方形の紋板や円形の鉸具頭などがあったと推測できる（第 19 図）。年代が判別できる資料との共伴関係はなかったが、構造から鎌倉時代以降のものであろうと考えられる。調査で出土している土器の年代から判断すると、13 世紀～ 15 世紀のものである可能性が最も高いのではないだろうか。

丘江遺跡の木製舌長鐙は、吊り手部分を欠損するが全体的な遺存状態は良く、優品である。また黒色漆がほぼ全面に塗布されることを考えても、箕輪遺跡［春日・坂上ほか 2015］と同様に身分の高い人物の所有物ではないだろうか。完形の舌長鐙が遺跡から出土した例は全国的にも珍しく、今後の類例増加に期待したい。

3　五輪塔について

今回の調査で、五輪塔の部材が SE9623 から出土した。点数は火輪が 2 点、地輪が 1 点である。五輪塔の出土例は、上越市の旧得法寺跡［石川ほか 1998］や木田遺跡［北村 2001］がある。特に旧得法寺跡では、五輪塔の部材をそれぞれで細分化して分類し、形態差の検討を行っている。各形態差に多少の時期差があると考えられるが、紀年銘資料は出土していない［石川ほか 1998］。しかし、その後の水澤氏の検討により、14 世紀代に造塔が開始され、天正 16 年（1578）の観音寺廃絶時期まで石塔が存在していた可能性が高いことが明らかになった［水澤 2011］。



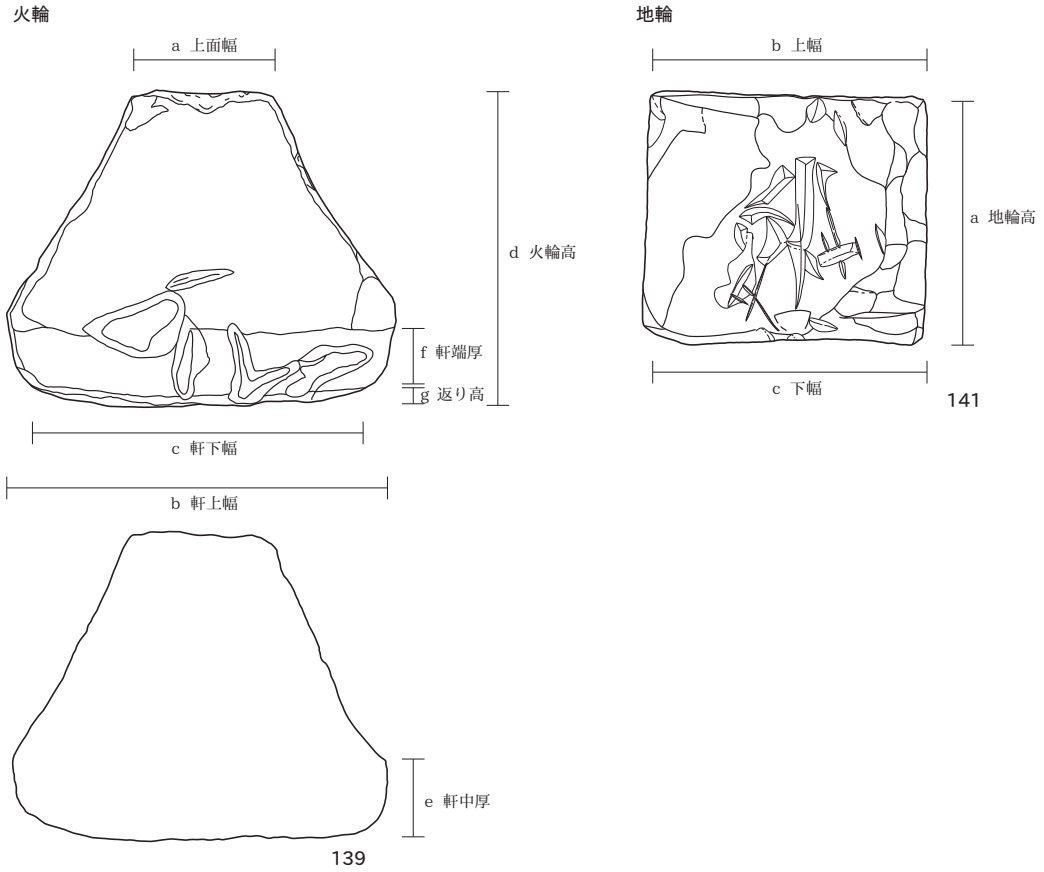
第 20 図　鎧の部分名称図（［鈴木友也 1991］を転載）

新潟県内の五輪塔は頸城平野に数千基が集中しており、編年が可能である［狭川・松井 2012］。年代的な位置づけとしては、水澤の研究［2011］に詳しい。これは五輪塔の紀年銘資料を計測することにより、数値に裏付けられた形態的変遷を明らかにしていくというものであり、［磯部 1992］が行った手法でもある。今回はこれらの研究を参考に、丘江遺跡出土の資料を数値化し、旧得法寺跡の資料や水澤氏の成果と比較検討したい。

まず火輪については、高幅比（「火輪高」÷「軒上幅」）（第 19 図）と上面のホゾ穴（空風輪を火輪に差し込む穴）の有無に着目する。一般的な傾向として、高幅比は 0.65 を超えるものが、鎌倉後期から南北朝初期（～1342）にかけてやや多く、16 世紀代まで散見される。特に 0.7 を超える高いものは、14 世紀から 15 世紀にかけて集中している。旧得法寺跡の資料では、出土した火輪 112 点のうち、5 点がホゾ穴が無いものであり、これら少数を 14 世紀代～ 15 世紀の初頭としている［水澤 2011］。

丘江遺跡から出土した火輪 2 点（139･140）は、どちらもホゾ穴は無く、幅高比は 139 で 0.65、140 で 0.74 という数値である。幅高比を見ると 139 は 14 世紀代、140 は 14 世紀～ 15 世紀代に多い数値を示している。またホゾ穴が無いことから、どちらの火輪も 14 世紀～ 15 世紀初頭の可能性がある。

次に地輪については、上下比（上幅÷下幅）と高幅比（地輪高÷上幅）に着目する（第 19 図）。上下比は、地輪の正面形が方形か、台形か、逆台形かを示すものであり、数値が高くなれば方形に近づく。幅高比は、上幅と高さの比率であり、数値が減少するに従って扁平化する［石川ほか 1998］。地輪の一般的な傾向として、鎌倉期には、幅高比が 0.7 以下のものが多数を占めているが、南北朝期以降ほとんどがそれを上回るようになる。0.8 を超えるものは、13 世紀末頃より現れ、南北朝期に比率を増し、14 世紀末より東



第 21 図　五輪塔部位呼称

国では主体をなすようになる。ただし、0.9 を超える正方形に近いものは、わずかの例外を除き南北朝期に限られる。また北陸では原材が枯渇するためか、15 世紀末より再び 0.7 を割り込む扁平なものも現れる［水澤 2011］。

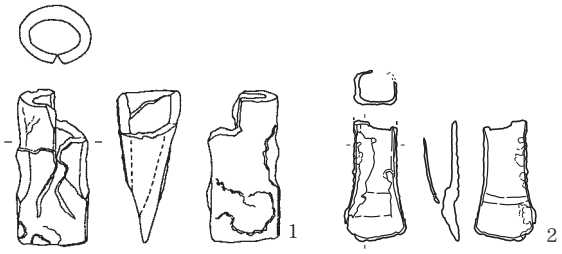
丘江遺跡から出土した地輪（141）は、上下比が 1.01、高幅比が 0.91 である。ほぼ方形で、扁平率が非常に低い。一般的な傾向から、この数値は 14 世紀代に多くみられる［水澤 2011］。また石の質や大きさから、140 の火輪とセットになる可能性が高いため、やはり 14 世紀～ 15 世紀初頭のものである可能性が高い。

以上、丘江遺跡の五輪塔について、数値化を通して旧得法寺跡の資料や水澤氏の成果と比較検討を行った。その結果、14 世紀～ 15 世紀初頭のものである可能性が高いと考える。

また、それらは高さ（火輪高･地輪高）が 20 ～ 24cm 程度であり、完形とすれば塔高が 3 尺程度になる。頸城平野では、15 世紀代に 3 尺以下の小型塔が多く造立されるようになるため［水澤 2011］、その傾向におおむね沿うと思われるが、火輪についてはホゾ穴がないなどの古い様相も見られた。ただし、五輪塔の火輪にホゾ穴が無いことは、鵜川荘を中心とする柏崎平野西部の特徴である可能性も考えられる。これについては、今後の課題としたい。

4　鉄　製　品

鉄斧などの鉄製工具が出土している。袋状鉄斧（144）は SK9624 から、鉄斧（145）は SE9619 から見つかった。丘江遺跡で見つかった鉄斧はどちらも鍛造品と考えられ、145 については鉄を内側に折りたたむ加工がされている。袋状鉄斧（144）については、袋部の断面形が四角形を呈し、肩部の形成は顕著ではない。また刃部と身部の境に段が付くことやそれらの厚さが異なることから、身と袋部とを別作りにしてのちに鍛接している可能性がある［村上ほか 2007］。以上の袋部や肩部の特徴から、丘江遺跡の袋状鉄斧は古様を残していると考えられる［小野ほか 2016］が、珠洲Ⅳ期の片口鉢体部が出土している SK9624 の時期（13 世紀後半～ 14 世紀）と大きくかけ離れることは考えにくいであろう。また中世遺跡での鉄斧出土の事例として、奈良県香芝市の高山火葬墓・高山石切場遺跡［下大迫 1994］がある。この遺跡では、石切遺構 NO,7 の堆積土層中から袋状鉄斧が見つかった。同遺跡からは石塔などが出土していることから、13 世紀を中心とした鎌倉時代中頃～後半にかけて採石された石切場と考えられ、見つかった鉄斧は石塔の加工に使われた可能性が指摘されている。丘江遺跡においても、鉄斧が出土した遺構と同一グリッド内の遺構（SE9623）から五輪塔部材が出土しているため、鉄斧を石材の加工に用いた可能性が考慮されてもよい。



1　高山火葬墓・高山石切場遺跡（奈良県）　2（144）丘江遺跡（本書）
（S = 1/6）

第 22 図　袋状鉄斧類例

5 遺　　構

前述したように、土器・陶磁器から遺跡の主体となる時期は13世紀中頃～14世紀後半と位置付けた。次に、遺物と遺構の対応関係を整理し、遺構の時期的変遷を検討してみる。

調査区東側及び西側のそれぞれ中央付近に沢状地形が存在し、これらを挟む形で掘立柱建物などの遺構群がある。南から調査区を見ると遺構検出面が「山」の字状に見え、調査区東と中央の遺構群は「山」の字状の先端にある。両遺構群の間にはSD9622があり、沢状地形（SD9619）と合流する。SD9622上部とSD9619の埋土は類似するため、自然地形を巧みに利用した区画溝であったと推定する。SD9622からは土師質土器（9・10）、珠洲焼片口鉢（14・15）、青磁椀（17）が出土しており、時期は13世紀～14世紀に加えて、15世紀後半も含まれる。区画溝として13世紀から15世紀後半まで存続していた可能性が高い。

次に、調査区中央の建物群と調査区西側の建物群に挟まれる沢状地形のSX10450からは、土師質土器はT1類の皿・小皿（49～57）、珠洲焼の片口鉢（61～66・95）が出土しており、年代は13世紀～15世紀のものが確認できる。出土物を見る限り、SX10450は集落が成立して間もない頃に埋め立てが行われた以降16世紀代まで周囲より低い地形であったと推定する。

調査区東では、主にSE9623、SK9624、SD9519・SD9520・SD9622、P9626から遺物が出土した。P9626は、SB9867の柱穴のひとつで、13世紀中頃から14世紀前半の所産とみられる土師質土器（1）・珠洲焼甕の底部（2）が出土した。掘立建物は3棟検出したが、柱穴の切り合い関係が無いため建物同士の新旧は不明である。SB9867とSB9959に関しては、軸方位が類似するため大きな時期差は無いと考える。建物群に隣接するSK9624からは土師質土器（3）、珠洲焼の片口鉢と甕（4・5）、袋状鉄斧（144）が出土した。土師質土器（3）については、褐色で胎土に雲母を多量に含んでいる。水澤氏が提唱した褐色の一群［水澤2005］に対応でき、年代は14世紀である。共伴した珠洲焼、鉄斧も同時期のものと推定される。また、SK9624から南西に10mの地点に、SE9623がある。ここからは土師質土器（19）、青磁椀の底部（20）、珠洲焼甕の転用砥石（21）、五輪塔・宝篋印塔の部材（139～141・143）が出土した。土師質土器の年代は15世紀後半、青磁椀が14世紀初頭と、出土物に時期幅を持つ。調査区東の遺構群については13世紀から15世紀と推定する。

調査区中央では、掘立柱建物を9棟検出し、それぞれ南北棟（SB10456・SB10457・SB10458・SB10460・SB10462）と東西棟（SB10459・SB10461・SB10463・10464）に大別が可能である。建物同士の新旧関係は、SB10459とSB10461のみ判断が可能で、柱穴の切り合い関係から後者の方が新しい。なお、どちらの建物も東西棟である。建物群の時期については、遺物が希薄なため比定することは難しい。

調査区西側では、掘立柱建物を14棟検出し、南北棟（SB10394・SB10395・SB10396・SB10397・SB10398・SB10399・SB10400・SB10442）と東西棟（SB10390）に、やや東、もしくは西に振れる棟（SB10388・SB10389・SB10392・SB10393）があり、建物同士の新旧関係は、SB10397とSB10398、SB10400とSB10442で判断が可能である。柱穴の切り合い関係でSB10397とSB10398では後者が、SB10400とSB10442では前者が新しい。SB10391・10396・10397・10442は軸方位がN-12°-EからN-15°-E内に治まることから同時期の建物と考える。SB10391とSB10394の間には区画溝SD9938があり、南北で建物群が分かれる。これは屋敷地の違いを示していると考える。埋土からは、時期が13世紀～

14 世紀となる土師質土器（32 ～ 34）、珠洲焼（37）が出土した。調査区西では、調査区中央や調査区東に比べ 13 世紀～ 14 世紀代の遺物が多く、SD9938 のほかに SE10003・SE10227 から出土した。前者からは土師質土器（24・29）が、後者では土師質土器（42）、珠洲焼片口鉢（43）、瓷器系陶器（44）が共伴している。調査区西の遺構群ついては 13 世紀から 14 世紀に比定される。

6　自然科学分析の成果

自然科学分析は、プラントオパール分析・花粉分析・大型植物遺体分析・テフラ分析・樹種同定を行った。ここでは主にプラントオパール分析と花粉分析の結果について検討する。

プラントオパール分析と花粉分析は調査区東壁（62G15）と、調査区西側で検出された沢状の落ち込み SX10450（66N13）の 2 地点の同一資料を用いて実施した。イネのプラントオパールは東壁（62G15）からは僅かしか検出されなかったが、調査区西側の沢状地形 SX10450-1b 層から大量に検出した。SX10450-1b 層は出土遺物から 15 ～ 17 世紀の土層と考える。SX10450-1b 層の下位には 10 層起源の黒褐色土と地山（基本層序Ⅳ層）起源の灰白色粘土が混じり合う土層が確認でき（3a・3b・4b・4c・5a 層など）、13 世紀の遺物が出土している。これは中世の丘江遺跡の上限に近い時期である。本章 5 で指摘しているように丘江遺跡の中世集落の成立期に沢を人為的に埋め戻した可能性が高い。SX10450-1b 層は花粉分析の結果から、樹木花粉の比率が他の分析資料よりも低率である点も留意しておきたい。丘江遺跡の成立した 13 世紀には、周辺に一定量の樹木が存在したが、15 ～ 17 世紀には周辺の宅地化・耕地化により、樹木が減少した可能性がある。なお、大型植物遺体分析では SE10321・SE10339 からイネの炭化した種子を多く検出したほか、SE9514 からシソ属の種子を多く検出した。これ以外では、量は多くないがメロンの仲間、ヒョウタンの仲間、ソバ、ナス、ナス属の種子、アサの核が検出されている。水田以外にも畑地が作られこれらの植物が栽培された可能性がある。

7　遺 跡 の 性 格

丘江遺跡の 2016（平成 28）年度の調査では、13 ～ 14 世紀に主体を持つ集落が確認された。集落は、区画溝と自然地形を利用して、3 地点に掘立柱建物群が分布する様相が確認できる。遺物では、青白磁梅瓶（111）、瀬戸・美濃焼の香炉（106）、漆塗りの舌長鐙（118）などの優品がみられる。丘江遺跡は地域における拠点的な集落で、有力な人物が存在する集落であった可能性がある。また、丘江遺跡の所在する茨目地区は鎌倉～室町時代には鵜川荘安田条の一部で、柏崎地域の有力氏族である毛利安田氏の支配地域であった。毛利安田氏との関連があった集落の可能性も考慮しなければならない。今後、平成 26・27 年度の調査成果が報告書として刊行されることにより、丘江遺跡の集落構造や広がりや変遷などが明らかになると思われる。

引用・参考文献

荒川隆史・加藤　学ほか　1999 『新潟県埋蔵文化財調査報告書　第 93 集　和泉 A 遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

飯坂盛泰　2014 「宝田遺跡」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報　平成 25 年度』 公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

石川智紀ほか 1998 『新潟県埋蔵文化財調査報告書　第 86 集　旧得法寺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

石川智紀ほか 2012 『新潟県埋蔵文化財調査報告書　第 241 集　山崎遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

磯部淳一　1992 「群馬県における五輪塔の編年」『高崎市史研究』2 高崎市

岩田　隆　1997 「第 6 章 第 2 項 越前」『中・近世の北陸』北陸中世土器研究会編　桂書房

上田秀夫　1982 「14 ～ 16 世紀の青磁椀の分類」『貿易陶磁研究』No.2　日本貿易陶磁研究会

大橋康二　1989 『肥前陶磁』 ニュー・サイエンス社

大野隆一郎・徳間正一ほか　1990 「大地」『柏崎市史』上巻　新潟県柏崎市市史編纂委員会

荻野正博　1986 「荘園と国衙領」『新潟県史』通史編 1　新潟県

小野哲也ほか 2016 「前近代の北方社会における鉄器流通実態の解明（2）」『岩手県立博物館研究報告　第 33 号』 岩手県立博物館

小野正敏　1982 「15 ～ 16 世紀の染付椀、皿と分類と年代」『貿易陶磁研究会』No.2

柏崎市史編さん委員会　1982 『柏崎市史資料集』考古編 2

柏崎市史編さん委員会　1987 『柏崎市史資料集』考古編 1

春日真実　2015 「第Ⅶ章 まとめ 1 土器・陶磁器」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 254 集 箕輪遺跡Ⅱ』 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

春日真実・坂上有紀ほか　2015 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 254 集 箕輪遺跡Ⅱ』 新潟県教育委員会・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

金子拓男　1990 「第 6 章 第 3 節 三島郡の分立、第 5 節 交通と交通路、第 6 節 延喜式内神社」『柏崎市史』上巻　新潟県柏崎市史編さん委員会

北村　亮　2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書　第 105 集　木田遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

小池邦明　1999 「第 5 章 中世 第 2 節 陶磁器の組成と変遷 第 1 項 中世前期」『新潟県の考古学』新潟県考古学会編　高志書院

国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所・公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団・藤村ヒューム管株式会社 2014 『柏崎市山崎遺跡現地説明会資料』

狭川真一・松井一明　2012 『中世石塔の考古学』 高志書院

品田高志　1991 「越中の中世土師器」『新潟考古学談話会会報』第 8 号　新潟考古談話会

品田高志　1995 「総括」『柏崎市内遺跡発掘調査報告書第 20 集 柏崎市の遺跡Ⅳ』 柏崎市教育委員会

品田高志　1996 「田塚山の中世仏道と墳墓」柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 21 集 田塚山遺跡群』 柏崎市教育委員会

品田高志　1999a 「第 5 章 第 3 節 第 1 項 中世土師器」『新潟県の考古学』 新潟県考古学会編 高志書院

品田高志　1999b 「越後における中世後期の土師器Ⅲ－京都系土師器第 2 派の流入と展開－」『中世土師器の基礎研究』XⅣ　日本中世土器研究会

品田高志ほか 1985a 『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 4 吉井遺跡郡』 柏崎市教育委員会

品田高志ほか 1985b 『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 5 刈羽大平・小丸山』 柏崎市教育委員会

品田高志ほか 1990 『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 13 吉井遺跡郡Ⅱ』 柏崎市教育委員会

品田高志ほか 1991　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 15 小児石』 柏崎市教育委員会
品田高志ほか 1996　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 21 集 田塚山遺跡群』 柏崎市教育委員会
品田高志ほか 1997　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 26 集 前掛り』 柏崎市教育委員会
品田高志ほか 1999　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 32 集 角田』 柏崎市教育委員会
品田高志ほか 2008　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 52 集 江ノ下』 柏崎市教育委員会
下大迫幹洋 1994　『高山火葬墓・高山石切場遺跡発掘調査報告書』 香芝市二上山博物館
白井雅明 2016　「山崎遺跡Ⅱ」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成 27 年度』 公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
品田高志・伊藤啓雄ほか 2001　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書第 38 集 柏崎町』 柏崎市教育委員会
鈴木郁夫ほか 1988　『土地分類基本調査 岡野町』 新潟県
鈴木郁夫ほか 1989　『土地分類基本調査 柏崎・出雲崎』 新潟県
鈴木友也ほか 1990　『日本馬具大観 第一巻古代上』日本馬具大鑑編集委員会編 吉川弘文館
鈴木友也ほか 1990　『日本馬具大観 第一巻中世』日本馬具大鑑編集委員会編 吉川弘文館
鈴木友也ほか 1991　『日本馬具大観 第一巻古代下』日本馬具大鑑編集委員会編 吉川弘文館
鈴木友也ほか 1991　『日本馬具大観 第一巻近世』日本馬具大鑑編集委員会編 吉川弘文館
高橋 保ほか 2002　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 109 集 箕輪遺跡』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
鶴巻康志ほか 1999　「第 5 章 中近世 第 2 節 B 中世後期」『新潟県考古学』 高志書院
永井久美男 1994　『中世の出土銭－出土銭の調査と分類』 兵庫県埋蔵銭調査会
永井久美男 1996　『日本中世出土銭総覧』 兵庫埋蔵銭調査会
永井宏幸ほか 1996　『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 66 集 大毛沖遺跡』 財団法人愛知県埋蔵文化財センター
中野 純・平吹 靖ほか 2006　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 47 集 与三』 柏崎市教育委員会
中野 純ほか 2009　『柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第 48 集 角田Ⅱ』 柏崎市教育委員会
藤沢良祐 1993　『瀬戸市史 陶磁史編四』 愛知県瀬戸市
藤沢良祐 2008　『中世瀬戸窯の研究』 高志書院
藤巻正信 1988　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 27 集 西田・鶴巻田遺跡群』 新潟県教育委員会
北陸中世土器研究会 1997　『中・近世の北陸』 中世土器研究会編
水澤幸一 2004　『中条町埋蔵文化財調査報告書第 30 集 草野遺跡 2 次』 中条町教育委員会
水澤幸一 2005　「越後の中世土器」『新潟考古』第 16 号 新潟県考古学会
水澤幸一 2011　『仏教考古学と地域史研究』 高志書院
村上恭通ほか 2007　「朝日遺跡 02Bd 区出土袋状鉄斧と東アジアの鉄斧製作技術」『愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第 138 集 朝日遺跡Ⅶ』 財団法人愛知県教育サービスセンター 愛知県埋蔵文化財センター
森田 勉 1982　「14 ～ 16 世紀の白磁の分類と編年」『貿易陶磁研究』No.2 貿易陶磁研究会
矢田俊文 1999　「戦国期越後の守護と守護代」『中世の越後と佐渡』 高志書院
山崎忠良ほか 2005　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 140 集 東町原遺跡・下沖北遺跡Ⅱ』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
山本信夫 2000　『太宰府条坊石跡XV－陶磁器分類編－』太宰府市の文化財 第 49 集 太宰府市教育委員会
山本信夫 2010　「貿易陶磁の分類・編年研究の現状と課題」『貿易陶磁研究』30 日本貿易陶磁研究会
山本 肇ほか 2003　『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第 125 集 下沖北遺跡Ⅰ』 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
吉岡康暢 1994　『中世須恵器の研究』 吉川弘文館
吉岡康暢 2003　「珠洲焼概論」『珠洲焼概論』 平成 15 年度埋蔵文化財専門職員実務研修資料集 新潟県教育庁文化行政課

掘立柱建物（SB）（1）

SB9867	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	64・65GH	3間（11.2）以上		1間＋廂（6.1）		N-76°-W	（68.3㎡）
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間一間＋平廂
						柱穴間隔（m）	
P9626	0.39	0.39	0.28	円形	U字状	P9626－P9601	1.7
						P9644－P9626	2.2
P9601	0.60	0.46	0.76	円形	漏斗状	P9601－P9610	2.7
P9610	0.45	0.35	0.77	円形	U字状	P9610－P9625	2.1
P9608	0.40	0.40	0.76	円形	U字状	P9625－P9608	1.9
P9625	0.28	0.26	0.24	円形	U字状	P9545－P9610	2.5
P9597	0.35	0.34	0.52	円形	U字状	P9610－P9597	3.6
P9573	0.26	0.23	0.15	円形	台形状	P9597－P9573	2.4
P9553	0.35	0.30	0.44	円形	U字状	P9573－P9553	1.8
P9542	0.35	0.34	0.53	円形	U字状	P9553－P9542	2.2
P9644	0.43	0.39	0.36	円形	U字状	P9644－P9599	2.3
P9599	0.30	0.27	0.12	円形	半円状	P9599－P9645	2.8
P9645	0.43	0.37	0.40	円形	U字状	P9645－P9548	2.8
P9548	0.35	0.32	0.30	円形	U字状	－	－
SB9959	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	63G・64G・64H	3間（4.0）		2間（2.3）		N-76°-W	9.2㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P9598	0.27	0.25	0.37	円形	U字状	P9598－P9541	1.4
P9541	0.43	0.37	0.35	円形	U字状	P9541－P9521	1.6
P9521	0.54	0.43	0.54	楕円形	U字状	P9521－P9613	0.9
P9613	0.30	0.25	0.36	円形	U字状	P9613－P9556	1.1
P9556	0.39	0.34	0.76	円形	U字状	P9556－P9567	1.1
P9567	0.23	0.21	0.16	円形	半円状	P9567－P9568	2.0
P9568	0.34	0.31	0.20	円形	半円状	（P9568－SE9527）	（2.3）
SB10186	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	64G・64H	3間（6.0）		2間（2.0）		N-10°-W	12.0㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9593	0.31	0.30	0.35	円形	U字状	P9593－P9531	2.0
P9531	0.28	0.25	0.21	円形	V字状	P9531－P9564	2.2
P9564	0.23	0.23	0.20	円形	U字状	P9564－P9580	1.7
P9580	0.64	0.50	0.49	楕円形	U字状	P9580－P9532	1.7
P9532	0.43	0.42	0.50	円形	U字状	P9532－P9586	1.7
P9586	0.35	0.34	0.46	円形	U字状	P9586－P9544	2.0
P9544	0.40	0.40	0.40	円形	U字状	P9544－P9620	2.0
P9620	0.23	0.20	0.25	円形	U字状	P9620－P9593	2.0
SB10456	位置	桁行		梁行		方位	面積
	64J・K	2間（4.1m）		2間（2.1m）		N-22°-E	8.6㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P9765	0.25	0.25	0.13	円形	U字状	P9765－P9763	2.0
P9763	0.30	0.30	0.44	円形	U字状	P9763－P9761	1.7
P9761	0.27	0.26	0.23	円形	U字状	P9761－P9777	2.3
P9777	0.22	0.21	0.13	円形	U字状	P9777－P9807	0.9
P9807	0.24	0.19	0.22	楕円形	U字状	P9807－P9801	1.2
P9801	0.25	0.20	0.26	楕円形	U字状	P9801－P9776	2.1
P9776	0.50	0.42	0.36	円形	V字状	P9776－P9765	2.0
SB10457	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	64K	3間（5.3m）		1間（2.2m）		N-27°-E	11.7㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9847	0.25	0.24	0.14	円形	半円状	P9847－P9854	2.0
P9854	0.24	0.20	0.17	円形	U字状	P9854－P9804	2.0
P9804	0.30	0.27	0.45	円形	U字状	P9804－P9806	1.3
P9806	0.27	0.20	0.27	楕円形	U字状	P9806－P9885	1.8
P9885	（0.15）	（0.10）	0.34	円形	U字状	P9885－P9790	2.4
P9790	0.30	0.26	0.57	円形	U字状	P9790－P9794	2.1
P9794	0.29	0.19	0.40	楕円形	U字状	P9794－P9731	1.4
P9731	0.32	0.32	0.30	円形	U字状	P9731－P9847	1.8
SB10458	位置	桁行（m）		梁行（m）		円形	面積
	64K	4間（5.5m）		1間（2.1m）		円形	11.6㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9710	0.30	0.21	0.30	楕円形	U字状	P9710－P9784	2.1
P9784	0.47	0.36	0.74	楕円形	U字状	P9784－P9860	1.8
P9860	0.22	0.22	0.20	円形	U字状	P9860－P9789	1.5
P9789	0.29	0.20	0.15	楕円形	半円状	P9789－P9782	2.2
P9782	0.46	0.44	0.60	円形	U字状	P9782－P9796	2.0
P9796	0.37	0.30	0.35	楕円形	V字状	P9796－P9723	1.4
P9723	0.34	0.21	0.56	楕円形	U字状	P9723－P9716	1.3
P9716	0.35	0.25	0.33	円形	U字状	P9716－P9714	1.4
P9714	0.23	0.19	0.26	楕円形	半円状	P9714－P9710	1.1

掘立柱建物（SB）（2）

SB10459	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	64K・64L	3間（5.7）		2間（3.9）		N-78°-W	22.2㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P9857	0.40	0.31	0.41	楕円形	U字状	P9857－P9727	2.5
P9727	0.35	(0.11)	0.22	(円形)	(半円状)	P9727－P9732	1.3
P9732	0.34	0.30	0.66	円形	V字状	P9732－P9850	2.0
P9850	0.27	0.21	0.72	楕円形	U字状	P9850－P9794	1.9
P9794	0.30	0.28	0.12	円形	U字状	P9794－P9841	2.0
P9841	(0.66)	0.29	(0.24)	(円形)	半円状	P9841－P9855	0.8
P9855	0.38	(0.19)	0.37	(円形)	U字状	P9855－P9879	1.5
P9879	0.22	0.19	0.24	円形	U字状	P9879－P9863	2.6
P9694	0.40	0.37	0.44	円形	U字状	P9863－P9787	1.5
P9787	0.27	0.25	0.17	円形	U字状	P9787－P9857	2.3

SB10460	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	64J・K	2間（5.2）		1間（2.6）		N-24°-E	13.5㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9773	0.31	0.21	0.32	楕円形	U字状	P9773－P9758	2.4
P9758	0.28	0.23	0.24	楕円形	U字状	P9758－P9762	2.4
P9762	0.30	0.30	0.35	円形	U字状	P9762－P9819	2.2
P9819	0.35	0.31	0.29	円形	U字状	P9819－P9808	2.8
P9808	0.29	0.25	0.23	円形	(半円状)	P9808－P9760	2.9
P9760	0.39	0.29	0.49	楕円形	U字状	P9760－P9773	2.5

SB10461	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	63・64K・L	2間（4.9）		1間（2.8）		N-53°-W	13.7㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9667	0.26	0.26	0.17	円形	U字状	P9667－P9705	2.3
P9705	0.33	(0.25)	0.57	(円形)	U字状	P9705－P9842	2.7
P9842	0.40	0.32	0.26	楕円形	台形状	P9842－P9859	2.8
P9859	0.38	0.32	0.47	円形	U字状	P9859－P9662	2.5
P9662	0.39	0.28	0.47	楕円形	U字状	P9662－P9663	2.0
P9663	0.34	0.31	0.36	円形	U字状	P9663－P9667	2.3

SB10462	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	64JK	2間（4.1）		2間（3.7）		N-15°-E	15.2㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P9633	0.39	0.36	0.25	円形	U字状	P9633－PP9871	2.2
P9871	0.32	0.26	0.26	楕円形	U字状	P9871－P9872	1.5
P9872	0.33	0.33	0.17	円形	半円状	P9872－P9738	4.1
P9738	(0.38)	0.35	0.41	円形	(U字状)	P9738－P9848	1.6
P9848	0.37	(0.32)	0.30	(円形)	U字状	P9848－P9795	1.9
P9795	0.68	0.38	0.33	楕円形	V字状	P9795－P9858	2.6
P9858	0.45	0.33	0.51	楕円形	U字状	P9858－P9633	1.5

SB10463	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	65K	2間（2.5）		1間（1.8）		N-84°-W	4.5㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9631	0.29	0.25	0.26	円形	U字状	P9631－P9638	1.5
P9638	0.30	0.30	0.12	円形	半円状	P9638－P9657	2.1
P9657	0.32	0.25	0.37	楕円形	U字状	P9657－P9641	1.8
P9641	0.24	0.22	0.18	円形	U字状	P9641－P9770	1.2
P9770	0.27	0.25	0.10	円形	U字状	P9770－P9631	1.3

SB10464	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	65・66K	2間（3.8）		1間（3.6）		N-77°-E	13.7㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9640	0.42	0.37	0.38	円形	U字状	P9640－P9653	3.6
P9653	0.30	0.30	0.23	円形	半円状	P9653－P9754	3.8
P9754	0.30	0.27	0.25	円形	半円状	P9754－P9660	3.3
P9660	0.26	0.21	0.23	楕円形	U字状	P9660－P9768	1.8
P9768	0.32	0.30	0.35	円形	U字状	P9768－P9640	1.9

SB10388	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	69P	2間（5.0）		2間（3.3）		N-65°-E	(16.5㎡)
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9826	0.40	0.34	0.53	円形	漏斗状	P9826－P9829	2.7
P9829	0.29	0.26	0.18	円形	U字状	P9829－P9831	2.3
P9831	0.35	0.28	0.37	楕円形	半円状	P9831－P9835	3.3
P9835	0.37	0.35	0.03	円形	半円状	－	－

SB10389	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	69P	2間（4.7）		2間（4.0）		N-35°-W	(18.8㎡)
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P9830	0.33	0.25	0.19	楕円形	U字状	P9830－P9833	2.2
P9833	0.25	0.25	0.39	円形	U字状	P9833－P9909	2.5
P9909	0.43	(0.28)	0.04	(円形)	半円状	P9909－P9836	1.7
P9836	0.70	0.40	0.34	楕円形	半円状	P9836－9904	2.3
P9904	0.38	0.34	0.30	円形	U字状	－	－

掘立柱建物（SB）（3）

SB10390	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	69O	1間（3.4）		1間（2.1m）		N-84° -W	7.1㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9912	0.32	0.32	0.47	円形	U字状	P9912－P9914	3.4
P9914	0.35	0.32	0.58	円形	U字状	P9914－P9913	2.0
P9913	0.35	0.33	0.32	円形	U字状	P9913－P9907	3.3
P9907	0.33	0.28	0.45	円形	U字状	P9907－P9912	2.1
SB10391	位置	桁行		梁行		方位	面積
	68O・69O	3間（8.1m）		2間（4.7m）		N-14° -E	38.1㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P9961	0.45	0.32	0.45	楕円形	U字状	P9961－P9916	2.5
P9916	0.33	0.31	0.24	円形	半円状	P9916－P9917	2.2
P9917	0.41	0.40	0.44	円形	箱状	P9917－P9973	3.3
P9973	0.32	0.29	0.42	円形	U字状	P9973－P9840	2.3
P9840	0.25	0.23	0.32	円形	U字状	P9840－P9940	2.4
P9940	0.35	0.35	0.29	円形	U字状	P9940－P9928	2.1
P9928	0.27	(0.24)	0.22	(円形)	U字状	P9928－P9922	2.3
P9922	0.44	0.31	0.18	楕円形	半円状	P9922－P9929	2.9
P9929	0.36	0.30	0.11	円形	弧状	P9929－P9961	5.4
SB10392	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	68O	1間（2.0）		1間（2.2）		N-19° -E	4.4㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9930	0.36	0.32	0.23	円形	U字状	P9930－P9974	2.2
P9974	0.32	0.25	0.41	楕円形	U字状	P9974－P10011	1.9
P10011	0.38	0.34	0.44	円形	漏斗状	P10011－P10033	1.6
P10033	0.32	0.28	0.20	円形	U字状	P10033－P9930	2.0
SB10393	位置	桁行		梁行		方位	面積
	68O	1間（3.2m）		1間（1.6m）		N-11° -W	5.1㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P9964	0.35	0.34	0.42	円形	U字状	P9964－P9965	1.6
P9965	0.50	0.41	0.45	楕円形	U字状	P9965－P9979	3.2
P9979	0.30	0.26	0.10	円形	弧状	P9979－P9970	1.2
P9970	0.29	0.29	0.35	円形	U字状	P9970－P9964	3.1
SB10394	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	67P	2間＋廂（4.7）		2間（2.2）		N-10° -E	10.3㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P10072	0.31	0.27	0.04	円形	弧状	P10072－P10336	1.9
P10336	0.38	0.33	0.24	円形	U字状	P10336－P10409	1.8
P10409	0.44	0.34	0.17	楕円形	半円状	P10409－P10298	2.2
P10298	0.40	0.33	0.31	楕円形	半円状	P10298－P10205	0.6
						P10320－P10298	0.8
P10205	0.32	0.32	0.34	円形	U字状	P10205－P10313	1.0
P10313	0.31	0.28	0.14	円形	U字状	P10313－P10292	1.2
P10292	0.24	0.23	0.21	円形	U字状	P10292－P10297	0.6
P10297	0.55	0.47	0.24	円形	半円状 半円状	P10297－P10401	2.0
						円形	1.4
P10401	0.37	0.37	0.11	円形	U字状	P10401－P10072	1.9
P10320	0.86	0.38	0.32	楕円形	U字状	－	－
SB10395	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	65O・65P	2間（4.2）		2間（2.4）		N-35° -E	10.1㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P10088	0.22	0.16	0.40	楕円形	U字状	P10088－P10078	1.5
P10078	0.25	0.24	0.24	円形	U字状	P10078－P10082	0.9
P10082	0.17	0.14	0.14	楕円形	U字状	P10082－P10081	1.6
P10081	0.26	0.24	0.23	円形	U字状	P10081－P10075	2.6
P10075	0.29	0.27	0.33	円形	U字状	P10075－P10102	1.9
P10102	0.15	0.11	0.11	楕円形	U字状	P10102－P10087	2.3
P10087	0.16	0.19	0.25	円形	U字状	P10087－P10088	1.7
SB10396	位置	桁行（m）		梁行（m）		方位	面積
	65O・66O	4間＋廂（9.6）		2間（4.3）		N-13° -E	41.3㎡
柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間2間
						柱穴間隔（m）	
P10283	0.35	0.26	0.19	楕円形	U字状	P10283－P10416	1.9
P10416	0.31	(0.15)	0.15	(円形)	U字状	P10416－P10212	2.4
P10212	0.26	0.23	0.05	円形	弧状	P10212－P10104	1.9
P10104	0.38	0.31	0.05	楕円形	半円状	P10104－P10108	2.3
P10108	0.38	0.30	0.44	楕円形	U字状	P10108－P10103	1.9
P10103	0.39	0.38	0.21	円形	U字状	P10103－P10098	1.6
P10098	0.34	0.23	0.13	楕円形	半円状	P10098－P10084	1.9
P10084	0.25	0.20	0.36	楕円形	U字状	P10084－P10079	4.2
P10079	0.37	0.27	0.29	楕円形	U字状	P10079－P10114	2.2
P10114	0.37	0.38	0.26	円形	U字状	P10114－P10116	2.0
P10116	0.37	0.36	0.16	円形	U字状	P10116－P10260	1.9
P10260	0.44	0.22	0.18	楕円形	U字状	P10260－P10220	1.7
P10220	0.32	0.32	0.29	円形	U字状	P10220－P10283	1.6
						P10220－P10110	2.1
P10110	0.35	0.34	0.44	円形	U字状	P10110－P10104	2.2

掘立柱建物（SB）（4）

SB10397	位置	桁行（m）	梁行（m）	方位	面積
	65O・65P・66O・66P	4間（6.5）	1間（4.4）	N-15°-E	（28.6㎡）

柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P10129	0.34	0.34	0.35	円形	U字状	P10129－P10173	4.3
P10173	0.36	0.32	0.24	円形	U字状	P10173－P10208	2.2
P10208	0.50	0.45	0.41	円形	U字状	P10208－P10245	1.2
P10245	0.37	0.34	0.30	円形	U字状	P10245－P10118	1.5
P10118	0.41	0.40	0.40	円形	V字状	P10118－P10092	1.5
P10092	0.38	0.26	0.13	楕円形	U字状	－	－
P10161	0.34	0.34	0.24	円形	V字状	P10161－P10123	1.0
P10123	0.40	0.38	0.38	円形	U字状	P10123－P10129	2.3

SB10398	位置	桁行（m）	梁行（m）	方位	面積
	66O・66P	3間（5.1m）	1間（2.4）	N-11°-E	12.2㎡

柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P10209	0.24	0.19	0.13	楕円形	U字状	P10209－P10323	3.0
P10323	0.22	0.20	0.27	円形	U字状	P10323－P10286	1.1
P10286	0.49	0.27	0.39	楕円形	V字状	P10286－P10282	2.1
P10282	0.30	（0.19）	0.08	（円形）	弧状	P10282－P10201	2.2
P10201	0.36	0.36	0.35	円形	U字状	P10201－P10124	3.1
P10124	0.40	0.31	0.26	楕円形	U字状	P10124－P10126	2.3
P10126	0.26	（0.19）	0.09	（円形）	弧状	P10126－P10202	1.5
P10202	0.35	0.34	0.30	円形	U字状	P10202－P10209	1.1

SB10399	位置	桁行（m）	梁行（m）	方位	面積
	66O・67O	2間（4.2m）	1間（3.2）	N-27°-E	13.4㎡

柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P10296	0.33	0.26	0.23	楕円形	U字状	P10296－P10061	3.3
P10061	0.39	0.32	0.44	楕円形	U字状	P10061－P10070	2.0
P10070	0.28	0.21	0.24	楕円形	U字状	P10070－P10304	2.8
P10304	0.27	0.25	0.20	円形	U字状	P10304－P10254	3.0
P10254	0.50	0.39	0.38	楕円形	U字状	P10254－P10206	1.8
P10206	0.35	0.35	0.56	円形	U字状	P10206－P10296	2.5

SB10400	位置	桁行	梁行	方位	面積
	66O・66P・67O・67P	3間（6.9m）	1間（3.6m）	N-21°-E	24.8㎡

柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P10317	0.40	0.40	0.37	円形	漏斗状	P10317－P10332	3.8
P10332	0.58	0.39	0.40	楕円形	U字状	P10332－P10414	4.3
P10414	0.50	0.30	0.48	楕円形	V字状	P10414－P10285	2.5
P10285	0.35	0.35	0.34	円形	U字状	P10285－P10152	3.0
P10152	0.37	0.33	0.31	円形	U字状	P10152－P10160	2.8
P10160	0.36	0.35	0.34	円形	半円状	P10160－P10413	2.3
P10320	0.40	0.32	0.23	楕円形	U字状	P10320－P10317	1.9

SB10442	位置	桁行（m）	梁行（m）	方位	面積
	66P・67P	5間（8.9m）	1間（3.4m）	N-12°-E	（30.3㎡）

柱穴	長径（m）	短径（m）	深さ（m）	平面	断面	構造	梁間1間
						柱穴間隔（m）	
P10307	0.22	0.20	0.30	円形	U字状	P10307－P10331	3.4
P10331	0.44	0.42	0.66	円形	U字状	P10331－P10299	1.7
P10299	0.25	0.22	0.31	円形	U字状	P10299－P10148	1.6
P10148	0.64	0.46	0.35	楕円形	半円状	P10148－P10125	2.0
P10125	（0.24）	0.25	0.03	円形	弧状	P10125－P10175	1.9
P10175	0.39	0.37	0.20	円形	U字状	P10175－P10163	1.7
P10163	0.46	0.39	0.14	円形	U字状	－	－
P10301	0.26	0.23	0.22	円形	U字状	P10301－P10307	1.5

井　戸（SE）（1）

番号	種別	グリッド		長径・長軸（m）	短径・幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	埋土	切り合い	主な出土遺物・備考
9513	SE	67J	12・17	0.73	0.66	1.06	円形	U字状	斜位	－	
9514	SE	67J	13	0.83	0.64	1.59	楕円形	箱状	水平	－	土師質土器/鍬（116）
9527	SE	63H 64H	5 1	0.80	0.80	0.80	円形	箱状	レンズ状	<SD9526	
9538	SE	65H	2	（1.12）	（0.98）	1.26	楕円形	（台形状）	レンズ状	－	
9554	SE	64G 64H	21・22 1・2	0.76	0.72	0.91	円形	U字状	レンズ状	－	漆器
9594	SE	64H	12	0.86	0.86	0.81	円形	階段状	レンズ状	>SK9624	
9606	SE	63G 64G	25 21	0.89	0.83	1.24	円形	台形状	水平	<P9605 <SD9526	漆器椀（125）
9607	SE	64H	1・2	0.72	0.42	0.88	楕円形	台形状	レンズ状	>P9620 >P9621	
9618	SE	64H	20	0.90	0.86	1.15	円形	箱状	ブロック状	－	
9619	SE	64H 64I	24・25 4・5	1.39	1.35	1.38	円形	漏斗状	レンズ状	－	鉄斧（145）
9623	SE	65I	2・6 7・8 11・12 13・16 17・18	4.74	4.16	1.87	円形	半円状	レンズ状	－	土師質土器（19）/青磁（20）/珠洲焼（21）/曲物（113）/漆器椀（119）/石塔類（139～142）/刀子（146）/板/種子
9688	SE	63K	14・15 19・20	1.52	1.08	1.54	楕円形	U字状	レンズ状	－	

井　戸（SE）（2）

番号	種別	グリッド		長径・長軸（m）	短径・幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	埋土	切り合い	主な出土遺物・備考
9717	SE	64K	16	1.23	0.96	1.46	楕円形	箱状	斜位・レンズ状	>P9841 >P9855	土師質土器/越前焼（22）
9899	SE	63K 64K	10・15 6	(1.56)	(1.37)	0.82	円形	台形状	斜位	<SD9665	土師質土器/陶磁器
9906	SE	69P	18・23	0.78	(0.60)	0.64	(円形)	箱状	斜位	－	
9972	SE	68O 69O	15 11	1.05	1.02	1.01	円形	台形状	レンズ状	－	
10001	SE	68N	22・23	0.90	0.85	0.92	円形	U字状	レンズ状	－	珠洲焼
10003	SE	68N	16・17	(0.81)	(0.74)	(0.61)	円形	U字状	レンズ状	<SX10002	土師質土器（29）
10007	SE	68N	8・13	0.62	0.55	0.44	方形	箱状	単層	－	土坑か
10014	SE	68N	8	(0.68)	0.64	0.68	円形	U字状	レンズ状	<SD10022	
10015	SE	68N	12・17	0.94	0.84	0.68	方形	箱状	レンズ状	－	木、土坑か
10036	SE	68N	14・15	(0.72)	(0.60)	0.92	(円形)	箱状	レンズ状	<SK10018	木器（114・121 ～ 123）
10037	SE	68N	1・2 6・7	0.91	0.83	0.98	円形	U字状	ブロック状	<P10038	
10053	SE	66O	9・10	(0.80)	(0.79)	1.13	(円形)	U字状	水平	<P10054	
10057	SE	66O	14・15	1.08	0.99	1.40	円形	台形状	レンズ状	<P10055	土師質土器/珠洲焼（34）/木
10069	SE	67O	1・6	(1.05)	(0.92)	(0.84)	円形	台形状	水平	>P10069	
10132	SE	66O	22・23	0.75	0.70	1.54	円形	箱状	水平	<SD9942	
10167	SE	65O 66O	15 11	1.05	0.93	1.36	円形	台形状	斜位	<SD10111	
10169	SE	65O	19・24	0.68	0.64	1.30	円形	U字状	斜位	－	
10170	SE	65O	20・25	0.94	0.93	1.16	円形	V字状	レンズ状	－	
10181	SE	68O	2	0.90	0.87	0.88	円形	U字状	水平	<P10039 <P10040	
10227	SE	68N	10・15	0.94	0.82	0.92	円形	台形状	水平・斜位	<SK10018	
10230	SE	67L	17・22	0.98	0.96	1.54	円形	箱状	レンズ状	－	
10231	SE	66L	18	0.78	0.68	0.94	円形	台形状	水平・レンズ	－	
10232	SE	68N	2・3 7・8	(1.15)	(1.00)	(1.68)	円形	U字状	レンズ状	<SD10021 <SX10029 >P10275 >P10276	青磁
10239	SE	66N	14・15 19・20	0.90	0.84	0.78	円形	箱状	レンズ状	<SX10030	
10241	SE	66O	4・9	0.74	0.74	0.83	方形	U字状	レンズ状	<P10255	砥石（136）
10268	SE	67K	6・11	1.09	0.94	1.50	円形	箱状	レンズ状	－	板材
10269	SE	66K	15	0.69	0.66	0.88	円形	箱状	レンズ状	－	珠洲焼（23）
10270	SE	67K	9・10 14・15	(0.95)	(0.90)	0.73	(方形)	箱状	レンズ状	<SD10226	鐙（115）
10277	SE	67K	24	(0.71)	(0.69)	1.22	(円形)	台形状	レンズ状	<SX10235	土師質土器（24）
10280	SE	66O	13・14	(1.26)	(1.12)	1.41	円形	階段状	レンズ状	<P10416 <P10281	土師質土器/珠洲焼
10321	SE	67O	16・21	(1.24)	(1.14)	1.36	円形	箱状	レンズ状	<SD9941	土師質土器（42）/珠洲焼（43・44）/柱根（131）
10339	SE	67O 67P	22 2	1.09	0.56	1.21	楕円形	U字状	レンズ状	<P10338	
10342	SE	66L	4・5	1.14	0.88	1.56	楕円形	U字状	レンズ状	－	珠洲焼
10366	SE	65L	9	0.84	0.81	1.10	円形	箱状	レンズ状	－	土師質土器

土　坑（SK）（1）

番号	種別	グリッド		長径・長軸（m）	短径・幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	主な出土遺物・備考
9511	SK	66J 66K 67K	24・25 4・5 1	(2.93)	1.74	0.21	楕円形	弧状	単層	<SK9517	土師質土器
9515	SK	66J	5	0.87	0.84	0.45	円形	U字状	レンズ状	>SK9516	礫
9516	SK	66J	5	(0.82)	(0.21)	0.32	(円形)	(箱状)	水平・斜位	<SK9515	礫
9517	SK	66K 67K	5 1	(0.48)	0.45	0.51	円形	箱状	水平・レンズ	>SK9511	土師質土器/越前焼（23）/板
9624	SK	63H 64H	15・20 11 ～ 14 16 ～ 19 21 ～ 24	8.29	3.51	0.89	楕円形	台形状	レンズ状	<SE9594 <仮10002 <SD9526	土師質土器（3）/珠洲焼（4・5）/曲物/鉄斧（144）/須恵器/礫/木
9630	SK	64I	10・15	(1.18)	(0.63)	0.28	(楕円形)	弧状	レンズ状	<P9629	曲物
9650	SK	65K	13・14	0.59	0.51	0.61	円形	箱状	単層	－	
9655	SK	64I 65I	5・10 1・6	2.20	1.10	0.43	楕円形	台形状	レンズ状	－	青磁/珠洲焼
9685	SK	63K	8・9 13・14	1.06	0.93	0.90	方形	箱状	レンズ状	－	
9709	SK	64K	20	0.83	0.63	0.11	楕円形	弧状	レンズ状	－	
9755	SK	65J	19・20	0.64	0.56	0.86	円形	箱状	レンズ状	－	
9756	SK	65K	19	0.85	0.79	0.85	方形	箱状	レンズ状	－	珠洲焼（25）/礫
9788	SK	64L	5	0.93	0.68	0.20	楕円形	箱状	水平	<P9715	
9780	SK	65K	11	0.91	0.80	0.81	方形	箱状	レンズ状	－	
9814	SK	65K	9・10	0.58	0.42	0.12	円形	箱状	水平	<P9715	珠洲焼（26）
9816	SK	64J	18・23	0.82	0.77	0.61	円形	箱状	レンズ状	－	
9817	SK	63J	25	0.76	0.61	0.30	楕円形	台形状	レンズ状	－	
9874	SK	64K	6	(0.88)	(0.67)	(0.30)	楕円形	箱状	単層	<P9852 <P9861 >P9885 >P9886	
9895	SK	65J	11	0.70	0.68	0.62	円形	箱状	レンズ状	－	
9896	SK	65J	9・10 14・15	0.92	0.88	0.13	円形	弧状	単層	－	
9944	SK	67O	13・14	0.89	0.80	0.60	円形	箱状	斜位	>SD9941	珠洲焼
9975	SK	68N	13・18 19	1.65	0.78	0.10	長方形	弧状	レンズ状	>SK9981 >SK9980	

土　坑（SK）（2）

番号	種別	グリッド		長径・長軸（m）	短径・幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	覆土（埋土）	切り合い	主な出土遺物・備考
9976	SK	68N	19・20 24・25	2.37	1.15	0.21	長方形	箱状	レンズ状	>SK9981 >P9997 >P10012	珠洲焼
9980	SK	68N	13	(1.31)	(1.20)	(0.21)	方形	弧状	レンズ状	<SK9975	
9981	SK	68N	18・19 24	(0.85)	(0.81)	(0.20)	楕円形	弧状	レンズ状	<SK9976	
10016	SK	68N	9・10 14・15	(2.62)	1.15	0.20	楕円形	箱状	レンズ状	−	
10018	SK	68N	9・10 14・15	(3.00)	1.15	0.26	円形	箱状	ブロック状	>SE10227 >SE10036 >P10017	
10024	SK	68N	2・7	2.24	0.86	0.41	長方形	箱状	斜位	>P10032 >P10035	土師質土器
10115	SK	65O	4・9	0.82	0.76	0.65	円形	V字状	斜位	−	
10197	SK	68M	8	(0.80)	(0.75)	(0.50)	円形	箱状	レンズ状	−	珠洲焼
10222	SK	67M	2・3	0.84	0.70	0.26	円形	半円状	レンズ状	−	
10224	SK	67M 67N	19・20 24・25 4・5 9・10	2.90	1.58	0.38	楕円形	弧状	レンズ状	>P10453 >P10454	珠洲焼（30・31）
10228	SK	66L	19・24	0.72	0.58	0.68	楕円形	U字状	単層	−	
10229	SK	66L 67L	15・20 11・12	3.50	0.72	0.17	楕円形	弧状	レンズ状	−	
10272	SK	66K	13・14	0.71	0.68	0.10	円形	弧状	単層	−	
10358	SK	67K 67L	21 1	(0.78)	(0.60)	(0.18)	楕円形	半円状	単層	>P10359 <SD10234	
10360	SK	66L	14・15	0.79	0.63	0.22	楕円形	弧状	単層	−	
10368	SK	65L	1	0.47	0.32	0.32	楕円形	半円状	レンズ状	−	
10455	SK	67N	12	1.28	(0.64)	0.39	(楕円形)	弧状	レンズ状	<SD10441	

溝（SD）（1）

番号	種別	グリッド		長径・長軸（m）	短径・幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	埋土	切り合い	出土遺物
9501	SD	62G・62H・62I・62J、63G	−	27.0 以上	2.82	1.01	−	半円状	レンズ状	>SD9520	珠洲焼/陶磁器/漆器/木
9519	SD	63・64I	−	14.33 以上	3.24	0.90	−	台形状	レンズ状	−	土師器（6・7）/珠洲焼
9526	SD	64G 64H	−	9.05 以上	0.71	0.12	−	弧状	単層	>SE9527	珠洲焼（8）・刀子（147）
9622	SD	66I ～ 67I 64 ～ 66J	−	33.91 以上	2.10	0.74	−	台形状	レンズ状	>SD9501	土師質土器（9・10）/珠洲焼（12 ～ 15）/越前焼（16・18）/青磁（17）/漆器椀（120）/石製品（133・135・138）/鉄滓（149）
9661	SD	63L	−	7.5 以上	0.28	0.09	−	弧状	単層	−	
9665	SD	63K・L	−	9.50 以上	0.86	0.18	−	弧状	レンズ状	>SE9899 >P9679 >P9680 >P9681 >P9684 >P9686 >P9704	土師質土器/珠洲焼
9707	SD	64L	−	(2.02)	0.63	0.05	−	弧状	単層	−	土師質土器/陶磁器/石
9708	SD	64K	−	(15.40) 以上	0.60	0.50	−	弧状	単層	>9729 >P9845 >SK9874 >P9740 ほか多数 <SD9707	土師質土器/陶磁器
9824	SD	61F・G・H	−	(19.16) 以上	0.66	0.17	−	半円状	レンズ状	−	
9938	SD	67・68O 67・68P	−	(26.56) 以上	2.43 ～ 2.70	0.48 ～ 0.54	−	弧状	レンズ状	<SD9941 <SD9942 <SD9943 <SD9946 <P9950 <P9951	土師質土器（38 ～ 40）/珠洲焼（41 ～ 44）/礫/木/杭
9941	SD	65・66P 66・67O	−	(21.55) 以上	1.54 ～ 2.24	0.10	−	弧状	単層	>SD9938 >SE10321 >SE10132 ほか多数	珠洲焼/陶磁器
9942	SD	66・67O	−	(15.58) 以上	0.57 ～ 0.64	0.06 ～ 0.12	−	弧状	単層	>SD9938 ほか多数	
9943	SD	67O	−	6.07	0.61	0.09	−	弧状	単層	>SD9938 >P9948 >P10046 >P10096 >P9949	土師質土器（46）
9946	SD	67N・O	−	4.65	0.46 ～ 0.60	0.05	−	弧状	単層	>SD9938 >P10067	
10021	SD	68L・M・N	−	(13.48) 以上	0.72	0.07	−	弧状	単層	>SE10232 >SD10191 >SD10192 >SD10193 >SD10233 >SX10029	珠洲焼
10022	SD	68N	−	(8.29) 以上	0.77	0.04	−	弧状	単層	>SE10014 >P9991 >P9992 >P9993 >P10026 >SX10002	

溝（SD）（2）

番号	種別	グリッド		長径・長軸（m）	短径・幅（m）	深さ（m）	平面形	断面形	埋土	切り合い	出土遺物
10111	SD	65・66O	－	2.82	0.61	0.08	－	弧状	単層	>P10429 >SE10167	
10183	SD	68L・M	－	9.49	0.56	0.04	－	弧状	単層	>SD10191 >SD10192 >SD10193 >SD10233	
10184	SD	67・68M	－	7.74	0.59	0.08	－	弧状	単層	>SD10191 >SD10192 >SD10193 >SD10233	
10185	SD	67・68M	－	6.25	0.54	0.07	－	弧状	単層	>SD10191 >SD10192 >SD10233	
10191	SD	67・68M	－	（11.43）	0.66	0.13	－	弧状	単層	<SD10021 <SD10183 <SD10184 <SD10185	土師質土器/珠洲焼（27）
10192	SD	67・68M	－	（11.85） I以上	0.44	0.21	－	弧状	レンズ状	<SD10021 <SD10183 <SD10184 <SD10185	土師質土器/珠洲焼（28）
10193	SD	67・68M	－	（8.34） 以上	0.71	0.29	－	台形状	水平	<SD10021 <SD10183 <SD10184	
10226	SD	67J・K・L 68L	－	（17.52） 以上	0.49	0.09	－	弧状	単層	>SE10270	
10233	SD	67M 68L・68M	－	（11.32） 以上	0.68	0.12	－	箱状	単層	<SD10021 <SD10183 <SD10184 <SD10185	
10234	SD	66K・L	－	6.43	0.35	0.09	－	弧状	単層	>SX10235 >SK10358	
10237	SD	67L	－	3.74	0.57	0.15	－	半円状	レンズ状	－	
10249	SD	66O	－	0.79	0.28	0.10	－	半円状	単層	<P10107	
10271	SD	66・67K	－	3.31	0.74	0.09	－	弧状	単層	－	
10273	SD	66K	－	2.79	0.55	0.16	－	台形状	レンズ状	－	
10274	SD	66K	－	1.78	0.35	0.05	－	弧状	単層	－	
10348	SD	65K	－	2.03	0.30	0.08	－	弧状	単層	>P10370	
10369	SD	64・65L	－	（8.16） 以上	0.28	0.07	－	弧状	単層	－	
10385	SD	64・65N	－	12.02	0.66	0.10	－	弧状	単層	<SX10450	
10437	SD	66N	－	（9.18） 以上	0.47	0.08	－	弧状	単層	<SX10450	土師質土器（86）
10440	SD	66N	－	（3.84） 以上	0.60	0.15	－	弧状	単層	<SX10450	
10441	SD	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
10442	SD	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
10445	SD	66・67N	－	（4.00） 以上	0.77	0.14	－	弧状	単層	<SX10444	
10446	SD	65・66M	－	0.52	0.40	0.12	－	弧状	単層	<SX10450	

性格不明遺構（SX）

番号	種別	グリッド		長径 長軸	短径（幅）	深さ	平面形	断面形	覆土 （埋土）	切り合い	出土遺物
9503	SX	66J 67J	20 16	0.59	0.47	0.11	円形	弧状	単層	－	
10002	SX	68N	11・12 16・17 21・22	4.96	1.63	0.12	長方形	弧状	単層	>P9984 >P9985 >SE10003 >P10004 >P10005 >P10006 >P10020 >P10195 <SD10022	
10019	SX	68N 69N	15 11	（1.04）	（0.37）	（0.31）	（楕円形）	弧状	レンズ状	－	
10029	SX	68M・68N	18・19 22・23 24 2・3・4		1.33	0.13	長方形	弧状	ブロック状	>SE10232 <SD10021	土師質土器（39）/珠洲焼
10030	SX	68N	14・19	1.50	1.32	0.25	不整形	弧状	ブロック状	>P10012 >SE10239	
10031	SX	68N 69N	20 16	（1.29）	（0.81）	0.48	（楕円形）	（半円状）	レンズ状	－	
10235	SX	67K	18・19 22・23 24	3.61	（1.19）	0.10	（長方形）	弧状	単層	>SE10277 <SD10234	土師質土器
10444	SX	66N 67N	20 16	2.14	0.96	0.32		V字状	単層	>SD10445	土師質土器/杭
10450	SX	63M・63N 63L、 64L・64M・ 64N・64O、 65M・65N・ 65O、66M・ 66N・66O、 67M・67N	－	33.0 以上	13.5 以上	0.63 以上	－	弧状	レンズ状	－	土師質土器（49 ～ 59）/土師器（60）/珠洲焼（61 ～ 77）/陶磁器（78 ～ 85）/木器（117・124・126）/石製品（132）/銭貨（152・153）

土器・陶磁器観察表（1）

凡例（胎土）　黒：黒色粒子　赤：赤色粒子　白：白色粒子　石：石英　針：海面骨針　角：角閃石　雲：雲母

図版番号	報告番号	種類	器種	出土地点			法量（cm）			色調		調整			胎土	備考
				グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	内面	外面	内面	外面	底面（外）		
48	1	土師質	皿	64I17	P9626	2	11.0	－	－	10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR7/4 にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ		黒・赤	T1類
48	2	珠洲焼	壺T種	64I23	P9626	2	－	－	－	5Y6/1灰色	N6/灰色	－	－	静止糸切り	石・白	内面摩耗、T種
48	3	土師質	皿	64G23	SK9624	13	11.4	－	3.1	10YR5/2 灰黄褐色	10YR5/1 褐灰色	ヨコナデ	ヨコナデ		針・白・石・角	T1類
48	4	珠洲焼	片口鉢	64G23	SK9624	13	－	－	－	5Y6/1灰色	5Y6/1灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	針・白	
48	5	珠洲焼	壺	64G13	SK9624	13	－	－	－	N6/灰色	N5/灰色	当て具 ロクロナデ	タタキ ロクロナデ	－	白	T種
48	6	土師器	小甕	64I7・12	SD9519	8	－	(6.4)	－	10YR4/2 灰黄褐色	7.5YR5/4 にぶい褐色	－	ナデ 指頭圧痕		石・白	8・9世紀
48	7	土師器	小甕 ×鉢	63I10.15	SD9519	8	11.0	5.5	8.7	7.5YR6/3 にぶい褐色	7.5YR7/4 にぶい橙色	指頭圧痕	ナデ 指頭圧痕		石・白	8・9世紀
48	8	珠洲焼	片口鉢		SD9526	1	－	－	－	5Y6/1灰色	N7/灰白色	ロクロナデ 卸目 波状文	ロクロナデ	－	石・針・白	内面摩耗 Ⅴ期
48	9	土師質	皿	64J21	SD9622		12.0	－	2.6	10YR7/4 にぶい黄橙色	10YR7/4 にぶい黄橙色	ナデ	ナデ		－	T2類
48	10	土師質	小皿	67I23	SD9622	5	9.0	－	1.6	2.5Y8/2 灰白色	2.5Y8/2 灰白色	ヨコナデ	ヨコナデ	指頭圧痕	石・雲・白・黒・赤	スス付着、T1類
48	11	珠洲焼	壺	66I23	SD9622	2	－	－	－	N4/1灰色	N7/1灰白色	押圧痕	タタキ	－	石・針・白・黒	T種
48	12	珠洲焼	甕	64J2	SD9622	8	－	－	－	N5/1灰色	N5/1灰色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	石・針・白・黒	
48	13	珠洲焼	甕	65J5	SD9622	1	－	－	－	2.5Y6/1 黄灰色	2.5Y6/1 黄灰色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	石・白	
48	14	珠洲焼	片口鉢	65I21	SD9622	2	－	－	－	5Y5/1灰色	5Y6/1灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	石・針・白・黒	Ⅱ・Ⅲ期
48	15	珠洲焼	片口鉢	65J5 66J1	SD9622	3	32.0	－	－	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y7/2 灰黄色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	針・白・黒	Ⅱ・Ⅲ期
48	16	越前焼	甕×壺	65J4 64L25	SD9622	2、Ⅱ	－	－	－	7.5YR7/2 明褐灰色	7.5YR5/2 灰褐色		ロクロナデ	－	長・白	
48	17	青磁	椀	64I18	SD9622	3	－	－	－	7.5Y4/2 灰オリーブ色	7.5Y5/2 灰オリーブ色	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し高台	黒	
48	18	越前焼	甕×壺	64K25	SD9622	1	－	(20.0)	－	5YR4/2 灰褐色	5YR2/2 黒褐色	ロクロナデ 押圧痕か?	ロクロナデ	静止糸切り	白	付着物あり 内面降灰釉
48	19	土師質	小皿	65I22	SE9623	1	9.8	－	－	2.5Y7/3 浅黄橙色	2.5Y7/3 浅黄橙色	ナデ	ナデ 指頭圧痕		－	T2類
48	20	青磁	椀	65I22	SE9623	4	－	5.4	－	5Y6/4 オリーブ黄色	7.5Y5/3 灰オリーブ色	施釉	施釉	削り出し高台	－	龍泉窯Ⅱ種
48	21	珠洲焼	甕	65I17	SE9623	2	－	－	－	N6/灰色	7.5Y6/1灰色	当て具	摩耗	－	石・針	転用研削具
48	22	越前焼	擂鉢	64L25 64K5	SE9717	5、Ⅱ	34.3	－	－	7.5YR7/4 にぶい橙色	7.5YR7/8 黄橙色	ナデ 卸目	ナデ	－	白	内面部摩耗著しい、コゲ付着、器面指頭痕多数、卸し目9目で1条、7条以上
48	23	珠洲焼	甕	66K15	SE10269	3	－	－	(7.4)	2.5Y6/1灰色	N6/灰色	当て具	タタキ			炭化物付着
49	24	土師質	小皿	67L24	SE10277	1	9.1	－	1.9	7.5YR7/3 にぶい橙色	7.5YR5/2 灰褐色	ナデ 指頭圧痕	ナデ 指頭圧痕	指頭圧痕	石	炭化物付着、T1類
49	25	珠洲焼	片口鉢	65K13	SK9756	4	－	－	－	10YR6/1 灰色	7.5Y6/1灰色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	針・黒	Ⅳ期
49	26	珠洲焼	壺	63K13	SK9814	4	－	12.2	－	N6/灰色	N5/灰色	ロクロナデ ・当て具	ロクロナデ ・タタキ	静止糸切り	石・白	T種、指頭圧痕
49	27	珠洲焼	壺	67M7	SD10191	2	－	－	－	N6/灰色	N5/灰色	当て具痕	タタキ ナデ	－	石・針	T種
49	28	珠洲焼	片口鉢	67M9	SD10192	1	－	(14.1)	－	10YR8/3 浅黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	静止糸切り		摩耗著しい
49	29	土師質	皿	67N14	SE10003	3	11.6	－	3.4	7.5YR6/6 橙色	10YR6/6 明黄褐色	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕		石	スス付着、手づくね
49	30	珠洲焼	甕	67M20・25	SK10224	5	(46.6)	－	－	2.5Y7/2 灰黄色	2.5Y7/2 灰黄色					
49	31	珠洲焼	甕	67N4	SK10224	2	－	－	－	N6/灰色	N5/灰色	当て具	タタキ	－	石・針・白	転用砥研削具
49	32	土師質	皿	67O4	SD9938		(12.4)	－	－	7.5YR7/6 橙色	5YR7/6橙色	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	－	石・白	内面炭化物付着、T1類
49	33	土師質	皿	67P1	SD9938		12.6	4.8	3.1	10YR6/3 にぶい黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕	指頭圧痕	石・白	T1類
49	34	土師質	皿	67O16	SD9938	1	(11.2)	－	－	7.5YR4/2 灰褐色	7.5YR7/4 にぶい橙色	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕		石	内面炭化物付着、T1類
49	35	珠洲焼	甕	67O16	SD9938	1	－	－	－	N5/灰色	5B6/1 青灰色		タタキ	－	石・白	T種
49	36	珠洲焼	片口鉢	67P1	SD9938		－	－	－	2.5Y5/1 黄灰色	2.5Y6/1 黄灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	針・白	Ⅲ期
49	37	珠洲焼	片口鉢	67O16	SD9938	1	(34.0)	－	－	2.5Y6/1 黄灰色	5Y7/1 灰白色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	白	Ⅳ期
49	38	珠洲焼	甕	67N25 67O16 66M14 68O6	SD9938	1、2、Ⅱ	－	－	－	N5/灰色	N5/灰色	当て具	タタキ	－	針・白	
49	39	土師質	皿	68N3	SX10029	1	11.6	－	－	10YR4/2 灰黄褐色	10YR3/2 黒褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	指頭圧痕	石・雲・白	炭化物付着、T1類、右ナデ
49	40	青磁	椀	69P3	P9911	1	－	－	－	7.5Y5/3 灰オリーブ色	7.5Y5/3 灰オリーブ色	施釉	施釉 蓮弁文	－	－	龍泉窯Ⅱ類
49	41	珠洲焼	壺	－	SE10057	2、4	－	(11.5)	－	N5/灰色	N6/灰色	ロクロナデ	ロクロナデ →指頭圧痕	静止糸切り	針	T種
49	42	土師質	皿	67O21	SE10321	1	10.9	－	－	10YR4/2 灰黄褐色	10YR6/3 にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕		石・角・白	T1類
49	43	珠洲焼	片口鉢		SE10321	4	(26.4)	－	－	5Y5/1灰色	5Y6/1灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	石・針・白	Ⅱ－Ⅲ期
49	44	瓷器系	甕×壺	67O21	SE10321	2、3	－	(12.6)	－	7.5Y6/1灰色	5Y4/1灰色	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切り	石・針・白	T種
50	45	珠洲焼	片口鉢	66O11 67I21 67O11	P9956 SD9622	1、Ⅱ	－	13.1	－	N6/灰色	N6/灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り	白	Ⅳ期

土器・陶磁器観察表（2）

図版番号	報告番号	種類	器種	出土地点			法量（cm）			色調		調整			胎土	備考
				グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	内面	外面	内面	外面	底面（外）		
50	46	土師質	皿	67O6 66O12	SD9943	1	11.8	－	2.2	7.5YR5/1 褐灰色	5YR7/6 橙色	ヨコナデ	ヨコナデ			T1類
50	47	土師質	小皿	66012・ 17	P10107	1	7.4	－	1.7	7.5YR7/8 黄橙色	7.5YR6/8 橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	指頭圧痕	石・角	T1類
50	48	土師質	小皿	65P5	P10421	1	(9.2)	(5.2)	1.7	10YR3/1 黒褐色	10YR2/1 黒色	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り		内外面炭化物付着、 R類
50	49	土師質	皿	67N1	SX10450	3	(13.6)	－	－	7.5YR6/6 橙色	10YR7/6 にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕	指頭圧痕	－	内外面スス付着
50	50	土師質	皿		SX10450	3	13.0	－	－	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕		白・砂	炭化物付着、T1類
50	51	土師質	皿	66N16	SX10450	3	12.6	－	－	10YR3/1 黒褐色	10YR4/2 灰黄褐色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕		石	内外面炭化物付着、 T1類
50	52	土師質	皿	67N10	SX10450	3	(15.6)		－	10YR7/3 にぶい黄橙色	10YR5/1 褐灰色	ヨコナデ	ヨコナデ	指頭圧痕	石・砂	炭化物付着、T1類
50	53	土師質	皿	64N5	SX10450	1	(12.2)	－	－	10YR7/3 にぶい黄橙色	10YR8/3 浅黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕	－		T2類
50	54	土師質	皿		SX10450	1	(12.0)		2.0	10YR5/2 灰黄褐色	10YR7/3 にぶい黄橙色	ナデ 指頭圧痕	ナデ 指頭圧痕	指頭圧痕	白	内面炭化物付着、 T1類
50	55	土師質	小皿	67N	SX10450		(8.5)		1.8	10YR7/3 にぶい黄褐色	10YR7/3 にぶい黄褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	指頭圧痕	石・白・赤	T1類
50	56	土師質	小皿	67N10	SX10450		(4.2)		1.5	10YR7/2 にぶい黄橙色	10YR8/2 灰白色	ヨコナデ	ヨコナデ	指頭圧痕	石・白	口縁部炭化物付着、 T1類
50	57	土師質	小皿	67N17	SX10450		8.6	6.4	1.5	10YR5/1 褐灰色	10YR6/3 にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕	指頭圧痕	針・白	内外面炭化物付着、 T1類
50	58	土師質	皿	66N21	SX10450	1	－	－	－	10YR3/1 黒褐色	10YR7/2 にぶい黄橙色	ヨコナデ	ヨコナデ	指頭圧痕	石	内面炭化物付着
50	59	土師器	不明	64N4	SX10450	1	－	(3.5)	－	10YR3/1 黒褐色	10YR5/3 にぶい黄褐色	ナデ	ナデ 指頭圧痕	不調整	砂	9・10世紀?
50	60	土師器	甕	66N20	SX10450		(28.2)	－	－	5YR6/8橙色	7.5YR7/4 にぶい橙色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	針・砂	9世紀
50	61	珠洲焼	片口鉢	65N22 67N11 65N23	SX10450	2	(21.8)	－	－	N5/灰色	N6/灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	針	Ⅲ期
50	62	珠洲焼	片口鉢	67M	SX10450	4	(23.5)	－	－	N6/灰色	7.5Y6/1灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ →指頭圧痕	－	針	
50	63	珠洲焼	片口鉢	67N11	SX10450	2	(24.0)	－	－	N5/灰色	N5/灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	石・針・白	Ⅱ期－Ⅲ期、 白色シルトから
50	64	珠洲焼	片口鉢	62I17	SX10450	2	(26.7)	－	－	5Y6/1灰色	2.5Y7/1 灰白色				針・白	Ⅴ期
50	65	珠洲焼	片口鉢	66M23	SX10450	4	(34.5)	－	－	10YR7/2 にぶい黄橙色	10YR6/3 にぶい黄橙色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	針	Ⅱ・Ⅲ期
50	66	珠洲焼	片口鉢	67N1	SX10450	2	－	－	－	7.5Y5/1灰色	5Y6/1灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	－	Ⅴ期
50	67	珠洲焼	片口鉢	67N1	SX10450	2	－	－	－	7.5Y6/1灰色	N7/灰白色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ 口縁波状文	－	石	
50	68	珠洲焼	片口鉢	68N24	SX10450	1	－	－	－	N6/灰色	N5/灰色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	白	
50	69	珠洲焼	片口鉢	67N1	SX10450	2	－	(12.0)	－	N6/灰色	N6/灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ 指頭圧痕	静止糸切り	石	
50	70	珠洲焼	片口鉢	65O25 64L24	SX10450	2	－	(16.3)	－	10YR6/1 褐灰色	10YR7/1 灰白色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	静止糸切り	石・針・白・ 黒	
51	71	珠洲焼	甕	66N8	SX10450	1	－	－	－	2.5Y6/1 黄灰色	5Y5/1灰色	当て具	ロクロナデ タタキ	－	石	Ⅲ・Ⅳ期
51	72	珠洲焼	甕	67N11 65N14	SX10450	1、 Ⅱ	－	－	－	N6/灰色	N6/灰色	当て具	ロクロナデ タタキ	－	石・針・白	Ⅳ期
51	73	珠洲焼	甕	66M24	SX10450	1	－	－	－	N5/灰色	N5/灰色	ヨコナデ	ヨコナデ	－	針	
51	74	珠洲焼	壺	63G3		Ⅱ	－	－	－	N6/灰色	N6/灰色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	白	Ⅲ期?、T種
51	75	珠洲焼	壺	66M25	SX10450	1	－	－	－	N6/灰色	N6/灰色	ロクロナデ ・当て具	ロクロナデ ・タタキ	－	白	T種
51	76	珠洲焼	甕	65M6 66N20 64J1	SX10450	2	－	－	－	2.5Y7/1 灰白色	5Y6/1灰色	当て具	タタキ	－	白	
51	77	珠洲焼	壺	65N17	SX10450	1	－	－	－	N6/灰色	N6/灰色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	石・針・白	R種
51	78	青磁	椀	65N22	SX10450	1	(14.4)	－	－	10YR6/2 オリーブ灰色	10YR7/2 オリーブ灰色	－	－	－	－	龍泉窯Ⅰ類
51	79	青磁	盤	65N6	SX10450	1	－	(7.8)	－	10YR6/2 オリーブ灰色	10YR6/2 オリーブ灰色	施釉	施釉	削り出し高台	黒	龍泉窯Ⅲ類
51	80	唐津焼	皿	67N1	SX10450	2	(10.5)	－	－	2.5Y7/2 黄灰色	2.5Y7/2 黄灰色	灰釉	灰釉	－	－	大橋Ⅰ・Ⅱ期
51	81	唐津焼	皿	64N23 （表土掘削前）	SX10450	1、 Ⅱ	－	3.8	－	10YR6/2 灰黄褐色	7.5YR6/4 にぶい橙色	灰釉胎土具	灰釉	削り出し高台	白	大橋Ⅰ期
51	82	肥前系	椀	66N6	SX10450	1	－	(8.2)	－	5Y7/2 灰白色	5Y7/2 灰白色	施釉	施釉		黒	青磁
51	83	瀬戸・ 美濃	天目椀	66N18	SX10450	1	(8.5)	－	－	10YR2/1 黒色	10YR2/1 黒色	鉄釉	ロクロナデ ヘラ削り? 鉄釉	－	黒	
51	84	唐津焼	皿	65N1	SX10450	1	－	－	－	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	施釉	施釉	－	－	
51	85	越前焼	擂鉢	65N15 66M13 66M18	SX10450	2	－	－	－	10YR7/2 にぶい黄橙色	10YR7/3 にぶい黄橙色	ナデ 卸目（13目）	ナデ	－	石・白	
51	86	土師質	皿	66M18 66M21	SD10437 SX10450	1 1	11.8	4.4	3.6	10YR7/3 にぶい黄橙色	7.5YR6/4 にぶい橙色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕	指頭圧痕・不 調整	白・黒	T1類
51	87	土師質	皿			Ⅱ	14.4	－	－	7.5YR6/4 にぶい橙色	7.5YR6/4 にぶい橙色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕		針・白・黒	やや歪み外面ややス ス付着、T1類
51	88	土師質	皿	66N21	SX10450 SD10445		10.8	5.0	25.0	10YR4/2 灰黄褐色	10YR3/2 黒褐色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕		石・角	T1類
51	89	土師質	皿	64M21		Ⅱ	－	－	－	10YR8/2 灰白色	10YR8/2 灰白色	ヨコナデ	ヨコナデ	指頭圧痕	石	T1類
51	90	土師質	皿	65N14		Ⅱ	(12.5)	－	3.2	10YR6/2 灰黄褐色	10YR6/2 灰黄褐色	ヨコナデ 指頭圧痕	ヨコナデ 指頭圧痕		石・角	内外面スス付着、 T1類
51	91	土師質	皿	67N8		Ⅱ	(10.8)	－	1.6			ナデ	ナデ	指頭圧痕	石・白	内面スス付着、T1類

土器・陶磁器観察表（3）

図版番号	報告番号	種類	器種	出土地点			法量（cm）			色調		調整			胎土	備考
				グリッド	遺構	層位	口径	底径	器高	内面	外面	内面	外面	底面（外）		
51	92	土師質	小皿	67N10		Ⅱ	(8.2)	－	1.7	7.5YR8/4 浅黄橙色	7.5YR7/6 橙色	ヨコナデ	ヨコナデ 指頭圧痕		石・雲	T1類
51	93	土師質	皿	67N21		Ⅱ	(12.0)	－	3.0	7.5Y6/4 にぶい橙色	7.5Y5/8 明褐色	ヨコナデ	ヨコナデ・指頭圧痕	指頭圧痕	石・雲	T1類
51	94	土師質	小皿	65N23		Ⅱ	(10.0)	－	－	10YR6/4 にぶい黄橙色	10YR4/2 灰黄褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	－	石・白	T1類
51	95	珠洲焼	片口鉢	67N13		Ⅲ	(29.0)	－	－	10Y6/1灰色	10Y6/1灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	石・針・白	Ⅳ期
51	96	珠洲焼	片口鉢	65N13		Ⅱ	(25.9)	－	－	5Y6/1灰色	5Y6/1灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ・片口整形	－	針	Ⅴ期
51	97	珠洲焼	壺	64M3		Ⅱ	－	(13.0)	－	7.5Y6/1灰色	N7/灰白色	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切り	石・角	内面摩耗著しい、T種
51	98	珠洲焼	片口鉢	64I18		Ⅱ	－	－	－	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y6/1 黄灰色	ロクロナデ	ロクロナデ	－		外面に摩耗
51	99	珠洲焼	片口鉢	64K8		Ⅱ	－	－	－	10YR8/2 灰白色	10YR7/1 灰白色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	白	全体的に摩耗著しい、やや粗雑な作り
51	100	珠洲焼	片口鉢	64H24		Ⅱ	－	－	－	10YR6/1 褐灰色	10YR6/1 褐灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	－	石	
51	101	珠洲焼	片口鉢	67N16		Ⅱ	－	(10.7)	－	N7/灰白色	N6/灰色	ロクロナデ 卸目	ロクロナデ	静止糸切り	白	
52	102	唐津焼	甕	67I22		Ⅲ	(31.2)	－	－	10YR8/1 灰白色	10YR8/1 灰白色	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	
52	103	唐津焼	皿	66L23		Ⅲ	－	5.3	－	10YR7/1 灰白色（釉）	5YR7/6 橙色（素地）	施釉	施釉	削り出し高台	白	大橋Ⅰ・Ⅱ期 墨書「＋」
52	104	青磁	椀	65M13		Ⅱ	－	6.2	－	10Y8/2 灰白色	10Y7/2 灰白色	施釉	施釉	底部施釉なし	－	
52	105	瀬戸・美濃	椀	65J3		Ⅱ	(11.6)	－	－	5YR4/3 にぶい赤褐色	5YR4/3 にぶい赤褐色	ロクロナデ 施釉	ロクロナデ 施釉	－	黒	古瀬戸後
52	106	瀬戸・美濃	香炉	66N17・22 67N25		Ⅱ	11.0	7.0	4.9	10YR7/1 灰白色	7.5YR3/3 暗褐色（釉） 7.5YR7/1 明褐灰色	ロクロナデ 鉄釉 口縁部以外施釉なし	ロクロナデ 鉄釉	底部施釉なし、糸切り、貼り付け高台	－	古瀬戸後Ⅳ期
52	107	瀬戸 美濃	壺	64K25		Ⅱ	(13.8)	－	－	2.5Y6/4 にぶい黄色	2.5Y6/2 灰黄色	ロクロナデ 施釉	ロクロナデ	－	－	
52	108	唐津焼	濃緑皿	66N22		Ⅱ	(14.0)	(5.9)	3.0	5Y6/2 灰オリーブ色	5Y6/2 灰オリーブ色	ロクロナデ	ロクロナデ	削り出し高台	－	大橋Ⅲ期
52	109	白磁	椀	67O17		Ⅱ	(13.0)	－	－	2.5Y7/1 灰白色	2.5Y7/1 灰白色	ロクロナデ 施釉	ロクロナデ 施釉	－	－	Ⅸ類
52	110	青磁	壺？	64K21		Ⅱ	－	(5.2)	－	5Y8/1 灰白色	2.5GY7/1 明オリーブ灰色	ロクロナデ	施釉		黒	
52	111	青磁	梅瓶	64I23		Ⅱ	－	－	－	2.5Y7/1 灰白色	10GY7/1 明緑灰色	施釉	施釉	－	黒	
52	112	越中瀬戸	壺?	65O3		Ⅲ	－	(9.0)	－	10YR4/3 にぶい黄褐色	7.5YR4/4 褐色	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	石・長	

木製品観察表

図版番号	No.	器種	出土地点			法量（cm）			木取り	樹種	備考
			グリッド	遺構	層位	長さ・口径（cm）	幅・底径（cm）	厚さ・器高（cm）			
52	113	曲物	65I17	SE9623	7	(9.6)	9.6	6.3	柾目	－	側板が半面潰れる
52	114	曲物底板	68N11	SE10036	3	8.5	8.8	0.4	板目	－	
52	115	鐙	67L20	SE10270	4	28.2	13.3	7.6	板目	ケヤキ	内外黒色漆
52	116	鍬	67J13	SE9514	5	18.2	10.7	1.1	板目	ブナ属	
52	117	刀子形	66M7	SX10450	3	17.1	1.7	0.7	柾目	スギ	
52	118	杭	63L2	杭9683	1	27.0	1.4	1.5	心去	スギ	
52	119	漆器椀	65I17	SE9623	12	－	(8.7)	－	柾目	ブナ属	内赤色漆・外黒色漆に赤色漆の文様
52	120	漆器椀	65I17	SD9622	5	(12.6)	(7.0)	－	柾目	ブナ属	内外赤色漆
52	121	漆器椀	65L9	SE10366	5	(12.8)	(6.8)	－	横木	ケヤキ	内外黒色漆
52	122	漆器皿	65L9	SE10366	5	(9.1)	(6.3)	1.1	横木	ブナ属	内外黒色漆
52	123	皿	65L9	SE10366	5	(9.4)	(7.8)	1.3	柾目	ブナ属	白木
52	124	漆器皿	66N18	SX10450	3	(9.6)	(7.9)	9.0	柾目	ブナ属	内外黒色漆
52	125	漆器椀	64G21	SE9606	3	－	(6.0)	－	－	ブナ属	内赤色漆・外黒色漆に赤色漆の文様
52	126	手代木?	66M20	SX10450	4	13.9	3.1	2.6	心去	スギ	

木柱根観察表

図版番号	No.	器種	出土地点			法量（最大値・cm・g）			厚さ	重量	備考
			グリッド	遺構	層位	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）			
53	127	柱根	64L	SD9707	1	24.5	8.9	6.8	心持丸木	クマシデ属イヌシデ節	
53	128	柱根	64H4	P9610	1	22.3	17.5	13.0	心持丸木	サクラ属	
53	129	柱根	68N11	P10017	1	25.4	12.1	10.9	心持丸木	クリ	
53	130	柱根	64G19	P9608	1	22.4	12.3	10.6	心持丸木	ケヤキ	SB9867の柱根
53	131	柱根	67O21	SE10321	2	(75.0)	14.2	15.2	心持丸木	クリ	

石製品観察表

図版番号	No.	器種	石材	出土地点			計測値（重量：g、その他：cm）				備考
				グリッド	遺構	層位	長さ	幅	厚さ	重量	
53	132	砥石	砂岩	67M1	SX10450	2	(6.4)	5.1	3.7	198.5	
53	133	砥石	安山岩	66I25	SD9622	1	(8.9)	(12.6)	4.9	805.0	
53	134	砥石	安山岩	64J18	－	Ⅱ	(4.7)	(5.8)	(3.8)	123.1	
53	135	砥石	安山岩	66I24	SD9622	2	(10.9)	(9.5)	4.1	4.1	
53	136	砥石	安山岩	66O4・9	SE10241	5	(22.7)	(12.2)	3.1	1300.0	
53	137	砥石	安山岩	62K10	－	Ⅱ	(18.4)	(12.1)	6.8	1500.0	
53	138	石鏃	頁岩	66I23	SD9622	4	2.4	1.4	0.5	1.1	基部欠損
54	143	不明	砂岩	64L17	－	Ⅱ	(8.0)	(9.5)	2.2	205.1	

五輪塔（火輪）観察表

図版番号	No.	石材	出土地点			計測値（重量：kg、その他：cm）								備考
			グリッド	遺構	層位	上面幅	軒上幅	軒下幅	火輪高	軒中厚	軒端厚	返り高	重量	
54	139	凝灰岩	65I	SE9623	12	11.5	37.7	29.2	24.8	4.7	4.5	1.4	19.4	中山石
54	140	凝灰岩	65I	SE9623	12	10.4	26.7	23.5	20.0	4.6	5.7	2.7	13.2	中山石

五輪塔（地輪）観察表

図版番号	No.	石材	出土地点			計測値（重量：kg、その他：cm）				備考
			グリッド	遺構	層位	地輪高	上幅	下幅	重量	
54	141	凝灰岩	65I	SE9623	5	20.2	22.0	22.4	13.2	種字「アー」　中山石

宝篋印塔（基礎）観察表

図版番号	No.	石材	出土地点			計測値（重量：kg、その他：cm）				備考
			グリッド	遺構	層位	高さ	上幅	下幅	重量	
54	142	礫岩	65I	SE9623	5	34.1	33.3	29.9	61.7	

金属製品観察表

図版番号	No.	種別	出土地点			計測値（重量：g、その他：cm）				備考
			グリッド	遺構	層位	長さ	幅	厚さ	重量	
54	144	袋状鉄斧	64G16	SK9624	9	(9.6)	4.9	2.8	128.8	
54	145	板状鉄斧	65I1	SE9619	5	刃部：(4.9) 茎部：(9.6)	(1.8)	0.5	刃部：　7.5 茎部：22.9	刃部と茎部が折れるが接合する
54	146	刀子	65I17	SE9623	7	21.9	3.2	0.4	67.4	
54	147	刀子	64J12	SD9526	1	(6.1)	(1.8)	(0.5)	10.6	刃部先端のみ残存
54	148	鑿	64K21	－	Ⅱ	13	1.6	1.7	82.1	
54	149	鉄滓	64K10	SD9622		9.8	9.0	7.5	832.1	
54	150	鉄滓	66N5	SX10450	1	8.0	5.2	4.4	110.0	

銭貨観察表

図版番号	No.	銭貨名	出土地点			法量（cm・g）						初鋳年	備考
			グリッド	遺構	層位	銭径縦	銭径横	内径縦	内径横	銭厚	重量		
54	151	祥符元宝	63J3	－	Ⅱ	2.55	2.50	2.00	2.00	0.10	3.2	1009年	真書
54	152	元祐通宝	66N11	SX10450	1	2.49	2.90	1.90	2.00	0.10	2.3	1086年	篆書
54	153	元祐通宝	66N8	SX10450	1	2.40	2.40	1.95	1.95	0.10	2.1	1086年	行書
54	154	寛永通宝	64M14	－	Ⅱ	2.45	2.44	1.99	1.98	0.10	2.7	1636年	古寛永

図　　版

凡　例

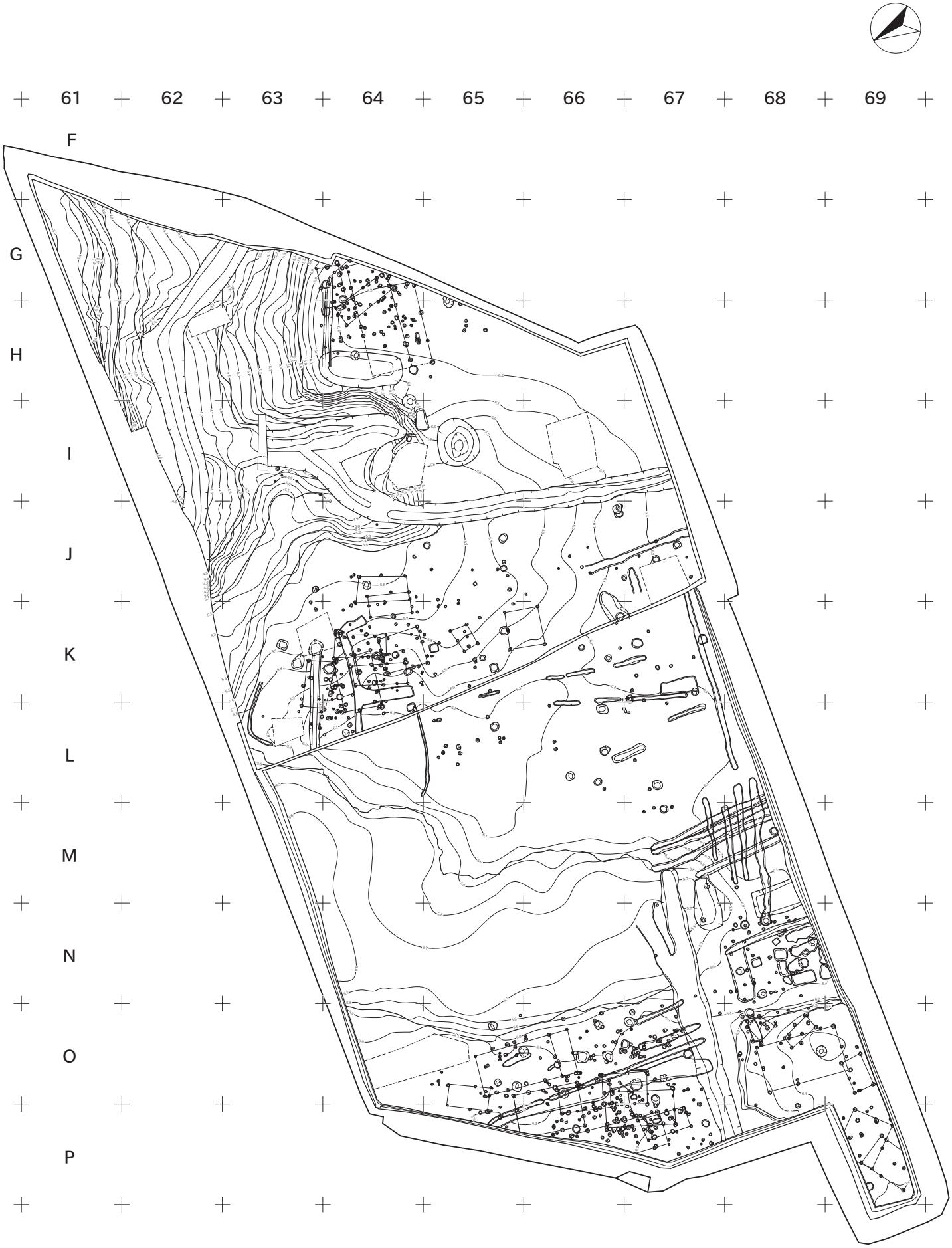
1　遺構分割図中のコンターライン横の数値は標高（m）を表す。

2　断面図中のｗは木器もしくは自然木、ｐは土器・陶磁器、ｓは石器もしくは礫を表す。

3　遺物実測図の網掛けは、図版ごとに凡例を示した。

遺構全体図

図 版 1



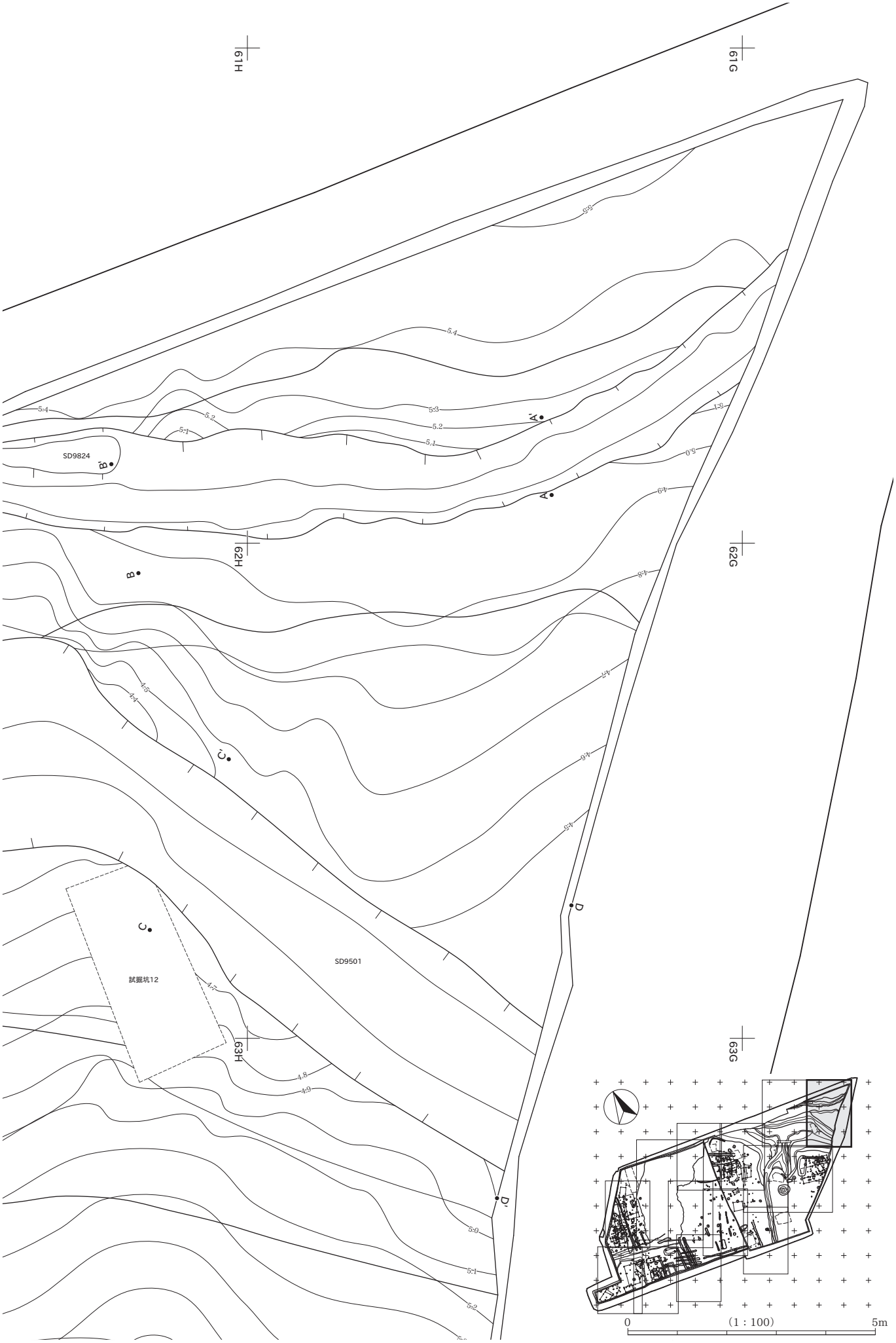
0 (1：500) 20m

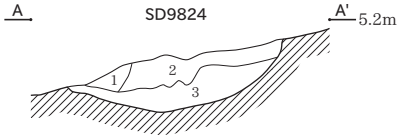
遺構分割図調査区西側

63L
63M
63N
63O
63P
63F
64L
64M
64N
64O
64P
64F
65L
65M
65N
65O
65P
65F
66L
66M
66N
66O
66P
66F
67L
67M
67N
67O
67P
67F
68L
68M
68N
68O
68P
68F
69L
69M
69N
69O
69P
69F
70L
70M
70N
70O
70P
70F
0
(1：300)
15m

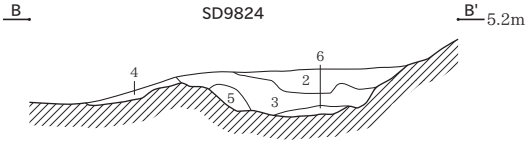
61G
61H
61I
61J
61K
61L
62G
62H
62I
62J
62K
62L
63G
63H
63I
63J
63K
63L
64G
64H
64I
64J
64K
64L
65G
65H
65I
65J
65K
65L
66G
66H
66I
66J
66K
66L
67G
67H
67I
67J
67K
67L
68G
68H
68I
68J
68K
68L
0
(1：300)
15m

遺構分割図 1

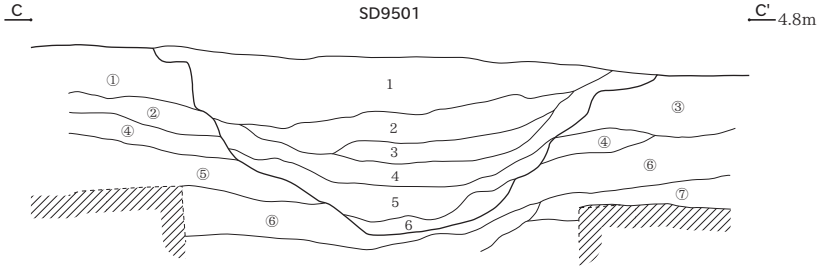

61G
61H
62G
62H
63G
63H
SD9824
SD9501
試掘坑12
A
A'
B
B'
C
C'
D
D'
5.9
5.4
5.3
5.2
5.1
5.0
4.9
4.8
4.7
4.6
4.5
4.4
4.3
4.2
4.1
0
(1 : 100)
5m



SD9824A-A'
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物微量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまりやや強　褐灰色粘土ブロック微量
3　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまりやや弱　灰白色粘土ブロック少量

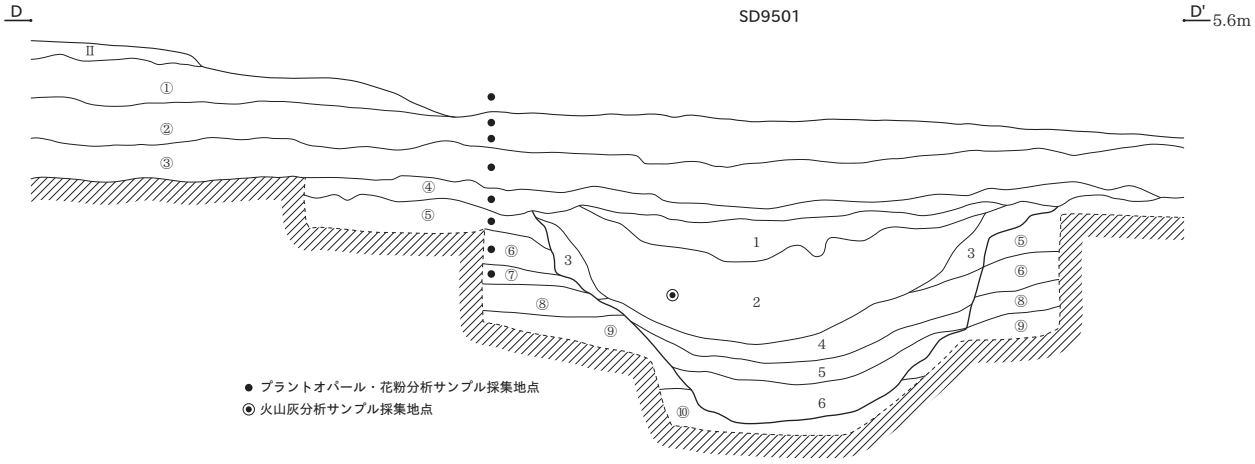


SD9824B-B'
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまりやや強　炭化物微量　褐灰色粘土ブロック微量
3　灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまりやや弱　灰白色粘土ブロック少量
4　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり強　炭化物微量　灰白色粘土ブロック少量
5　黄灰色粘土（2.5Y5/1）粘性強　しまり強　炭化物微量　黒褐色粘土ブロック少量
6　黄灰色粘土（2.5Y4/1）粘性強　しまり強



SD9501C-C'
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　灰白色火山灰多量　腐植物少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　灰白色粘土　灰白色火山灰多量　灰色砂少量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　灰白色粘土　灰白色火山灰多量　灰色砂多量
4　オリーブ黒色粘土（5Y3/1）粘性強　しまり弱　灰白色火山灰多量　腐植物多量　灰色砂多量
5　オリーブ黒色粘土（5Y3/1）粘性強　しまり弱　灰白色火山灰多量　腐植物多量　灰色砂多量　ラミナ状堆積
6　オリーブ黒色粘土（7.5Y3/2）　粘性強　しまり弱　腐植物少量　灰色砂少量

①　灰色粘土（5Y5/1）粘性強　しまり強　腐植物少量　灰色細砂少量
②　灰色粘土（5Y5/1）粘性強　しまり強　腐植物少量　灰色細砂少量　中位に黒色粘土の帯　上位は色調がやや白みがかる
③　灰色シルト（5Y4/1）粘性強　しまり強　腐植物少量
④　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまり強　灰白色粘土少量
⑤　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　灰白色粘土少量　腐植物少量
⑥　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　灰白色粘土少量　腐植物少量　灰色粗砂少量
⑦　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　灰白色粘土少量　腐植物少量　灰色細砂少量



SD9501D-D'
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　灰白色火山灰多量　腐植物少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　灰白色粘土　灰白色火山灰多量　灰色砂少量
3　灰色シルト（5Y4/1）粘性弱　しまり強　黒褐色粘土多量　灰色細砂多量
4　オリーブ黒色粘土（5Y3/2）粘性強　しまり弱　灰白色火山灰少量　腐植物少量　黒褐色粗砂多量
5　オリーブ黒色粘土（5Y3/2）粘性強　しまり弱　灰白色火山灰多量　黒褐色粗砂少量
6　オリーブ黒色粘土（7.5Y3/2）　粘性強　しまり弱　腐植物少量　灰色砂少量

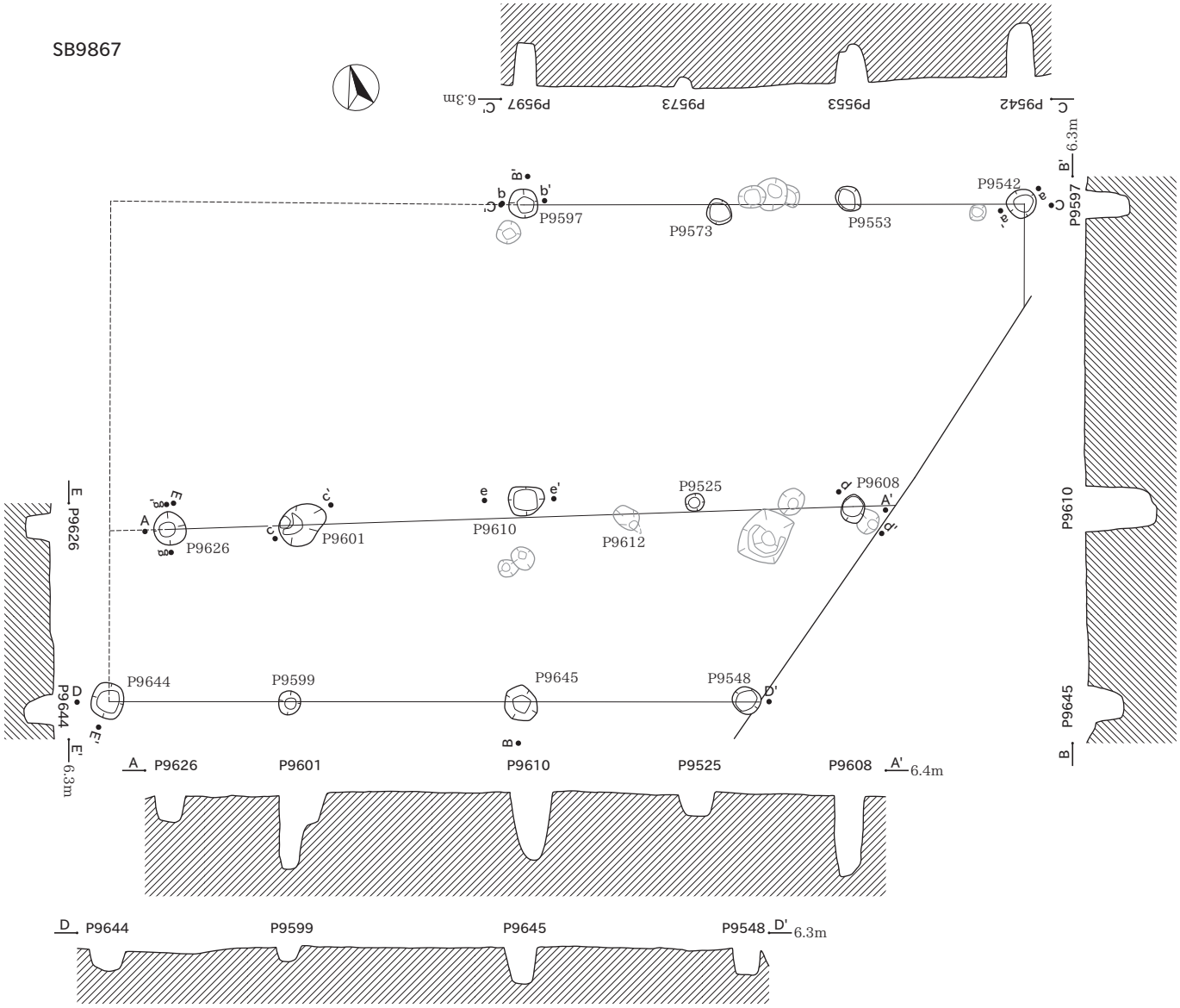
①　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
②　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック少量
③　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　灰白色粘土ブロック多量　灰白色火山灰少量　黒褐色砂少量
④　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　灰白色粘土ブロック多量　灰白色火山灰多量
⑤　灰色シルト（5Y4/1）粘性弱　しまり強
⑥　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　灰色シルトブロック少量　腐植物少量
⑦　灰色シルト（5Y4/1）粘性弱　しまり強　腐植物少量
⑧　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　腐植物多量　最下部に帯状の腐植物層有
⑨　灰色シルト（5Y4/1）粘性弱　しまり強　腐植物多量　砂と粘土のラミナ状堆積
⑩　暗褐色粘土　粘性強　しまり強　腐植物多量　砂と粘土のラミナ状堆積

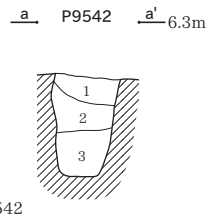
0　（1：40）　2m

遺構分割図 2

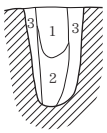
SB9959
SB10186
SB9867
SE9527
SE9606
SE9554
SE9607
SD9526
P10448
P10449
SK9624
SE9594
SE9619
SE9618
SK9655
SX9623
SE9538
64I
64H
65I
65H
66I
0
(1 : 100)
5m

SB9867

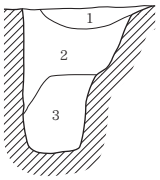




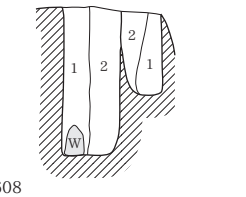
P9542
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　明黄褐色粘土（10YR7/6）粘性強　しまり強
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック少量



P9597
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山ブロック少量
2　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり弱　炭化物少量
3　黄橙色粘土（10YR7/8）粘性強　しまり強　炭化物多量　褐灰色粘土ブロック少量

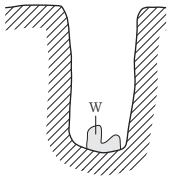


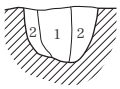
P9601
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　明黄褐色粘土（10YR7/6）粘性強　しまり強　炭化物多量
3　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり弱　地山ブロック少量



P9608
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物少量

P9609
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物少量



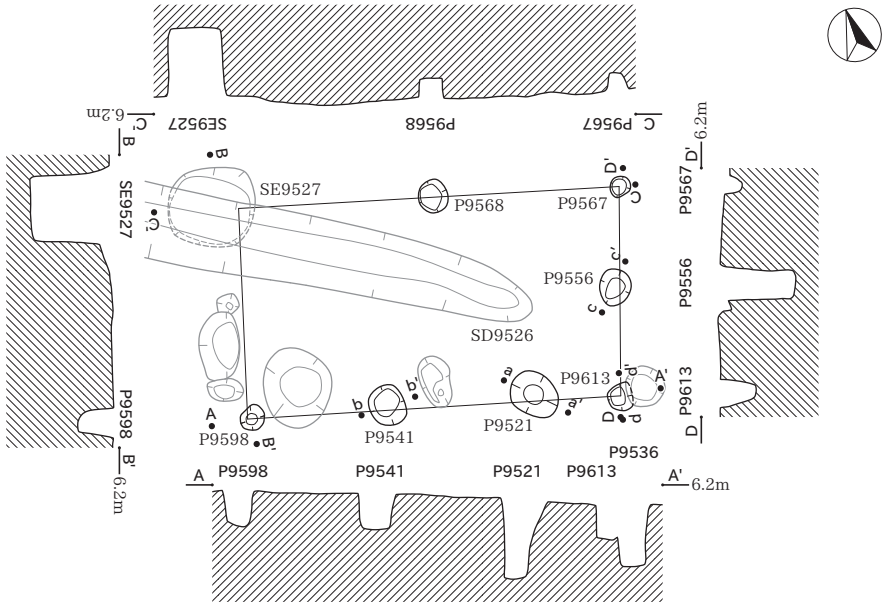


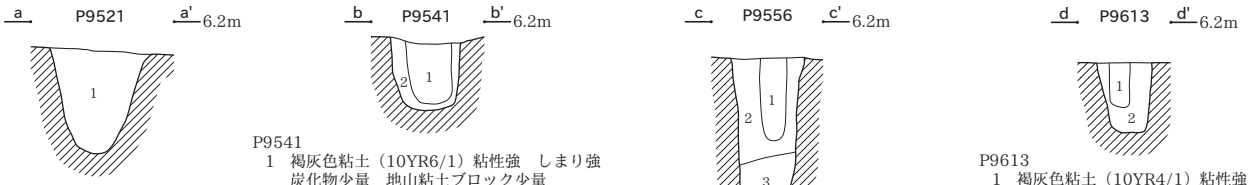
P9626
1　褐灰色粘土（10YR4/2）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2　黄橙色粘土（10YR7/8）粘性強　しまり強　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック少量

0　その他（1：80）　4m

0　断面図（1：40）　2m

SB9959





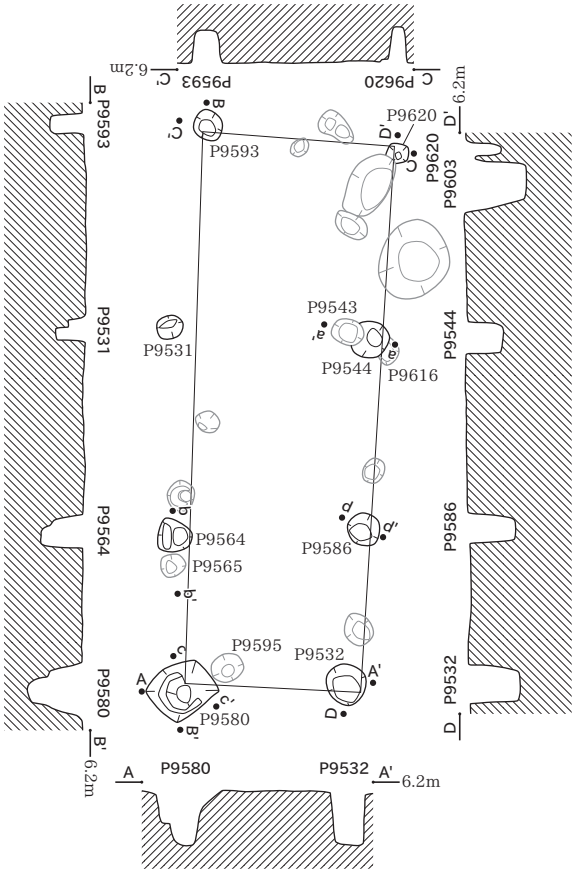
P9521
1　褐灰色粘土（10YR4/1）
　粘性強　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック多量

P9541
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　褐灰色粘土ブロック少量

P9556
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり弱

P9613
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック少量
2　明黄褐色粘土（10YR7/6）粘性強
　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量

SB10186

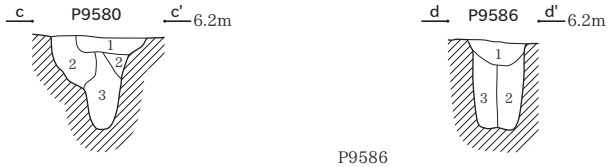


P9543
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック多量

P9544
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック多量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　褐灰色粘土ブロック多量

P9564
1　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
2　黄橙色粘土（10YR7/8）粘性強　しまり強
　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック多量

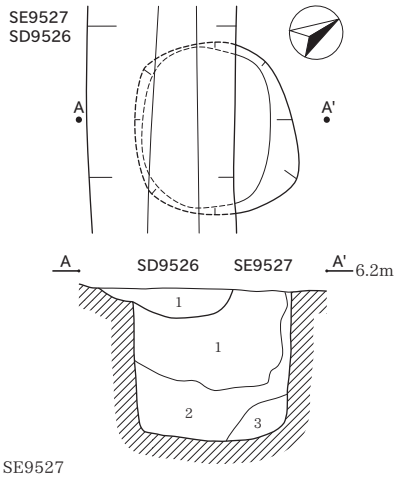
P9565
1　黄橙色粘土（10YR7/8）粘性強　しまり強
　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック多量



P9580
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
2　黄橙色粘土（10YR7/8）粘性強　しまり強
　炭化物少量
3　灰黄褐色粘土（10YR4/2）粘性強　しまり弱
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量

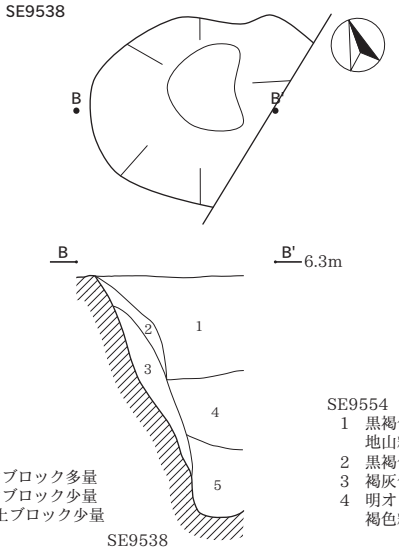
P9586
1　黄橙色粘土（10YR7/8）粘性強　しまり強
　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量
3　黄橙色粘土（10YR7/8）粘性強　しまり強
　褐灰色粘土ブロック多量

0　その他（1：80）　4m
0　断面図（1：40）　2m

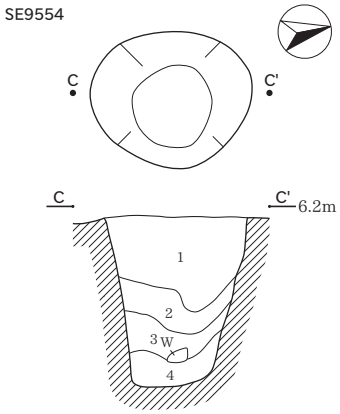


SE9527
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量　地山ブロック少量
3　明オリーブ灰色粘土（5GY7/1）　粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック少量

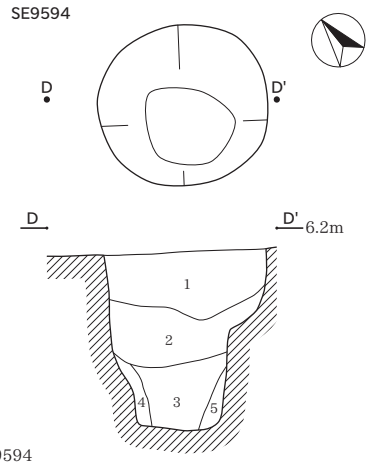
SD9526
1　灰黄褐色粘土（10YR4/2）粘性強　しまり強　炭化物少量



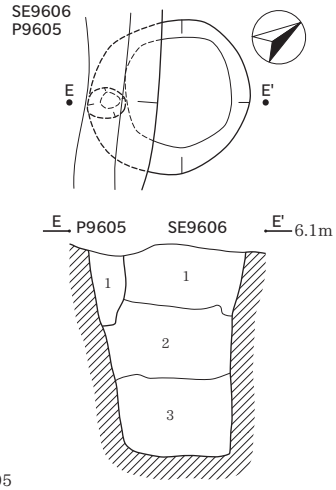
SE9538
1　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり弱　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
5　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり弱



SE9554
1　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック少量　酸化物多量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量　酸化物少量
3　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり弱
4　明オリーブ灰色粘土（5GY7/1）　粘性強　しまり弱
　褐色粘土ブロック少量

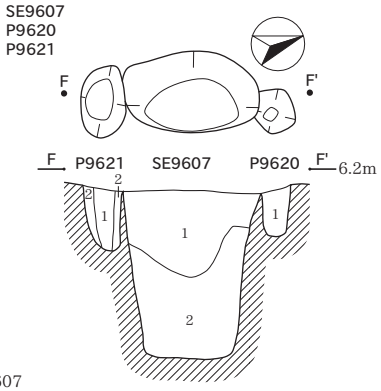


SE9594
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック少量　酸化物多量
2　灰色粘土（N4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
3　灰白色粘土（N7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
4　灰黄褐色粘土（10YR4/2）粘性強　しまり弱
5　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量



P9605
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量

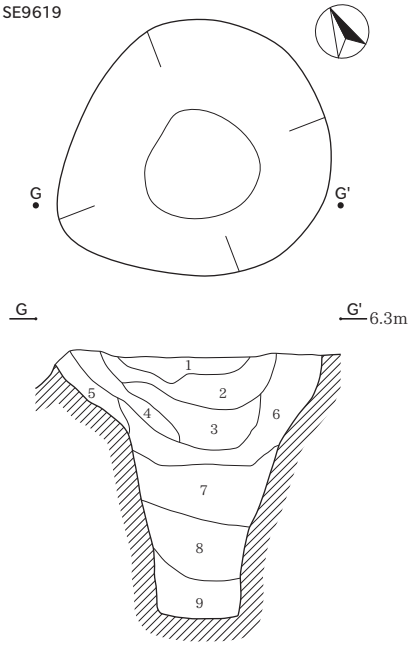
SE9606
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量
3　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量



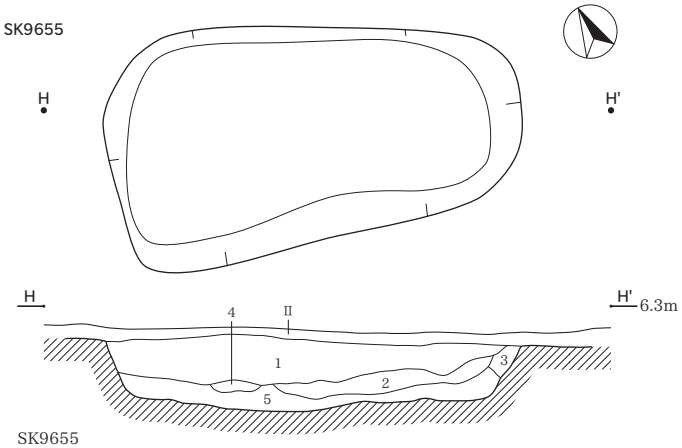
SE9607
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量

P9620
1　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり強　炭化物多量

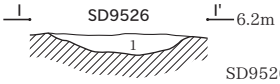
P9621
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック多量



SE9619
1　灰黄褐色粘土（10YR6/2）粘性強　しまり強
2　浅黄橙色粘土（10YR8/3）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
4　浅黄橙色粘土（10YR6/2）粘性強　しまり強
5　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量
6　灰黄褐色粘土（10YR5/2）粘性強　しまり弱　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
7　黒褐色シルト（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
8　黒褐色シルト（10YR3/2）粘性強　しまり弱
9　灰白色シルト（10YR7/1）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック多量



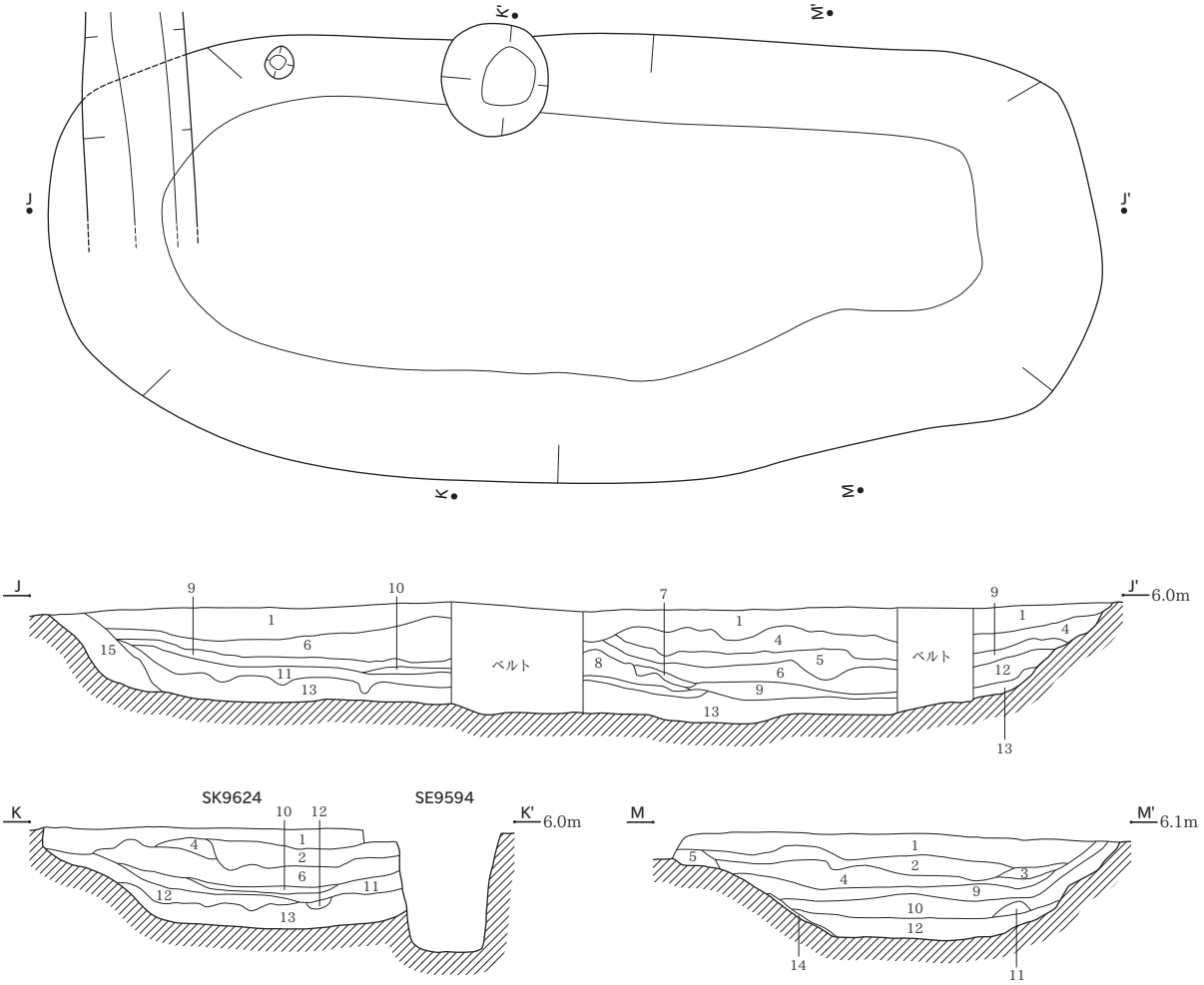
SK9655
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
2　灰白色粘土（10Y7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
3　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
4　黄灰色粘土（2.5YR5/1）粘性強　しまり強
5　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量



SD9526
1　灰黄褐色粘土（10YR4/2）粘性強　しまり強　炭化物少量

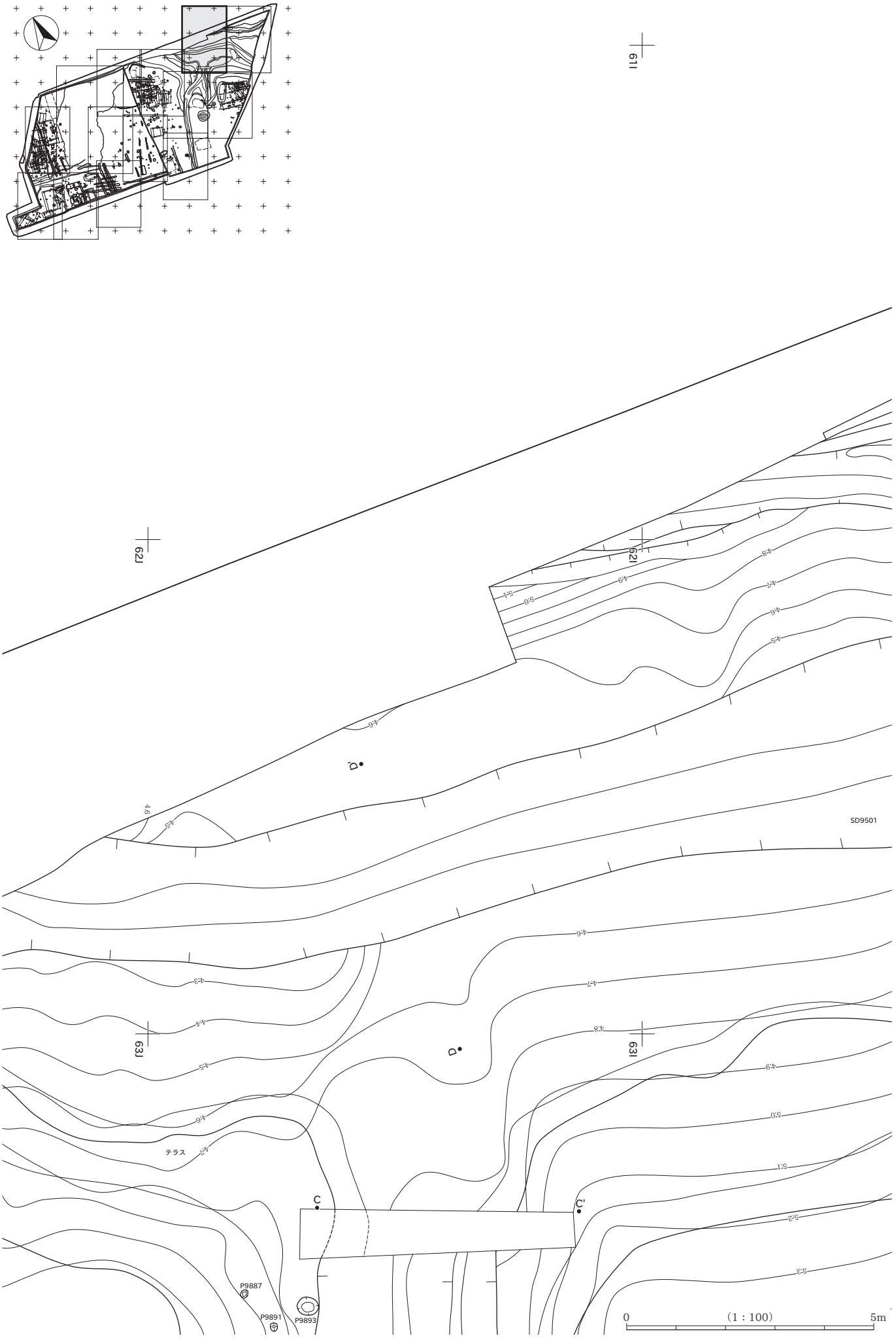
0　(1：40)　2m

SK9624

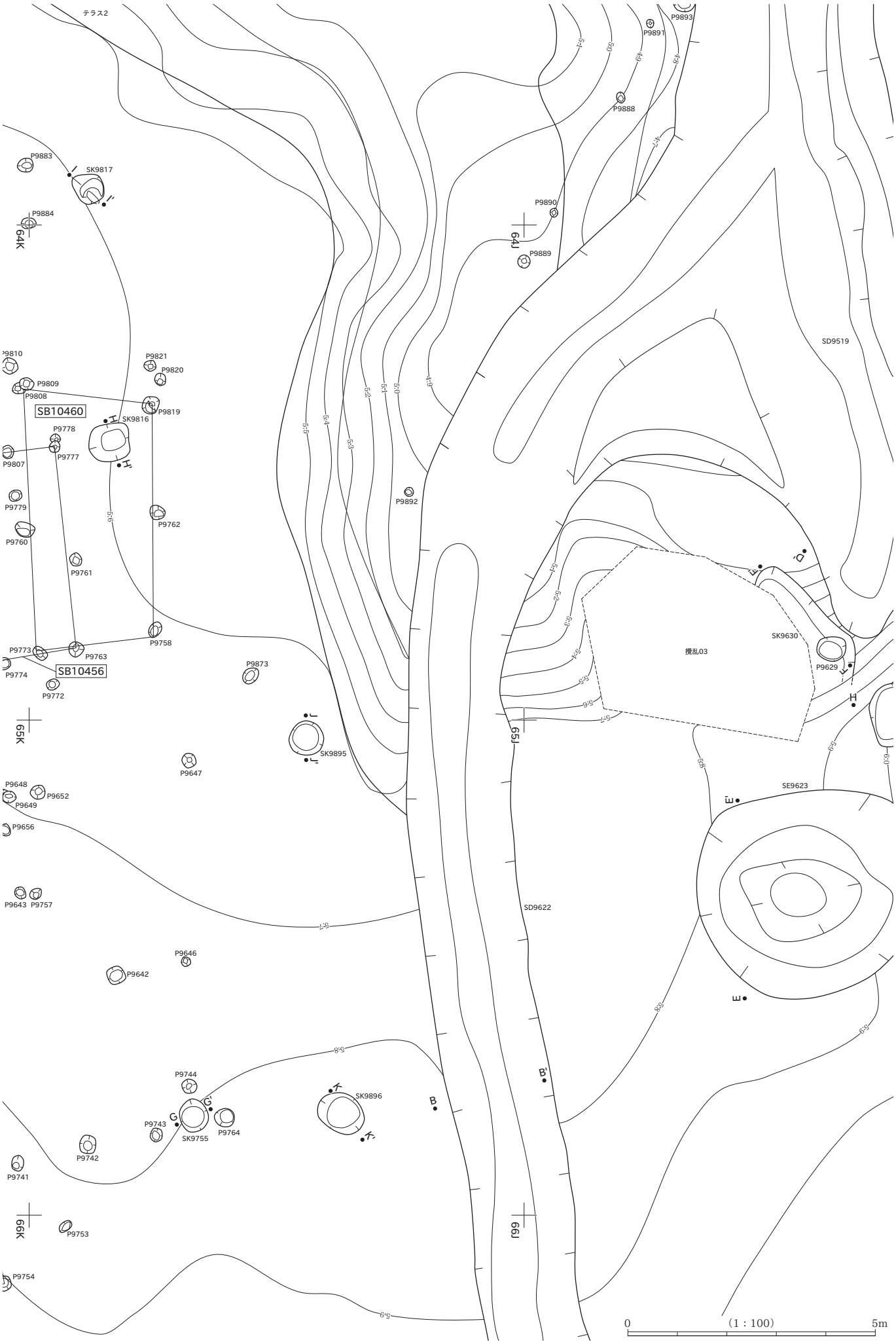


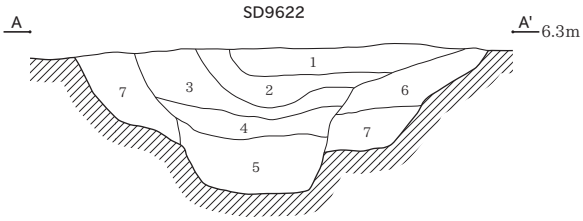
SK9624
1　明褐灰色粘土（7.5YR7/2）粘性強　しまり強　炭化物多量　酸化物多量
2　にぶい橙色粘土（7.5YR7/4）粘性強　しまり強
3　黄橙色粘土（7.5YR7/8）粘性強　しまり強
4　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
5　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量
6　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量　酸化物少量
7　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
8　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
9　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
10　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
11　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
12　灰黄褐色粘土（10YR6/2）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
13　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
14　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
15　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量

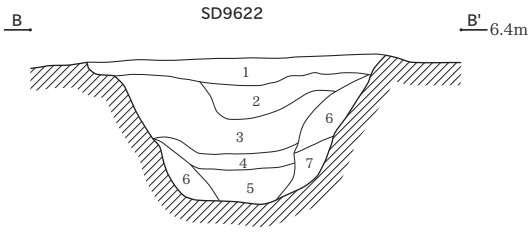
0　（1：60）　3m


61I
62J
62I
63J
63I
SD9501
テラス
P9887
P9891
P9893
0
(1 : 100)
5m

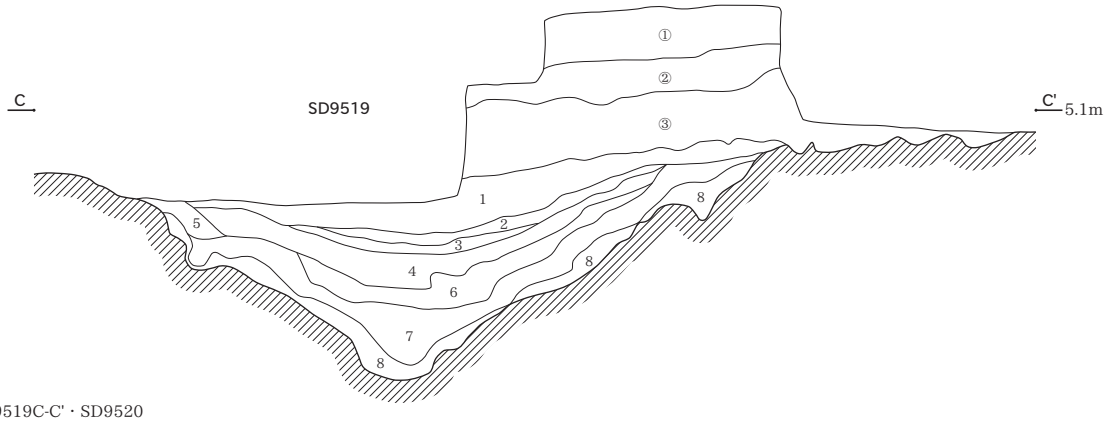
遺構分割図 4


テラス2
P9893
P9891
P9888
P9890
P9889
P9883
SK9817
P9884
64K
64J
SD9519
P9810
P9821
P9820
P9809
P9808
P9819
SB10460
SK9816
P9778
P9777
P9807
P9779
P9892
P9762
P9760
P9761
P9758
P9773
P9763
P9774
SB10456
P9772
P9873
65K
65J
SK9895
P9647
P9648
P9652
P9649
P9656
SK9630
P9629
撹乱03
SE9623
P9643
P9757
SD9622
P9646
P9642
P9744
SK9896
P9743
SK9755
P9764
P9742
P9741
66K
66J
P9753
P9754
0
(1：100)
5m



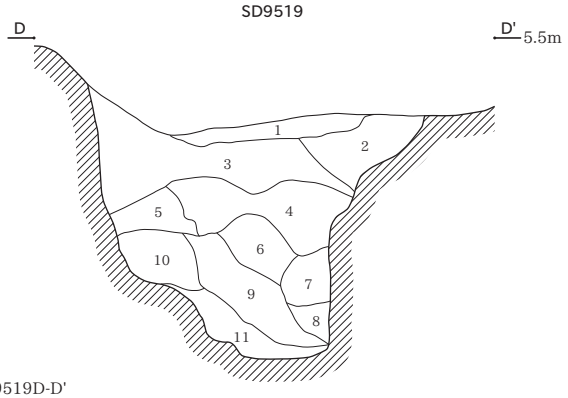


SD9622
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　砂粒多量　酸化物多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
3　灰色粘土（5Y5/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量　砂粒少量　酸化物多量
4　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量　地山粘土ブロック多量　酸化物多量
5　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック多量
6　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量
7　明緑灰色（7.5CY7/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量



SD9519C-C'・SD9520
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック微量　腐植物微量
2　灰色シルト（7.5Y6/1）粘性やや弱　しまり強　黒褐色粘土ブロック微量
3　灰色粘土（7.5Y6/1）粘性やや強　しまりやや強　腐植物微量
4　黒褐色粘土（10YR2/2）粘性やや強　しまりやや強　腐植物多量　黒色砂・灰色シルトがラミナ状に堆積
5　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック多量
6　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック少量　腐植物微量
7　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック少量　腐植物微量
8　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまり強　黒褐色粘土ブロック微量

①　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強
②　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強　灰白色粘土ブロック少量
③　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　炭化物微量　黒褐色砂少量　灰白色粘土ブロック多量　灰色火山灰微量

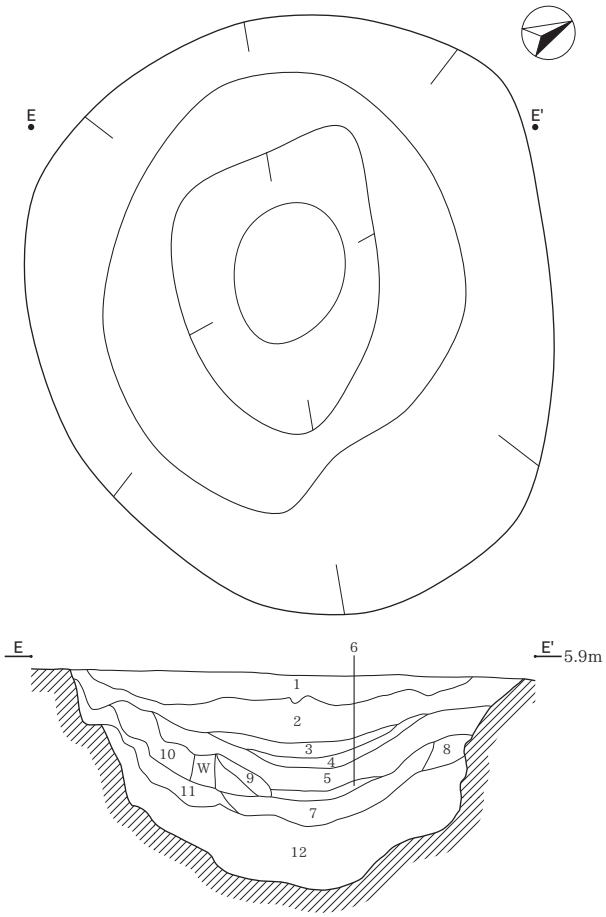


SD9519D-D'
1　灰色粘土（5Y5/1）粘性やや強　しまり強　黒色粘土ブロック少量　黒褐色粘土ブロック微量
2　灰色粘土（5Y5/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック微量
3　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　炭化物少量
4　灰色粘土（5Y5/1）粘性強　しまり強　黒褐色粘土ブロック微量
5　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　炭化物微量
6　暗灰色粘土（N3/）粘性強　しまりやや強　炭化物少量　灰色粘土ブロック微量　腐植物微量
7　灰色シルト（5Y4/1）粘性弱　しまりやや強　灰色粘土ブロック微量
8　灰色粘土（5Y5/1）粘性やや強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量
9　暗灰色粘土（N3/）粘性強　しまりやや強　炭化物多量　腐植物多量
10　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　灰色シルト少量
11　灰色粘土（5Y5/1）粘性強　しまりやや強　炭化物微量　黒褐色粘土ブロック微量　灰色シルト少量

図版12

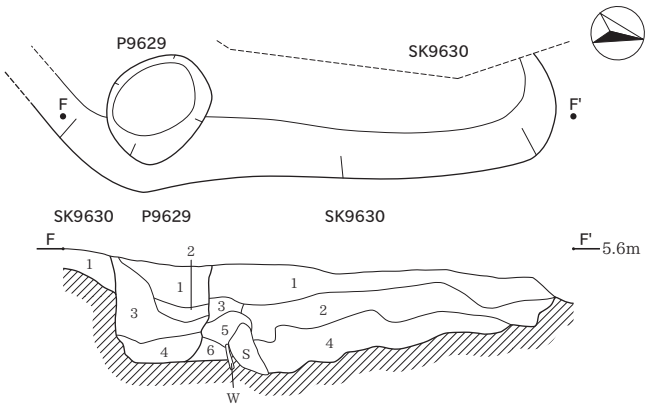
0　（1：40）　2m

SE9623



SE9623
1　灰黄色粘土（2.5Y7/2）粘性強　しまり強　炭化物少量　砂粒多量
2　灰白色粘土（N7/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量
3　灰色粘土（N4/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量　砂粒少量
4　灰白色粘土（N8/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量　灰色粘土ブロック多量
5　灰白色粘土（N7/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量　灰色粘土ブロック多量
6　暗灰色粘土（N3/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量　灰色粘土ブロック多量
7　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック多量
8　灰色粘土（N5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
9　灰白色粘土（N7/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
10　灰色粘土（N5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
11　灰白色粘土（N7/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
12　灰色粘土（N6/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
ラミナ堆積

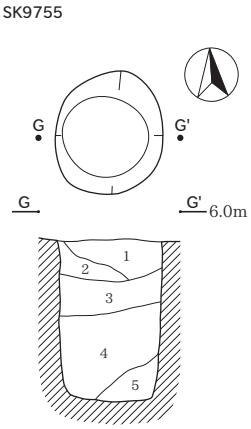
SK9630
P9629



SK9630
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量
灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック微量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量
暗灰色粘土ブロック少量
4　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量
5　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまりやや弱　炭化物微量
6　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック少量

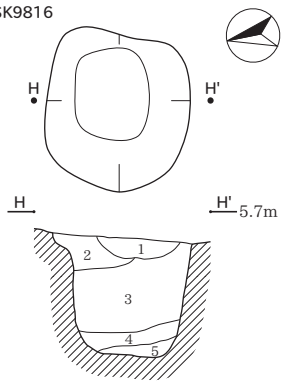
P9629
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　黒色シルト微量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック微量
3　暗灰色粘土（N3/）粘性やや強　しまりやや強　黒色粘土ブロック少量
灰色粘土ブロック少量
4　暗灰色粘土（N3/）粘性やや強　しまりやや強　灰色粘土ブロック多量

SK9755



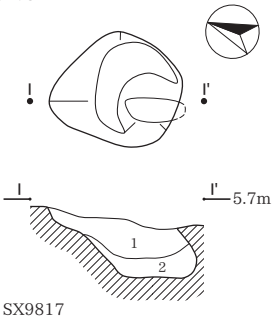
SK9755
1　灰白色粘土（2.5Y7/1）粘性強　しまり強
炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
炭化物少量　地山粘土ブロック少量
3　灰白色粘土（N8/1）粘性強　しまり強
黒褐色粘土ブロック多量
4　暗灰色粘土（N3/1）　粘性強　しまり弱
灰白色粘土ブロック少量
5　灰色粘土（N4/1）粘性強　しまり弱

SK9816



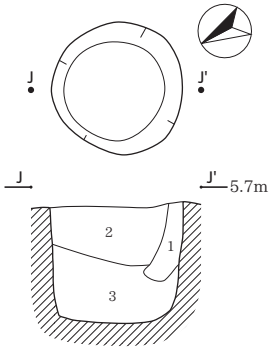
SK9816
1　灰白色粘土（N8/1）粘性強　しまり強
褐灰色粘土ブロック多量
2　灰色粘土（N6/1）粘性強　しまり強
炭化物少量　地山粘土ブロック多量
3　灰色粘土（N6/1）粘性強　しまり強
炭化物少量　地山粘土ブロック多量
4　灰色粘土（N5/1）粘性強　しまり弱
5　灰色粘土（N5/1）粘性強　しまり弱
炭化物少量　地山粘土ブロック多量

SK9817



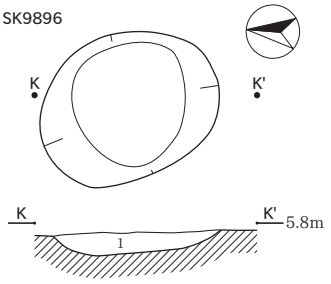
SX9817
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　灰白色粘土（10YR8/1）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量

SK9895



SK9895
1　明オリーブ色粘土（5GY7/1）粘性強
しまり強　灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
3　褐灰色粘土（10Y4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量

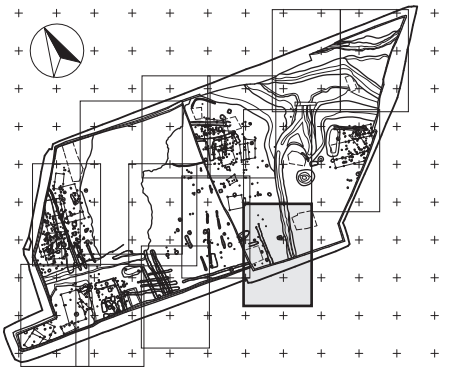
SK9896



SK9896
1　灰色粘土（5Y6/1）粘性強　しまりやや強
灰色粘土ブロック少量

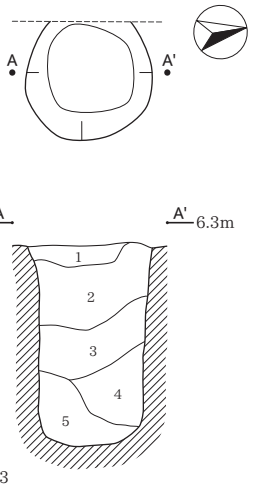
0　SE9623（1：60）　3m
0　その他（1：40）　2m

66K
P9753
P9754
69J
6.9
SD9622
P9502
P9508
6.0
撹乱01
P9507
P9894
P9504
6.1
SK9511
SK9515
SK9516
P9509
SX9503
P9518
67K
67J
畦2
P9510
畦1
6.2
P9512
SE9513
試掘坑16
SE9514
P9505
P9506
68K
68J



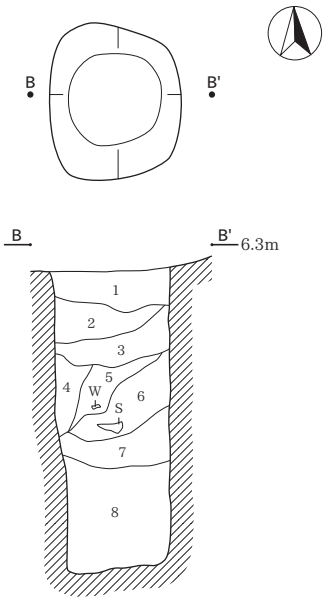
0　(1：100)　5m

SE9513



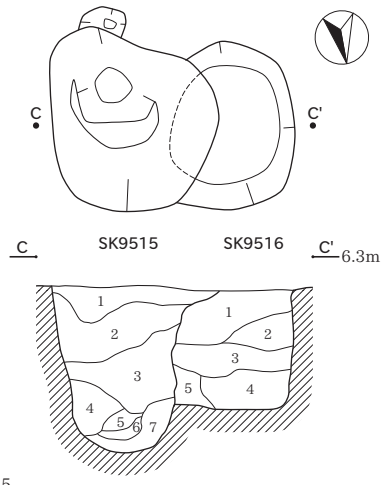
SE9513
1　黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強　しまり強　黒色シルト微量　灰色粘土ブロック微量
2　黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック多量
3　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまり強　灰色粘土ブロック微量
4　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック微量
5　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック多量

SE9514



SE9514
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　炭化物微量　灰色粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量　灰色シルト微量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　炭化物微量
5　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　腐植物多量
6　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック多量　灰色シルトブロック多量
7　暗褐色腐植土（10YR3/3）粘性弱　しまりやや弱
8　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強　腐植物少量　黒褐色粘土ブロック少量

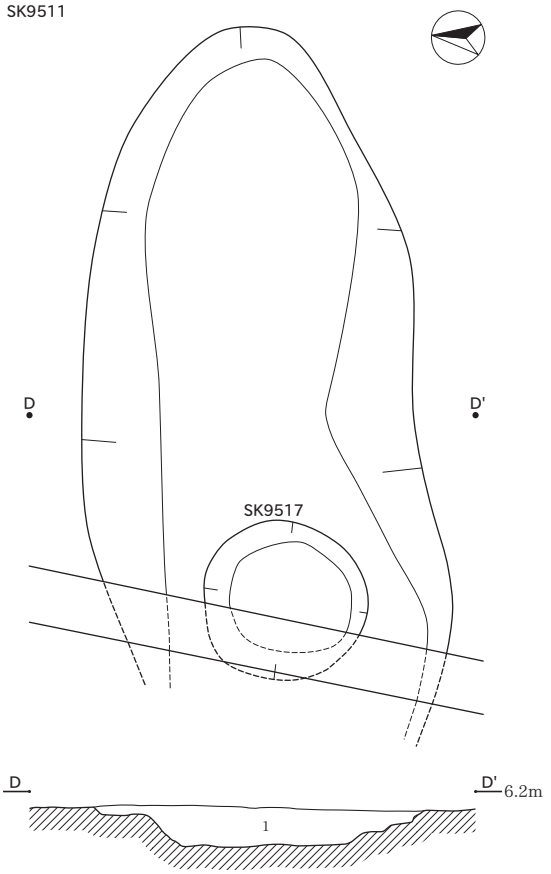
SK9515
SK9516



SK9515
1　黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック少量　青灰色粘土ブロック少量
2　黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック少量　青灰色粘土ブロック少量　黒色シルト微量
3　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまり強
4　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック微量
5　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック微量
6　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強
7　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック微量

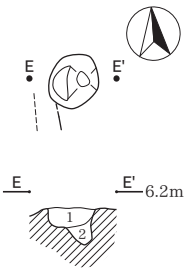
SK9516
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック多量
2　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック少量　黒色種子多量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック微量
5　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　灰色シルトブロック少量

SK9511



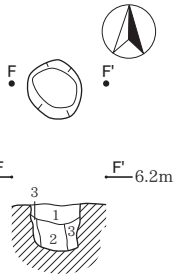
SK9511
1　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量

P9504



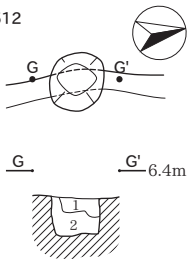
P9504
1　黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック微量
2　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量

P9507



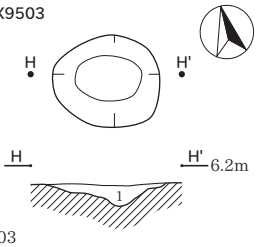
P9507
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック微量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまりやや強　炭化物微量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量

P9512



SE9512
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック微量
2　黒褐色粘土（10YR2/1）粘性強　しまりやや弱　灰色粘土ブロック多量

SX9503

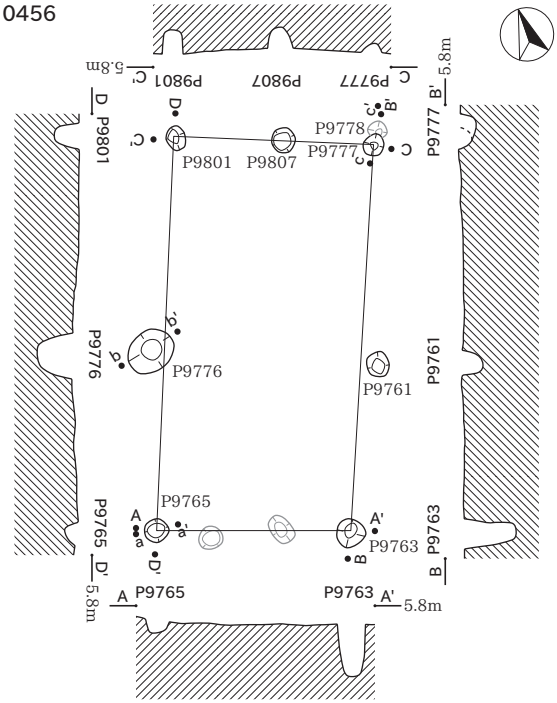


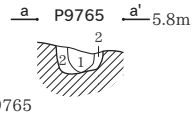
SX9503
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱　灰色粘土ブロック微量

0　(1：40)　2m

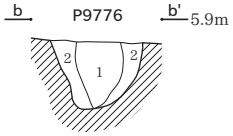
SD9661
SK9685
SE9688
SB10461
SE9899
試掘坑11
SD9665
SE9717
SB10459
SB10457
SB10458
SD9708
SB10460
SK9816
SK9817
SB10456
SB10462
SK9709
SK9780
SK9895
SB10463
63K
64K
65K
0
(1 : 100)
5m

SB10456

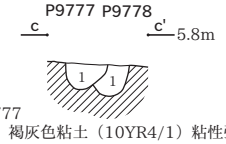




P9765
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強

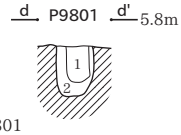


P9776
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
2　黄色粘土（5Y7/8）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量



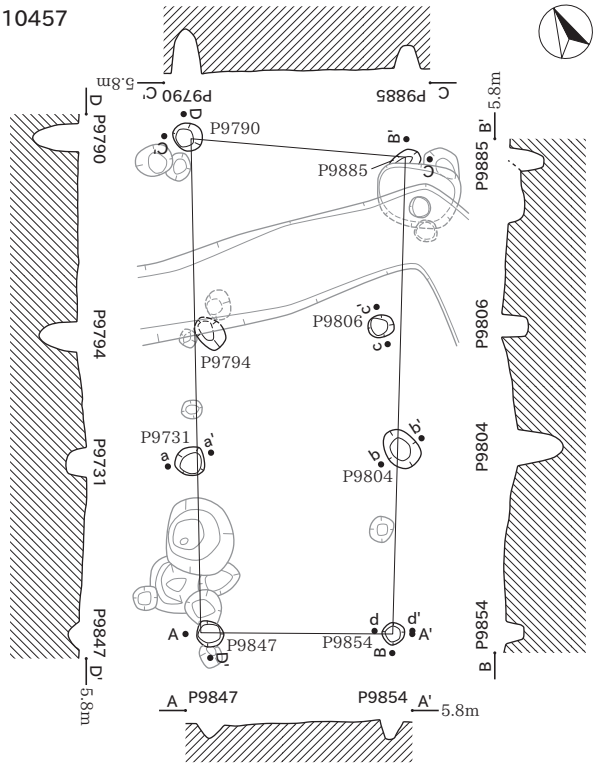
P9777
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量

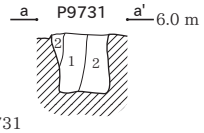
P9778
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック多量



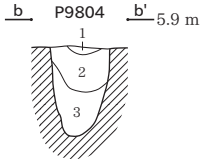
P9801
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量
2　灰オリーブ色粘土（5Y6/2）粘性強　しまり強　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック少量

SB10457

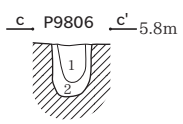




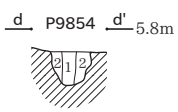
P9731
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　炭化物微量　灰色粘土ブロック微量
2　灰色粘土（5YR4/1）粘性強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量



P9804
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
2　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量

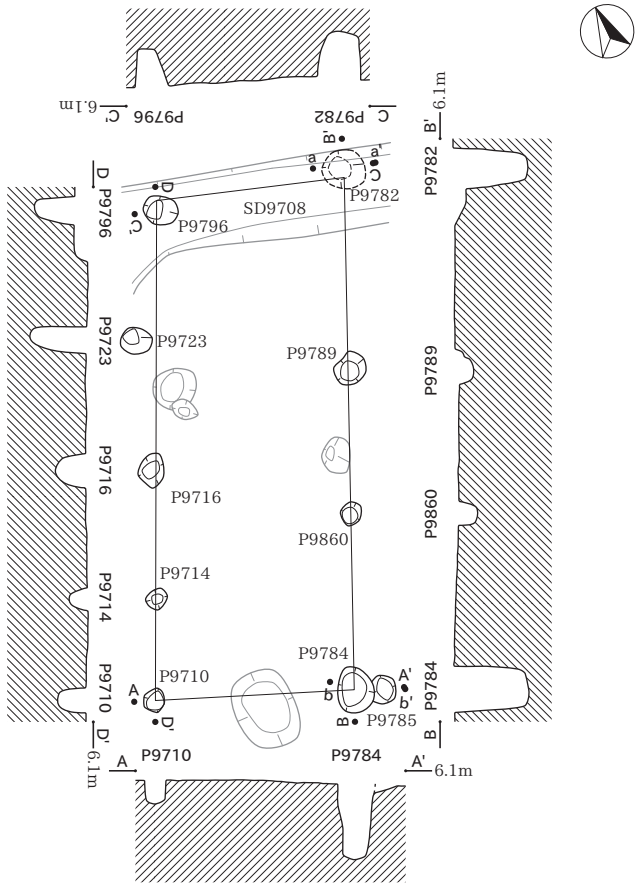


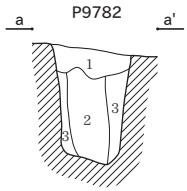
P9806
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量



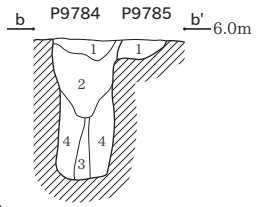
P9854
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱　炭化物微量
2　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強

SB10458





P9782
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　褐色シルト微量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　炭化物微量　灰色粘土ブロック少量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック微量

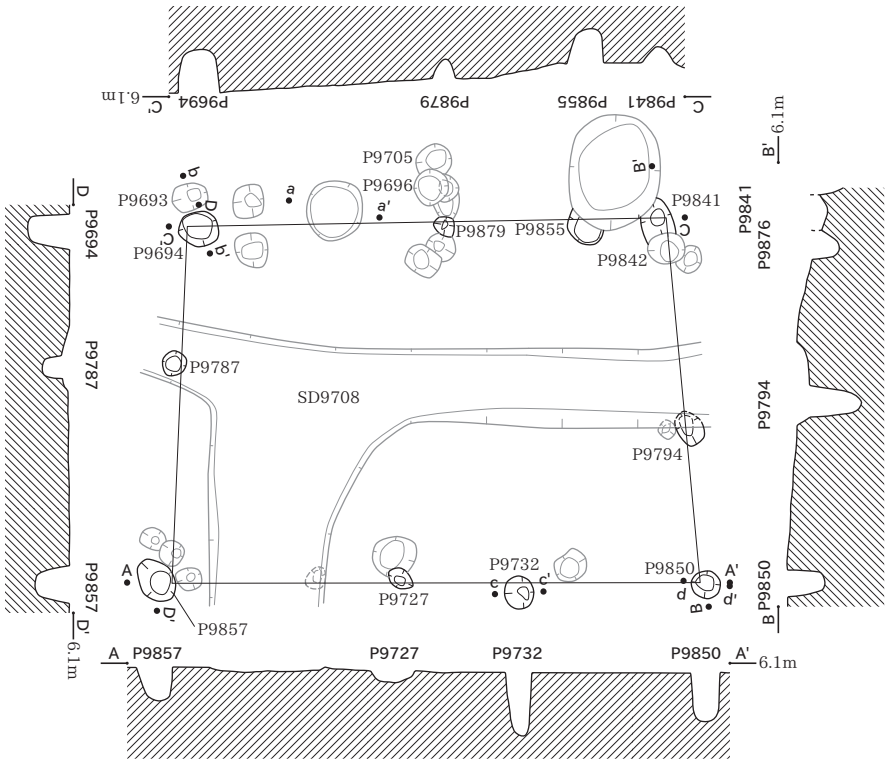


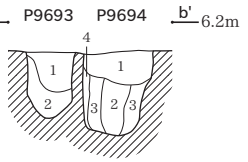
P9784
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　炭化物微量　灰色粘土ブロック微量
2　灰色粘土（5YR4/1）粘性強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強
4　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量

P9785
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強

0　その他（1：80）　4m　0　断面図（1：40）　2m

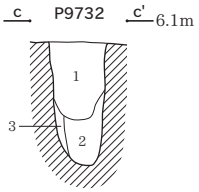
SB10459



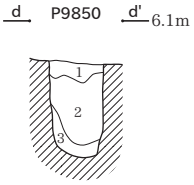


P9693
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまりやや強
炭化物微量　灰色粘土ブロック微量
2 灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強
黒褐色粘土ブロック微量

P9694
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強
灰色粘土ブロック少量　褐色シルト微量
2 灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強
黒褐色粘土ブロック微量
3 灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強
4 灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強
黒褐色粘土ブロック微量

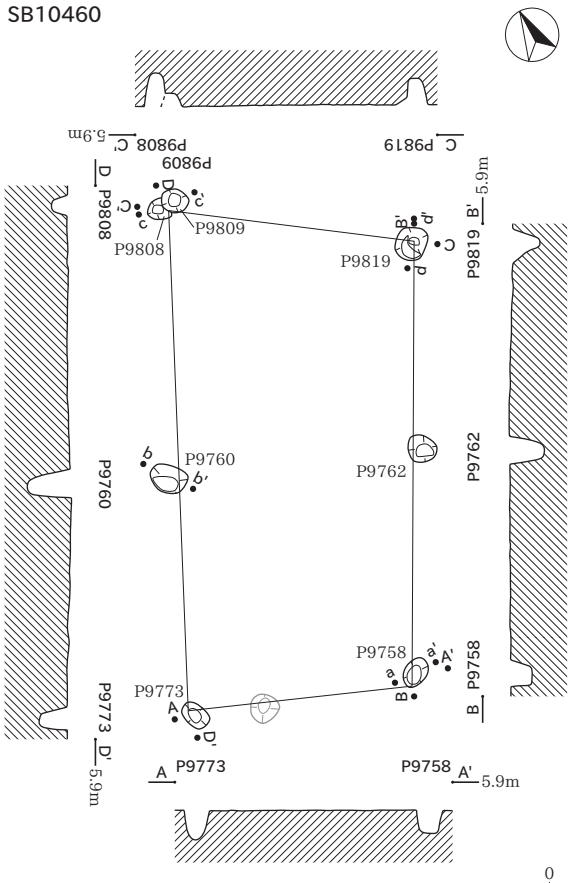


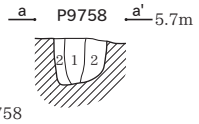
P9732
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
炭化物微量　灰色粘土ブロック少量
暗灰色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
灰色粘土ブロック少量
3 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強



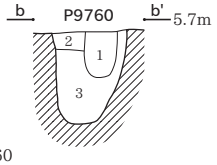
P9850
1 黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強
しまり強　炭化物微量
黒褐色シルトブロック微量
灰色粘土ブロック微量
2 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
しまりやや強　灰粘土ブロック多量
3 灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強
しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量

SB10460

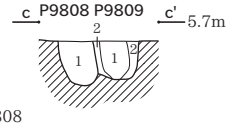




P9758
1 褐灰色粘土（10YR6/1）
粘性強　しまり強　炭化物少量
2 灰白色粘土（10Y7/1）
粘性強　しまり強　炭化物少量

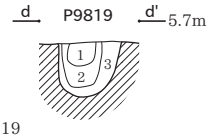


P9760
1 灰白色粘土（N7/1）粘性強
しまり強　炭化物少量
2 灰白色粘土（N7/1）粘性強
しまり強　褐灰色粘土ブロック少量
3 灰白色粘土（N7/1）粘性強
しまり強



P9808
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
しまり強　炭化物少量　地山粘土
ブロック多量

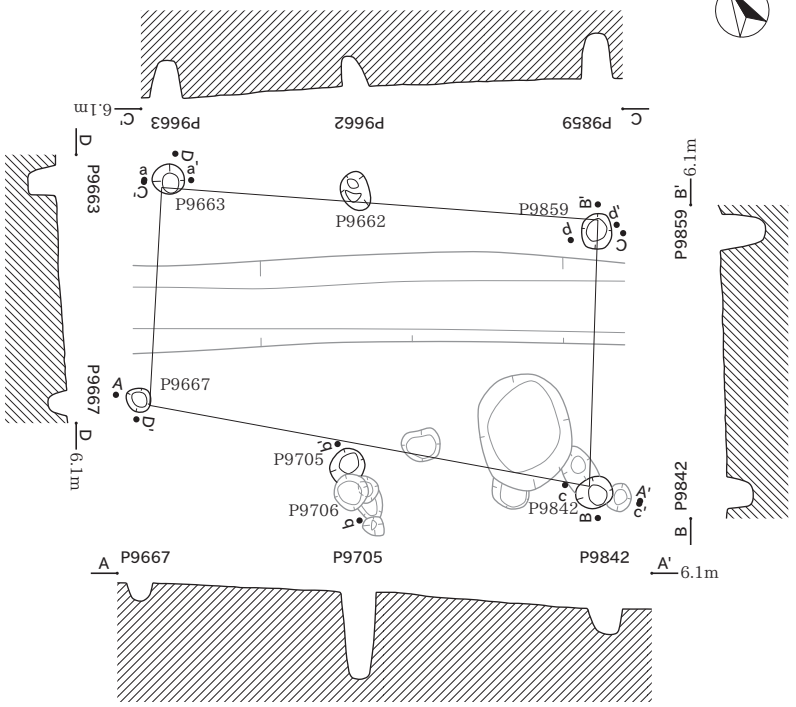
P9809
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
しまり強　炭化物少量　地山粘土
ブロック多量
2 灰黄色粘土（5Y6/2）粘性強
しまり強
褐灰色粘土ブロック少量

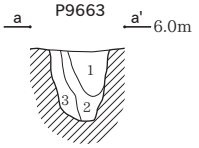


P9819
1 灰白色粘土（N7/1）粘性強
しまり強　炭化物少量
2 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
しまり強　炭化物多量
地山粘土ブロック少量
3 灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
しまり強　炭化物少量
褐灰色粘土ブロック少量

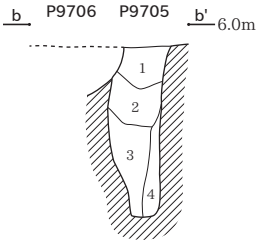
0　その他（1：80）　4m　0　断面図（1：40）　2m

SB10461

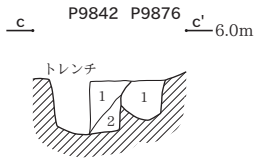




P9663
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　灰色粘土ブロック多量
2 灰色粘土（5YR4/1）粘性やや強　しまりやや強
　黒褐色粘土ブロック微量
3 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　灰色粘土ブロック多量

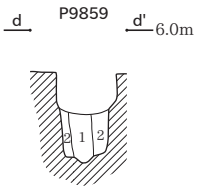


P9705
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまりやや強
　炭化物少量　灰色粘土ブロック微量
2 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　灰色粘土ブロック微量
3 灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強
　黒褐色粘土ブロック微量
4 灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強



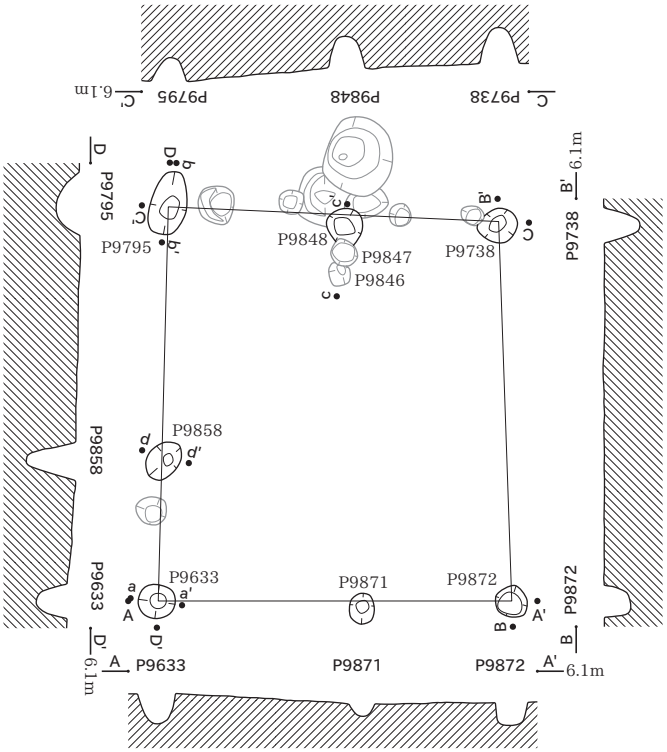
P9876
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強
　しまりやや強

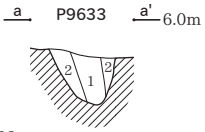
P9842
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2 灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　褐灰色粘土ブロック少量



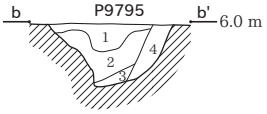
P9859
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　灰色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまりやや強
　灰色粘土ブロック多量

SB10462

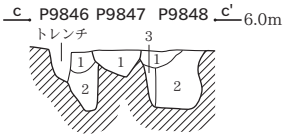




P9633
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック多量
2 灰オリーブ色粘土（5Y6/2）粘性強
　しまり強　炭化物少量
　褐灰色粘土ブロック多量

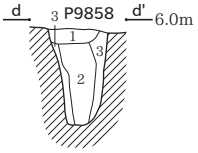


P9795
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強
　しまり強　炭化物微量
　灰色粘土ブロック少量
2 灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強
　黒褐色粘土ブロック微量
3 灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強
　黒褐色粘土ブロック微量
4 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強
　しまりやや強　炭化物微量
　灰色粘土ブロック微量



P9846
1 黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強
　しまり弱　炭化物微量
2 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　しまりやや強

P9847
1 黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強
　しまり強　炭化物微量
　灰色粘土ブロック微量
　灰色シルトブロック微量

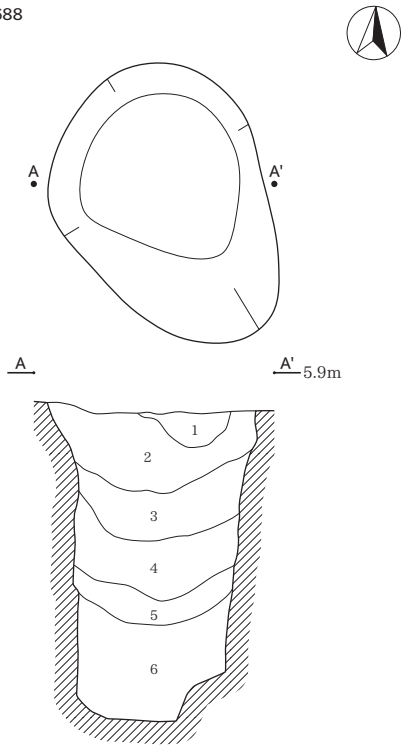


P9858
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強
　しまりやや強　灰色粘土ブロック多量
　暗灰色粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　しまりやや強　炭化物微量
　灰色粘土ブロック多量
3 灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強
　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量

P9848
1 黒色粘土（10YR2/1）粘性やや強　しまり強
　炭化物微量　灰色粘土ブロック微量
2 灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強
　炭化物微量　黒褐色粘土ブロック少量
3 灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強
　炭化物微量　黒褐色粘土ブロック少量

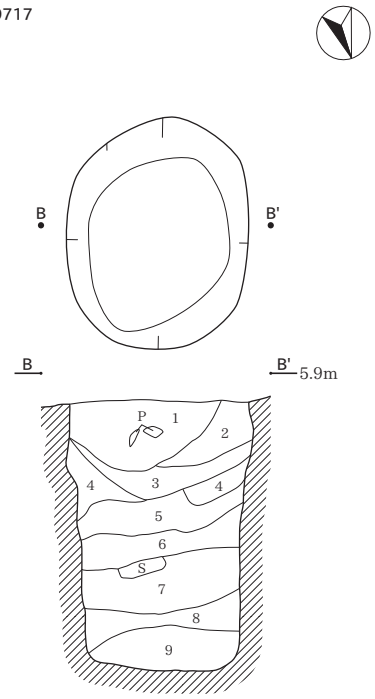
0　その他（1：80）　4m
0　断面図（1：40）　2m

SE9688



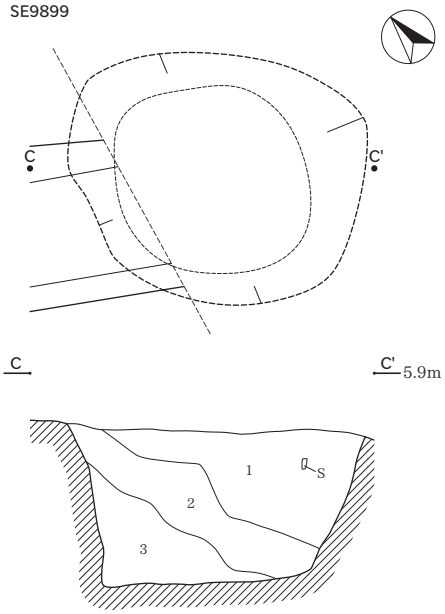
SE9688
1　暗灰色粘土（N3/）粘性やや強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック微量　灰色粘土ブロック少量
2　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強
　黒褐色粘土ブロック微量　暗灰色粘土ブロック微量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　黒色粘土ブロック多量　灰色粘土ブロック微量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　黒色粘土ブロック微量　腐植物微量
5　オリーブ黒色粘土（5Y3/2）粘性強　しまりやや強
　灰色粘土ブロック微量　腐植物少量
6　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまりやや弱
　腐植物多量

SE9717



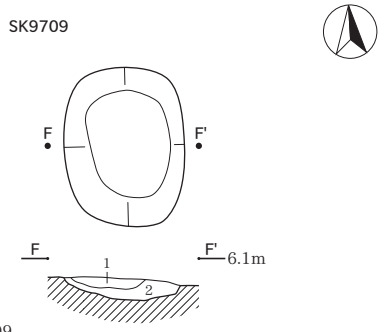
SE9717
1　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり強　炭化物微量
　灰色粘土ブロック微量　灰色シルト微量
2　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　炭化物微量
　黒褐色粘土ブロック多量　暗灰色粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり強　炭化物少量
　灰色粘土ブロック少量
4　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　炭化物少量
　黒褐色粘土ブロック微量
5　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性強　しまり強　炭化物多量
　灰色粘土ブロック少量
6　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強　炭化物微量
　黒褐色粘土ブロック微量
7　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土
　ブロック多量
8　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　炭化物微量
9　灰色砂（5Y4/1）粘性弱　しまり強

SE9899



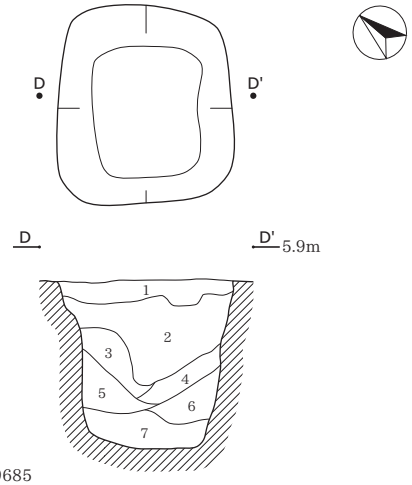
SE9899
1　灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロックを微量含む
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック多量

SK9709



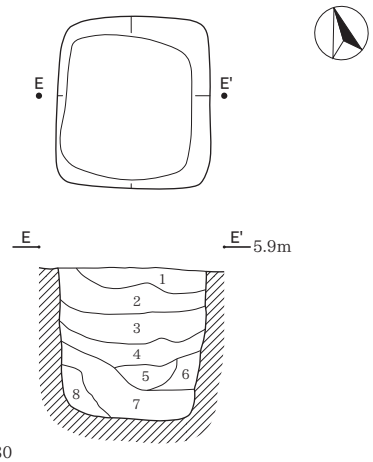
SK9709
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強
　灰色粘土ブロック微量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強
　灰色粘土ブロック多量

SK9685



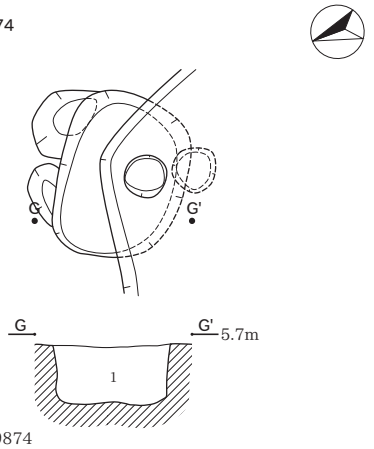
SK9685
1　暗褐色粘土（10YR3/3）粘性やや強　しまり強
　炭化物微量　黒褐色粘土ブロック微量
　灰色粘土ブロック微量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　黒色粘土ブロック少量　灰色粘土ブロック少量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック微量
4　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック多量
5　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック微量
6　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　炭化物微量　灰色粘土ブロック少量
7　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強
　黒褐色粘土ブロック微量

SK9780



SK9780
1　にぶい黄橙色粘土（10YR7/4）粘性強　しまり強
　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
3　黄灰色粘土（2.5Y4/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
4　灰白色粘土（2.5YR7/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量
5　灰白色シルト（2.5YR7/1）粘性強　しまり弱
6　黒褐色粘土（2.5YR3/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量
7　黒色粘土（2.5Y2/1）粘性強　しまり弱
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
8　黄灰色粘土（2.5Y6/1）粘性強　しまり弱
　黒色粘土ブロック多量

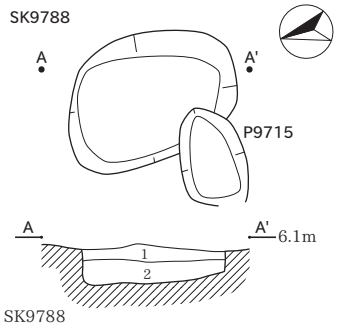
SK9874



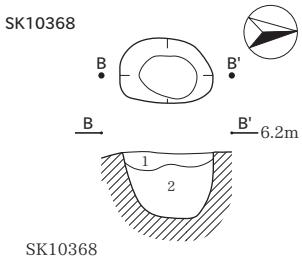
SK9874
1　黒褐色シルト（10YR3/1）粘性やや弱
　しまりやや強　地山粘土ブロック多量

0　(1：40)　2m

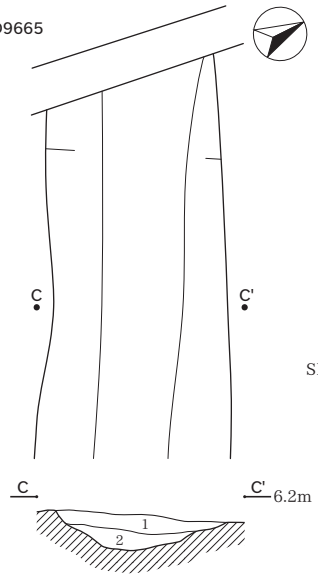
63M
63L
64M
64L
65M
65L
SD9661
杭 9683
撹乱
P9671
P9663
P9664
SB10461
P9681
SD9665
P9686
P9684
P9669
P9672
P9668
P9679
P9670
P9667
P9676
P9666
P9678
P9675
P9689
P9674
P9701
P9677
P9695
P9673
P9693
P9682
P9692
P9694
P9703
P9700
P9786
P9687
SB10459
P9787
SD9707
P9781
P9712
P9713
P9721
P9857
P9720
P9733
SK9788
P9715
SD10369
P10367
SK10368
P10365
P10364
P10353
P10352
P10357
P10356
0
(1 : 100)
5m



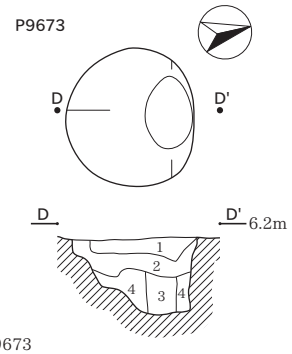
SK9788
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック少量　灰色シルトブロック微量
2　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強　炭化物少量　黒褐色粘土ブロック少量



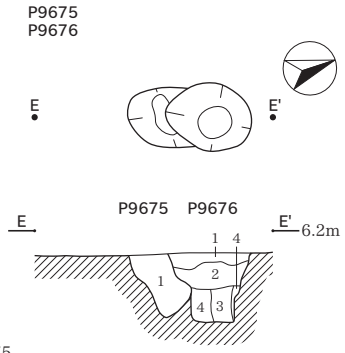
SK10368
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量



SD9665
1　暗褐色粘土（10YR3/3）粘性やや強　しまりやや強
2　暗褐色粘土（10YR3/3）粘性やや強　しまりやや強　灰色粘土ブロック少量　火山灰微量　近世遺物出土

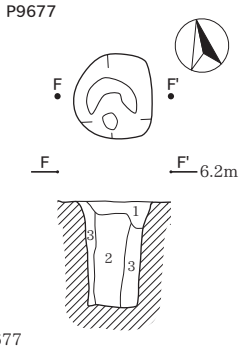


P9673
1　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性やや強　しまりやや強　黒褐色シルト多量　灰色粘土ブロック微量
2　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性やや強　しまりやや強　灰色粘土ブロック多量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量
4　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック微量

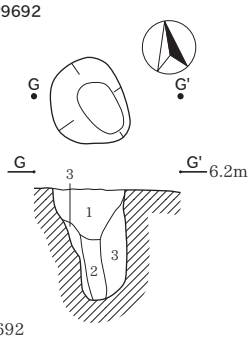


P9675
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　褐色シルト微量

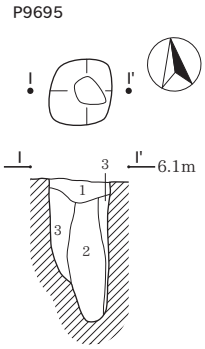
P9676
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強　炭化物微量　灰色粘土ブロック微量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック微量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまりやや強　灰色粘土ブロック多量



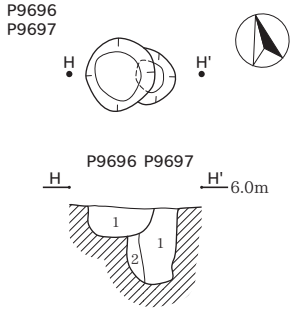
P9677
1　黒褐色粘土（10YR3/2）粘性やや強　しまり強　炭化物微量　灰色粘土ブロック少量　灰色シルトブロック少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱　灰色粘土ブロック微量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量



P9692
1　黒褐色粘土（2.5Y3/2）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック微量　灰色シルトブロック微量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱　灰色粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまりやや強　灰色粘土ブロック多量

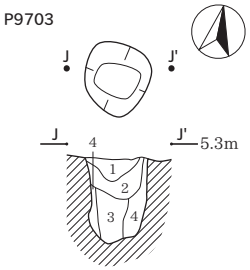


P9695
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性やや強　しまり強　灰色粘土ブロック多量　暗灰色粘土ブロック微量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　灰色粘土ブロック微量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック微量

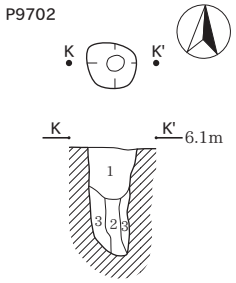


P9696
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまりやや強　灰色粘土ブロック多量

P9697
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　炭化物微量　灰色粘土ブロック少量
2　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強　炭化物微量　黒褐色粘土ブロック微量



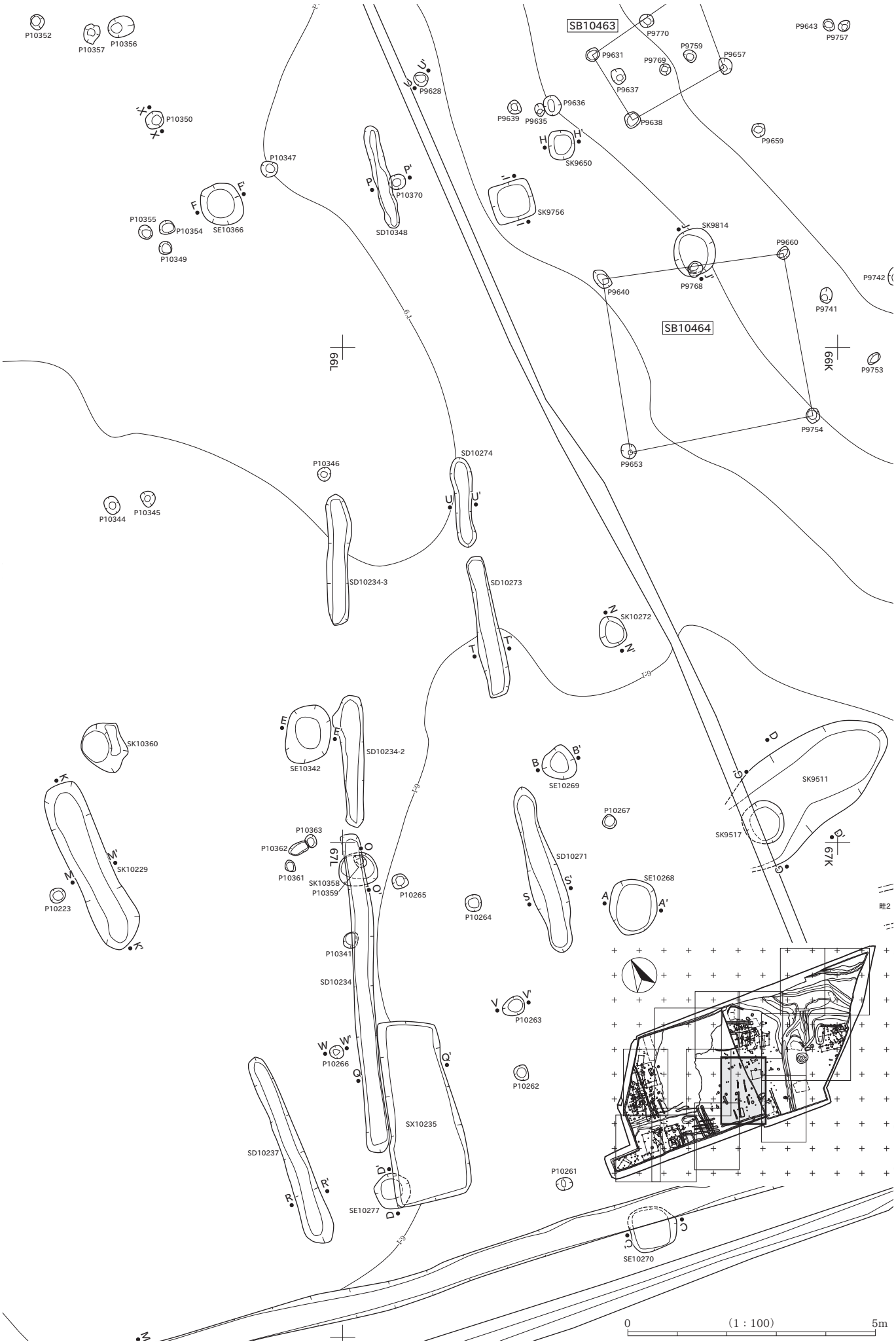
P9703
1　暗褐色粘土（10YR3/3）粘性やや強　しまり強　炭化物少量　灰色粘土ブロック少量　褐色シルトブロック少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強　灰色粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱　炭化物微量　灰色粘土ブロック多量
4　灰色粘土（5Y4/1）粘性強　しまりやや強　炭化物微量　黒褐色粘土ブロック微量



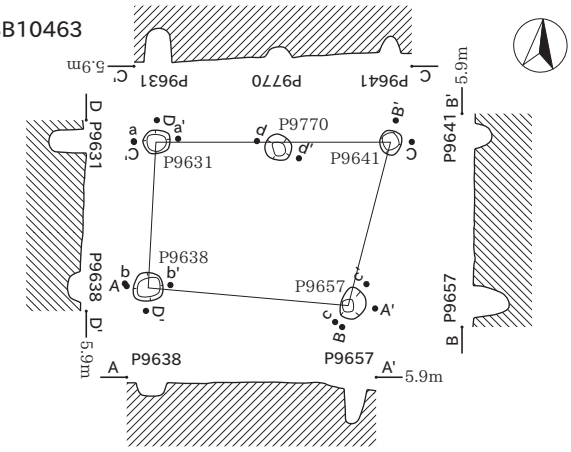
P9720
1　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土（10Y3/1）粘性強　しまりやや弱　灰色粘土ブロック微量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック少量

0　(1：40)　2m

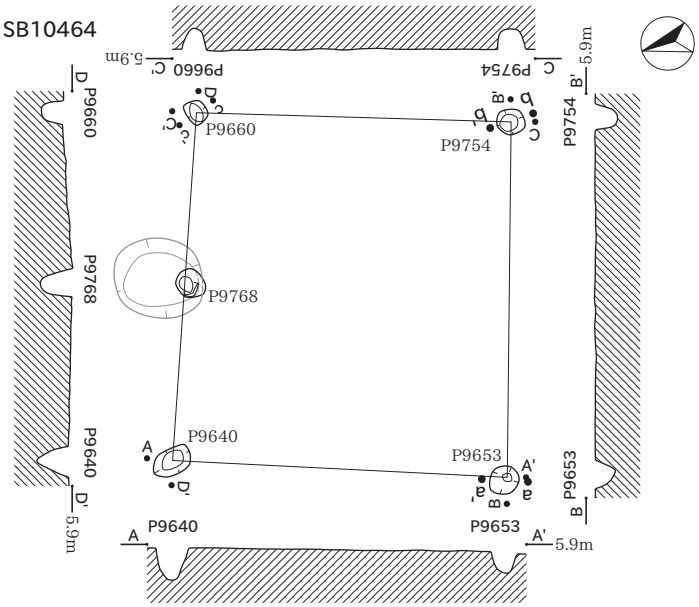
遺構分割図 8

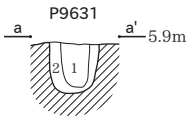

SB10463
SB10464
P10352
P10357
P10356
P10350
P10347
P10370
SD10348
SE10366
P10355
P10354
P10349
P9628
P9770
P9631
P9769
P9759
P9657
P9637
P9638
P9643
P9757
P9636
P9639
P9635
SK9650
P9659
SK9756
SK9814
P9660
P9768
P9640
P9742
P9741
P9753
P9754
P9653
66L
66K
SD10274
P10346
P10344
P10345
SD10234-3
SD10273
SK10272
SE10342
SD10234-2
SK10360
SE10269
SK9511
P10267
SK9517
67K
67L
P10363
P10362
P10361
SK10358
P10359
P10265
SK10229
P10223
P10264
SD10271
SE10268
P10341
SD10234
P10263
P10266
P10262
SX10235
SD10237
P10261
SE10277
SE10270
0
(1 : 100)
5m

SB10463

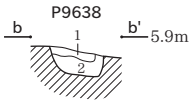


SB10464

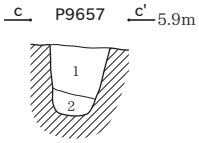




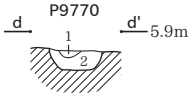
P9631
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2 灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
褐灰色粘土ブロック多量



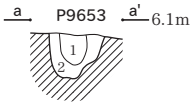
P9638
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
炭化物少量
2 灰オリーブ色粘土（5Y6/2）粘性強　しまり強
褐灰色粘土ブロック少量



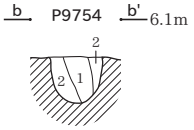
P9657
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱
炭化物少量



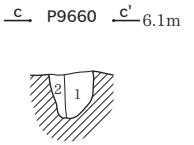
P9770
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
炭化物少量
2 灰白色粘土（10YR8/1）粘性強　しまり強
褐灰色粘土ブロック多量



P9653
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
2 灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強

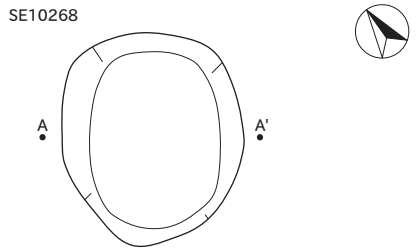


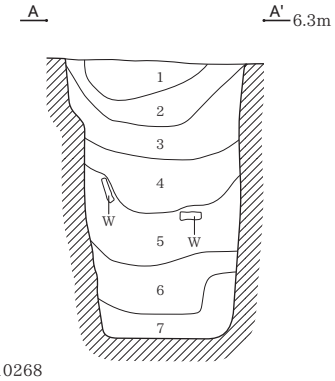
P9754
1 灰色粘土（N4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
地山粘土ブロック少量
2 灰白色粘土（N8/1）粘性強　しまり強



P9660
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック多量

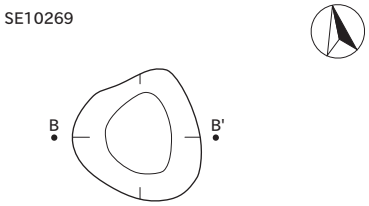
SE10268

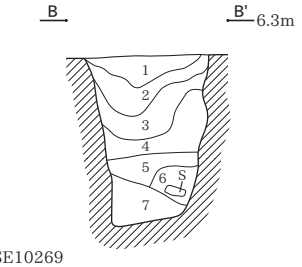




SE10268
1 灰白色粘土（2.5Y8/2）粘性強　しまり強
褐灰色粘土ブロック微量
2 黄灰色粘土（2.5Y5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
3 黄灰色シルト（2.5Y5/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
4 灰白色シルト（2.5Y7/1）粘性弱　しまり弱　砂粒多量
5 暗灰色シルト（N3/）粘性強　しまり弱
黒褐色粘土ブロック少量
6 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
暗灰色シルトブロック少量
7 灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量

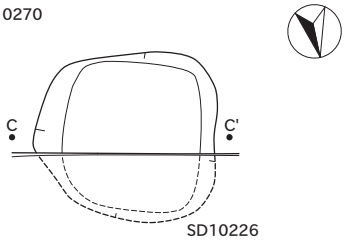
SE10269

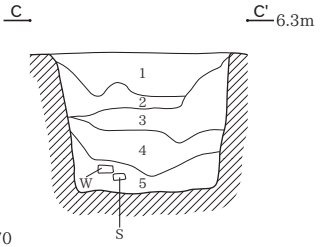




SE10269
1 黄灰色粘土（2..5Y6/1）粘性強　しまり強
炭化物多量　黒褐色粘土ブロック少量
2 黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱
3 褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
炭化物少量
4 黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱
炭化物多量　砂粒多量
5 黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱
地山粘土ブロック少量
6 黒褐色シルト（10YR3/1）粘性強　しまり弱
地山粘土ブロック多量
7 褐灰色シルト（10YR6/1）粘性強　しまり弱
黒褐色粘土ブロック少量

SE10270

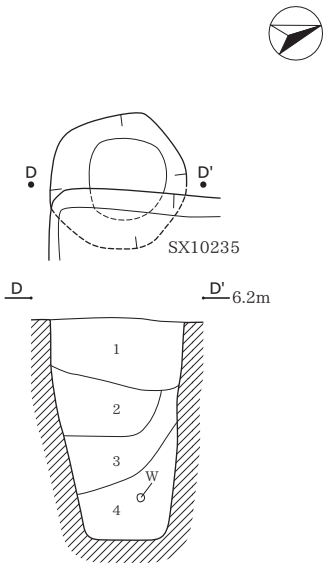




SE10270
1 灰色粘土（N5/）粘性強　しまり強　炭化物少量
灰白色粘土ブロック少量
2 灰白色粘土（N7/）粘性強　しまり弱
灰色粘土ブロック含有
3 褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり弱
炭化物少量
4 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
灰色シルトブロック多量
5 灰色シルト（N4/）粘性強　しまり弱
黒褐色粘土ブロック含有

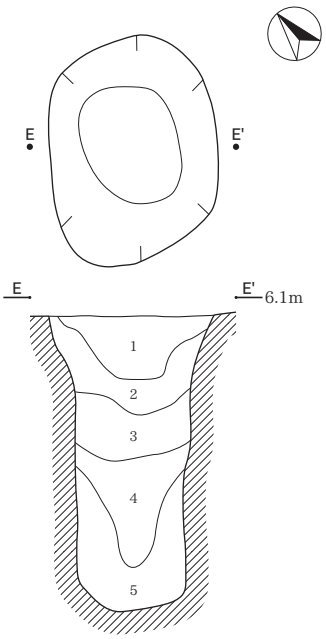
0　SB平面図・エレベーション図（1：80）　4m　0　その他（1：40）　2m

SE10277



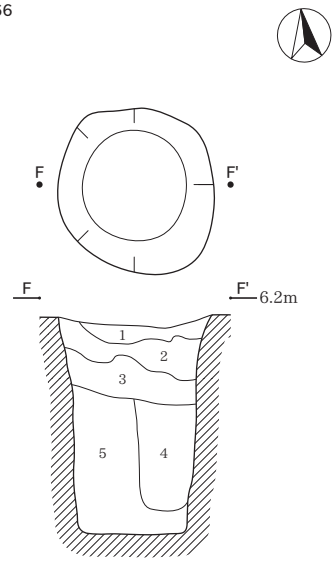
SE10277
1　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　炭化物多量
　灰白色粘土ブロック少量　黒褐色粘土ブロック少量
2　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　炭化物少量
　灰白色粘土ブロック多量
3　暗灰色粘土（N3/）粘性強　しまり弱　炭化物少量
　灰白色粘土ブロック微量
4　暗灰色シルト（N3/）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック多量

SE10342



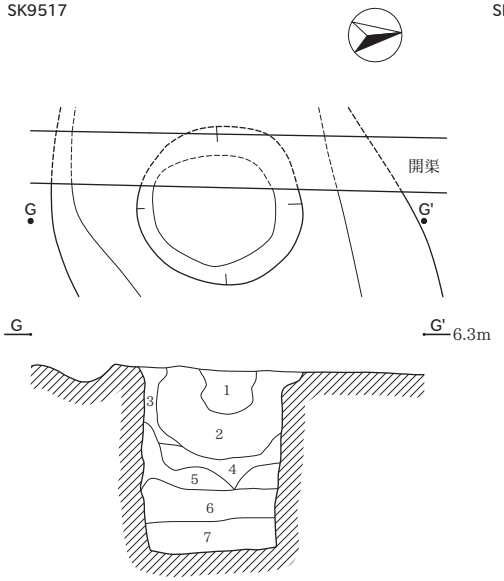
SE10342
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物少量　灰白色シルトブロック多量
5　灰白色シルト（10YR7/1）粘性強　しまり弱
　褐灰色粘土ブロック少量

SE10366



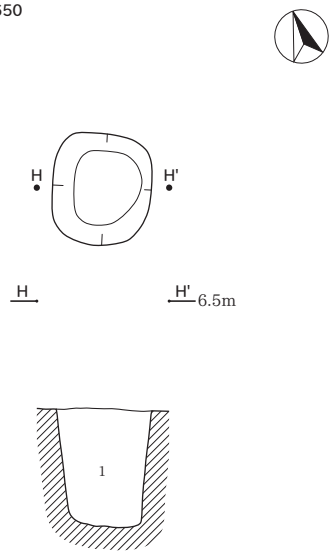
SE10366
1　灰白色粘土（10YR8/1）粘性強　しまり強
　褐灰色粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
5　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物少量　地山粘土ブロック少量

SK9517



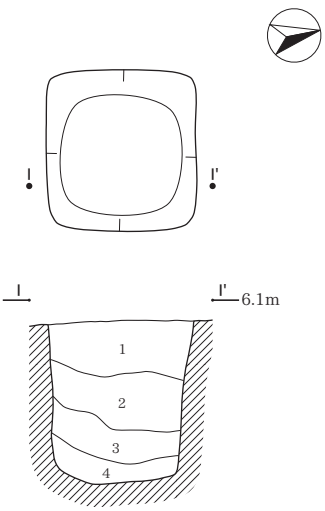
SK9517
1　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強
　炭化物微量　灰色粘土ブロック多量
3　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック微量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強
　灰色粘土ブロック微量
5　灰色粘土（5Y4/1）粘性やや強　しまりやや強
　黒褐色粘土ブロック少量
6　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性やや強　しまり強
　灰色粘土ブロック多量
7　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや強
　灰色粘土ブロック微量　灰色シルトブロック微量

SK9650



SK9650
1　灰色粘土（N6/1）粘性強　しまり弱
　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック多量

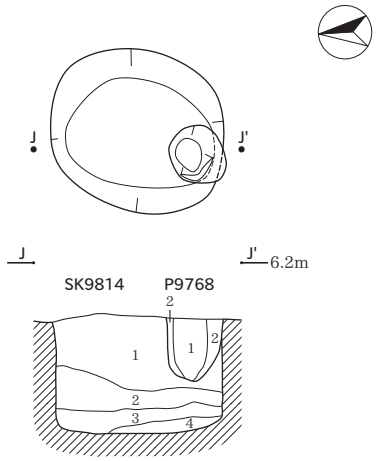
SK9756



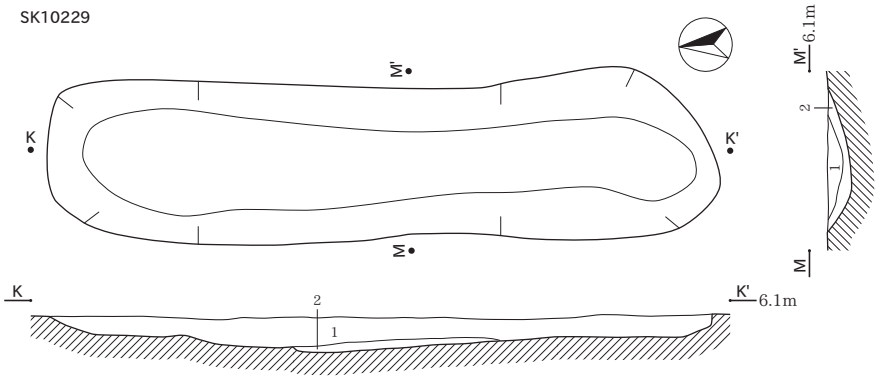
SK9756
1　灰白色粘土（2.5Y7/1）粘性強　しまり強
　褐灰色粘土ブロック多量
2　灰白色シルト（2.5Y7/1）粘性強　しまり弱
　褐灰色粘土ブロック多量
3　灰色粘土（N4/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量
4　灰色粘土（N4/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量

0　（1：40）　2m

SK9814
P9768



SK10229

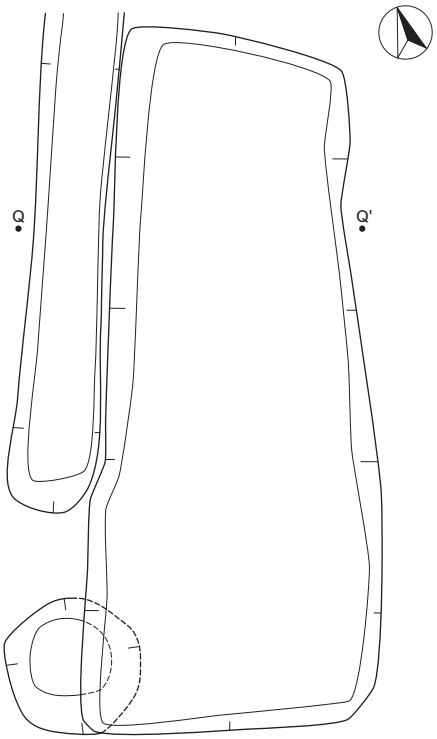


SK10229
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量地山粘土ブロック少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量

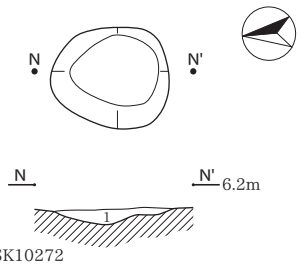
SK9814
1　灰白色粘土（N7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック多量
2　灰白色粘土（N7/2）粘性強　しまり強　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック多量
3　灰色粘土（5Y7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
4　灰白色粘土（5Y8/1）粘性強　しまり強

P9768
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量

SD10234
SX10235

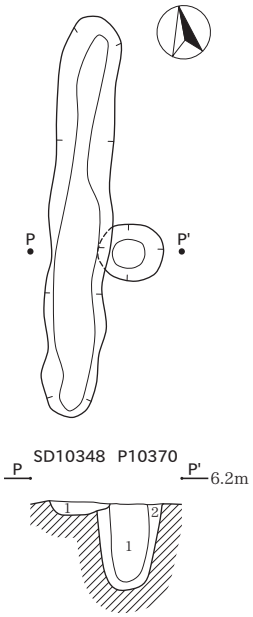


SK10272

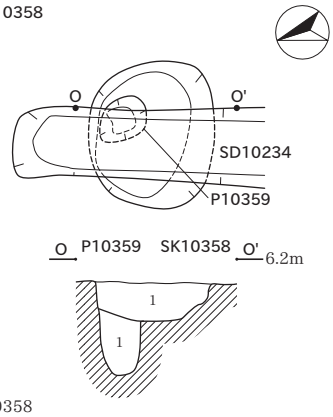


SK10272
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強
しまり強　地山粘土ブロック多量

SD10348
P10370



SK10358

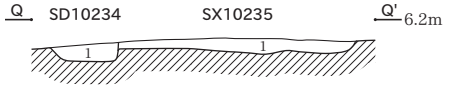


SK10358
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
炭化物多量　地山粘土ブロック多量

P10359
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり弱

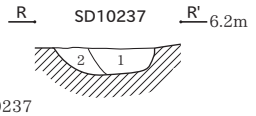
SD10348
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量

P10370
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　しまり強
炭化物少量　地山粘土ブロック少量

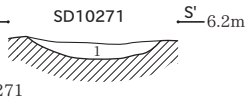


SD10234
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
地山粘土ブロック多量

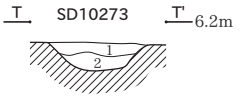
SX10235
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量



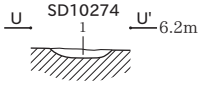
SD10237
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
炭化物多量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
炭化物少量



SD10271
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
しまり強　炭化物少量
地山粘土ブロック多量



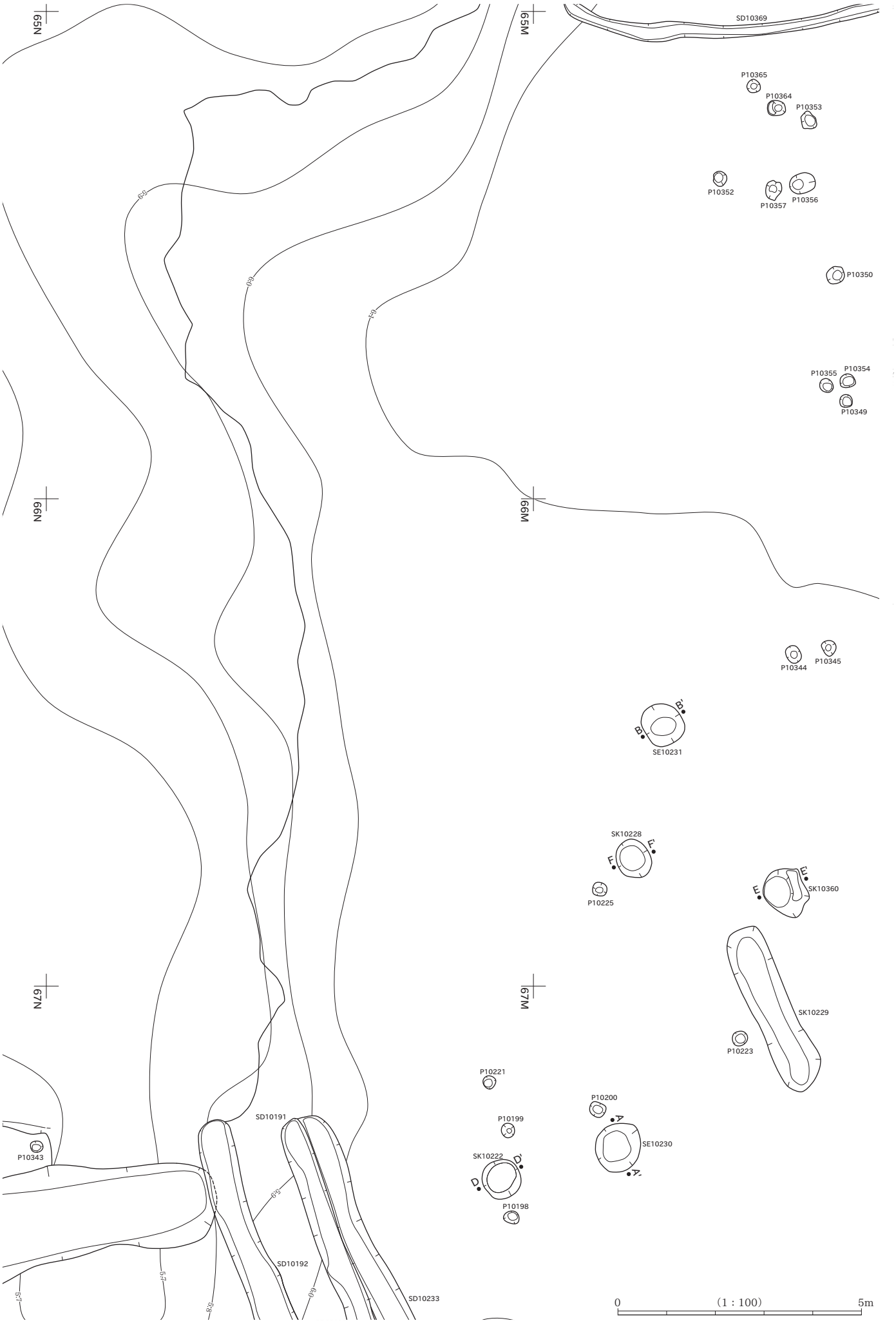
SD10273
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強
しまり強　地山粘土ブロック多量
2　灰白色粘土（2.5Y7/1）粘性強　しまり強

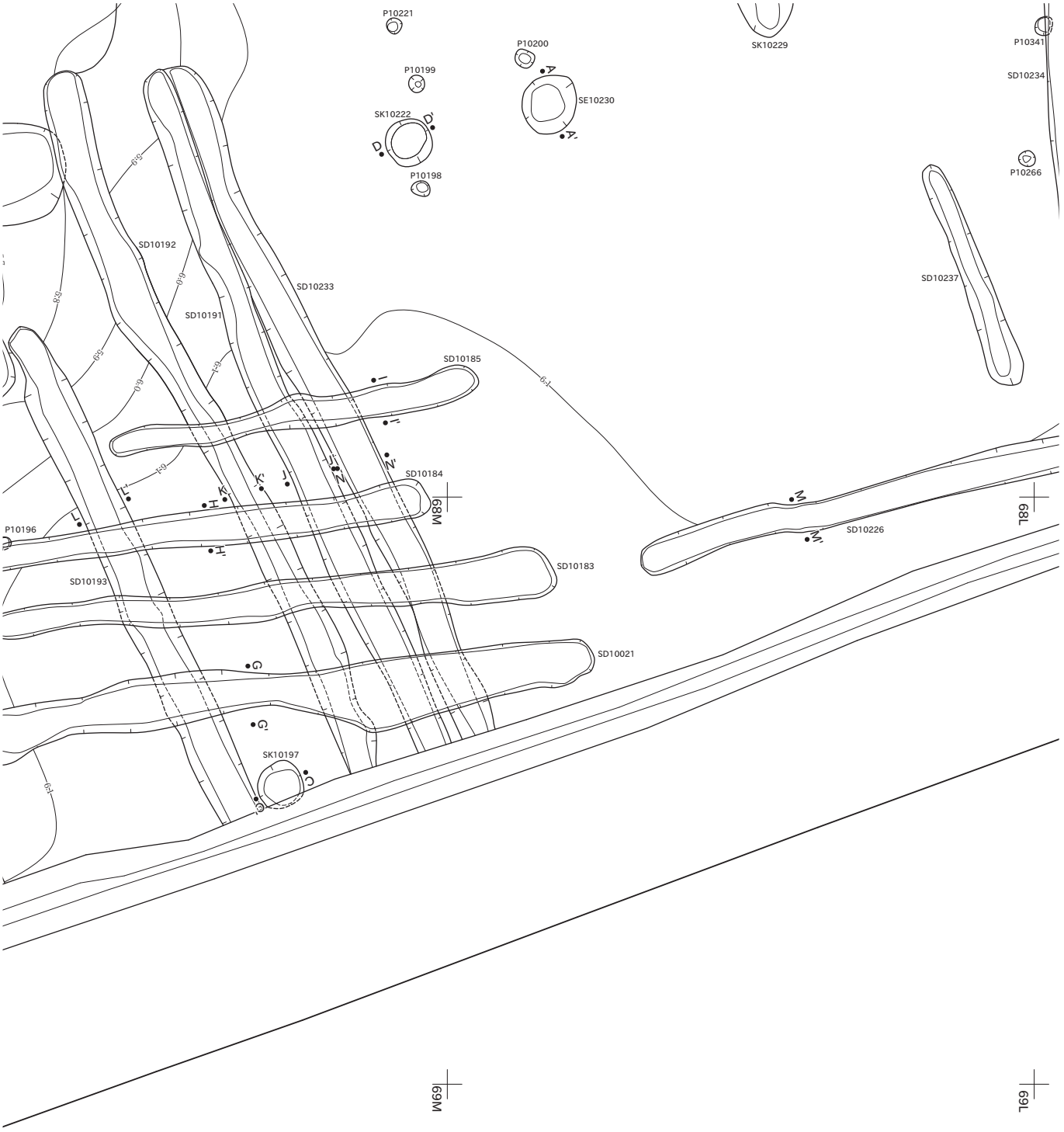


SD10274
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
しまり強　褐灰色粘土ブロック少量

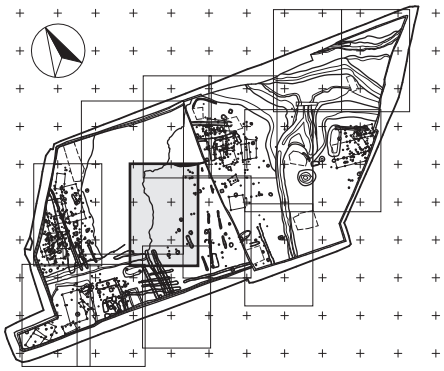
0　(1：40)　2m

遺構分割図 9

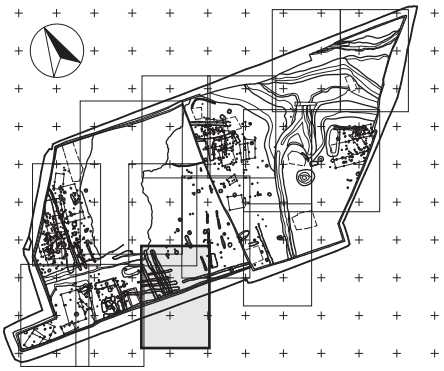

66N
65M
SD10369
P10365
P10364
P10353
P10352
P10357
P10356
P10350
P10355
P10354
P10349
66N
66M
P10344
P10345
SE10231
SK10228
P10225
SK10360
SK10229
P10223
67N
67M
P10221
P10200
P10199
SE10230
SK10222
P10198
SD10191
P10343
SD10192
SD10233
0
(1 : 100)
5m



図版28

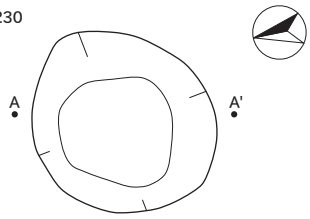


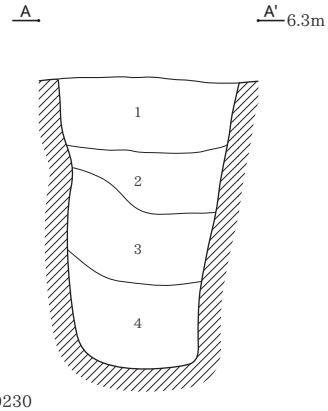
図版29



0　(1：100)　5m

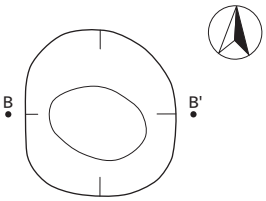
SE10230

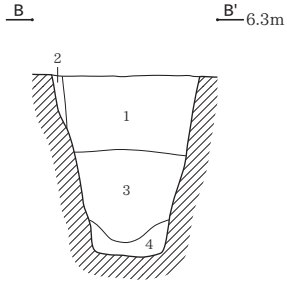




SE10230
1　灰白色粘土（N7/）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　灰色粘土（N5/）粘性強　しまり弱　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量
3　暗灰色シルト（N3/）粘性強　しまり弱　炭化物少量
4　灰色シルト（N6/）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量

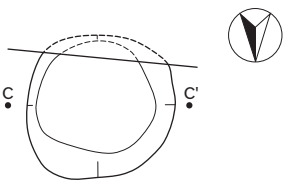
SE10231

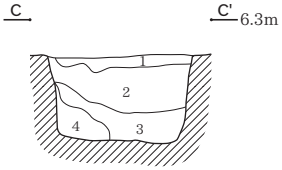




SE10231
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量
2　灰白色粘土（10YR8/1）粘性強　しまり強
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量
4　灰白色シルト（N7/）粘性強　しまり弱
　黒褐色粘土ブロック多量

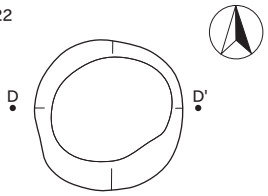
SK10197

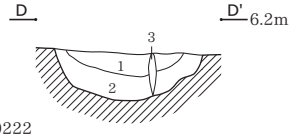




SK10197
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
4　灰色シルト（N4/）粘性弱　しまり弱

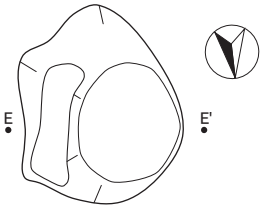
SK10222

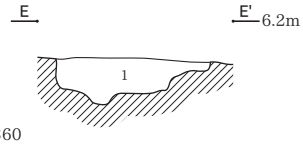




SK10222
1　にぶい黄橙色粘土（10YR7/4）粘性強　しまり強
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量

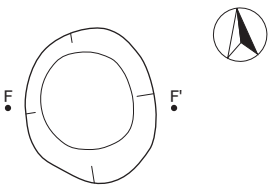
SK10360

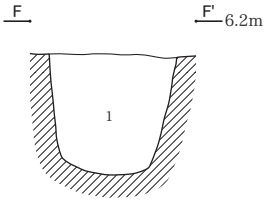




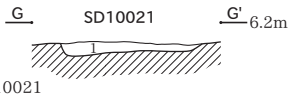
SK10360
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック少量

SK10228

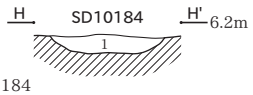




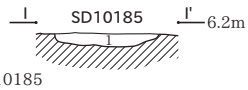
SK10228
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量



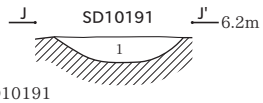
SD10021
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　しまり強　地山粘土ブロック少量



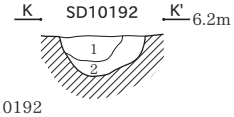
SD10184
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量
　＊近世の溝



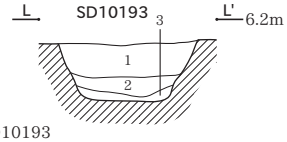
SD10185
1　灰白色粘土（10Y7/1）粘性強
　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量
　＊近世の溝



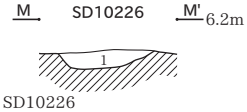
SD10191
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強
　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量



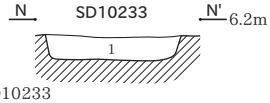
SD10192
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強
　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強
　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量



SD10193
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　しまり強　炭化物多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　しまり弱　酸化物多量
3　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
　しまり強
　褐灰色粘土ブロック多量

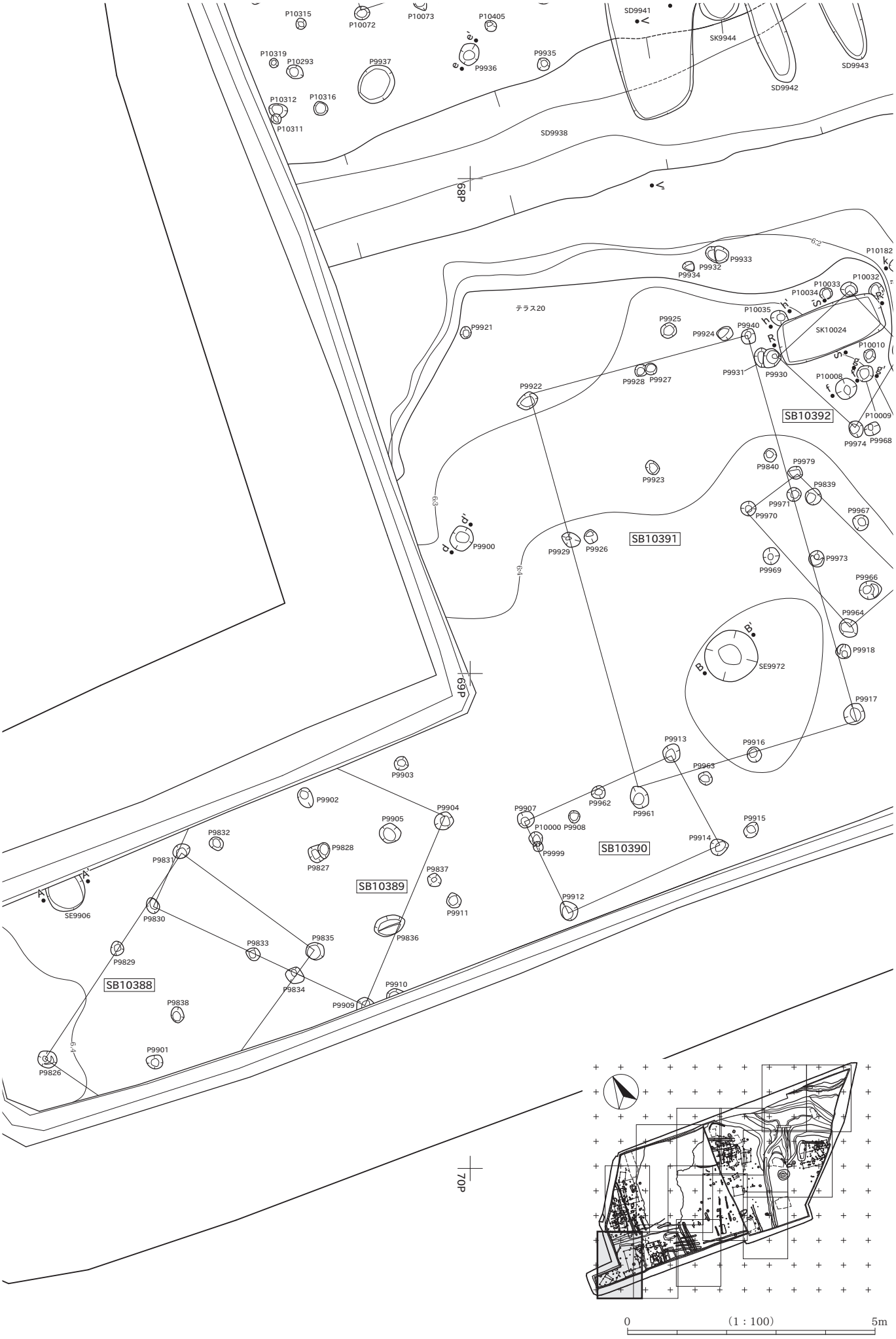


SD10226
1　灰白色粘土（10YR7/1）
　粘性強　しまり強
　炭化物少量

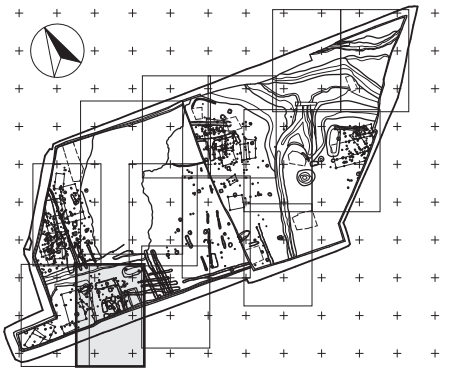


SD10233
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強
　しまり強　炭化物少量

0　(1：40)　2m

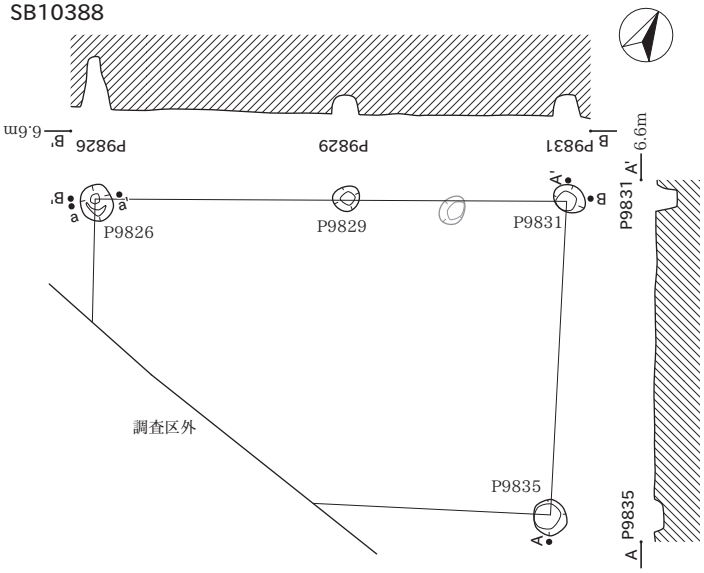

P10315
P10072
P10073
P10405
SD9941
SK9944
SD9943
SD9942
P10319
P10293
P9937
P9936
P9935
P10312
P10316
P10311
SD9938
68P
P9933
P9932
P9934
P10182
P10032
P10033
P10034
P10035
テラス20
P9921
P9925
P9924
P9940
SK10024
P10010
P9931
P9930
P9928
P9927
P10008
P9922
SB10392
P10009
P9974
P9968
P9840
P9979
P9923
P9839
P9971
P9970
P9967
P9900
P9929
P9926
SB10391
P9969
P9973
P9966
P9964
P9918
SE9972
69P
P9917
P9913
P9916
P9903
P9963
P9902
P9962
P9961
P9904
P9907
P9905
P10000
P9908
P9915
P9832
P9828
P9999
P9914
P9831
P9827
SB10390
P9837
SB10389
SE9906
P9911
P9912
P9830
P9836
P9833
P9835
P9829
P9834
SB10388
P9910
P9909
P9838
P9826
P9901
70P
0
(1 : 100)
5m

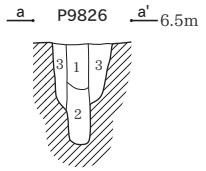
SD9938
SD9943
SD9942
P9950
P10240
P9939
P10236
P10183
P10182
P10040
P10039
SE10181
P10033
P10032
P10034
P10035
P9933
P9924
P9940
SK10024
P9931
P9930
P10010
P10008
P10009
SB10392
P9974
P9968
P9919
P9840
P9979
P9839
P9971
P9970
P9967
P9920
P9969
P9973
P9966
SB10391
P9965
P9977
P9964
SB10393
P9918
SE9972
P9917
P9916
P9915
P9914
P9978
P9983
P9982
P10005
P10004
P10006
P10020
SE10003
SX10002
P10195
P10028
P10027
P10190
P10189
P10188
P10026
P10038
SE10037
P10023
P10025
P9984
P9985
P9986
SE10015
SE10001
P9987
P9995
P9990
P9989
P9988
SK9980
SE10007
SK9975
SK9981
SE10014
P9991
P10017
SX10030
P10012
P9997
SK10018
SE10036
SE10239
SE10227
SK10016
SK9976
SX10019
SX10031
P10453
SK10224
P10454
SD10193
P10196
P10194
SD10184
SD10183
SE10232
P10275
P10276
P9998
SD10022
SD10021
P9996
SX10029
P9994
P9993
P9992
680
690
700
N69
N68



0　(1 : 100)　5m

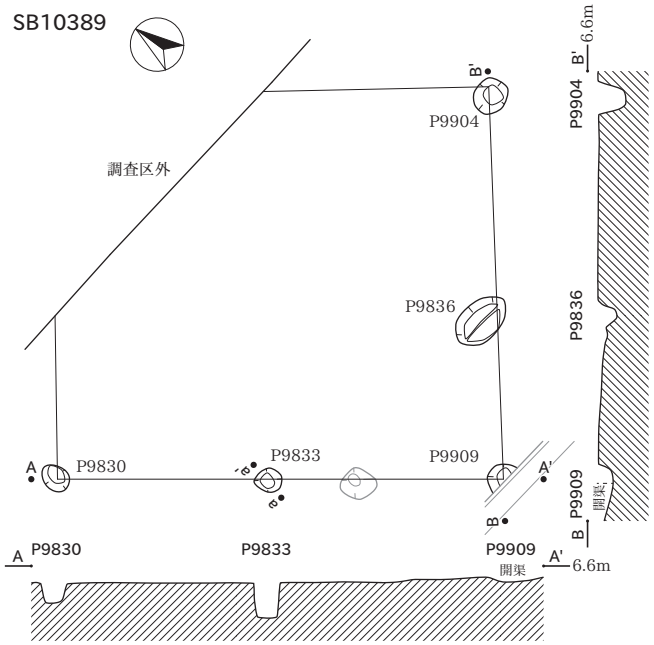
SB10388

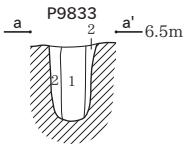




P9826
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱
　　地山粘土ブロック多量
3　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　　褐灰色粘土ブロック少量

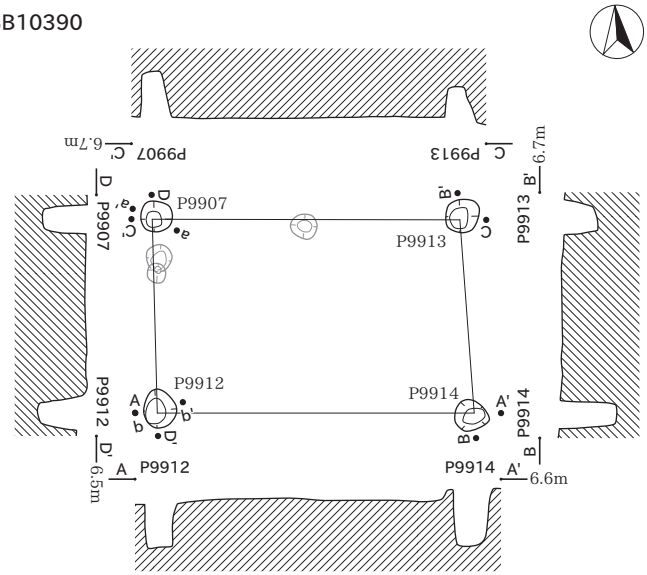
SB10389

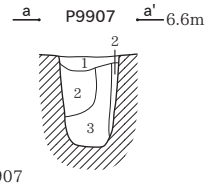




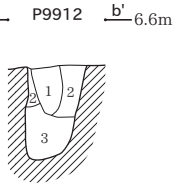
P9833
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　　しまり強　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
　　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量

SB10390



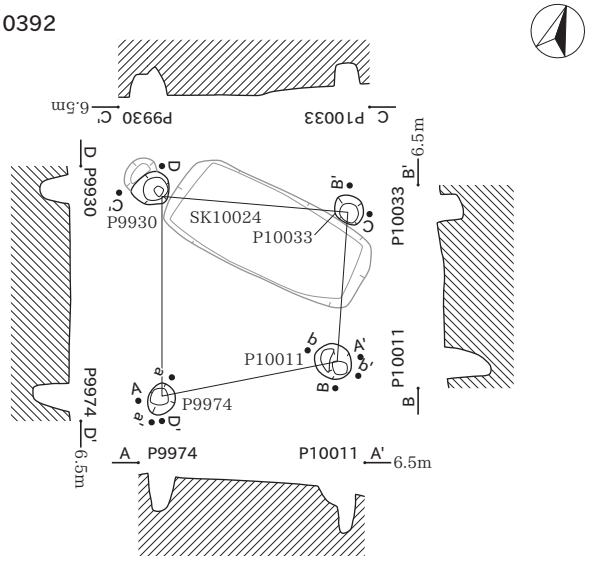


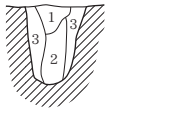
P9907
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
　　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　　しまり強　炭化物少量
　　褐灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　　しまり弱　地山粘土ブロック少量



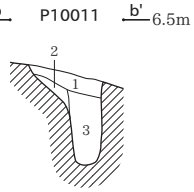
P9912
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
　　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱
　　地山粘土ブロック少量

SB10392





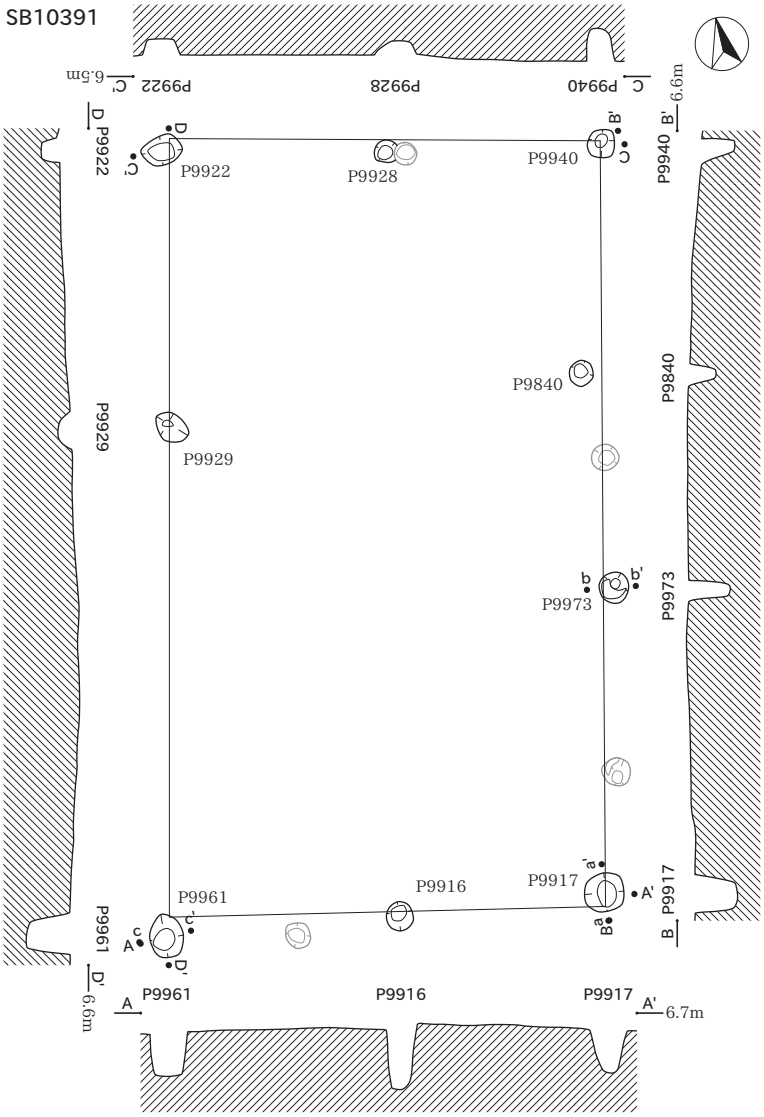
P9974
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　　しまり強
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　　しまり強　地山粘土ブロック多量
3　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
　　しまり強
　　褐灰色粘土ブロック多量

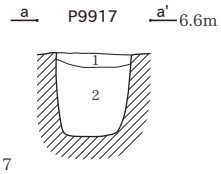


P10011
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　　炭化物少量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　　地山粘土ブロック多量

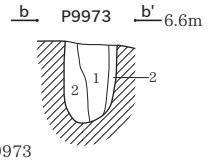
0　その他（1：80）　4m　　0　断面図（1：40）　2m

SB10391

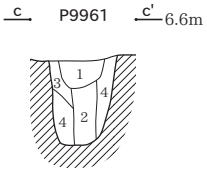




P9917
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量

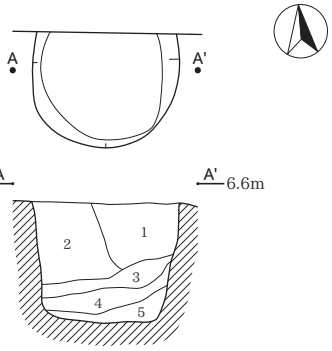


P9973
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量



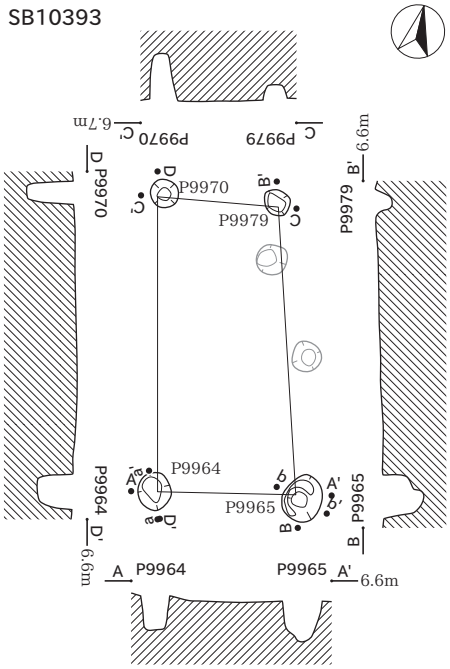
P9961
1　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり弱　炭化物少量　砂粒少量
2　灰色粘土（N3/）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量
4　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量

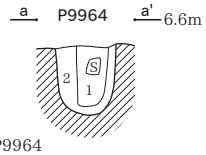
SE9906



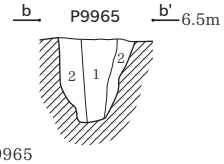
SE9906
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量
4　暗灰色粘土（N3/）粘性強　しまり弱
5　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり弱　黒色粘土ブロック少量

SB10393



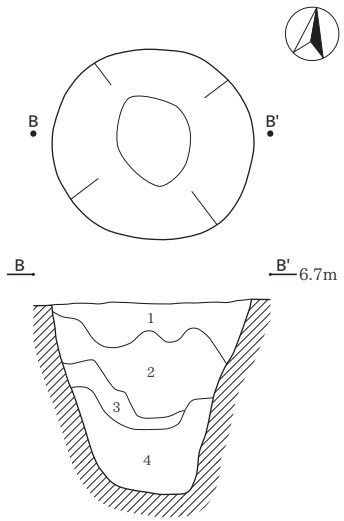


P9964
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　礫含有
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック多量



P9965
1　黒褐灰色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量

SE9972

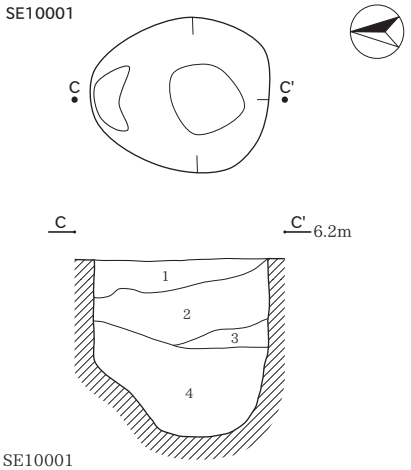


SE9972
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量
2　浅黄色粘土（5Y7/3）粘性強　しまり弱　褐灰色粘土ブロック多量
3　暗灰色粘土（N3/）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック少量
4　浅黄色シルト（5Y7/3）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック少量

0　その他（1：80）　4m

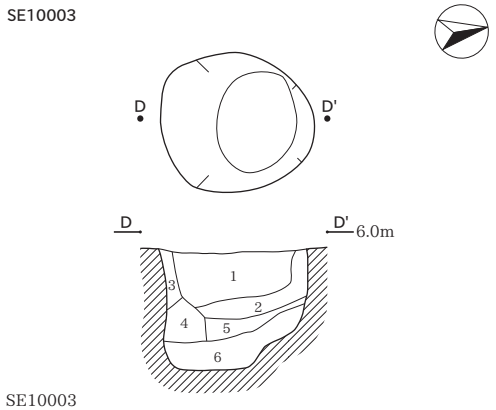
0　断面図（1：40）　2m

SE10001



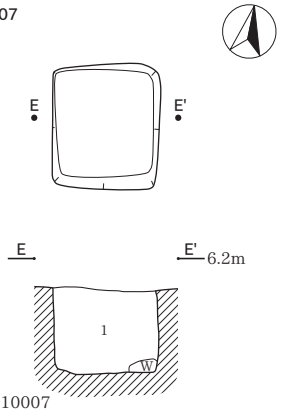
SE10001
1　にぶい黄褐色粘土（10YR4/3）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量

SE10003



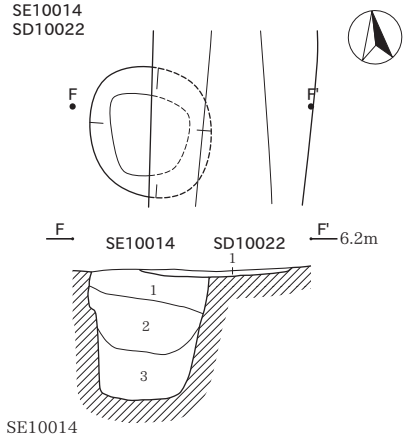
SE10003
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量
4　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量
5　黒色粘土　（10YR2/1）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック少量
6　灰白色粘土（N7/）粘性強　しまり弱　炭化物少量
　黒褐色粘土ブロック多量

SE10007



SE10007
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性
　強　しまり強　炭化物少量　地
　山粘土ブロック多量

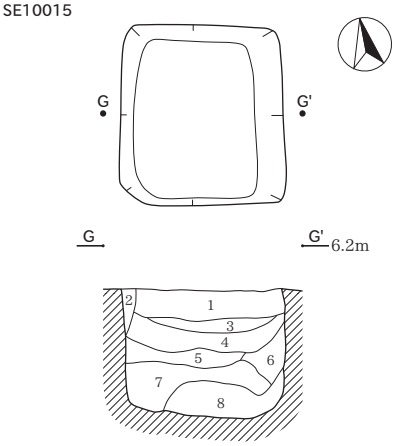
SE10014
SD10022



SE10014
1　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　黒褐色粘土ブロック多量
2　黒色粘土　（N2）粘性強　しまり弱　炭化物多量
3　にぶい黄橙色粘土（10YR7/4）粘性強　しまり弱
　炭化物少量　黒色粘土ブロック少量

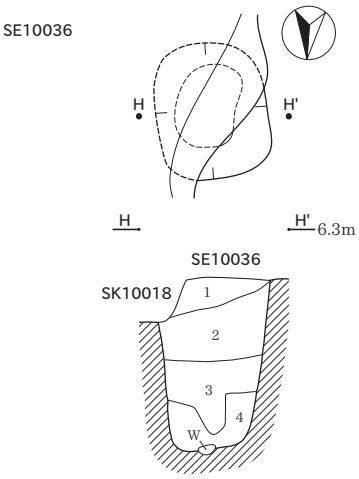
SD10022
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強

SE10015



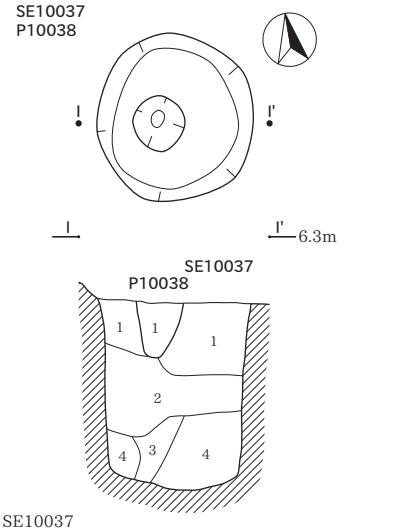
SE10015
1　灰白色粘土（N7/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック少量
2　明青灰色粘土（5B7/1）粘性強　しまり強
3　暗灰色粘土（N3/）粘性強　しまり弱　炭化物少量
4　灰黄褐色粘土（10YR5/2）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック少量
5　明黄褐色粘土（10YR7/6）粘性強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック少量
6　明黄褐色粘土（10YR7/6）粘性強　しまり強　炭化物多量
7　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量
8　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量

SE10036



SE10036
1　灰白色粘土（N5/）粘性強　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量
2　灰白色粘土（N5/）粘性強　しまり強　炭化物多量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物少量
4　褐灰色シルト（10YR6/1）粘性強　しまり弱

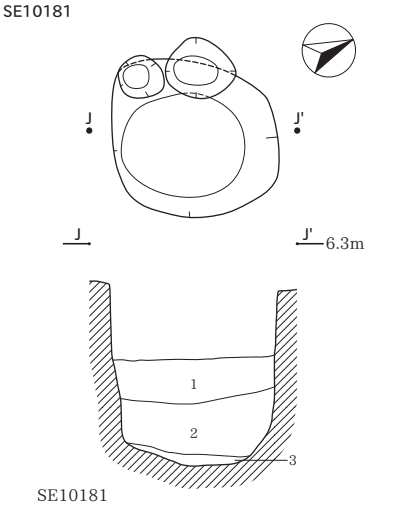
SE10037
P10038



SE10037
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
3　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまり弱
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック多量

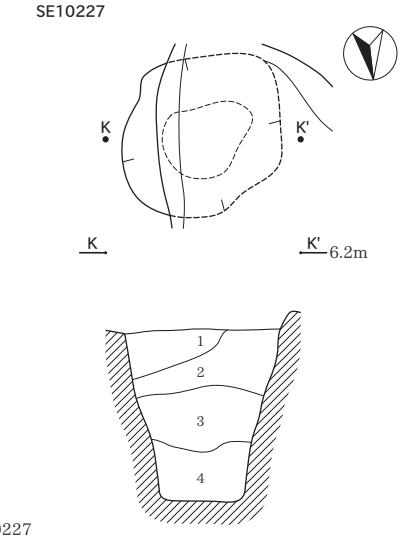
P10038
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量

SE10181



SE10181
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
3　灰白色シルト（10YR7/1）粘性強　しまり弱
　黒褐色粘土ブロック少量

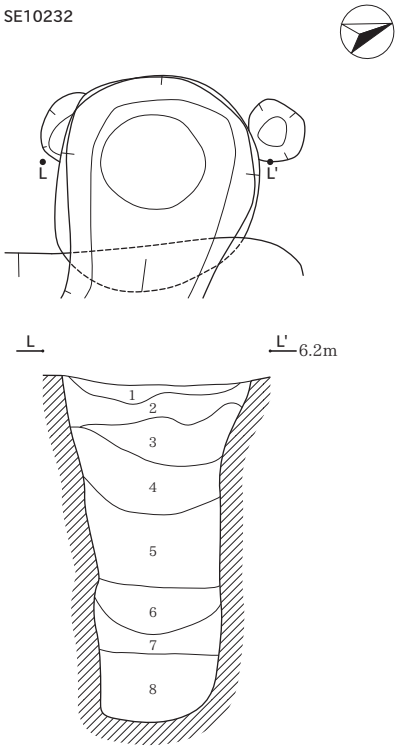
SE10227



SE10227
1　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　地山ブロック多量
　酸化物多量
3　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック多量
4　灰白色粘土（N7/）粘性強　しまり弱
　褐灰色土ブロック多量

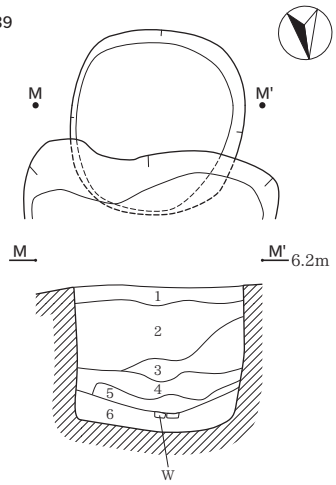
0　（1：40）　2m

SE10232



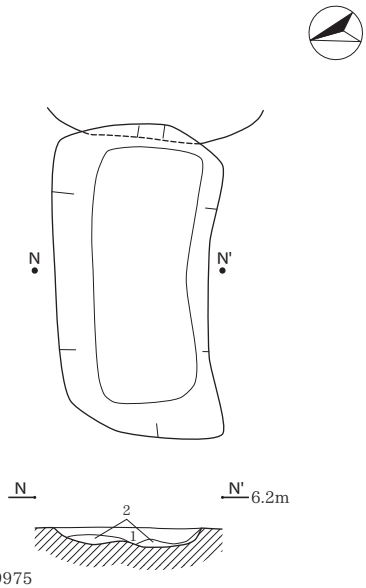
SE10232
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
3　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
5　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
6　灰黄褐色シルト（10YR6/2）粘性強　しまり弱
　炭化物少量
7　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物多量
8　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱

SE10239



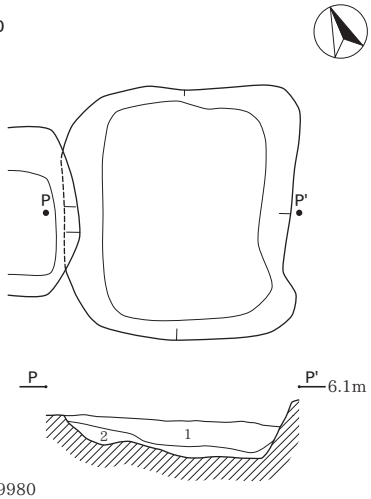
SE10239
1　灰黄褐色粘土（10YR6/2）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量
3　灰白色粘土（10YR8/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　褐灰色粘土ブロック多量
4　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量
　砂粒多量
5　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
　地山粘土ブロック多量
6　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量
　地山粘土ブロック少量

SK9975



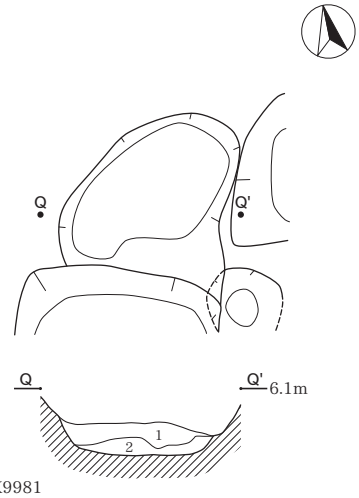
SK9975
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強

SK9980



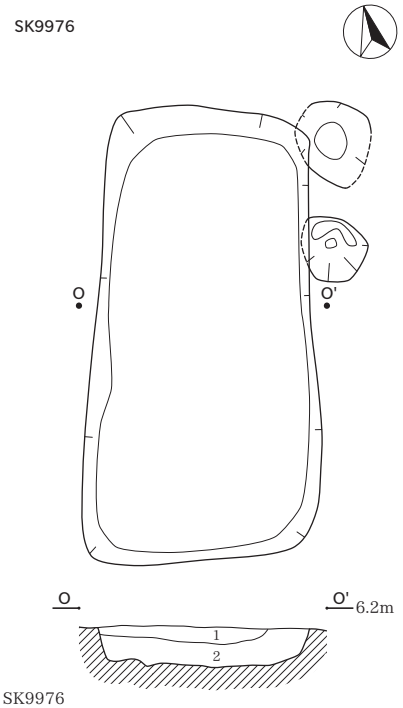
SK9980
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　砂粒少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量

SK9981



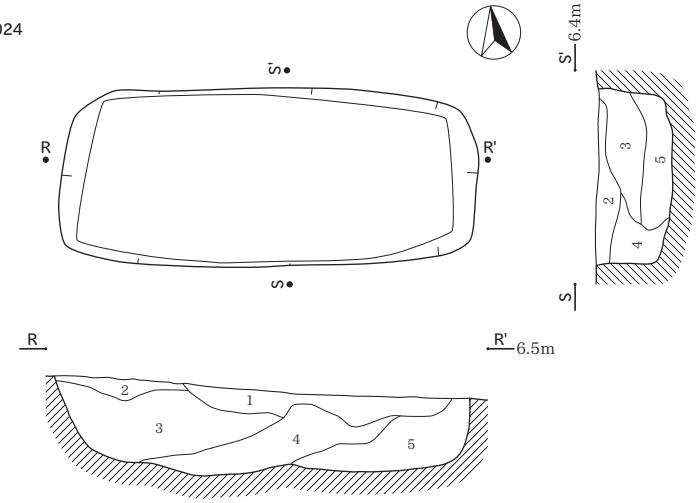
SK9981
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱
　炭化物少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱

SK9976



SK9976
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり弱

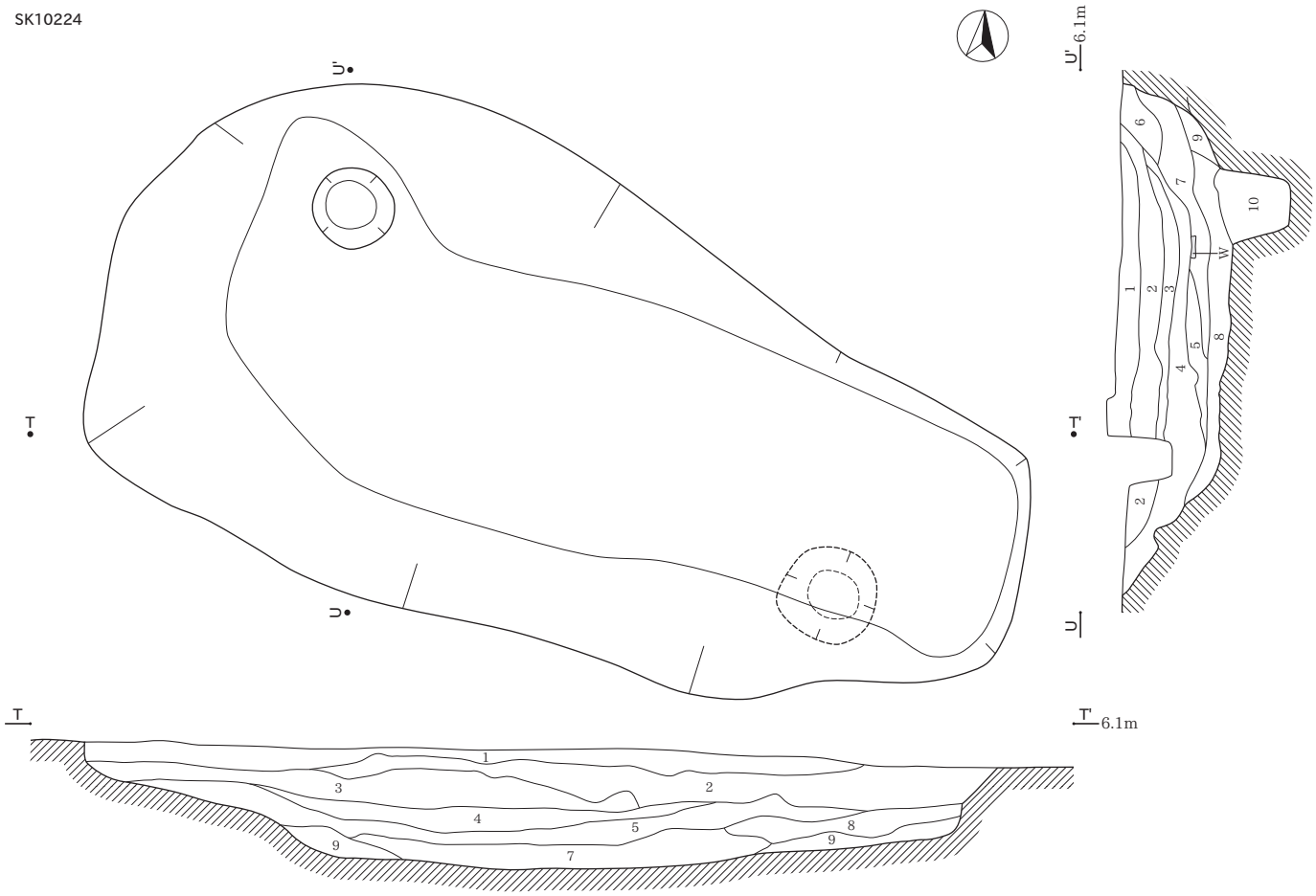
SK10024



SK10024
1　灰黄褐色粘土（10YR5/2）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
4　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック多量
5　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック多量

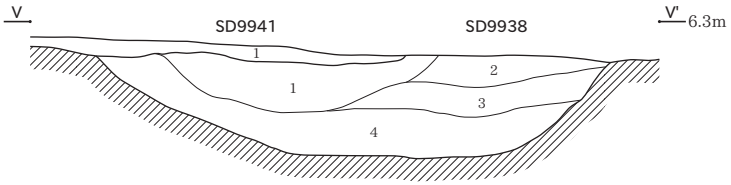
0　（1：40）　2m

SK10224



SK10224
1　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量　酸化物少量
2　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強
4　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
5　褐灰色粘土（7.5YR6/1）粘性強　しまり弱　酸化物多量
6　灰白色粘土（7.5YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
7　灰黄褐色粘土（10YR6/2）粘性強　しまり強　炭化物少量
8　褐灰色粘土（7.5YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　酸化物多量
9　黒褐色シルト（7.5YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
10　黒褐色シルト（7.5YR3/1）粘性強　しまり弱　地山粘土ブロック少量

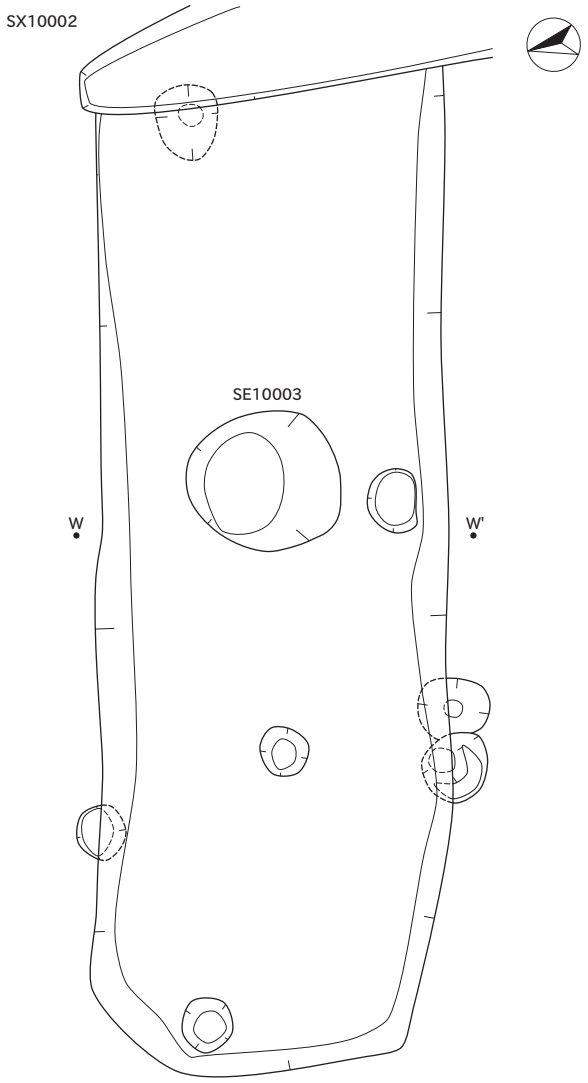
SD9941・SD9938

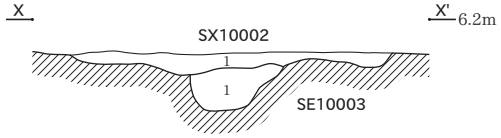


SD9941
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量

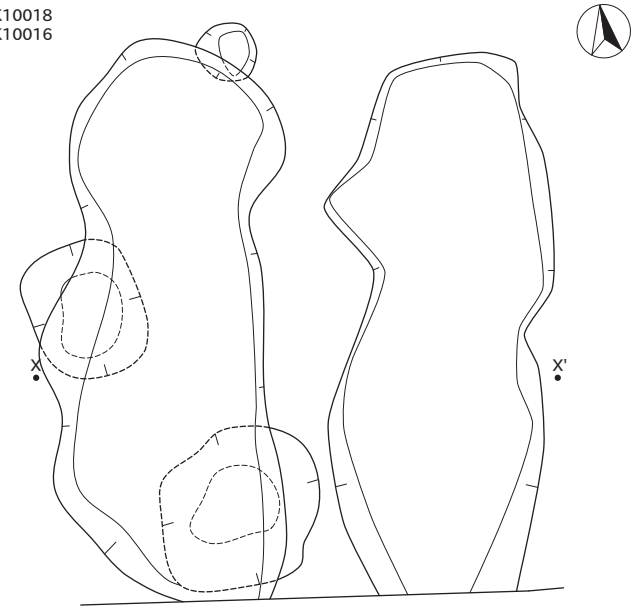
SD9938
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性やや弱　しまりやや弱　炭化物多量　黒褐色粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性やや弱　しまりやや弱　褐灰色粘土ブロック少量
4　明緑灰色粘土（10GY8/1）粘性やや弱　しまりやや弱　褐灰色粘土ブロック少量　酸化物多量

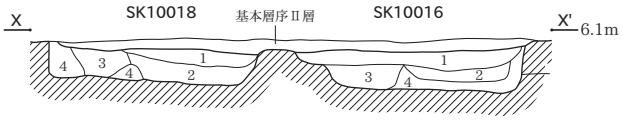
0　（1：40）　2m





SX10002
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック多量

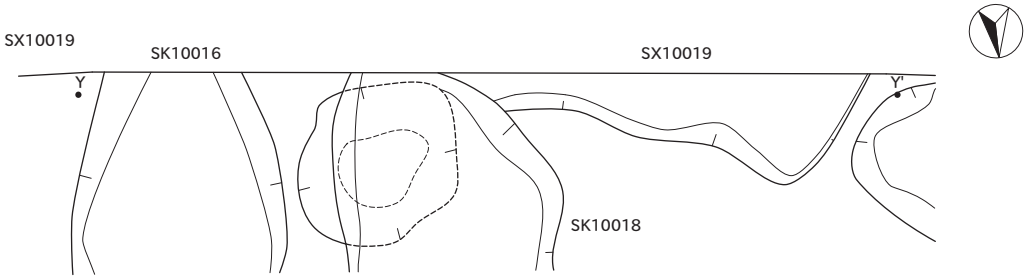


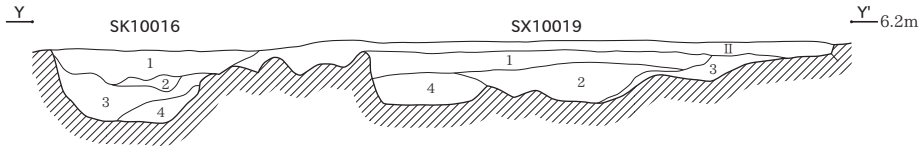


SK10018
1　灰色粘土（N4/）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック少量
3　灰色粘土（N5/）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量
4　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強

SK10016
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
3　灰黄褐灰色粘土（10YR6/2）粘性強　しまり強　炭化物少量
4　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強

SE10003
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック少量



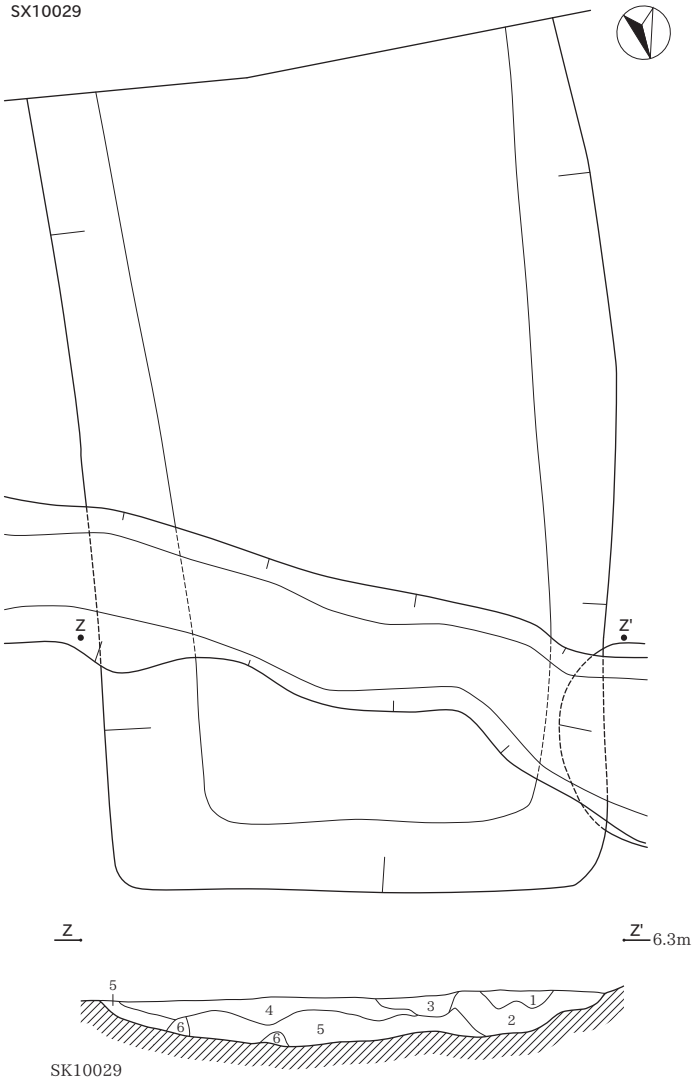


SX10019
1　にぶい黄橙色粘土（10YR7/2）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
2　黄灰色粘土（2.5YR4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
3　黄灰色粘土（2.5YR6/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量
4　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量

SK10016
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
3　灰黄褐灰色粘土（10YR6/2）粘性強　しまり強　炭化物少量
4　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強

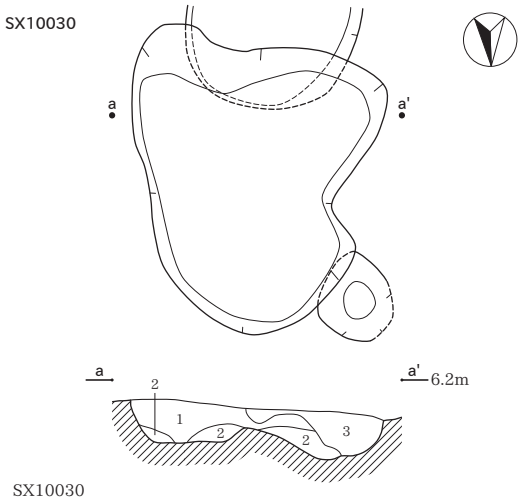
0　（1：40）　2m

SX10029



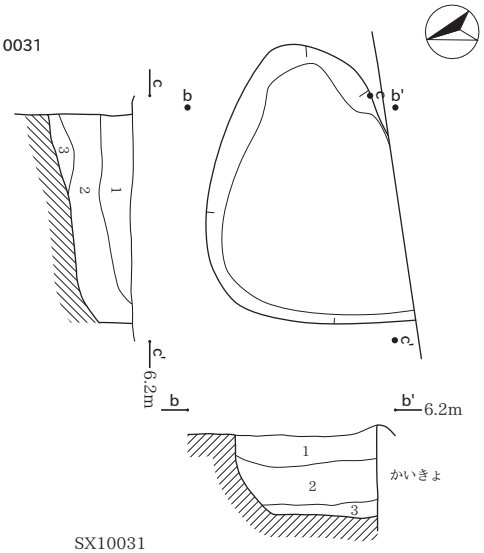
SK10029
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
4　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量
5　灰白色粘土（10YR8/1）粘性強　しまり強
6　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　褐灰色粘土ブロック多量

SX10030



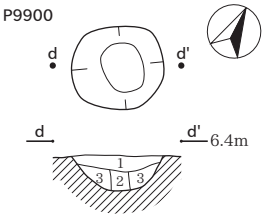
SX10030
1　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　黒褐色粘土ブロック多量
3　灰白色粘土（10YR8/1）粘性強　しまり強

SX10031



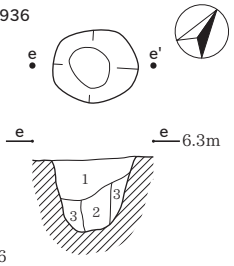
SX10031
1　灰黄褐色粘土（10YR6/2）粘性強　しまり強　炭化物多量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
3　灰白色粘土（10YR8/1）粘性強　しまり強

P9900



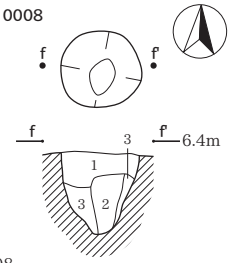
P9900
1　黒褐色シルト（10YR3/1）粘性弱
　しまり弱　地山粘土ブロックを多量含む
2　明オリーブ色粘土（5GY7/1）粘性弱
　しまり弱　黒色粘土ブロック少量
3　灰白色粘土（5GY8/1）粘性弱
　しまり弱　黒色粘土ブロック多量

P9936



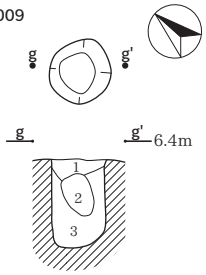
P9936
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり弱
3　明緑灰色粘土（10GR7/1）粘性弱
　しまり弱　褐灰色粘土ブロック少量

P10008



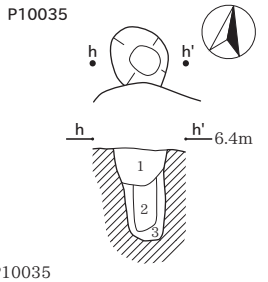
P10008
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
3　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強

P10009



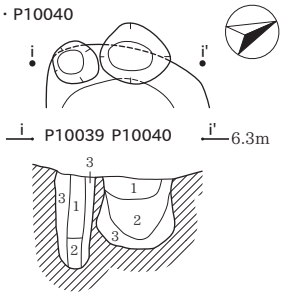
P10009
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　しまり強　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　しまり強　炭化物少量
3　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強
　しまり強

P10035



P10035
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
3　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強

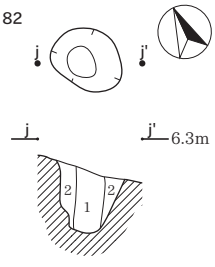
P10039・P10040



P10039
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
2　灰白色粘土（10YR7/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
3　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量

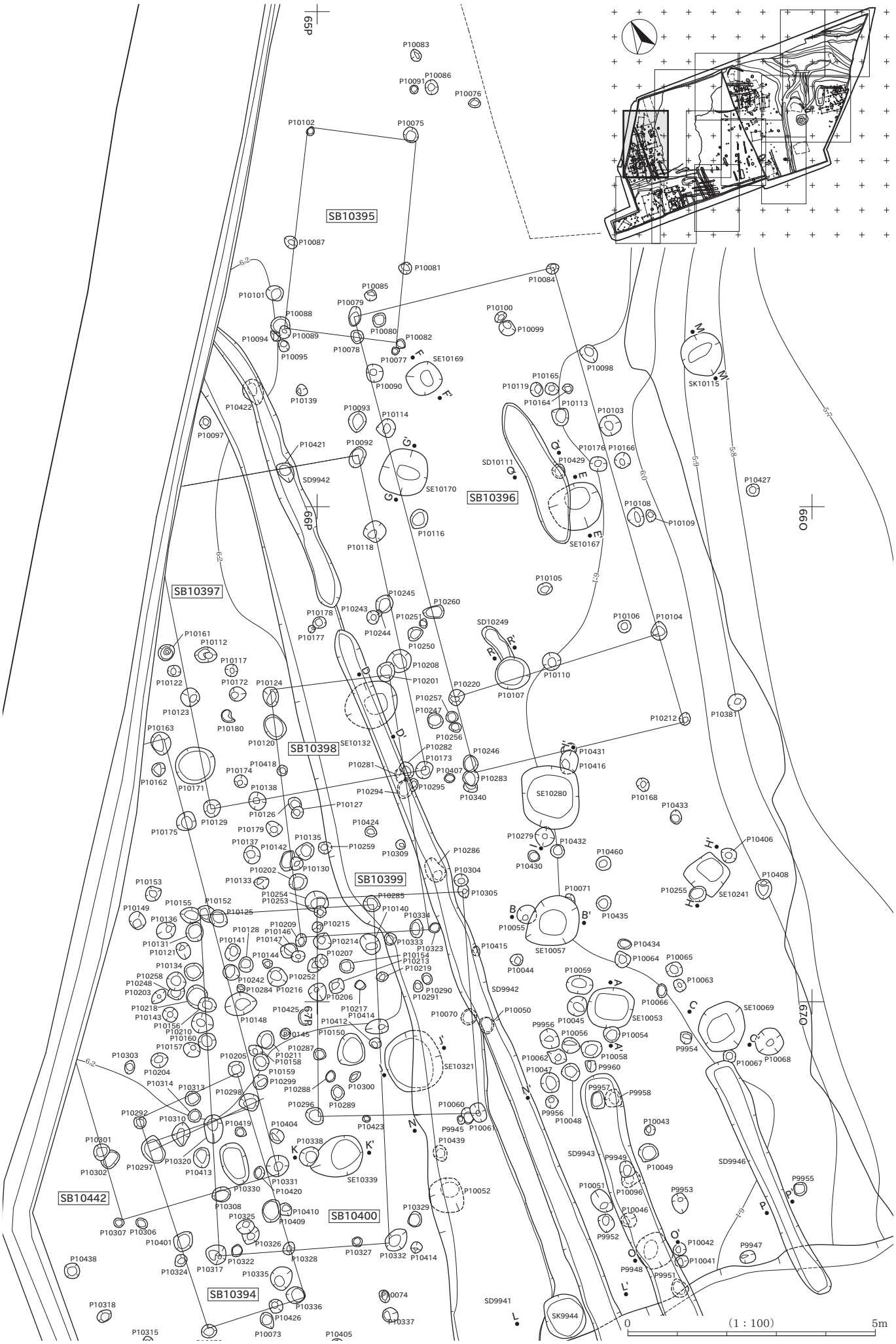
P10040
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック少量
2　灰白色粘土（N7/）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量

P10182

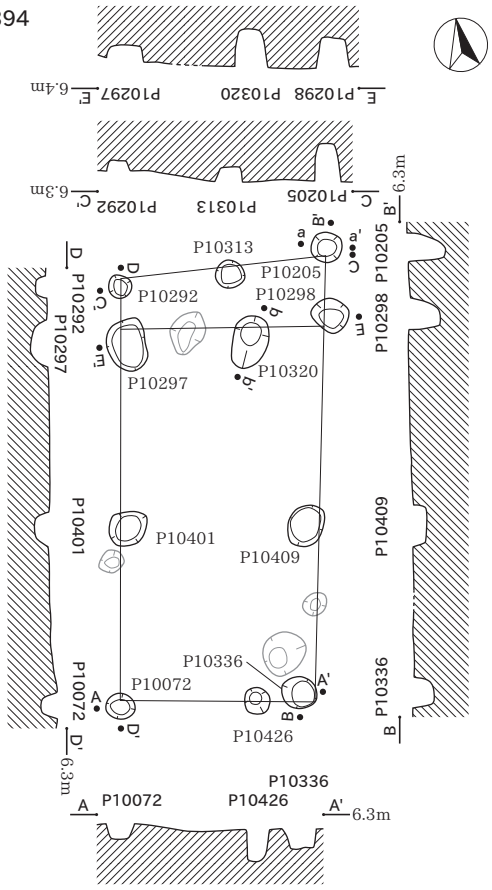


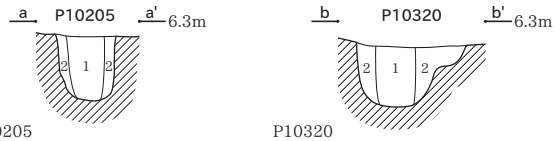
P10182
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強
　しまり強　地山粘土ブロック多量

0　（1：40）　2m


SB10395
SB10396
SB10397
SB10398
SB10399
SB10400
SB10442
SB10394
SE10169
SE10170
SE10167
SE10280
SE10132
SE10241
SE10057
SE10053
SE10069
SE10321
SE10339
SK10115
SK9944
SD10111
SD9942
SD10249
SD9943
SD9946
SD9941
65P
66P
66O
67O
0
(1 : 100)
5m

SB10394

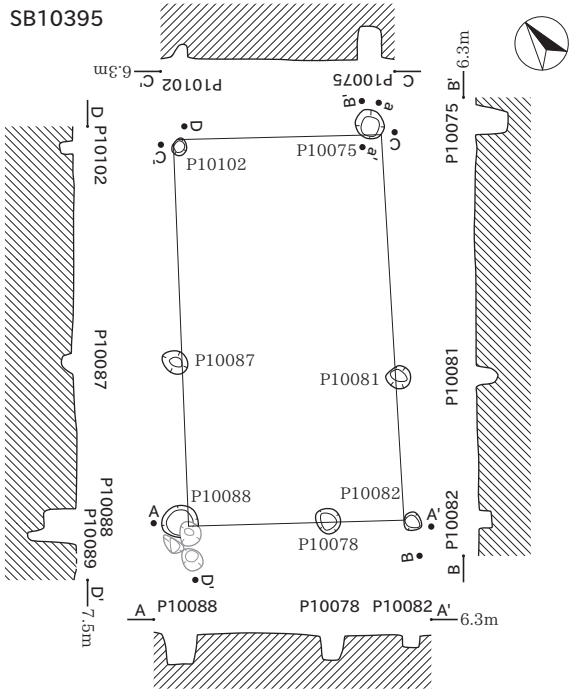


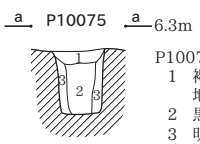


P10205
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　しまり弱　地山粘土ブロック少量
2　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量

P10320
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　しまりやや弱　地山粘土ブロック多量
2　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　しまり強　黒褐色粘土ブロック含有

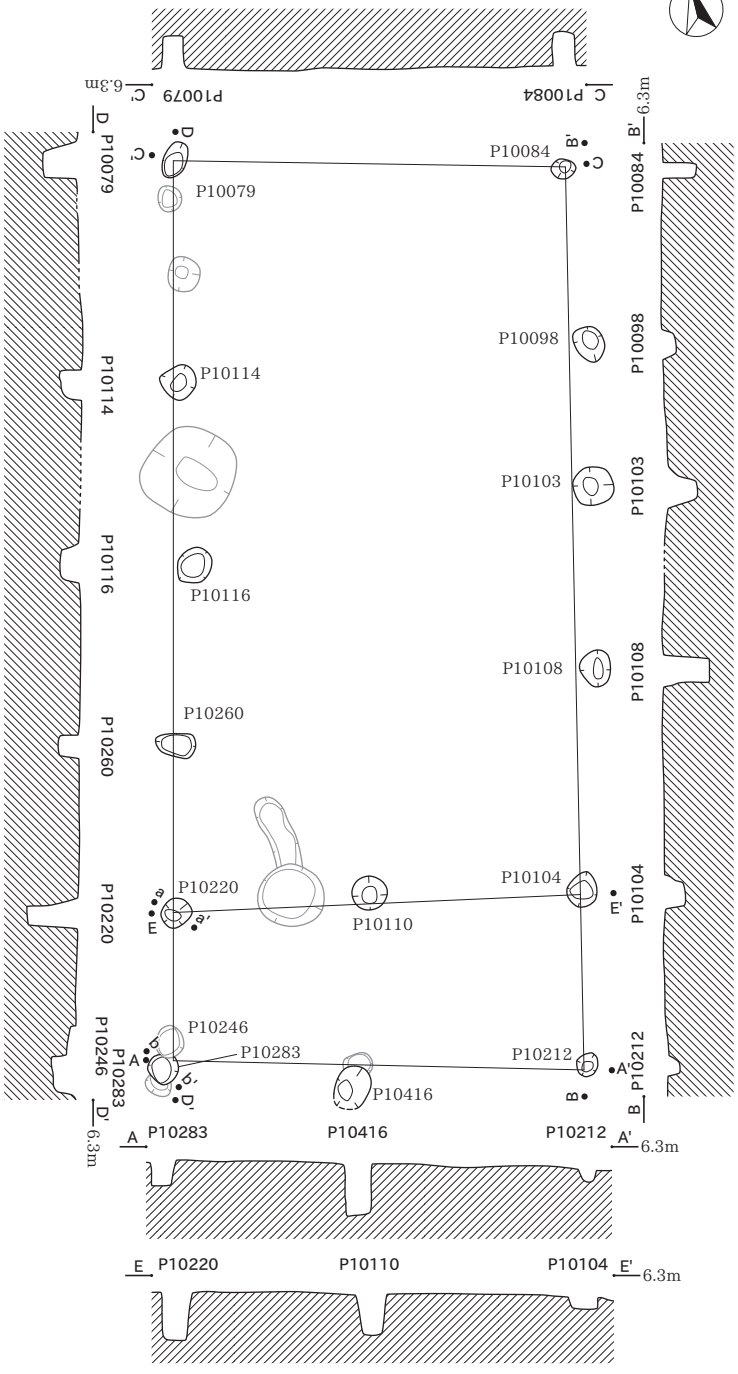
SB10395

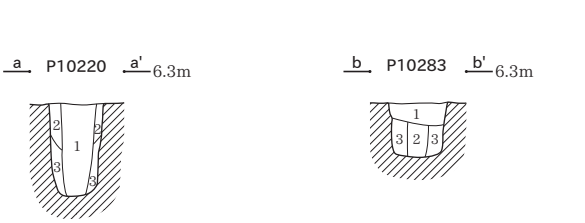




P10075
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
3　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量

SB10396



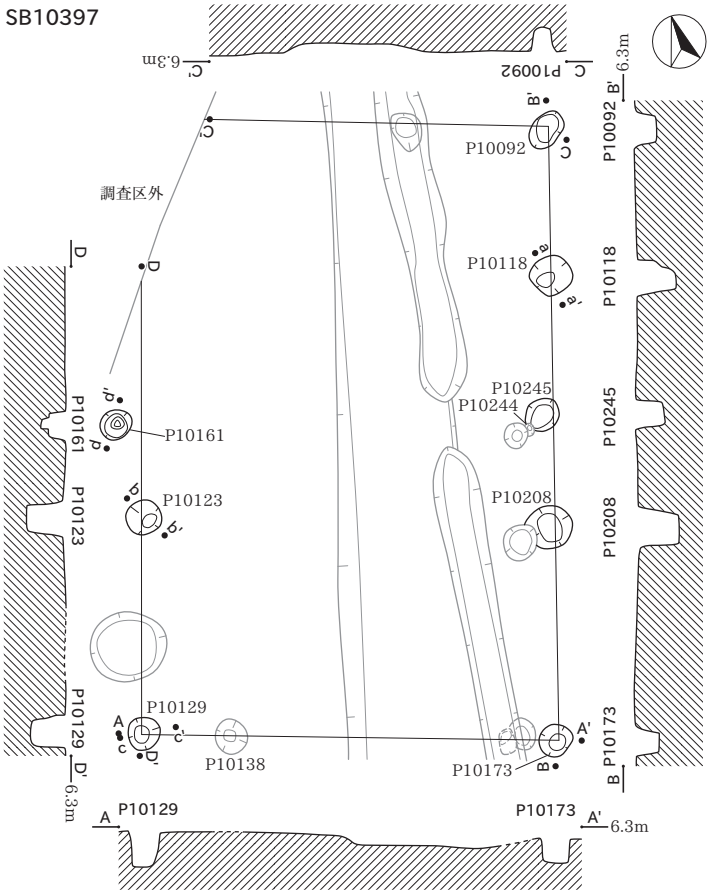


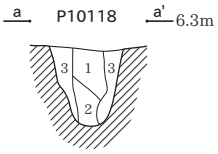
P10220
1　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
　しまりやや弱　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（7.5YR4/1）粘性強
　しまり強　地山粘土ブロック少量
3　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量

P10283
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強
　しまり強　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強
　しまり弱　地山粘土ブロック多量
3　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　しまり強　褐灰色粘土ブロック少量

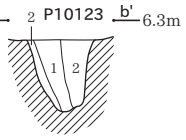
0　その他（1：80）　4m　0　断面図（1：40）　2m

SB10397

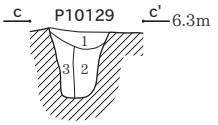




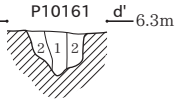
P10118
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
しまりやや弱　炭化物少量
地山粘土ブロック多量
2 黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性やや強
しまり強　地山粘土ブロック多量
3 明緑灰色シルト（10GY7/1）粘性強
しまり強　黒褐色粘土ブロック多量



P10123
1 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
しまり弱　地山粘土ブロック少量
2 明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
しまり強　炭化物少量　地山粘土少量

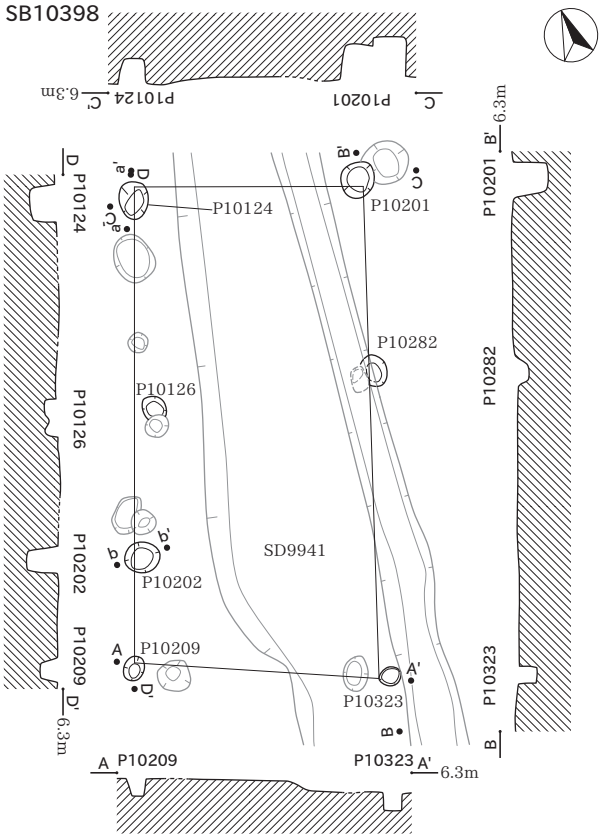


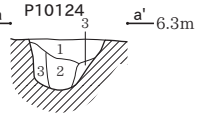
P10129
1 黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
しまり強　地山粘土ブロック多量
2 褐灰色粘土（7.5YR4/1）粘性強
しまりやや弱　地山粘土ブロック多量
3 明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
しまり強　黒褐色粘土ブロック含有



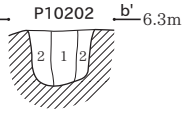
P10161
1 黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
しまり強
2 明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
しまり強　黒褐色粘土ブロック含有

SB10398



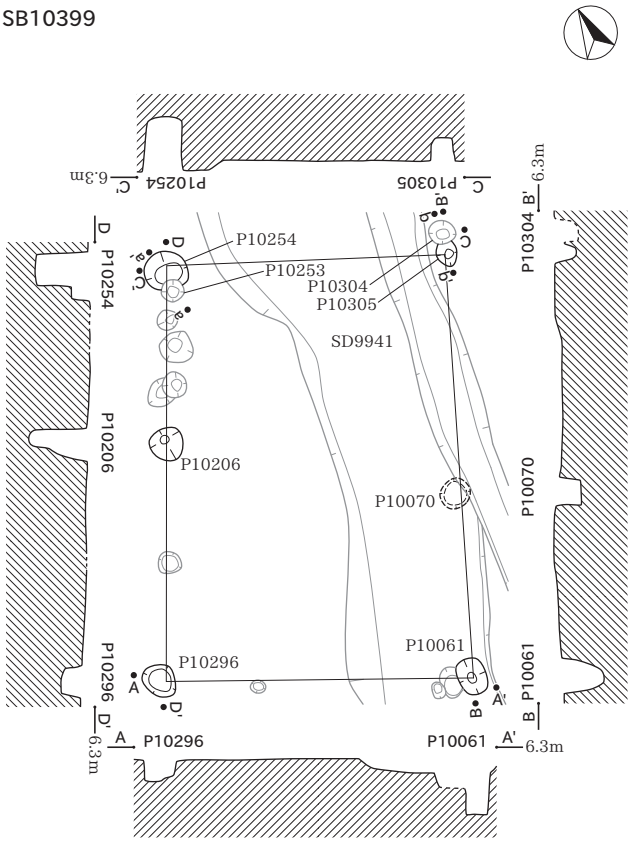


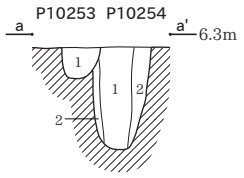
P10124
1 黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
しまり強　地山粘土ブロック多量
2 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
しまり弱　地山粘土ブロック少量
3 明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
しまり強　黒褐色粘土ブロック含有



P10202
1 黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
しまり弱　地山粘土ブロック少量
2 明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
しまり強　地山粘土ブロック多量

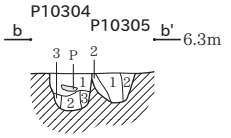
SB10399





P10253
1 褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強
しまり強　地山粘土ブロック多量

P10254
1 褐灰色粘土（7.5YR4/1）粘性強
しまりやや弱　地山粘土ブロック少量
2 褐灰色粘土（7.5YR6/1）粘性強
しまり強　地山粘土ブロック多量

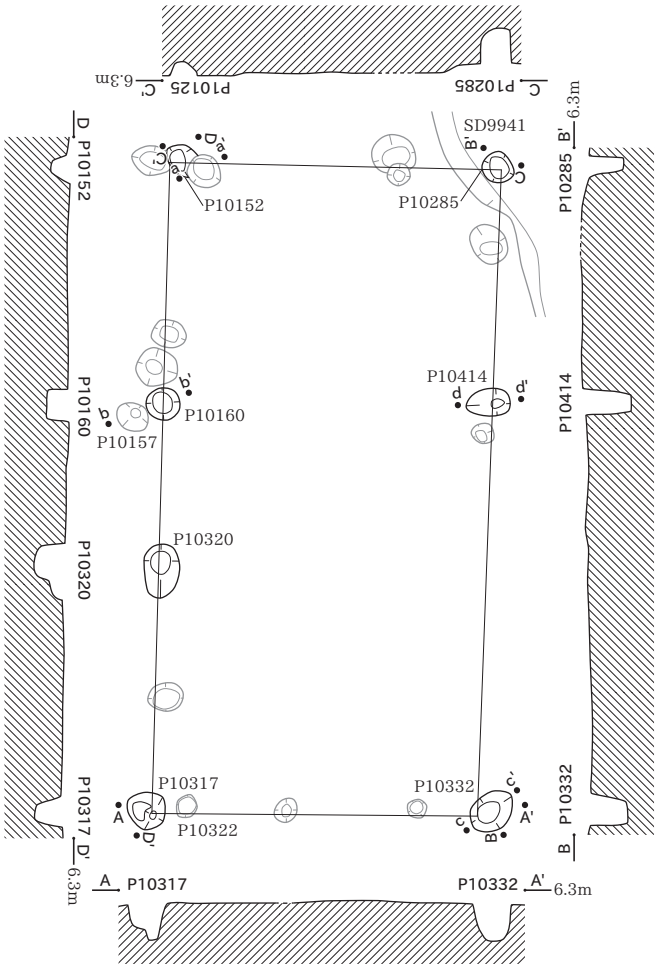


P10304
1 褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強
炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2 褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱
3 褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強

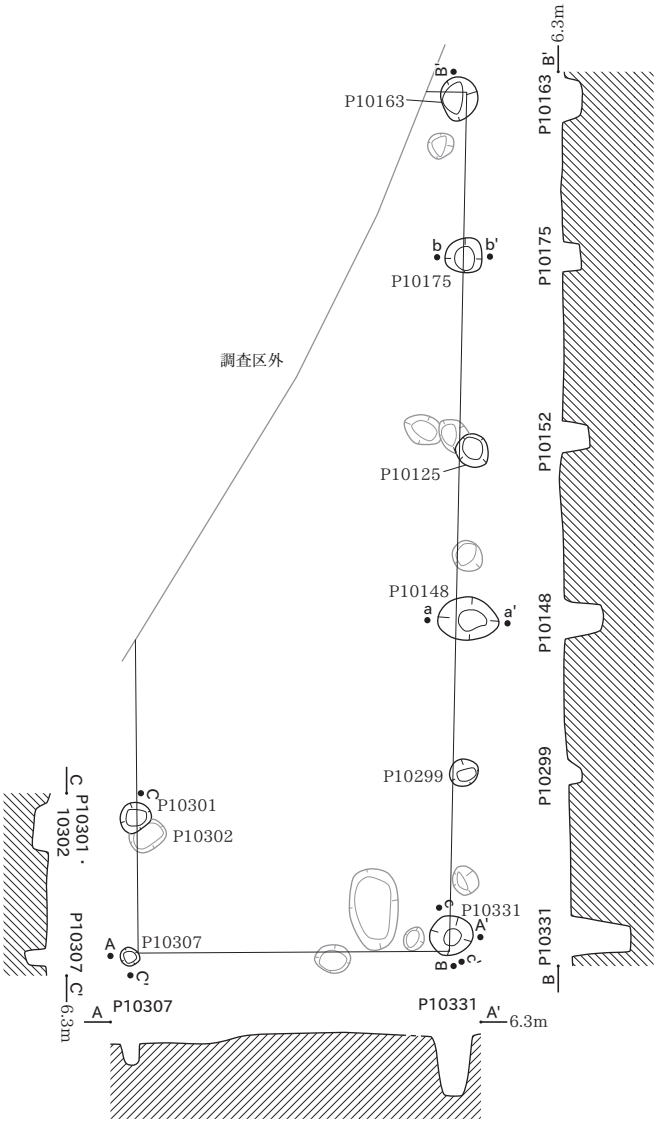
P10305
1 褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり弱
地山ブロック少量
2 黄灰色粘土（2.5Y6/1）粘性強　しまり強

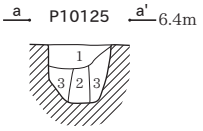
0　その他（1：80）　4m　0　断面図（1：40）　2m

SB10400

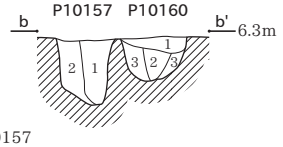


SB10442



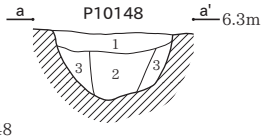


P10125
1　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
　　しまりやや弱　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　　しまりやや弱
3　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　　しまりやや強
　　黒褐色粘土ブロック含有

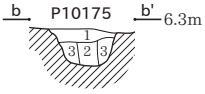


P10157
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　　しまりやや弱　地山粘土ブロック少量
2　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　　しまりやや強　黒褐色粘土ブロック少量

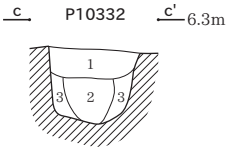
P10160
1　褐灰色粘土（7.5YR4/1）粘性強
　　しまり強　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
　　しまり強　地山粘土ブロック少量
3　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量



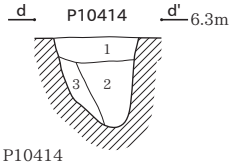
P10148
1　褐灰色粘土（7.5YR4/1）粘性強
　　しまり強　炭化物少量
　　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　　しまりやや弱
　　地山粘土ブロック多量



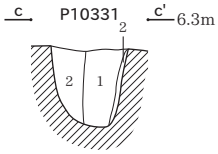
P10175
1　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
　　しまり強　地山粘土ブロック少量
2　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量
3　明緑灰色粘土（7.5GY7/1）粘性強
　　しまり強　黒褐色粘土ブロック微量



P10332
1　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強
　　しまり強　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（7.5Y4/1）粘性強
　　しまり強　地山粘土ブロック多量
3　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　　しまり強　黒褐色粘土ブロック含有



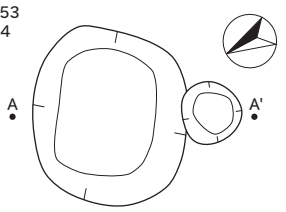
P10414
1　褐灰色粘土（7.5Y4/1）粘性強
　　しまり強　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　　しまり弱　地山粘土ブロック多量
3　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強
　　しまり強　黒褐色粘土ブロック少量

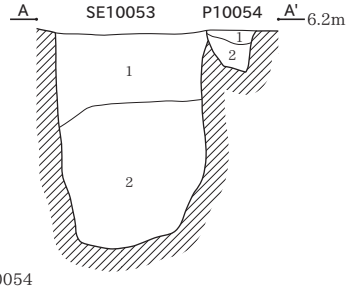


P10331
1　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強　しまり強
　　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（7.5YR6/1）粘性強　しまり強
　　黒褐色粘土ブロック少量

0　その他（1：80）　4m　　0　断面図（1：40）　2m

SE10053
P10054

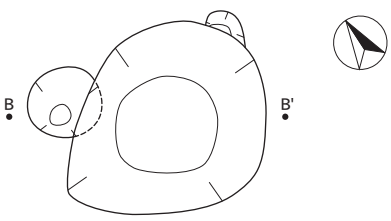


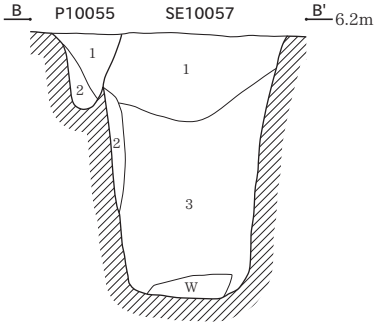


P10054
1　褐灰色粘土（7.5YR4/1）粘性強
　しまりやや弱　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
　しまり強　地山粘土ブロック少量

SE10053
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強
　しまり強　地山粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　しまりやや弱　地山粘土ブロック多量

SE10057
P10055

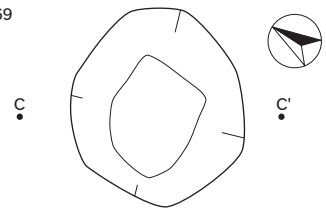


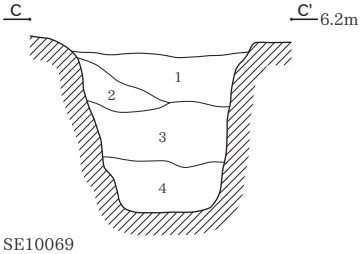


P10055
1　褐灰色粘土（7.5YR4/1）粘性強　しまりやや弱　地山粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強　しまりやや強　地山粘土ブロック多量

SE10057
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまりやや強　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
2　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強　しまり強
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱　炭化物少量　地山粘土ブロック少量

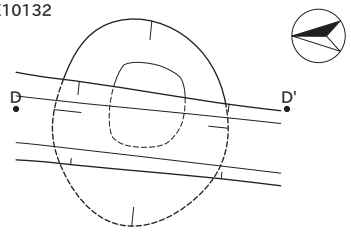
SE10069

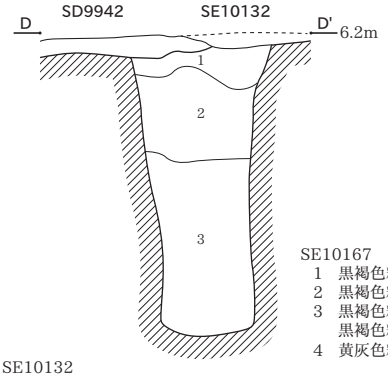




SE10069
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物多量
4　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量

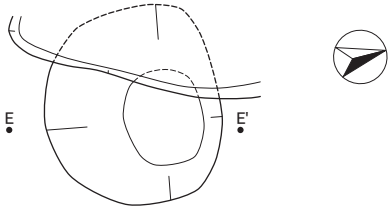
SE10132

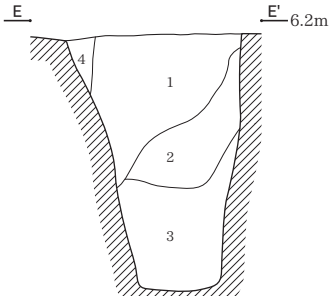




SE10132
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（7.5YR4/1）粘性強　しまりやや弱　地山粘土ブロック少量
3　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまりやや弱

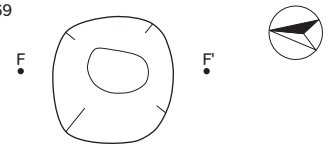
SE10167

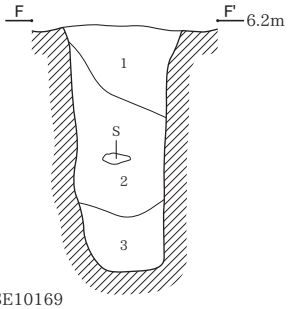




SE10167
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土（7.5Y3/1）粘性強　しまりやや弱　地山粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土（2.5Y7/1）粘性強　しまりやや弱　地山粘土ブロック微量
　黒褐色粘土ブロック少量
4　黄灰色粘土（2.5Y4/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量

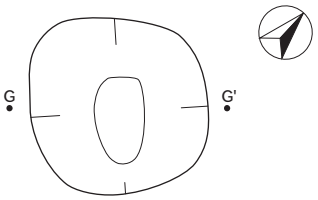
SE10169

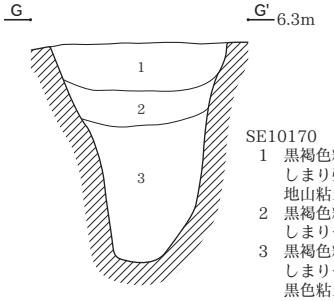




SE10169
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりやや弱
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強　しまりやや弱
　φ10㎝程の礫を含有
3　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量

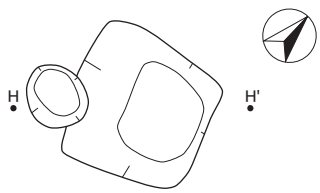
SE10170

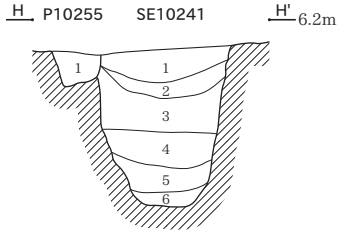




SE10170
1　黒褐色粘土（7.5YR3/1）粘性強
　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強
　しまりやや弱　地山粘土ブロック多量
3　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強
　しまりやや弱　地山粘土ブロック微量
　黒色粘土ブロック少量

SE10241
P10255



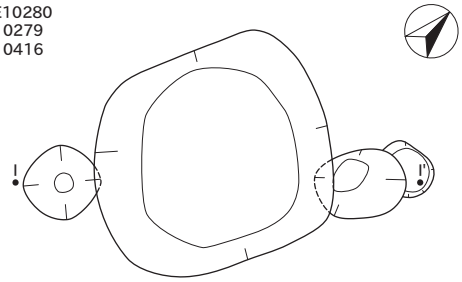


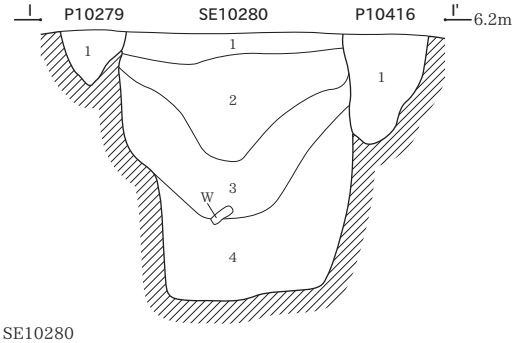
P10255
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量

SE10241
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量
3　黄灰色粘土（2.5Y5/1）粘性強　しまりやや弱
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
4　黄灰色粘土（2.5Y4/1）粘性強　しまり強
5　暗灰黄色粘土（2.5Y5/2）粘性強　しまり弱
6　黒褐色粘土（2.5Y3/1）　粘性強　しまり弱

0　（1：40）　2m

SE10280
P10279
P10416



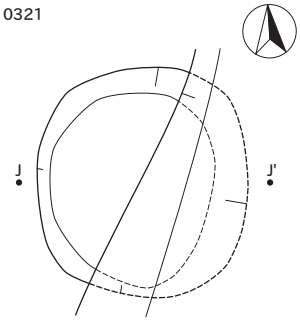


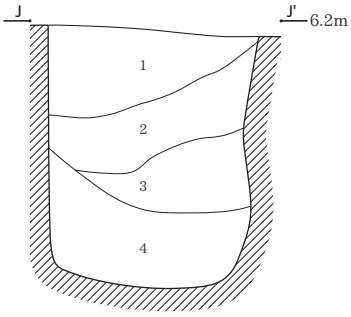
SE10280
1　褐灰色粘土（7.5Y4/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量
　地山粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量
4　黒褐色粘土（10YR2/1）粘性強　しまり弱　地山ブロック多

P10279
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量

P10416
1　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量
　地山粘土ブロック多量

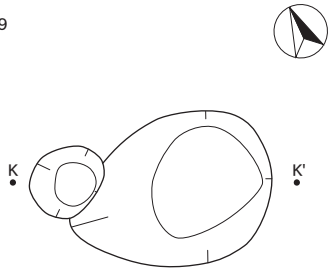
SE10321

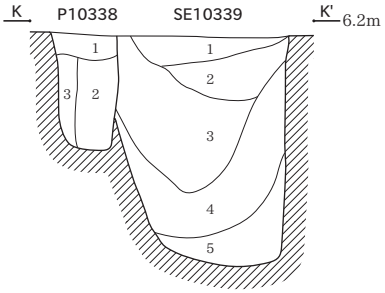




SE10321
1　褐灰色粘土（7.5YR6/1）粘性強　しまり強
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
2　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまりやや弱
　炭化物多量　地山粘土ブロック少量
3　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物多量　地山粘土ブロック多量
4　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量　腐植物多量

SE10339
P10338

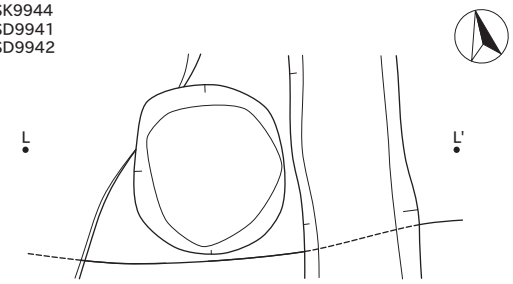


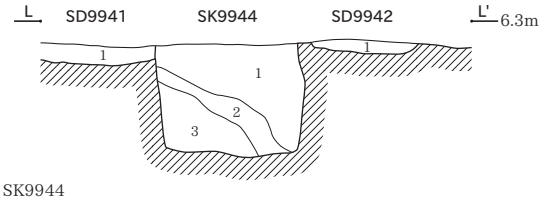


P10338
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
2　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱
　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
3　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまりやや弱
　炭化物少量　地山粘土ブロック少量

SE10339
1　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　褐灰色粘土ブロック多量
2　明緑灰色粘土（7.5GY7/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　黒褐色粘土ブロック多量
3　明緑灰色粘土（10GY8/1）粘性強　しまり強
　炭化物少量　黒褐色粘土ブロック多量
4　黒色粘土（10YR2/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック多量
5　黒色粘土（10YR1/1）粘性強　しまり弱　腐植物多量

SK9944
SD9941
SD9942



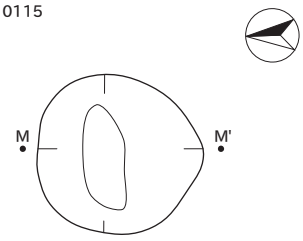


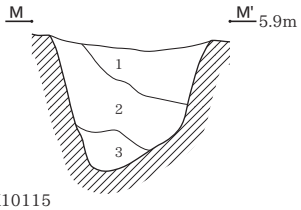
SK9944
1　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
3　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量

SD9941
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック少量

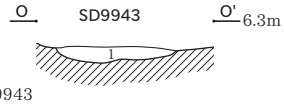
SD9942
1　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強

SK10115

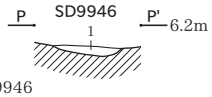




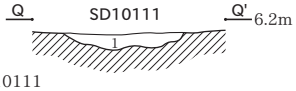
SK10115
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまりや
　や弱　炭化物少量　地山粘土ブロック多量
2　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまりや
　や弱　炭化物少量　地山粘土ブロック少量
3　黒色年度（2.5Y2/1）粘性強　しまりやや
　弱　地山粘土ブロック少量含有



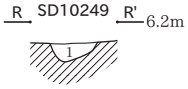
SD9943
1　褐灰色シルト（10YR5/1）粘性強　しまり弱
　地山粘土ブロック少量



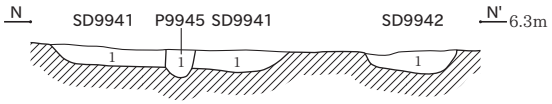
SD9946
1　褐灰色シルト（10YR4/1）粘性弱　しまり強
　地山粘土ブロック多量



SD10111
1　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック多量



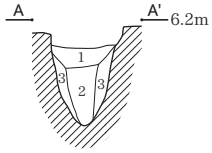
SD10249
1　明緑灰色粘土（10GY7/1）粘性強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック少量



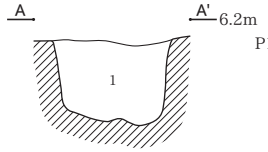
SD9941
1　褐灰色粘土（10YR6/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック少量

SD9942
1　褐灰色粘土（7.5YR5/1）粘性強　しまり強

P9945
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強



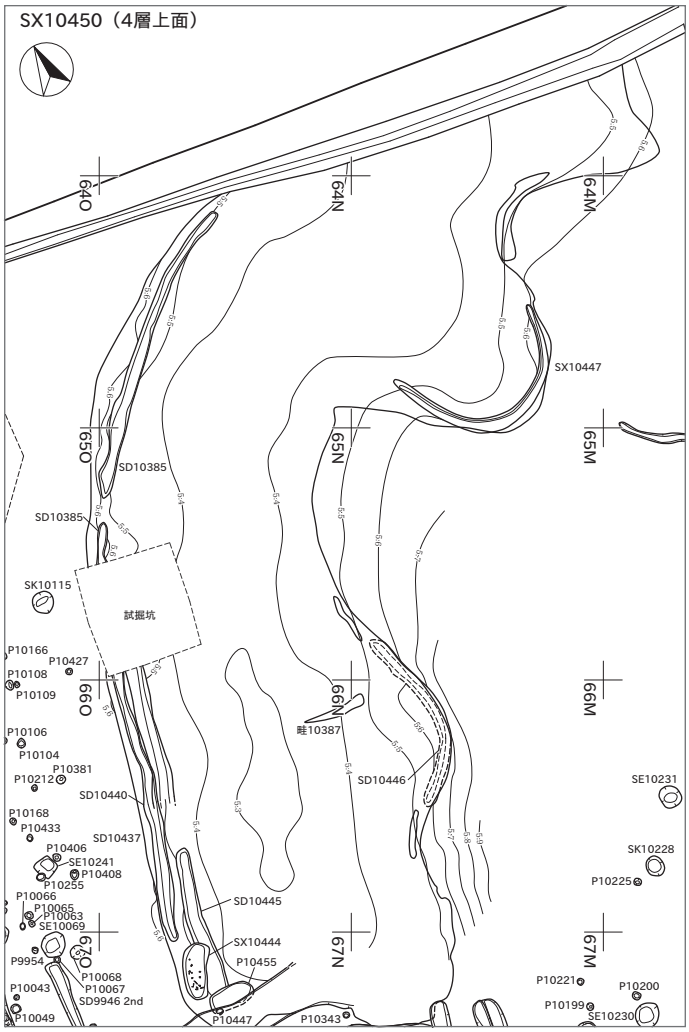
P9956
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック少量
2　褐灰色粘土（10YR4/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
　地山粘土ブロック少量
3　明緑灰色シルト（10GY7/1）粘性強　しまり強
　黒褐色粘土ブロック含有

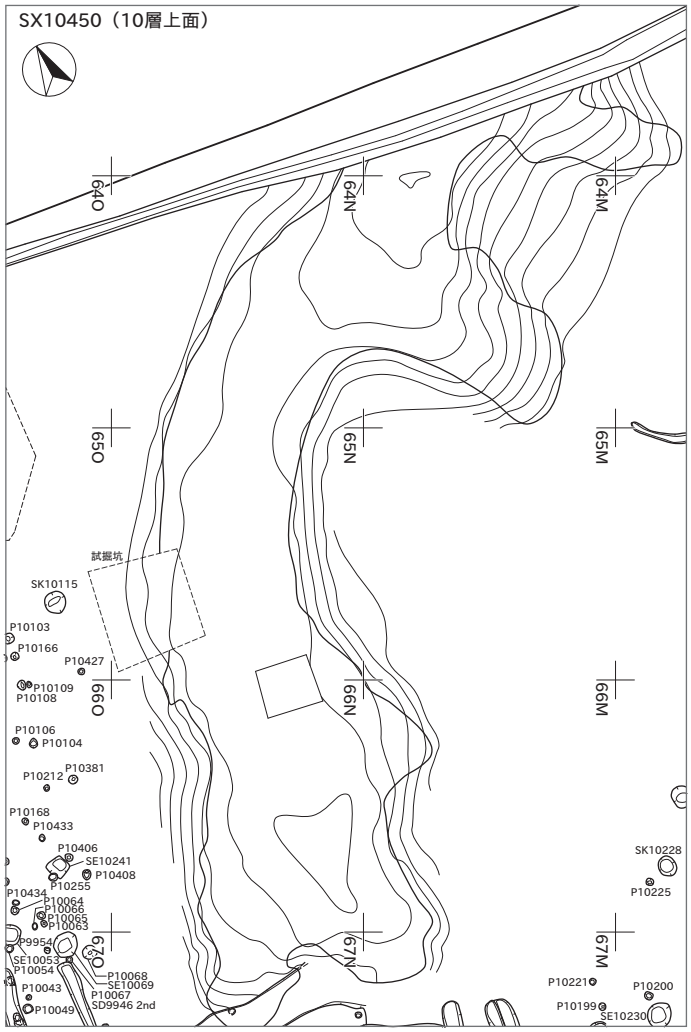


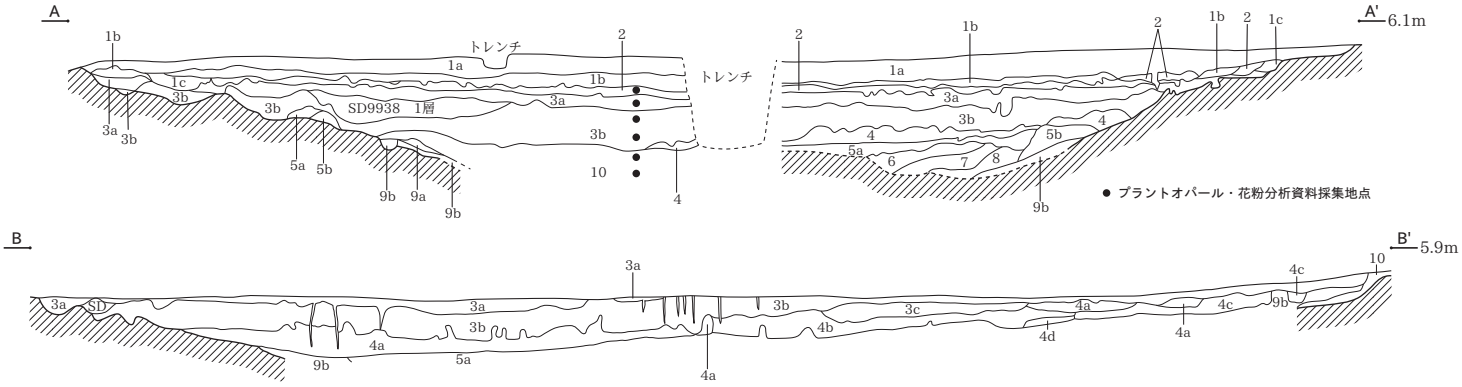
P10107
1　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強
　地山粘土ブロック多量

0　(1：40)　2m

0
(1 : 150)
5m
64N
64M
65O
65N
65M
66O
66N
66M
67O
67N
67M
SD10369
SX10450 1回目
SK10115
P10427
P10109
P10108
P10104
P10381
P10212
SB10395
P10168
P10433
P10406
SE10241
P10255
P10408
P10434
P10064
P10065
P10063
SE10069
P10066
SE10053
P9954
P10068
P10067
P10043
P10049
SD9946
P9955
P10447
P10343
SE10231
SK10228
P10225
P10221
P10199
P10200
SE10230
SK10222





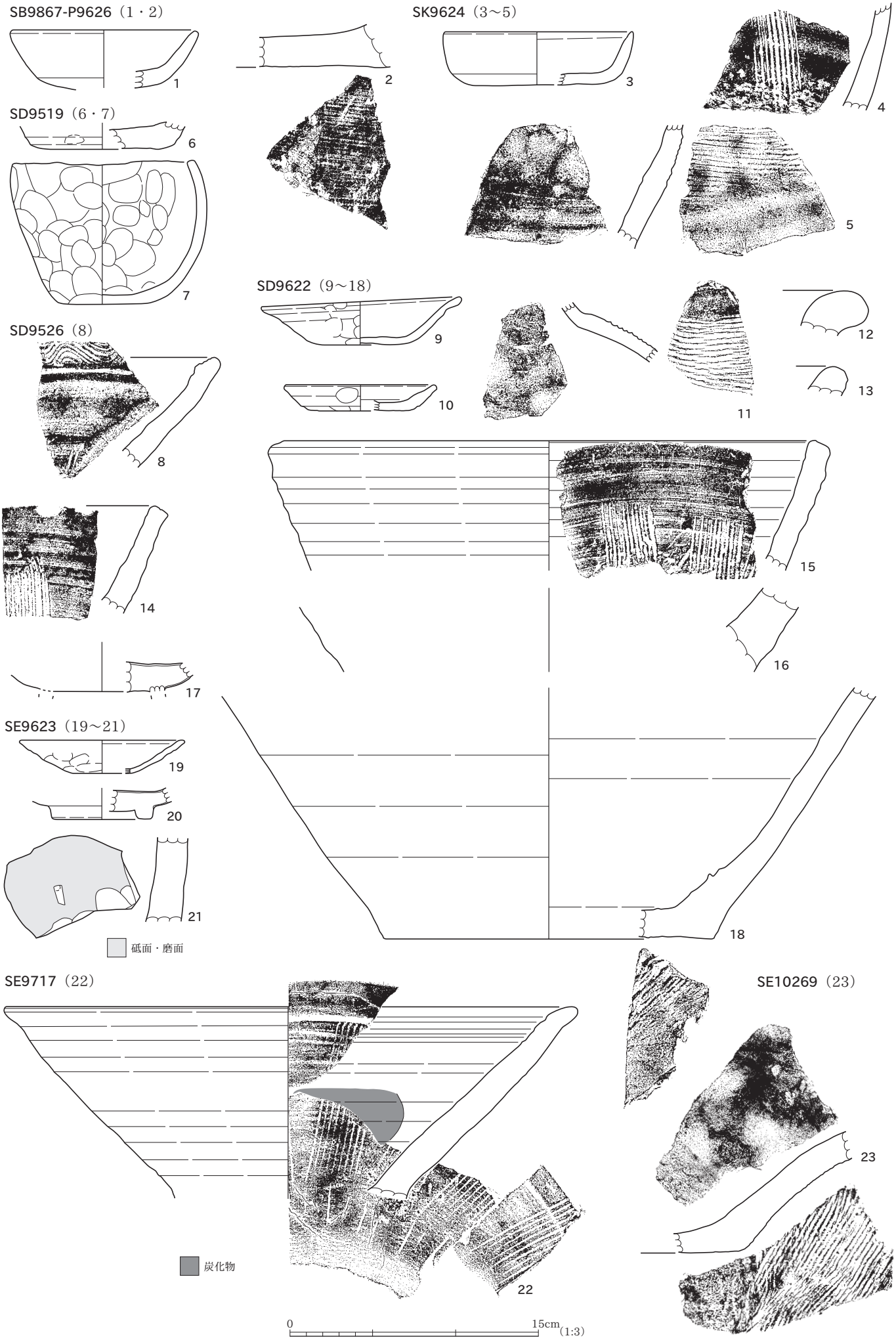


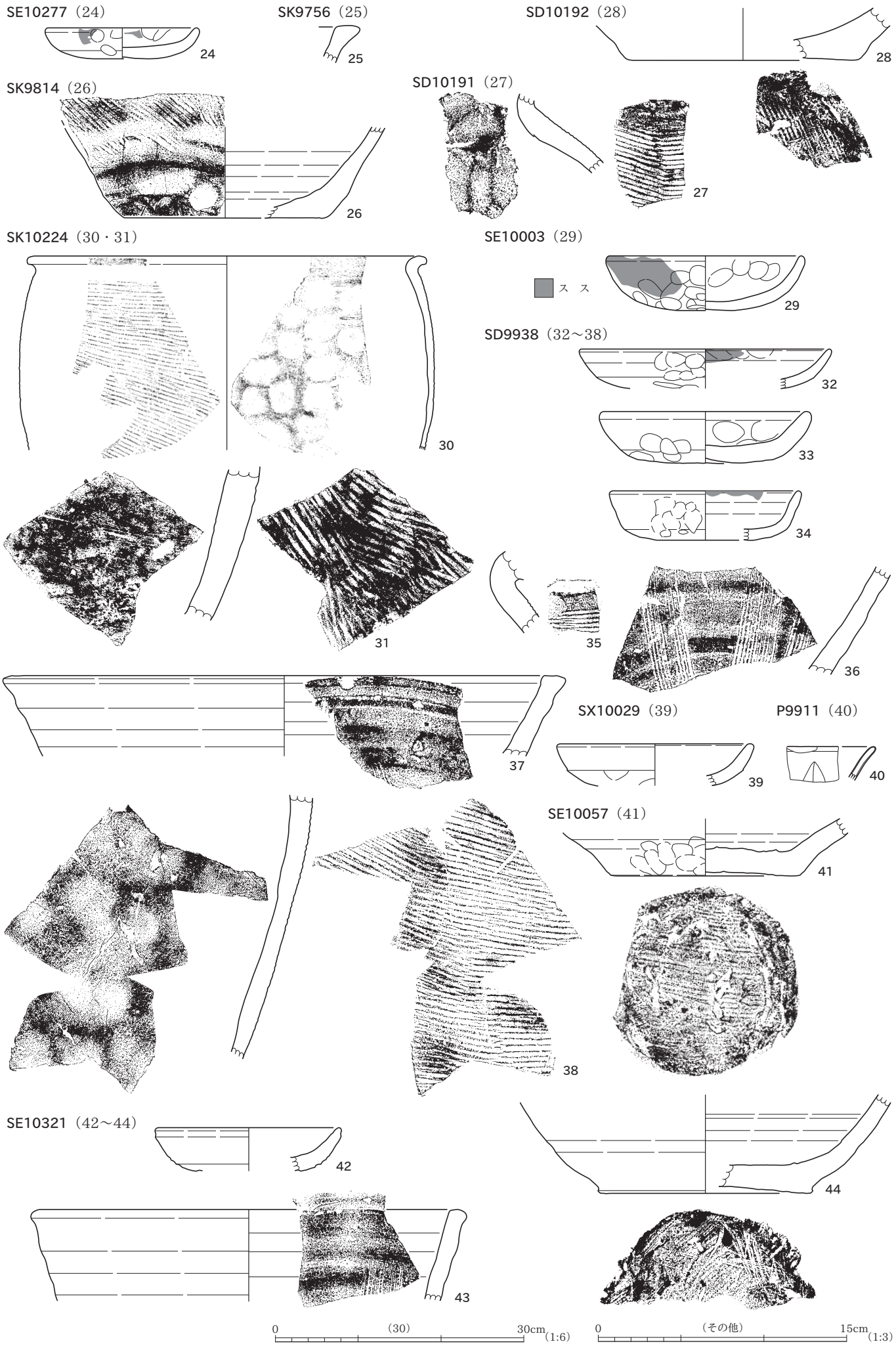
SX10450

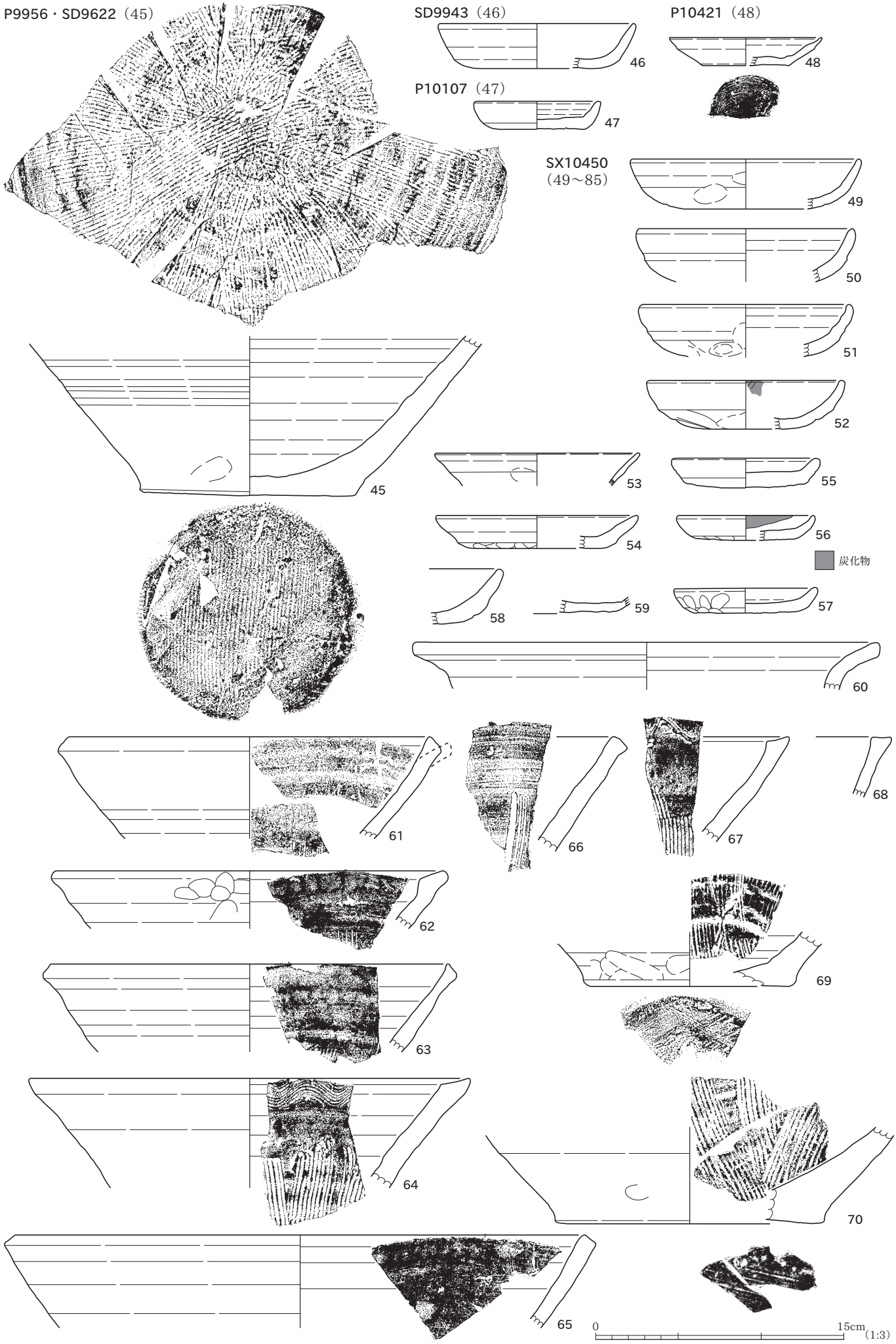
1a　明褐灰色粘土（7.5YR7/2）粘性強　しまり強　炭化物少量　酸化物多量
1b　明褐灰色粘土（7.5YR7/2）粘性強　しまり強　炭化物少量
1c　にぶい橙色粘土（7.5YR7/3）粘性強　しまり強　地山粘土ブロック多量
2　灰白色シルト（7.5YR8/1）粘性弱　しまりやや強
3a　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
3b　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　灰白色粘土ブロック多量
3c　褐灰色粘土（10YR5/1）粘性強　しまり強　炭化物少量　灰白色粘土ブロック少量
4a　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　腐植物含有
4b　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　灰白色粘土ブロック少量
4c　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり強　炭化物少量
4d　黒褐色粘土（10YR3/1）粘性強　しまり弱　灰白色粘土ブロック多量
5a　黄灰色粘土（2.5YR6/1）粘性強　しまり強　炭化物多量　灰白色粘土ブロック少量
5b　黄灰色粘土（2.5YR6/1）粘性強　しまり強　灰白色粘土ブロック少量
6　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量　灰白色粘土ブロック少量
7　黄灰色粘土（2.5YR6/1）粘性強　しまり弱
8　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量
9a　灰白色粘土（2.5Y8/1）粘性強　しまり弱　炭化物多量　黒褐色粘土多量
9b　灰白色粘土（2.5Y8/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量　黒褐色粘土少量
10　黒褐色粘土（2.5Y3/1）粘性強　しまり弱　炭化物少量　灰白色粘土ブロック少量

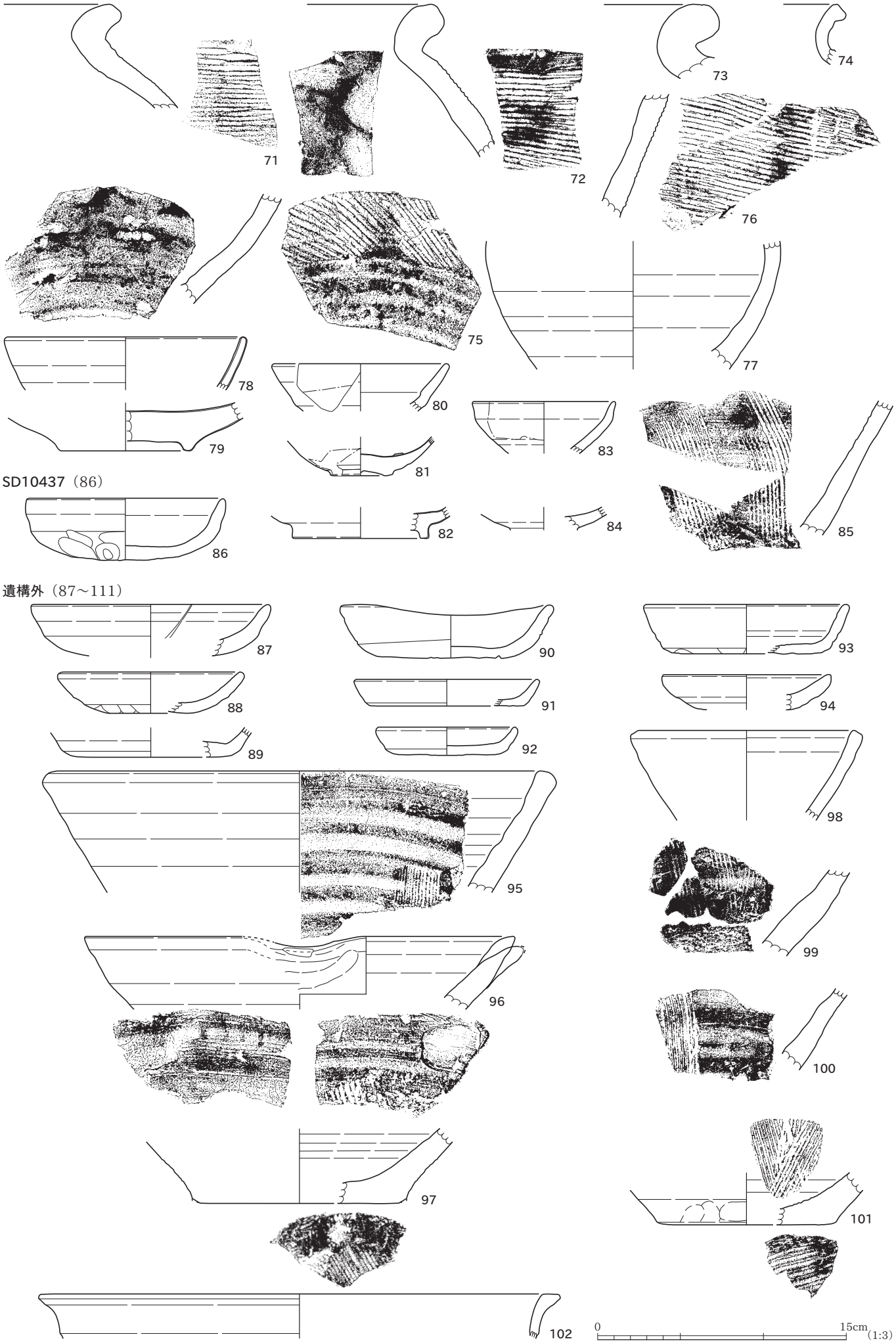
0　平面図（1：300）　15m

0　断面図（1：80）　4m


SB9867-P9626（1・2）
SK9624（3～5）
SD9519（6・7）
SD9622（9～18）
SD9526（8）
SE9623（19～21）
砥面・磨面
SE9717（22）
炭化物
SE10269（23）
0
15cm
(1:3)

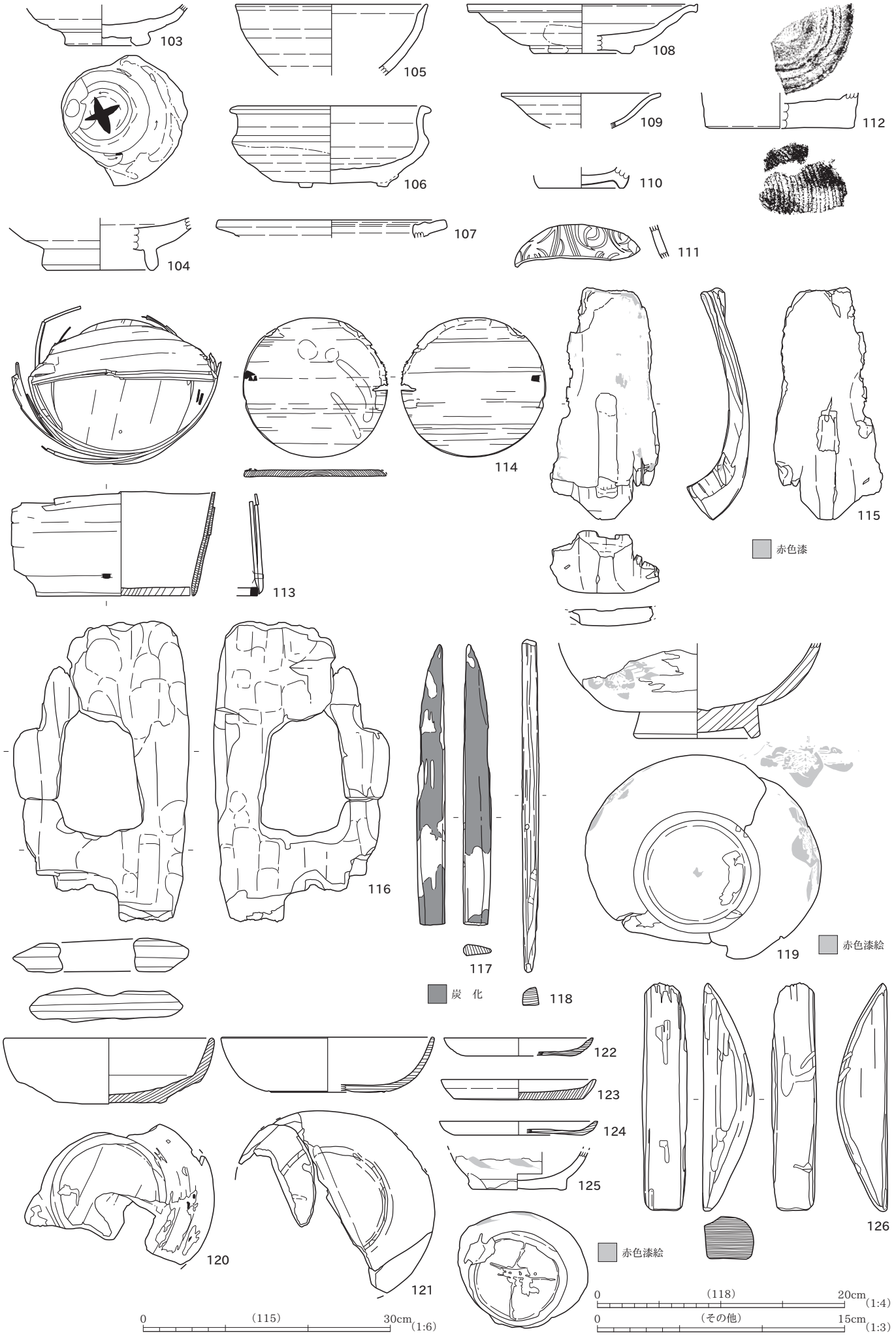

SE10277（24）
24
SK9756（25）
25
SD10192（28）
28
SK9814（26）
26
SD10191（27）
27
SK10224（30・31）
30
31
SE10003（29）
ス ス
29
SD9938（32～38）
32
33
34
35
36
37
SX10029（39）
39
P9911（40）
40
SE10057（41）
41
38
SE10321（42～44）
42
43
44
0
（30）
30cm
(1:6)
0
（その他）
15cm
(1:3)


P9956・SD9622（45）
SD9943（46）
P10421（48）
P10107（47）
SX10450
（49～85）
炭化物
0
15cm
(1:3)

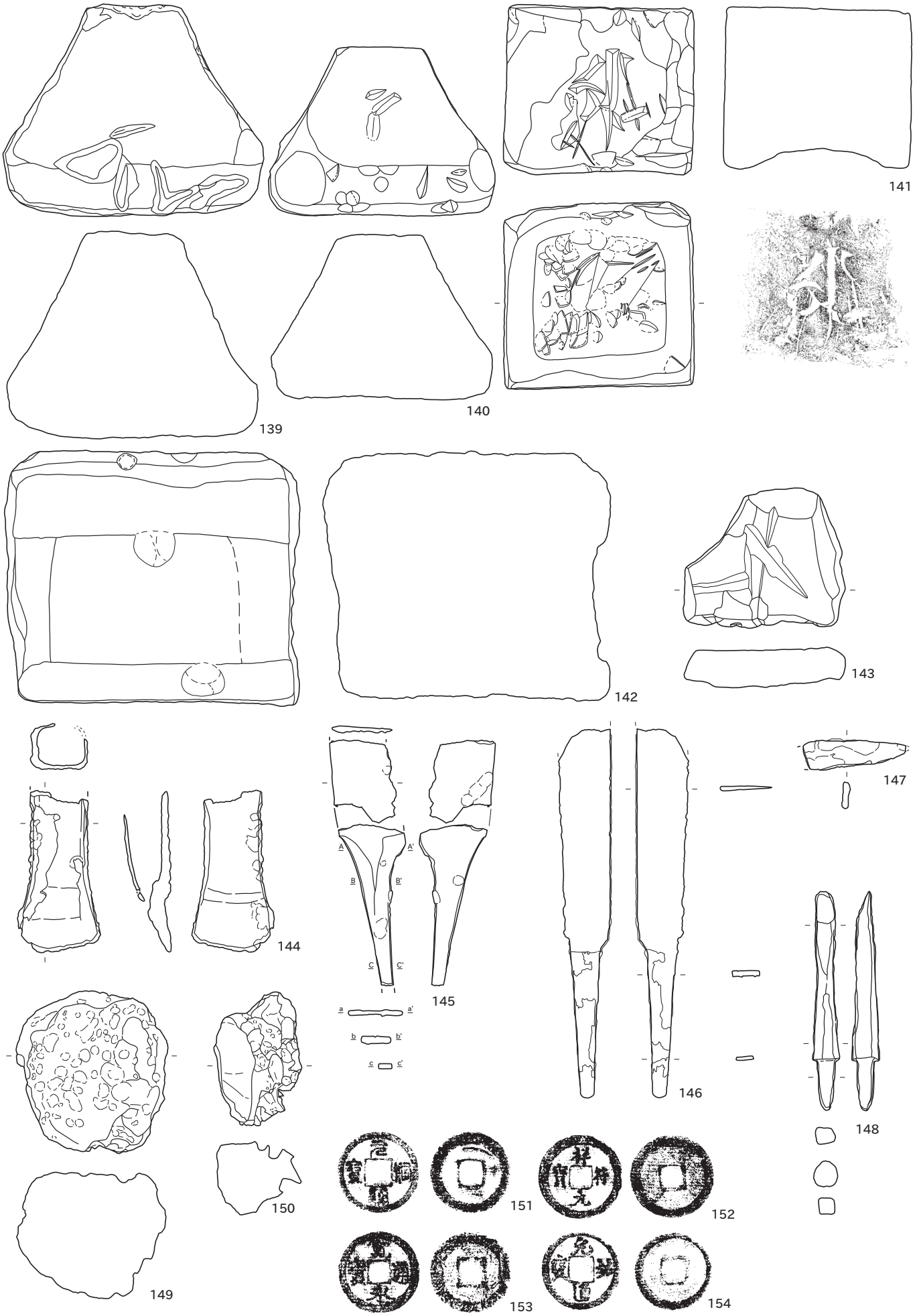


SD10437（86）

遺構外（87～111）


103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
赤色漆
赤色漆絵
炭　化
赤色漆絵
0 (115) 30cm (1:6)
0 (118) 20cm (1:4)
0 (その他) 15cm (1:3)

127
128
129
130
131
132
133
134
砥面・磨面
135
136
137
138
0
(その他)
30cm
(1:6)
0
(138)
5cm
(1:1)
0
(132～134)
15cm
(1:3)


139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
0 (151～154) 6cm (2:3)
0 (その他) 15cm (1:3)
0 (139～142) 30cm (1:6)

調査区遠景（北から）

調査区遠景（南から）

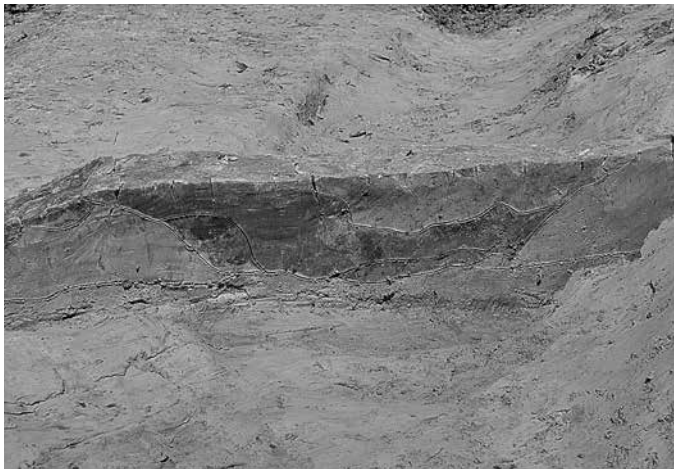
調査区東側全景（上空南から）

調査区西側全景（上空南から）

丘江遺跡の位置（1947 年 9 月 19 日　米軍撮影）　　一般財団法人 日本地図センター発行

基本層序　調査区北壁（南から）

SD9824　セクション 1（東から）



SD9824　セクション 2（東から）

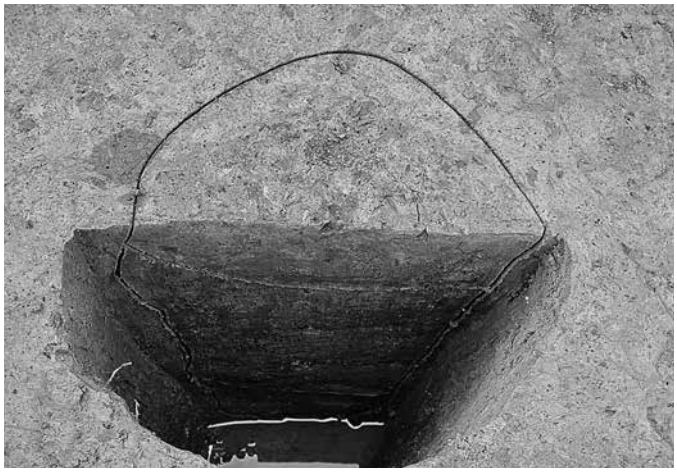
SD9501　セクション 1（南東から）

SD9501　セクション 2（東から）

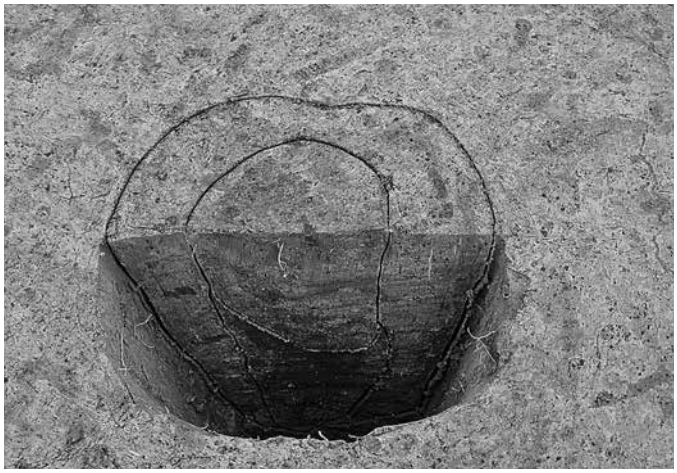
SD9501　完掘（東から）

SD9501　完掘（北西から）

64G・H 遺構検出状況（南から）



SB9867-P9542　セクション（南から）



SB9867-P9597　セクション（南から）

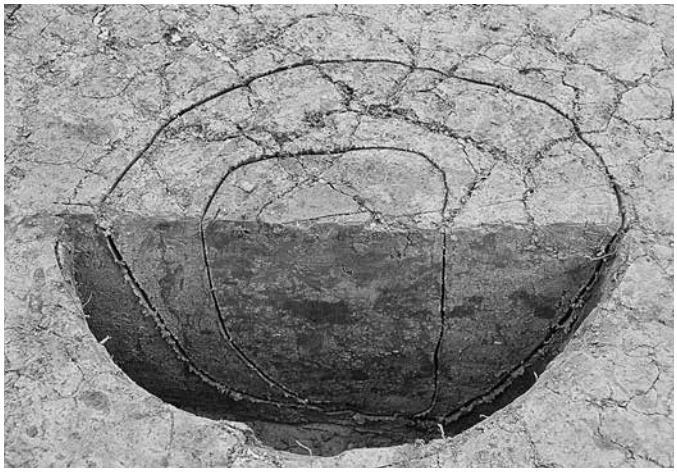
SB9867-P9601　セクション（南から）

SB9867-P9608・P9609　セクション（南から）

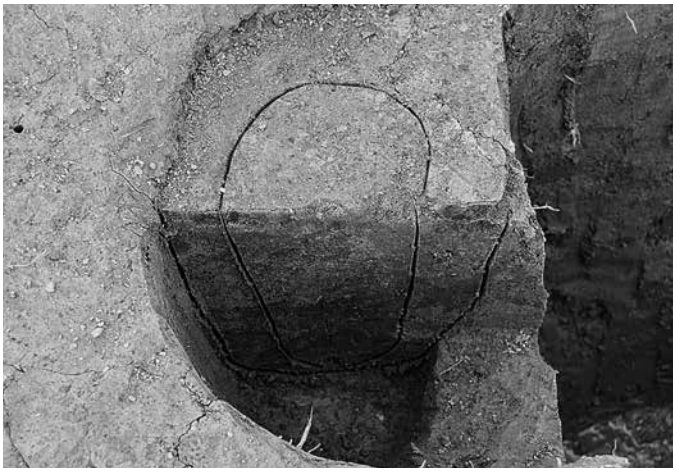
SB9867-P9608　出土状況（南から）

SB9867-P9610　セクション（南から）

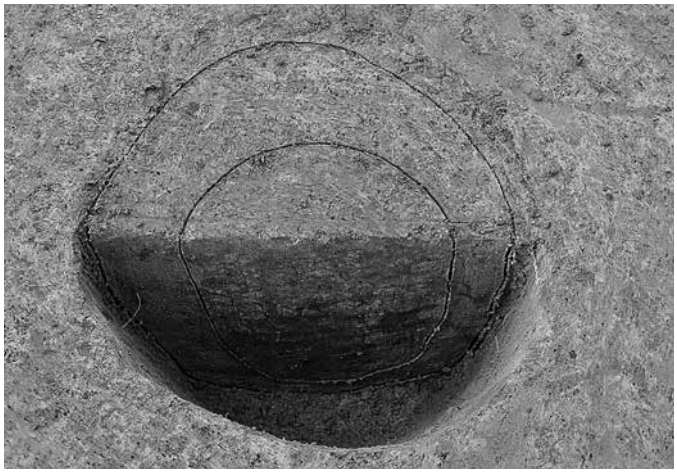
SB9867-P9610　出土状況（南から）



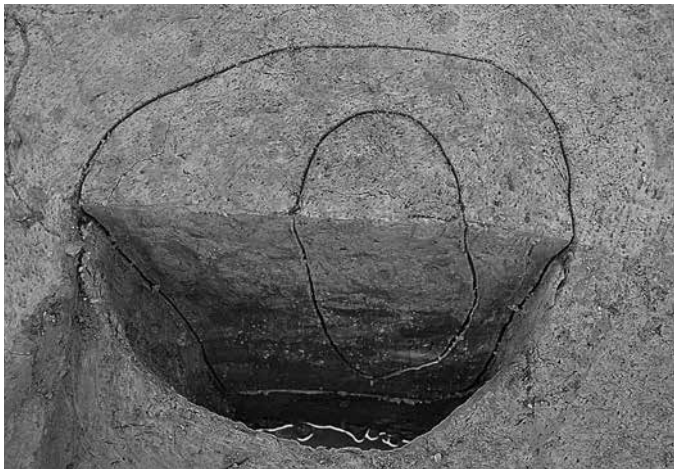
SB9867-P9626　セクション（東から）



SB9959-P9621　セクション（東から）

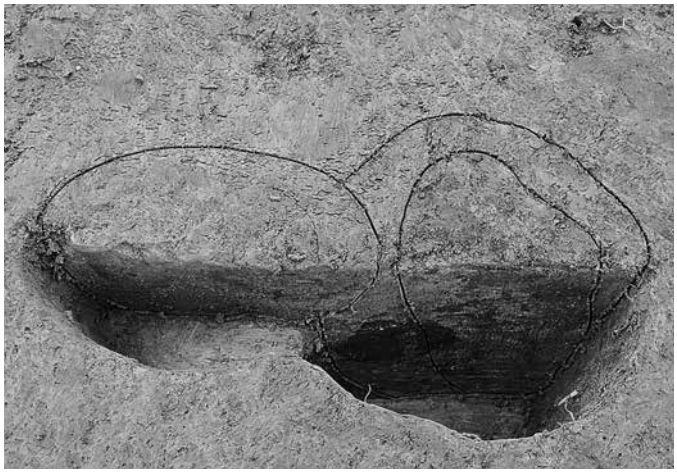


SB9959-P9541　セクション（南から）

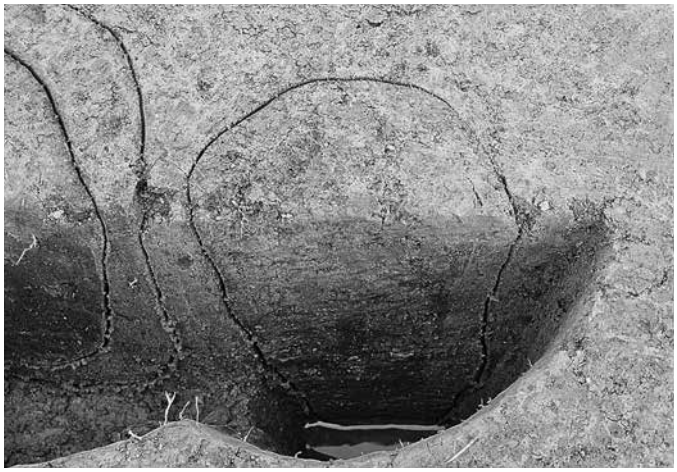


SB9959-P9556　セクション（東から）

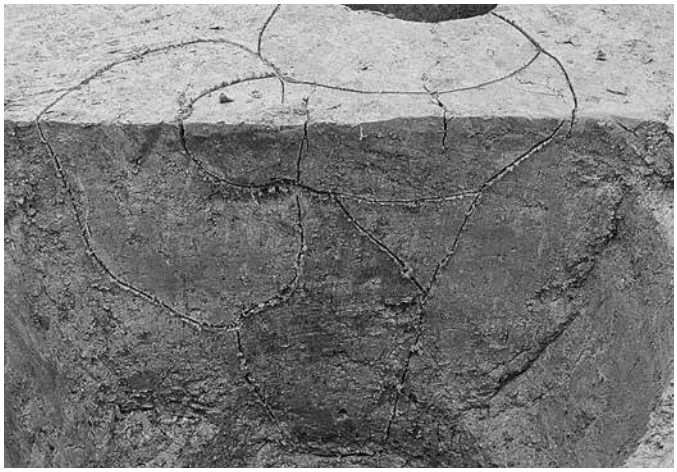
SB9959-P9613　セクション（東から）



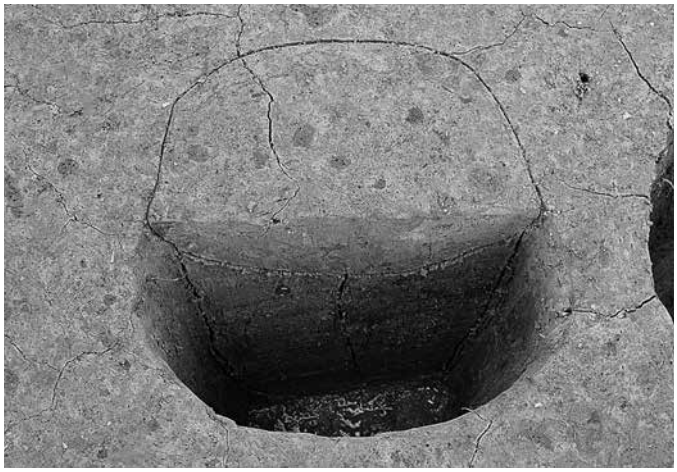
SB10186-P9544・P9543　セクション（南から）



SB10186-P9564　セクション（南西から）



SB10186-P9580　セクション（南から）



SB10186-P9586　セクション（南から）

SE9527、SD9526　セクション（東から）

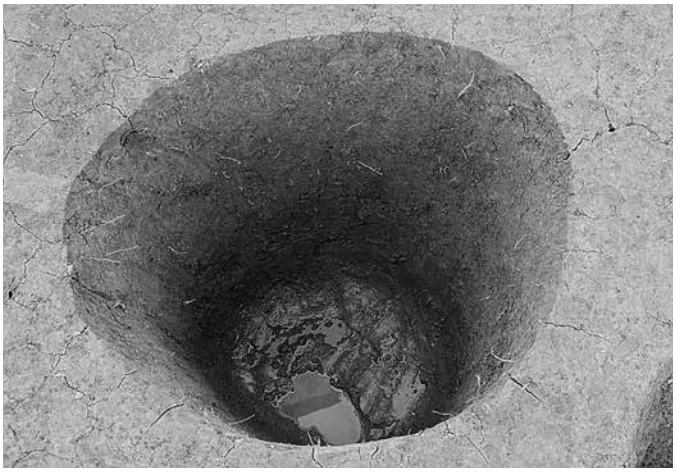
SE9527　完掘（東から）

SE9538　セクション（南から）

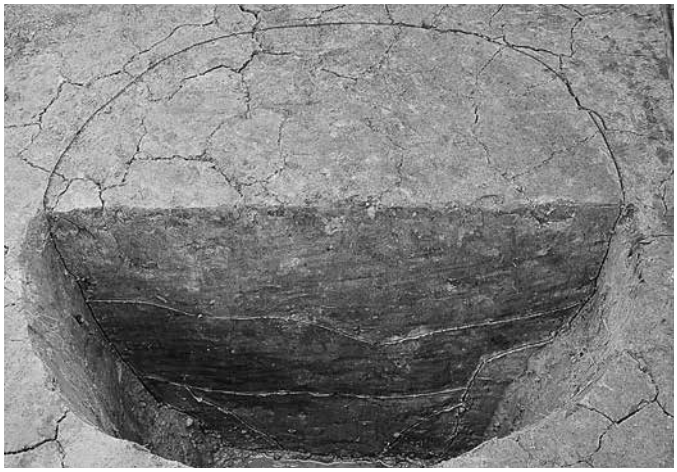
SE9538　完掘（南から）

SE9554　セクション（東から）

SE9554　出土状況（東から）



SE9554　完掘（東から）



SE9594　セクション（南から）

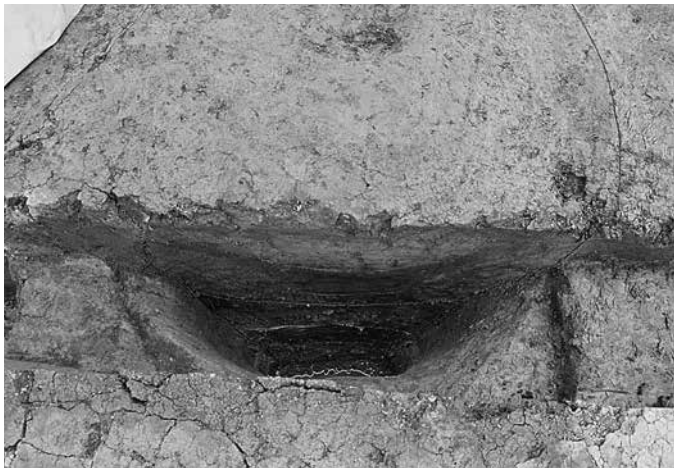
SE9594　完掘（南から）

P9605、SE9606　セクション（東から）

SE9606　完掘（東から）

SE9607　セクション（東から）

SE9607　完掘（東から）

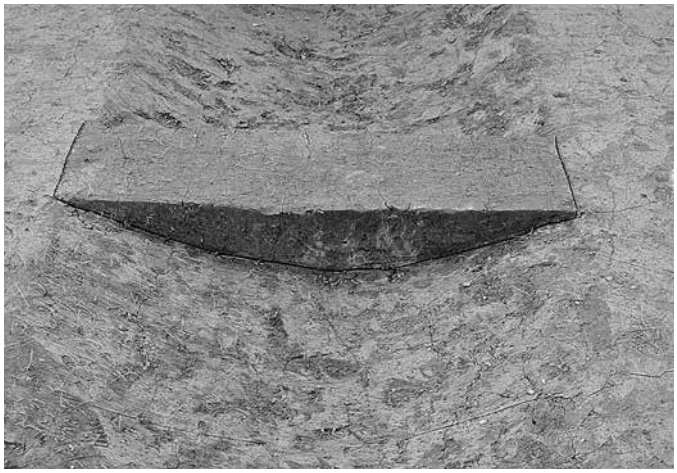


SE9619　セクション（南から）

SE9619　完掘（南から）

SK9655　セクション（南から）

SK9655　完掘（南から）



SD9526　セクション（東から）

SK9624　セクション 1-1（西から）

SK9624　セクション 1-2（西から）

SK9624　セクション 1-3（西から）

SK9624　セクション 2（南から）

SK9624　セクション 3（南から）

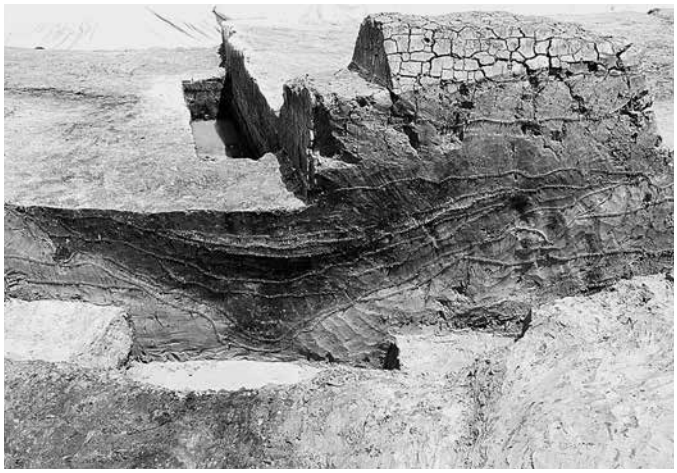
SK9624　完掘（南から）

SK9624　完掘（東から）

SD9622　セクション１（北から）

SD9622　セクション２（北から）

SD9622　完掘（南から）



SD9519　セクション１（南から）

SD9519　セクション２（北から）

SE9623　セクション１（東から）

SE9623　セクション２（東から）

SE9623　出土状況（西から）

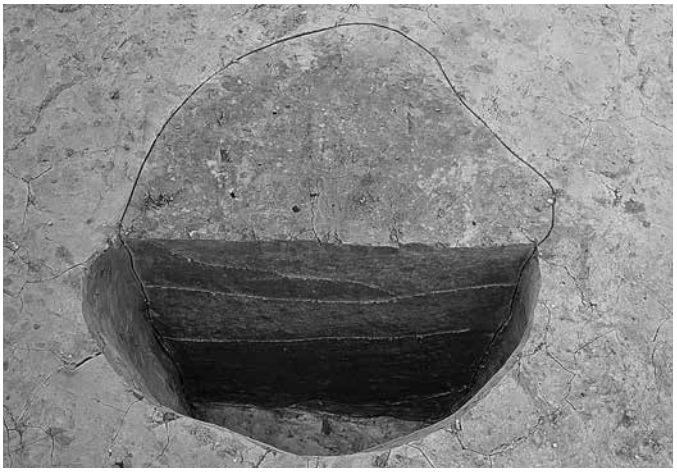
SE9623　出土状況（南から）

SE9623　完掘１（東から）

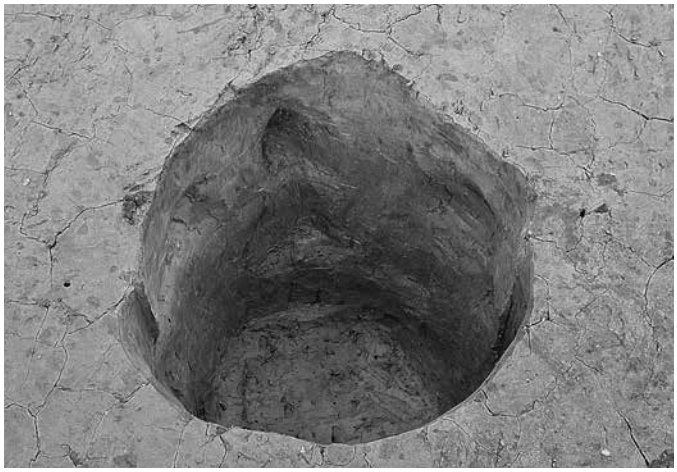
SE9623　完掘２（東から）

P9629、SK9630　セクション（北東から）

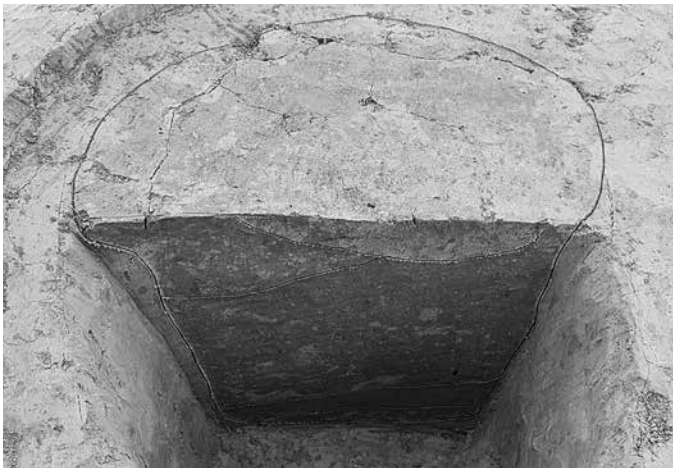
SK9630　完掘（北東から）



SK9755　セクション（南から）



SK9755　完掘（南から）



SK9816　セクション（東から）

SK9816　完掘（東から）

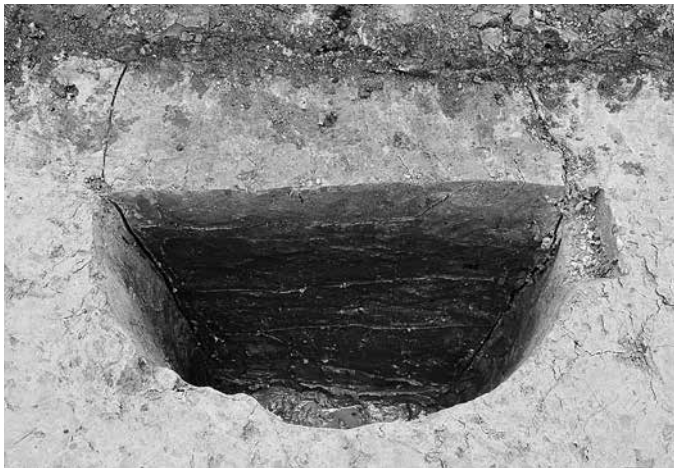
SK9817　セクション（西から）

SK9895　セクション（西から）

SK9895　完掘（西から）

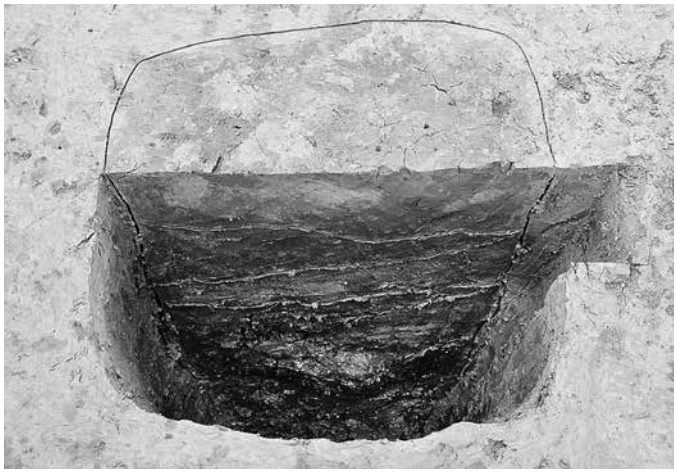
SK9896　セクション（西から）

SK9896　完掘（西から）



SE9513　セクション（東から）

SE9513　完掘（東から）



SE9514　セクション（南から）

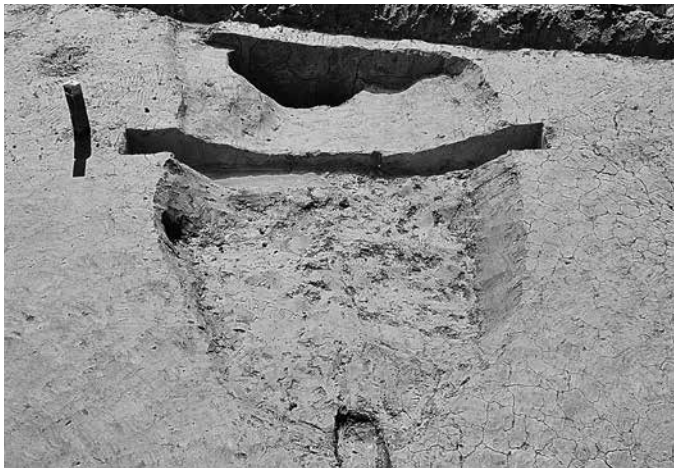
SE9514　完掘（南から）

SK9515・SK9516　セクション（北から）

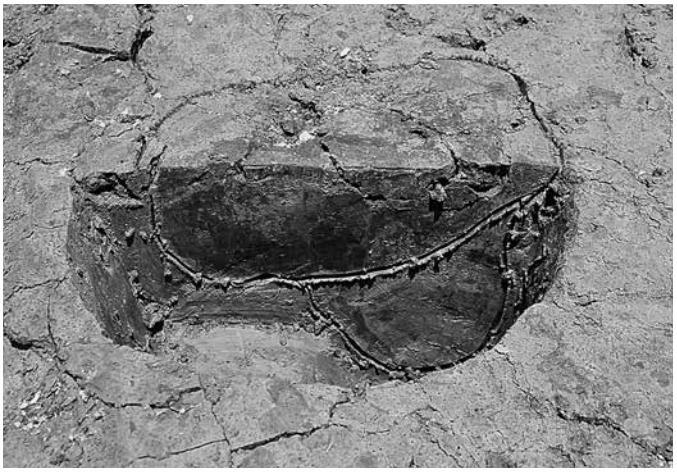
SK9515　完掘（北から）

SK9516　完掘（北から）

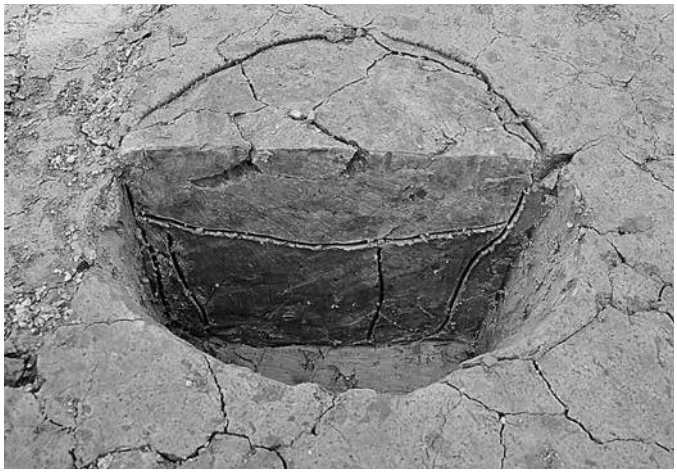
SK9511　セクション（東から）



SK9511　完掘（東から）

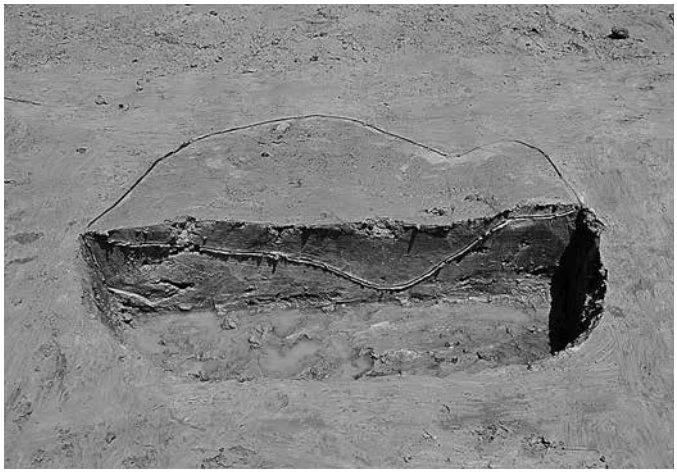


P9504　セクション（南から）



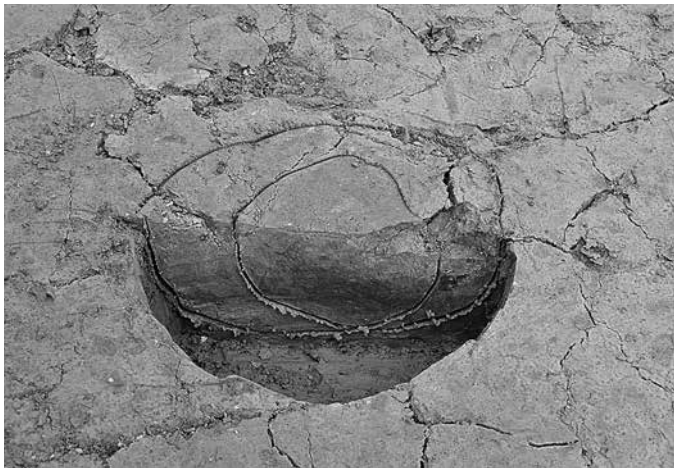
P9507　セクション（南から）

P9512　セクション（東から）



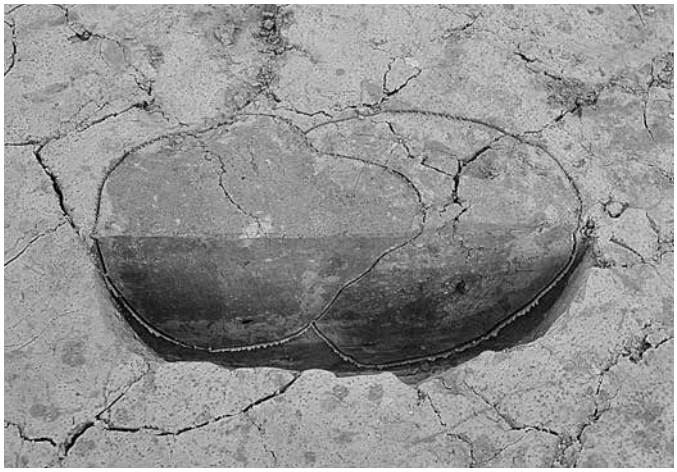
SX9503　セクション（南から）

64K 遺構検出状況（西から）



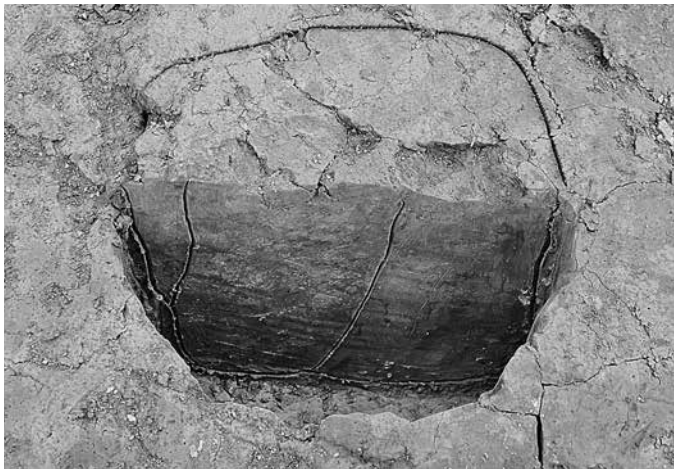
SB10456-P9765　セクション（南から）

SB10456-P9776　セクション（南から）



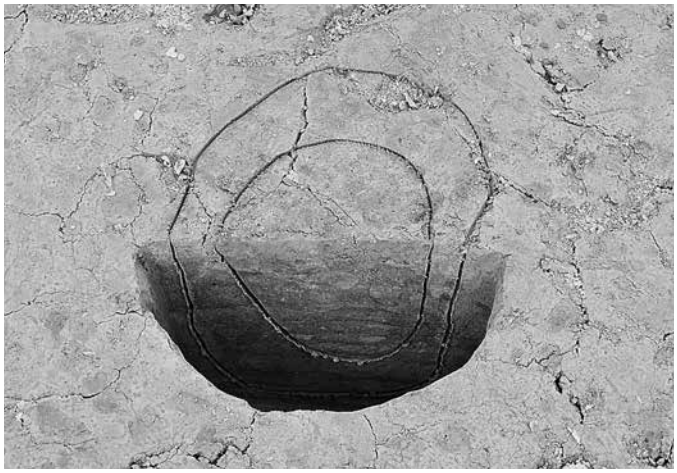
SB10456-P9777・P9778　セクション（東から）

SB10456-P9801　セクション（南から）

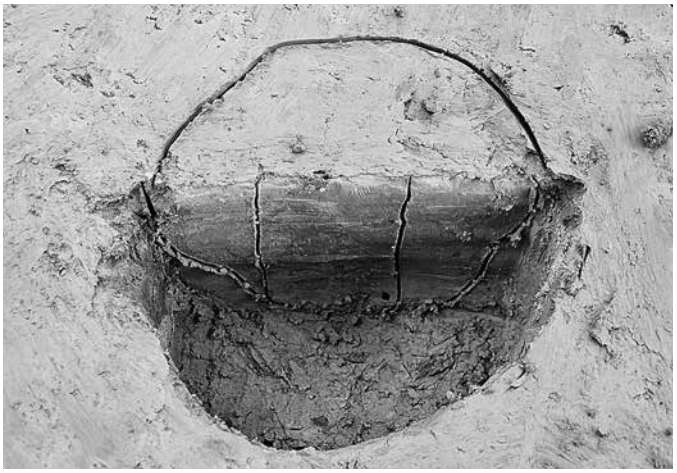


SB10457-P9731　セクション（南から）

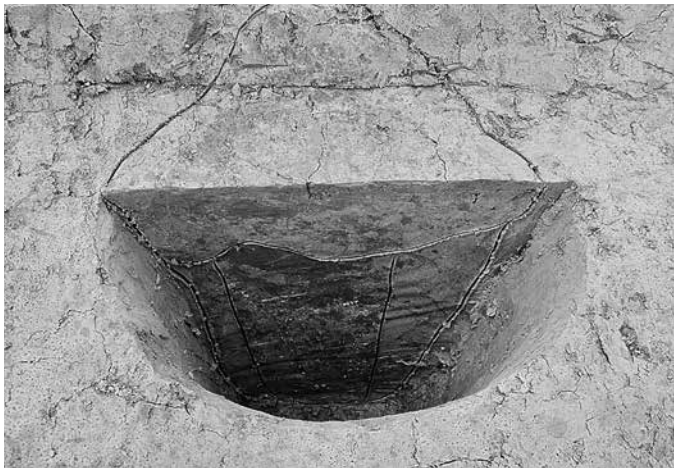
SB10457-P9804　セクション（南から）



SB10457-P9806　セクション（南から）

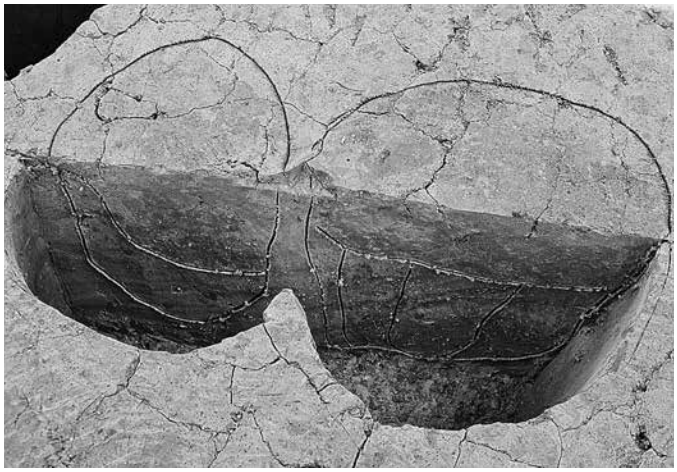


SB10457-P9854　セクション（南から）

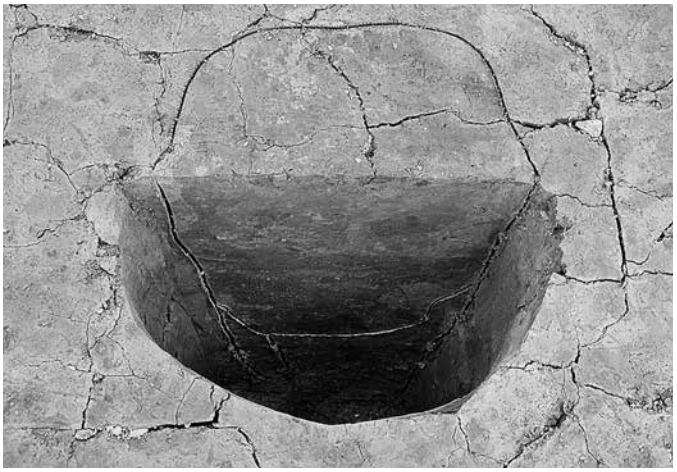


SB10458-P9782　セクション（南から）

SB10458-P9784・P9785　セクション（南から）

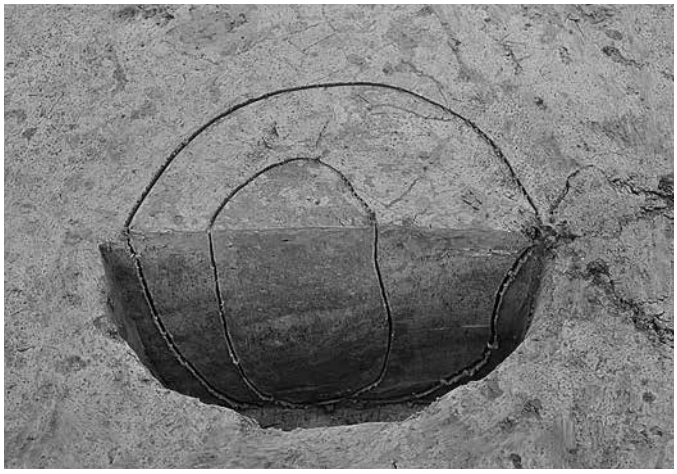


SB10459-P9694・P9693　セクション（西から）



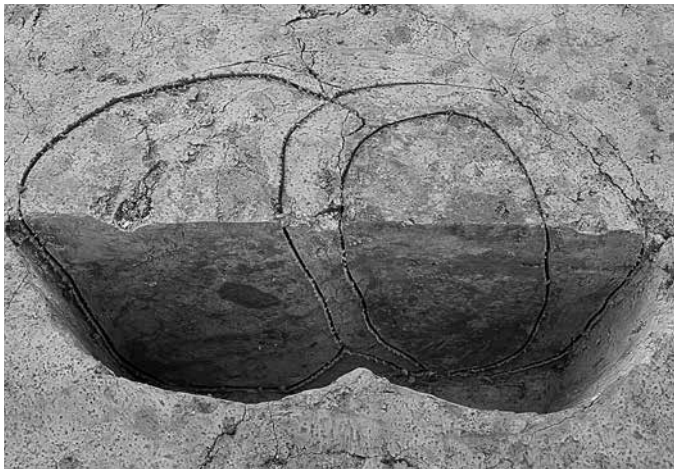
SB10459-P9732　セクション（南から）

SB10459-P9850　セクション（南から）

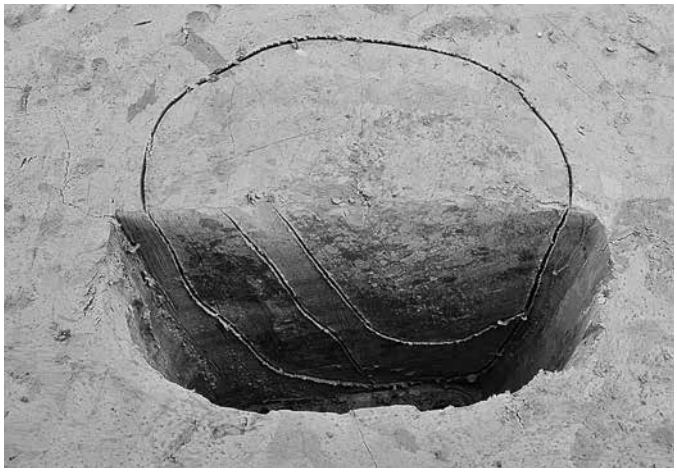


SB10460-P9758　セクション（南から）

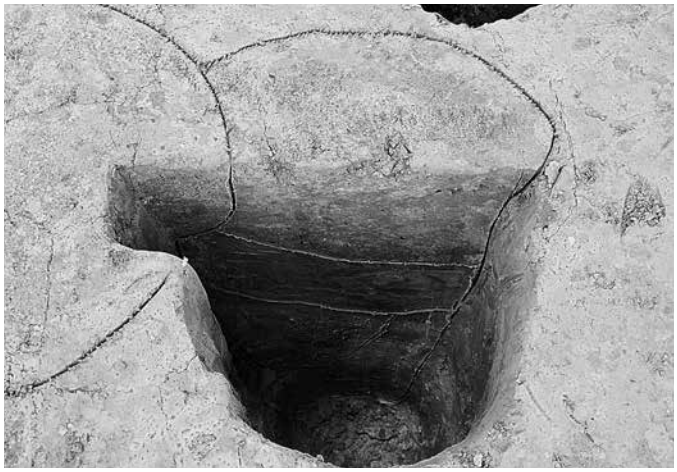
SB10460-P9760　セクション（南から）



SB10460-P9808・P9809　セクション（南から）

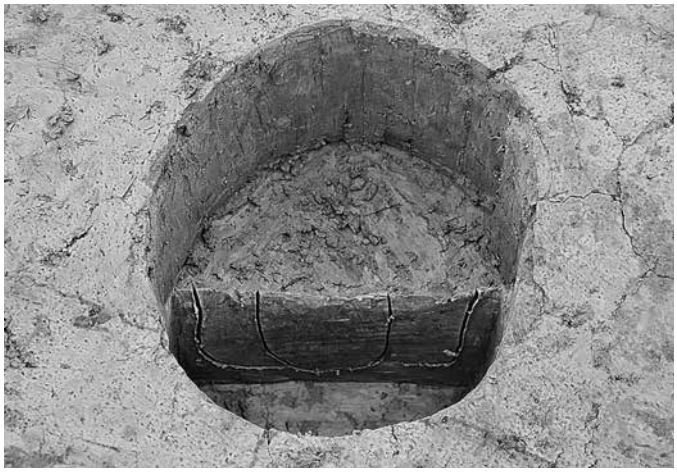


SB10461-P9663　セクション（南から）

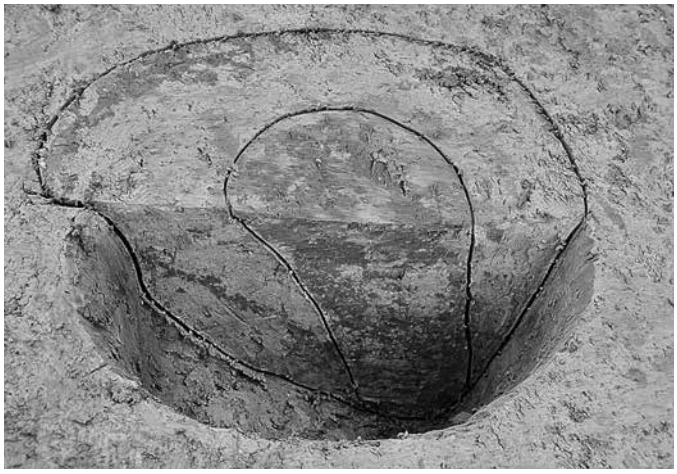


SB10461-P9705　セクション（東から）

SB10461-P9842・P9876　セクション（南から）



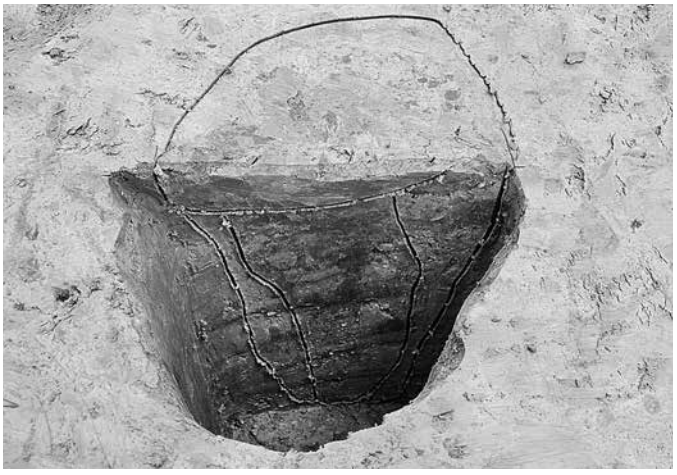
SB10461-P9859　セクション（南から）



SB10462-P9633　セクション（南から）

SB10462-P9795　セクション（西から）

SB10462-P9848・P9846・P9847　セクション（東から）



SB10462-P9858　セクション（南から）

SE9688　セクション（東から）

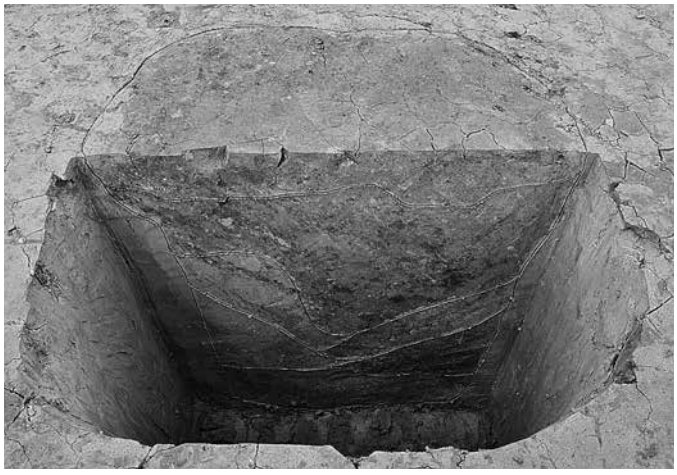
SE9688　完掘（南東から）

SE9717　セクション（北から）

SE9717　完掘（北から）

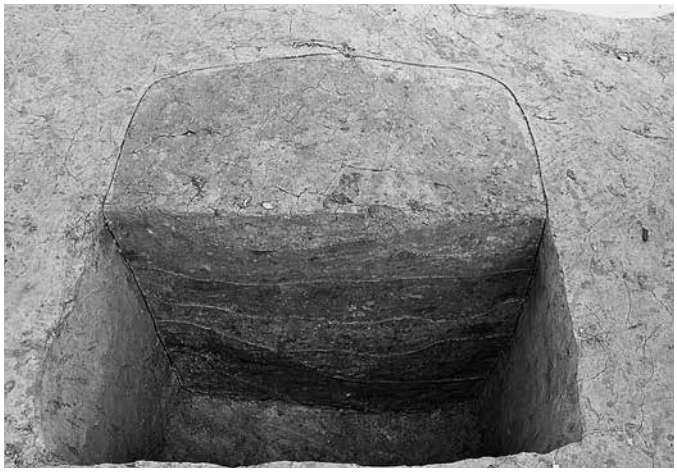
SE9899　セクション（南から）

SE9899　完掘（南から）

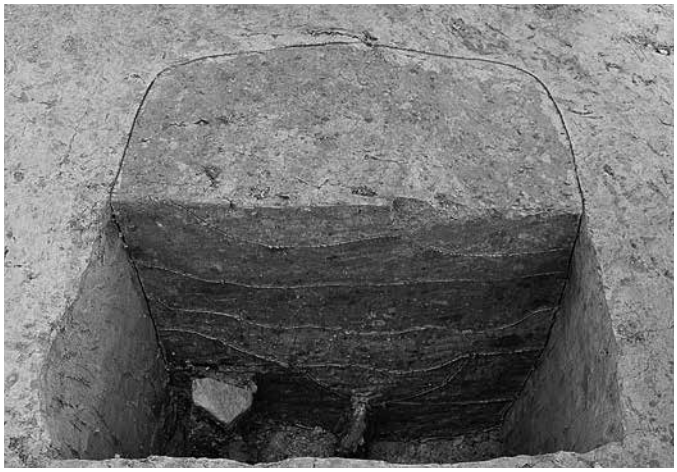


SK9685　セクション（南西から）

SK9685　完掘（南西から）



SK9780　セクション（南から）



SK9780　出土状況（南から）

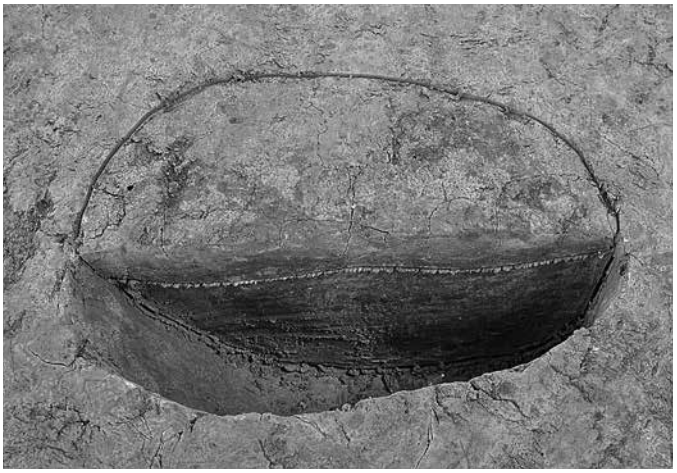
SK9780　完掘（南から）

SK9709　セクション（南から）

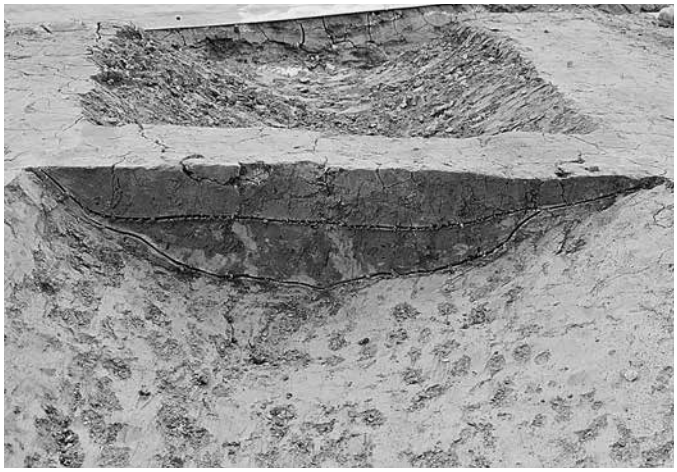
SK9874　セクション（西から）

SK9874　完掘（西から）

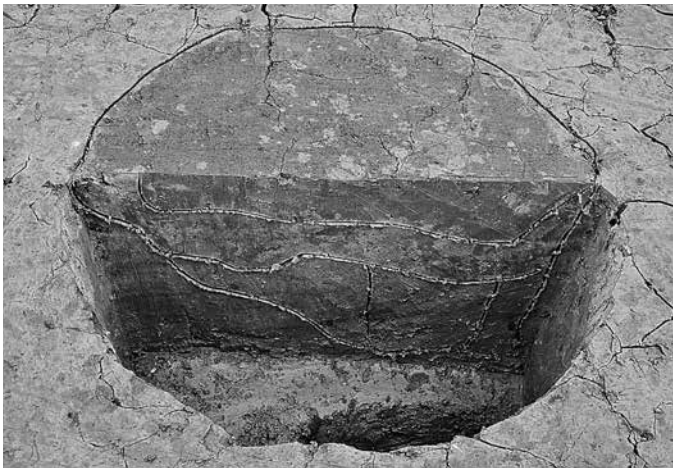
SK9788　セクション（西から）



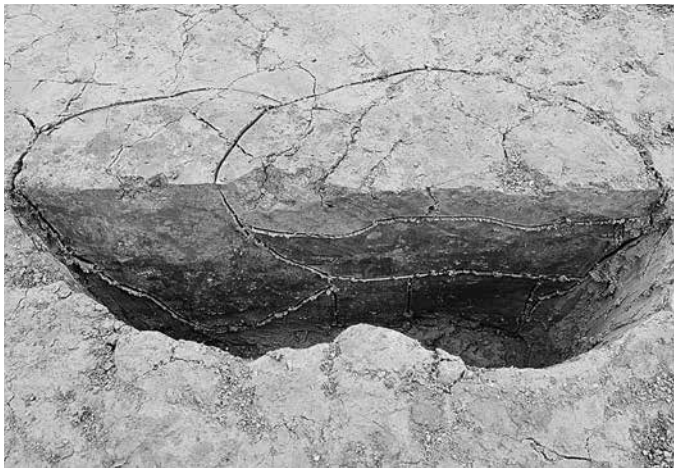
SK10368　セクション（東から）



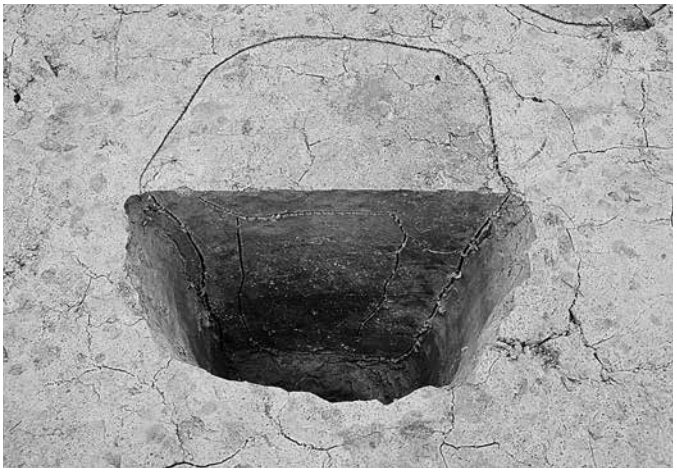
SD9665　セクション（東から）



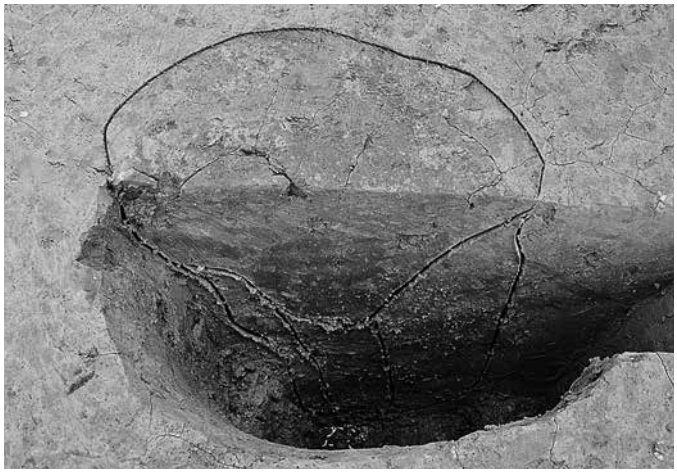
P9673　セクション（東から）



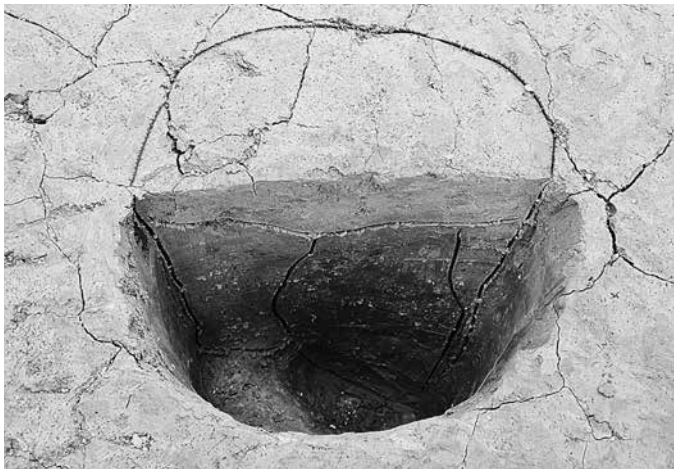
P9675・P9676　セクション（東から）



P9677　セクション（南から）

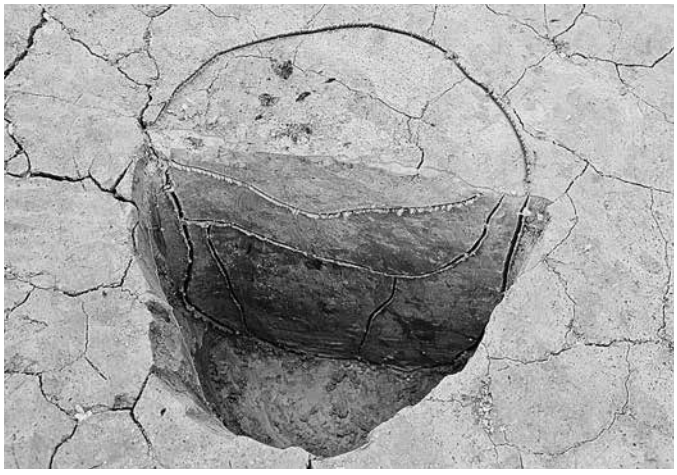


P9692　セクション（南から）

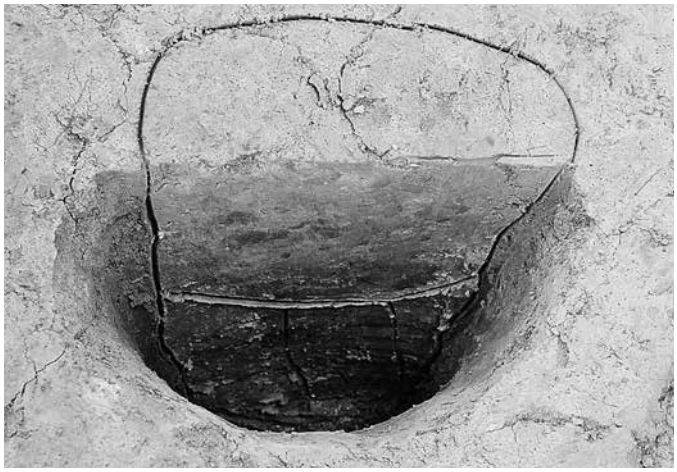


P9695　セクション（南から）

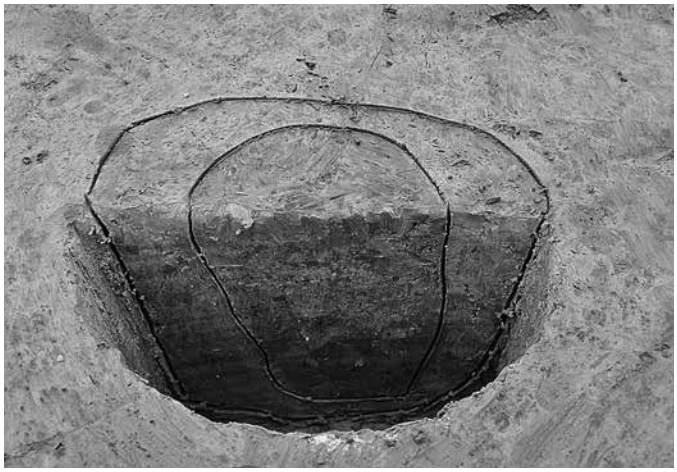
P9696・P9697　セクション（南から）



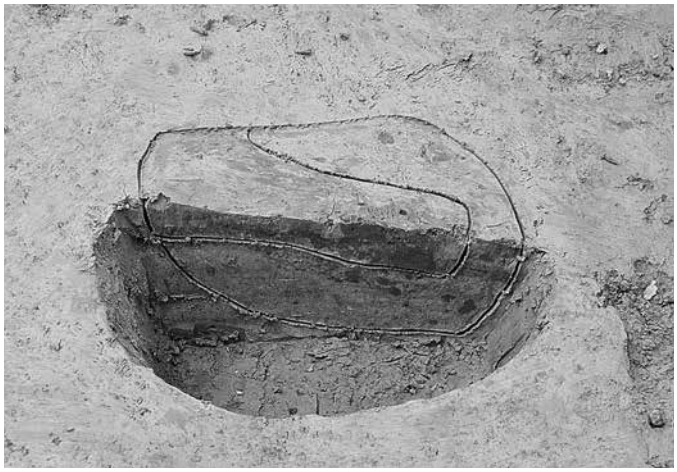
P9703　セクション（南から）



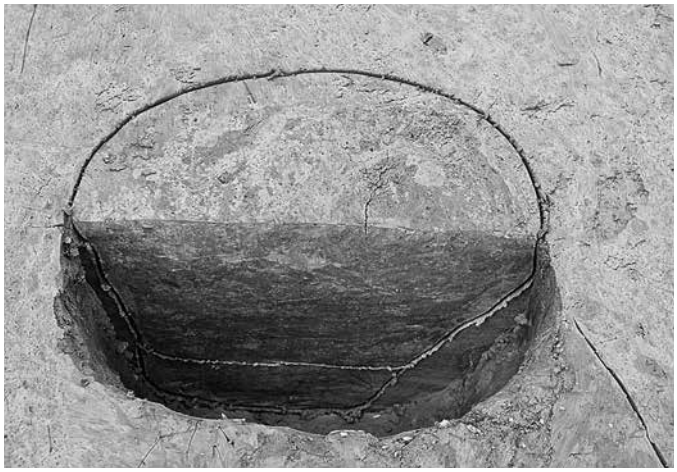
P9720　セクション（南から）



SB10463-P9631　セクション（南から）

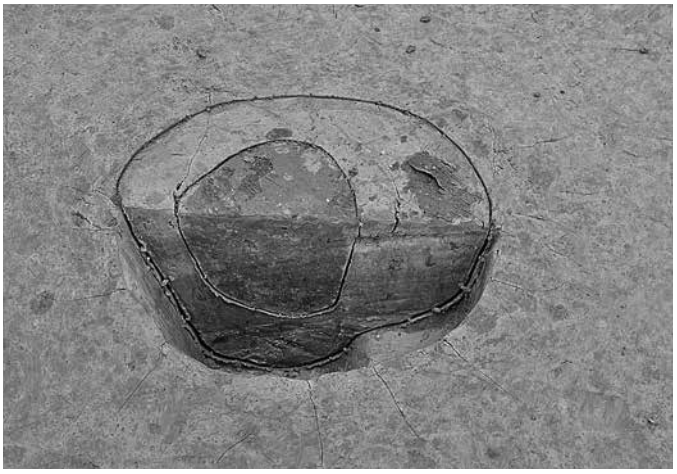


SB10463-P9638　セクション（南から）

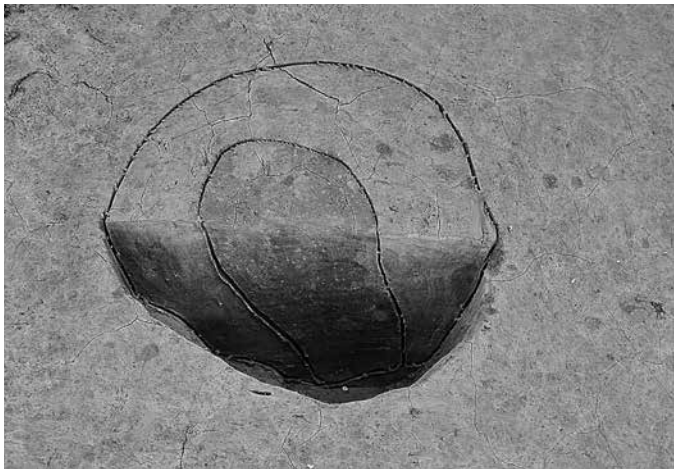


SB10463-P9657　セクション（東から）

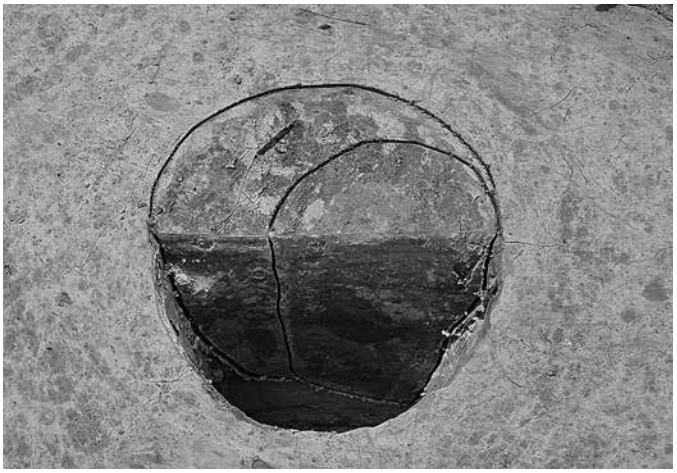
SB10463-P9770　セクション（南から）



SB10464-P9653　セクション（南から）



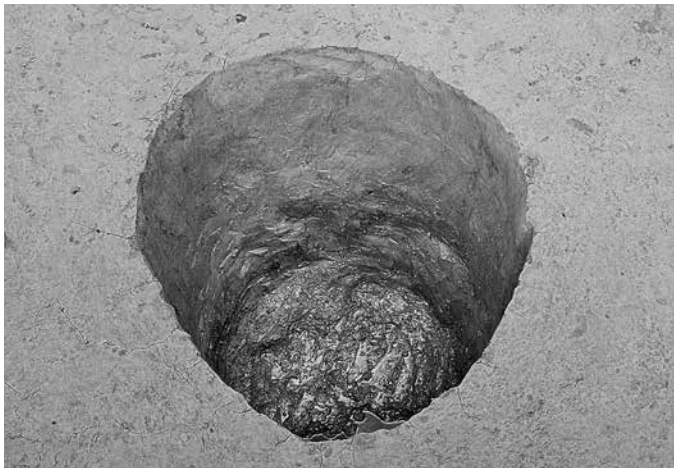
SB10464-P9754　セクション（南から）



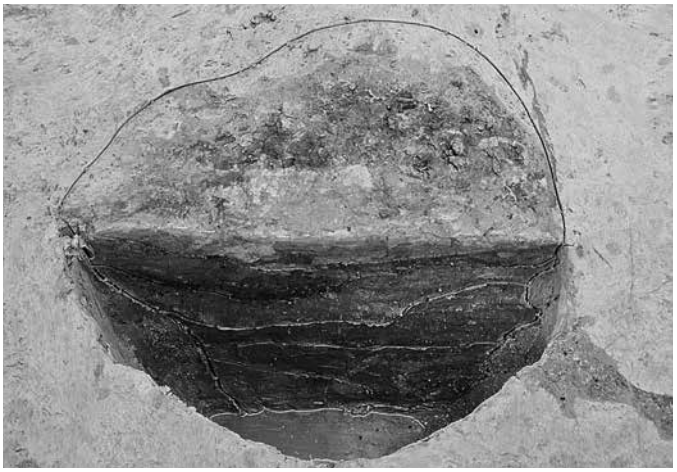
SB10464-P9660　セクション（東から）

SE10268　セクション（南から）

SE10268　出土状況（南から）



SE10268　完掘（南から）



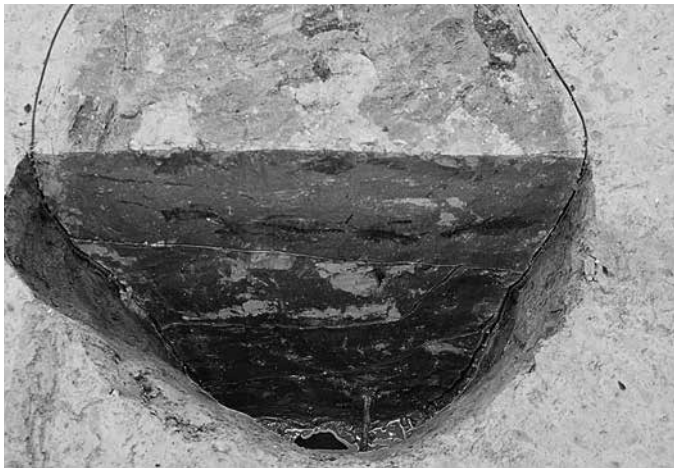
SE10269　セクション（南から）

SE10269　完掘（南から）

SE10270　セクション（北から）

SE10270　出土状況（北から）

SE10270　完掘（北から）



SE10277　セクション（東から）

SE10277　完掘（東から）

SE10342　セクション（南から）

SE10342　完掘（南から）

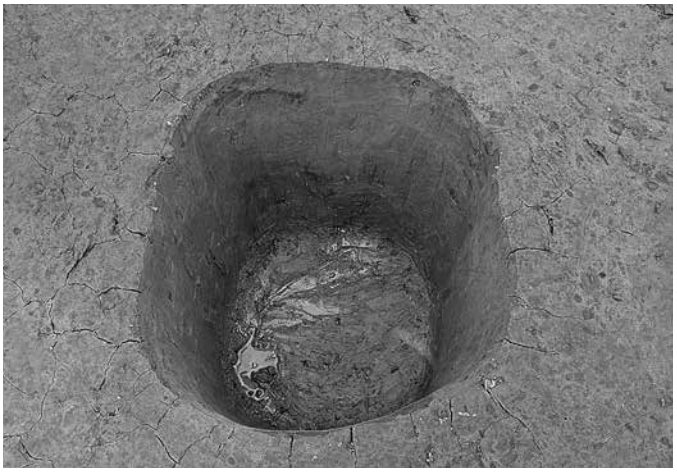
SE10366　セクション（南から）

SE10366　完掘（南から）

SK9517　セクション（東から）

SK9517　完掘（東から）

SK9650　セクション（南から）

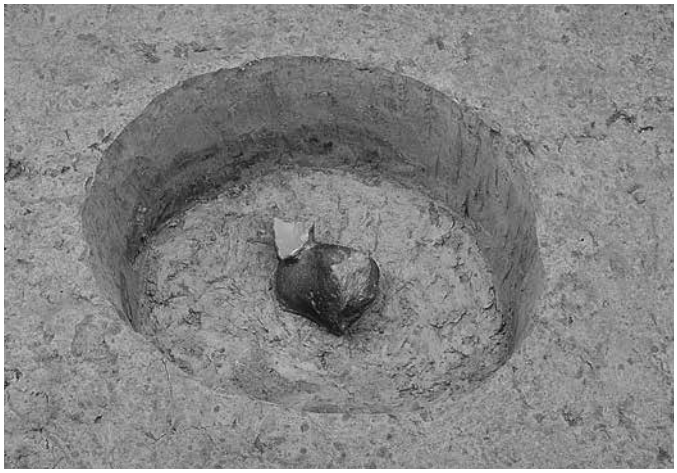


SK9650　完掘（南から）

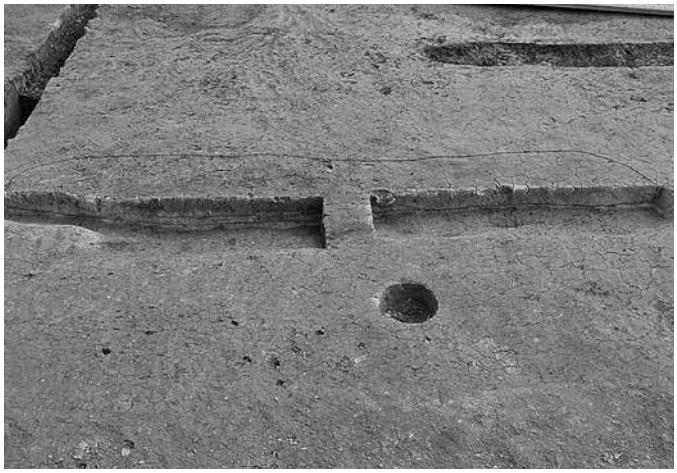
SK9756　セクション（西から）

SK9756　完掘（西から）

SK9814　セクション（西から）



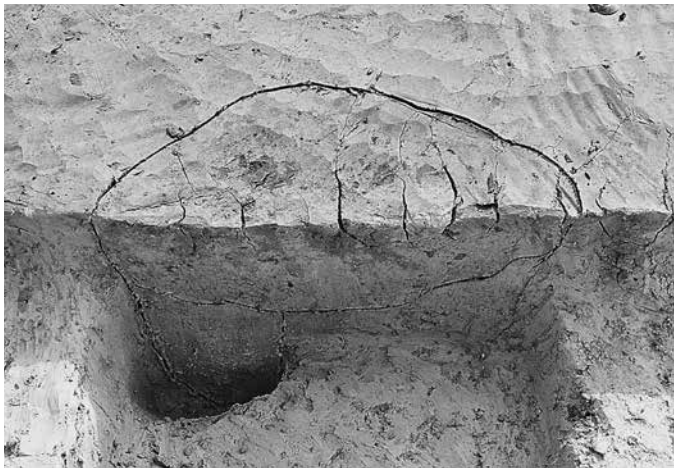
SK9814　完掘（西から）



SK10229　セクション（西から）

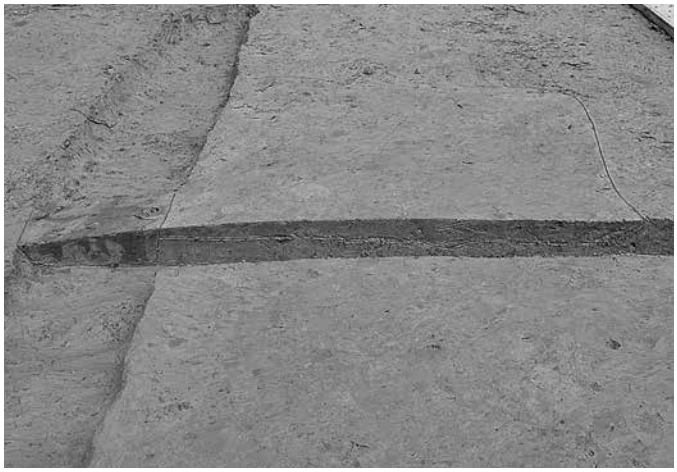
SK10229　セクション２（南から）

SK10272　セクション（西から）

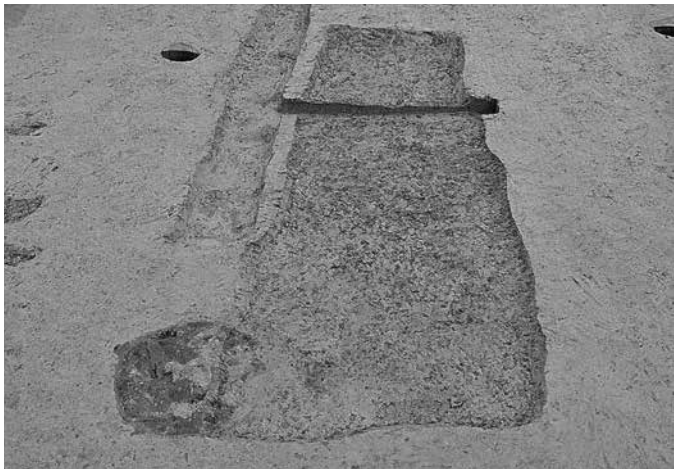


SK10358、P10359　セクション（西から）

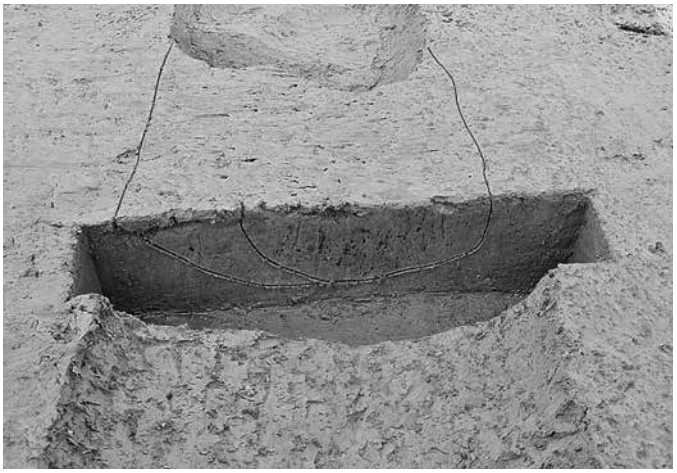
SD10348、P10370　セクション（南から）



SD10234　セクション（南から）



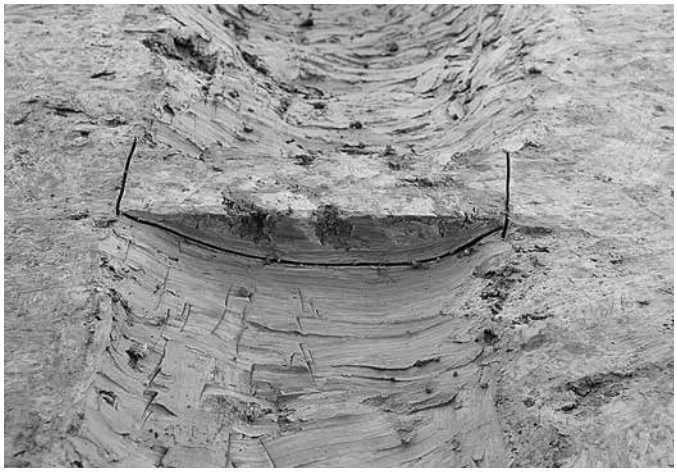
SX10235、SD10234　完掘（南から）



SD10237　セクション（南から）

SD10271　セクション（南から）

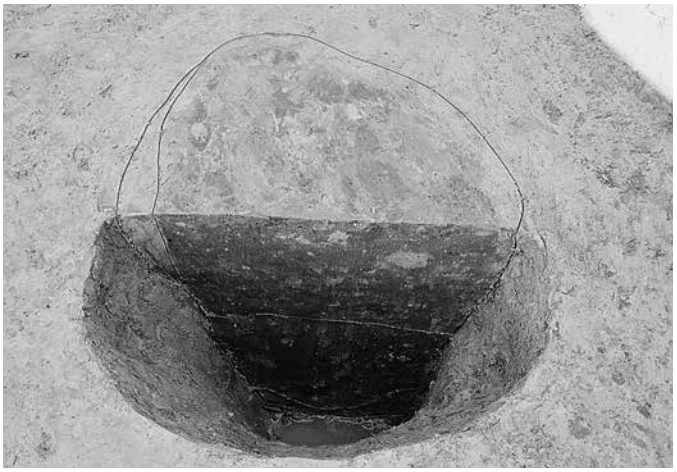
SD10273　セクション（南から）



SD10274　セクション（南から）

SE10230　セクション（西から）

SE10230　完掘（西から）

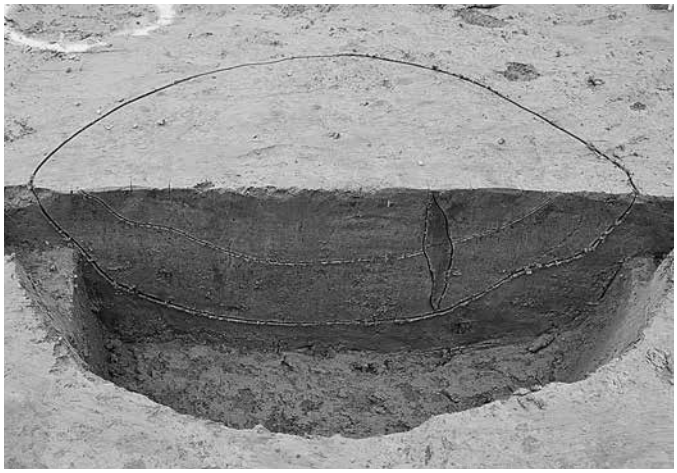


SE10231　セクション（南から）

SE10231　完掘（南から）

SK10197　セクション（北から）

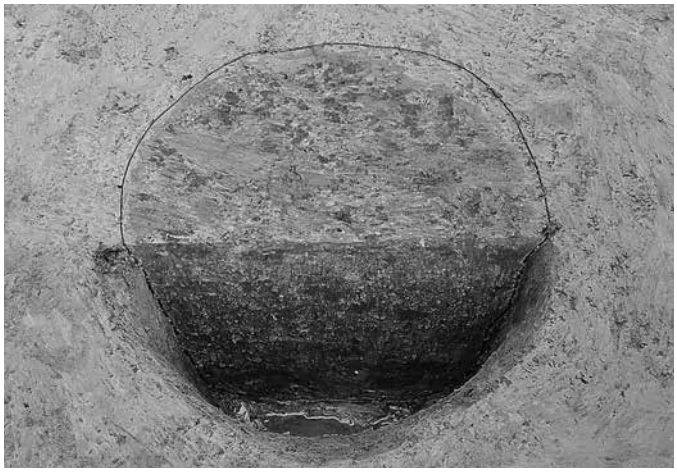
SK10197　完掘（北から）



SK10222　セクション（南から）

SK10222　完掘（南から）

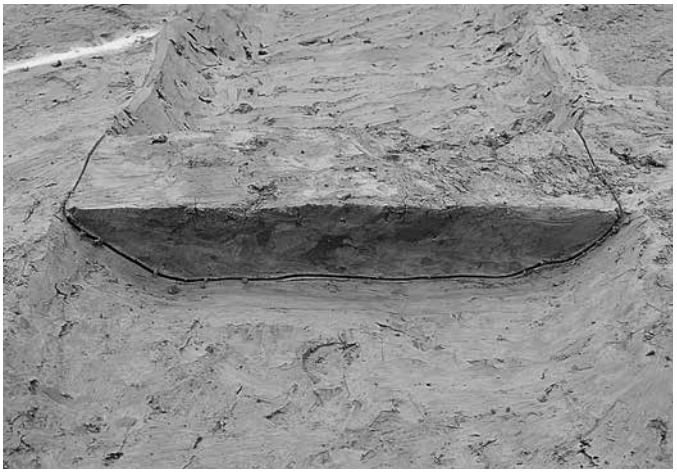
SK10360　セクション（南から）



SK10228　セクション（南から）

SK10228　完掘（南から）

SD10021　セクション（西から）



SD10184　セクション（西から）

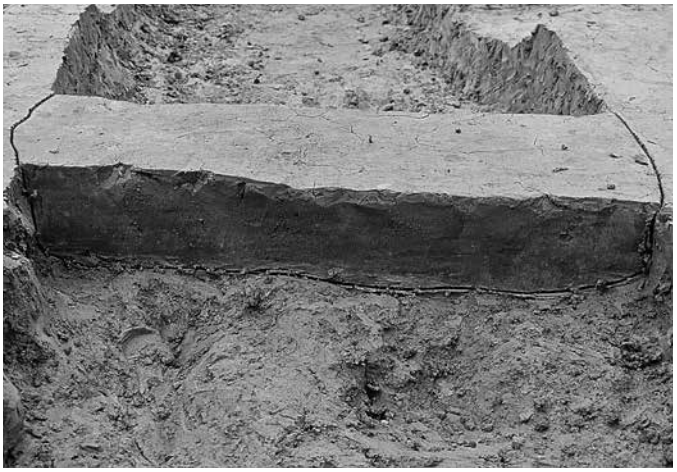
SD10185　セクション（西から）

SD10191　セクション（南から）

SD10192　セクション（南から）

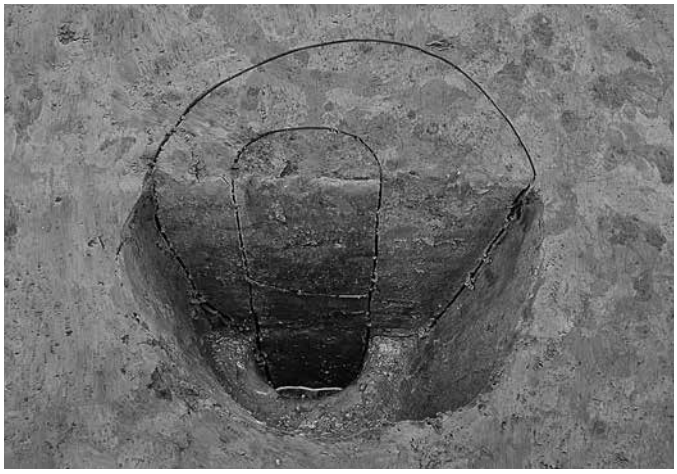
SD10193　セクション（南から）

SD10226　セクション（西から）

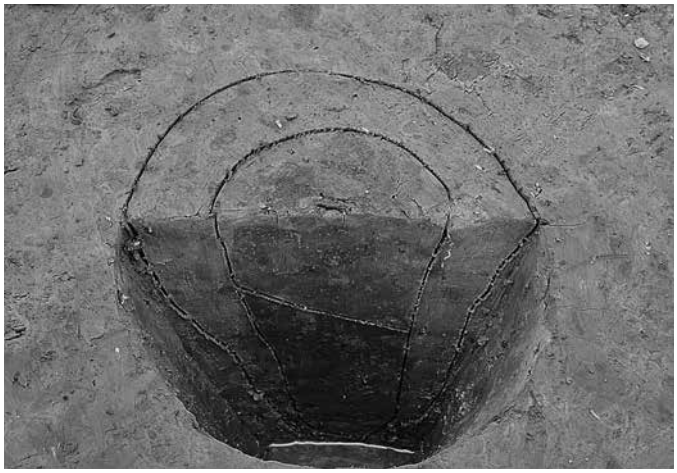


SD10233　セクション（南から）

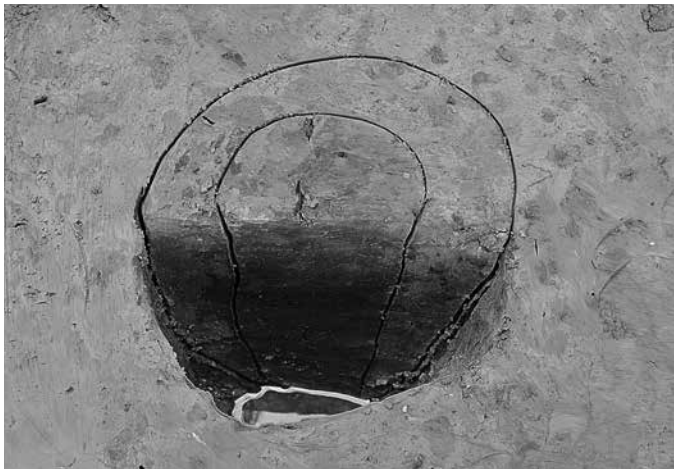
68・69O 遺構検出状況（南から）



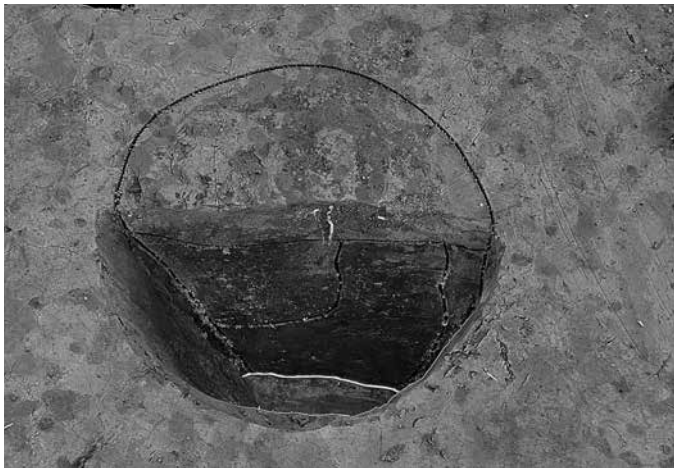
SB10388-P9826　セクション（南東から）



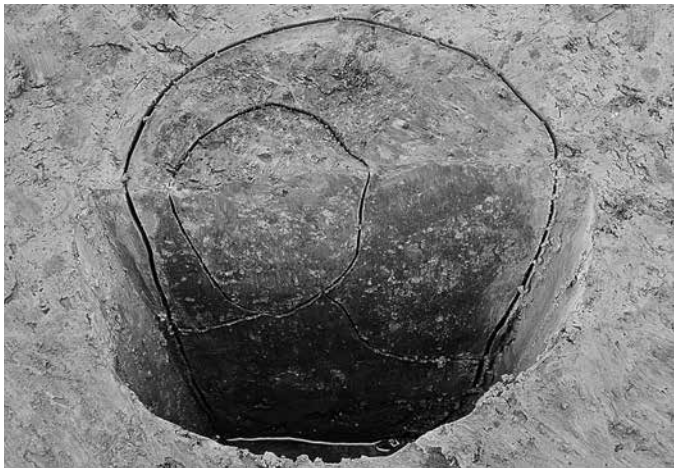
SB10389-P9834　セクション（東から）



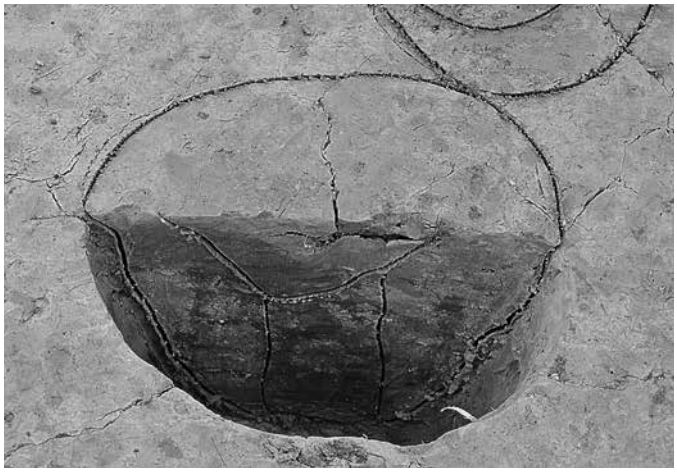
SB10389-P9833　セクション（東から）



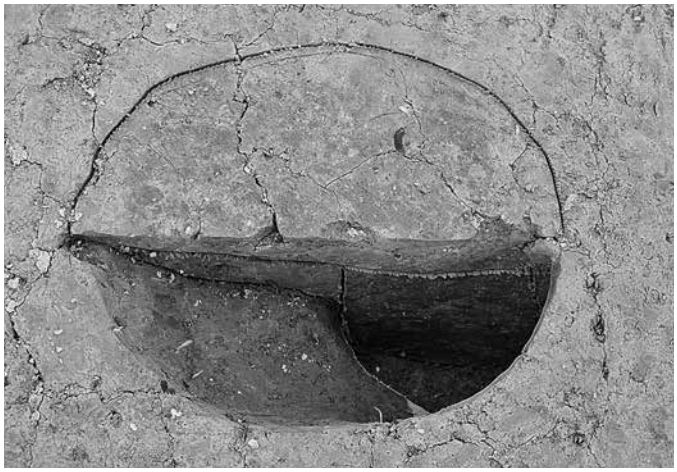
SB10390-P9907　セクション（北から）



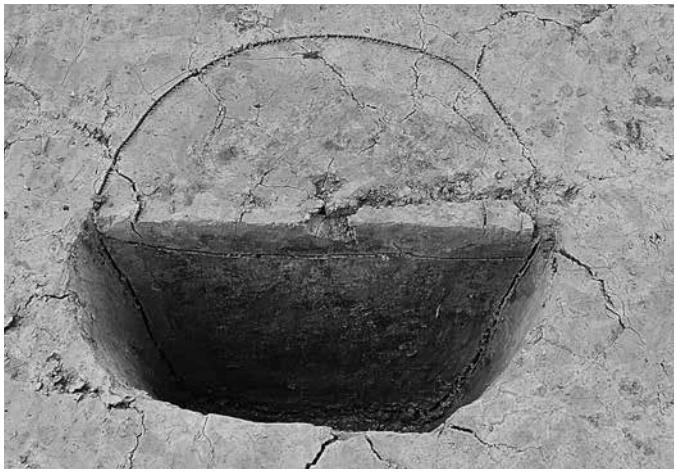
SB10390-P9912　セクション（南から）



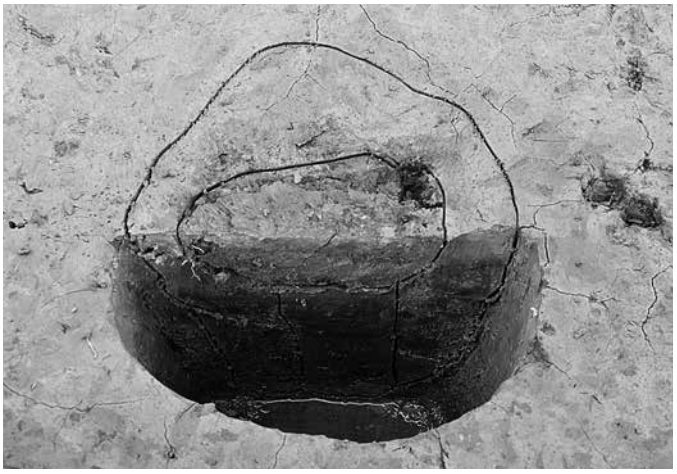
SB10392-P9974　セクション（西から）



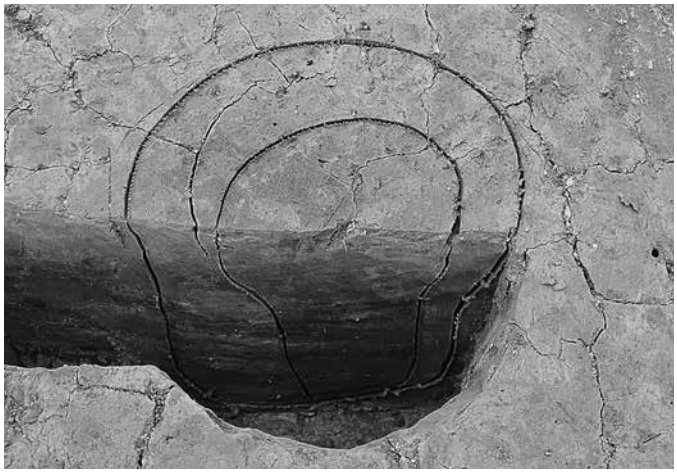
SB10392-P10011　セクション（南から）



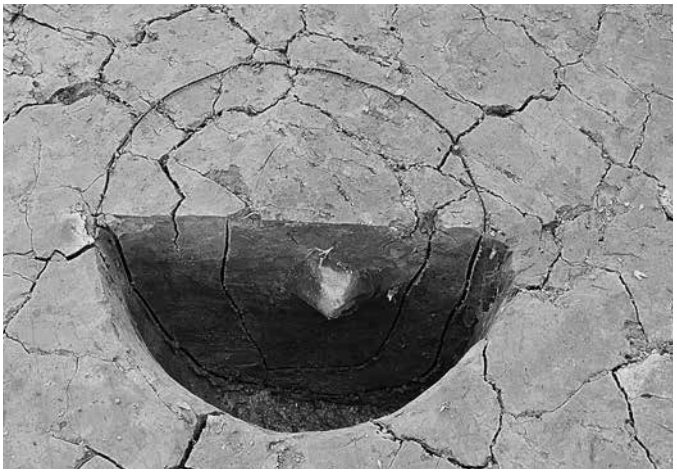
SB10391-P9917　セクション（東から）



SB10391-P9961　セクション（南から）



SB10391-P9973　セクション（南から）



SB10393-P9964　セクション（東から）

SB10393-P9965　セクション（南から）

SE9906　セクション（南から）

SE9972　セクション（南から）

SE9972　完掘（南から）

SE10001　セクション（西から）

SE10001　完掘（西から）

SE10003　セクション（西から）

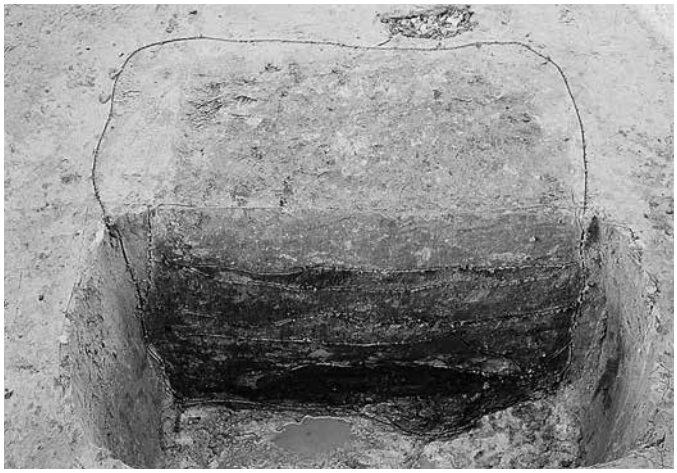
SE10003　完掘（西から）

SE10007　セクション（南から）

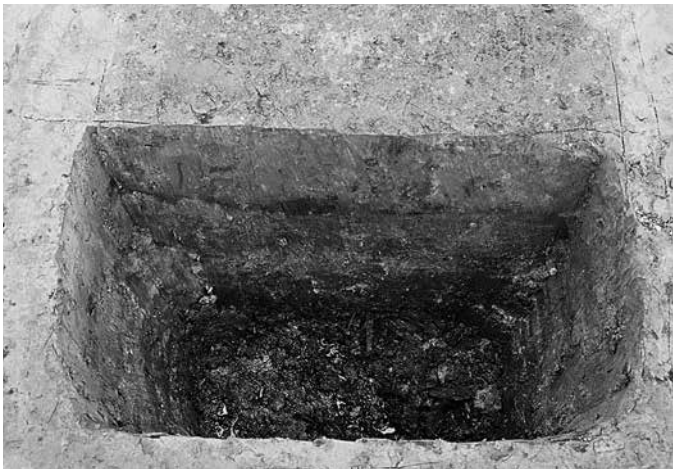
SE10007　完掘（南から）

SD10022、SE10014　セクション（南から）

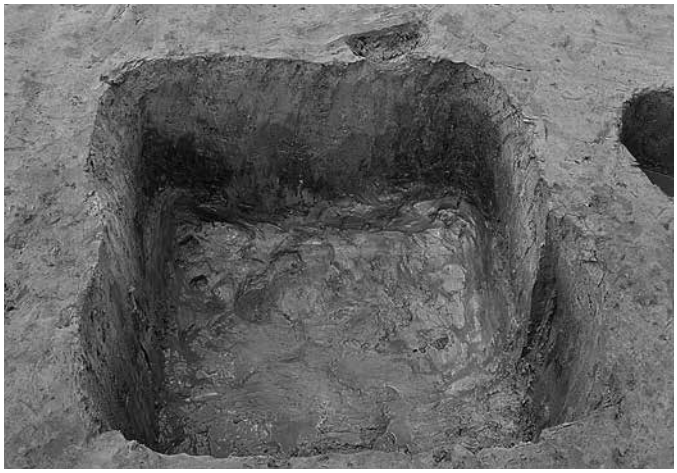
SE10014　完掘（南から）



SE10015　セクション（南から）



SE10015　検出状況（南から）



SE10015　完掘（南から）

SE10036　セクション（北から）

SE10036　完掘（北から）

SE10037　セクション（南から）

SE10037　完掘（南から）

SE10181　セクション（東から）

SE10181　完掘（東から）

SE10227　セクション（北から）

SE10227　完掘（北から）

SE10232　セクション（東から）

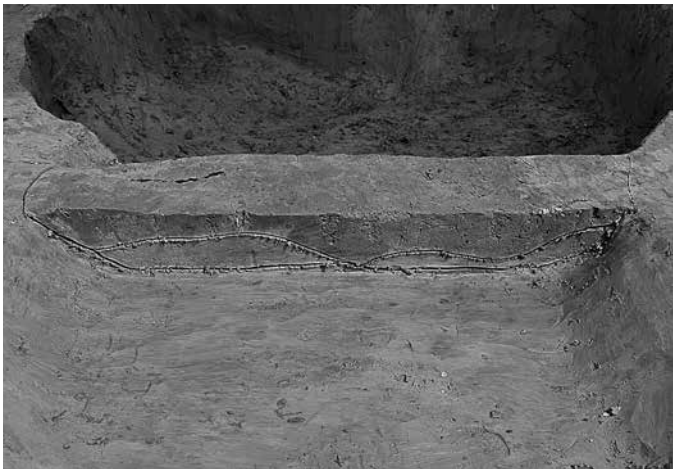
SE10232　セクション２（東から）

SE10232　完掘（東から）

SE10239　セクション（北から）

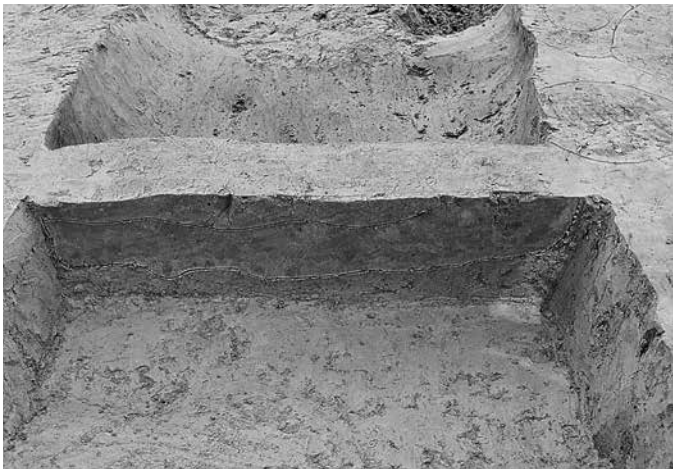
SE10239　出土状況（北から）

SE10239　完掘（北から）



SK9975　セクション（西から）

SK9975　完掘（西から）



SK9976　セクション（南から）

SK9976　完掘（南から）

SK9980　セクション（南から）

SK9980　完掘（南から）

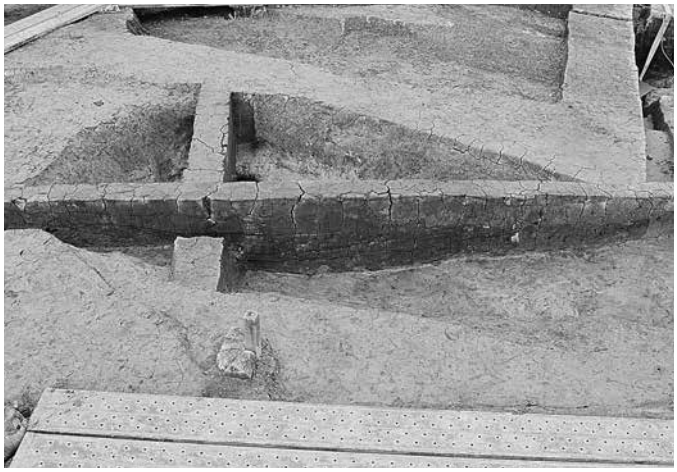
SK9981　セクション（南から）

SK9981　完掘（南から）

SK10024　セクション１（南から）

SK10024　セクション２（東から）

SK10024　完掘（南から）

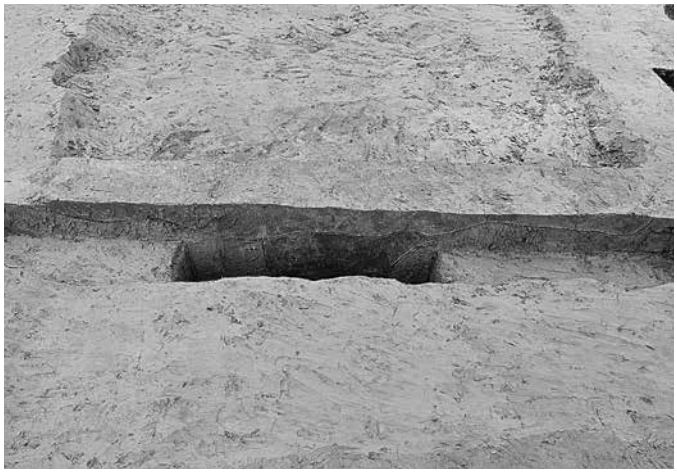


SK10224　セクション１（南から）

SK10224　セクション２（東から）

SK10224　完掘（南から）

SD9941・SD9938　セクション（西から）



SX10002　セクション（西から）

SK10018、SK10016　セクション１（南から）

SK10018、SK10016　セクション２（南から）

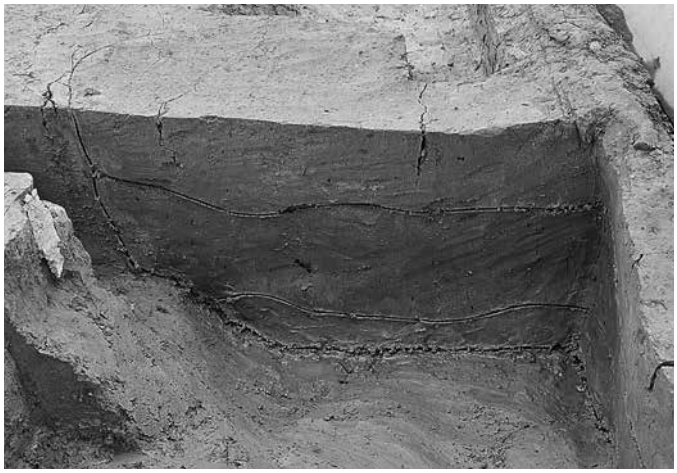
SX10019　セクション（西から）

SX10029　セクション（北から）

SX10029　完掘（南から）

SX10030　セクション（南から）

SX10030　完掘（南から）

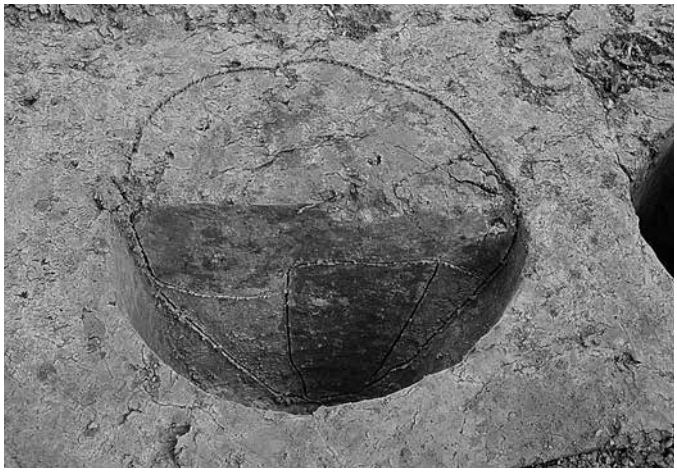


SX10031　セクション１（西から）

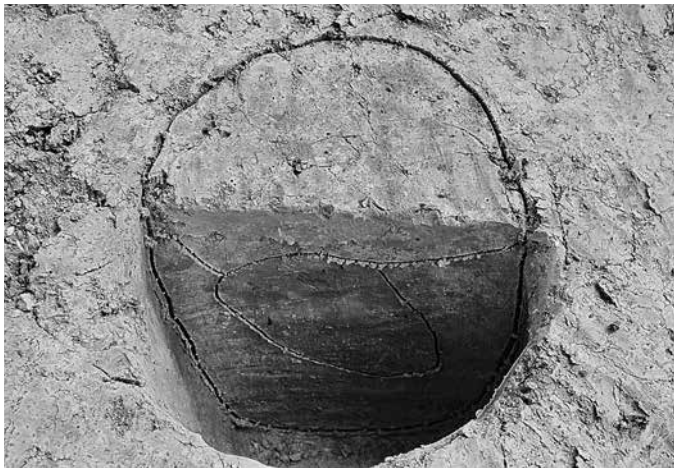
SX10031　セクション２（北から）

SX10031　完掘（西から）

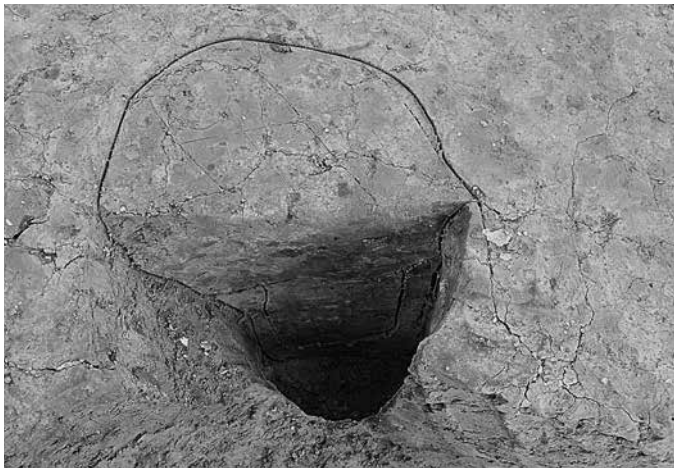
P9900　セクション（南西から）



P10008　セクション（南から）



P10009　セクション（南西から）



P10035　セクション（北から）

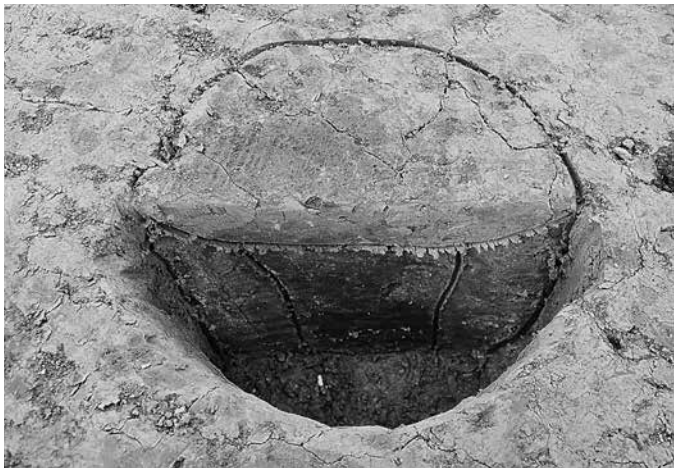
P10039・P10040　セクション（東から）

P10182　セクション（南から）

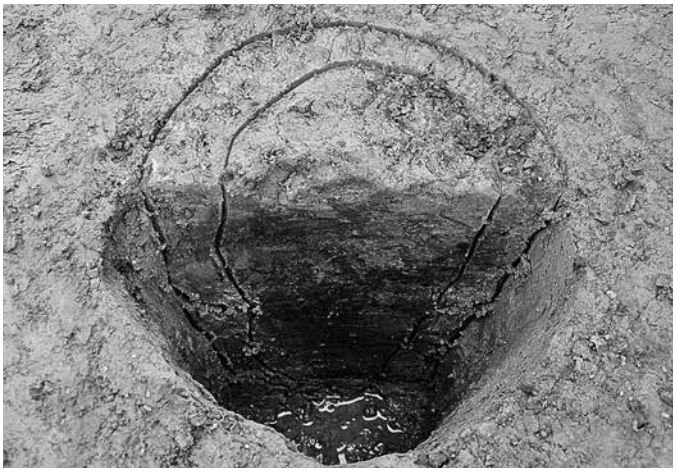
65-67O 遺構検出状況（南から）

SB10394-P10205　セクション（南から）

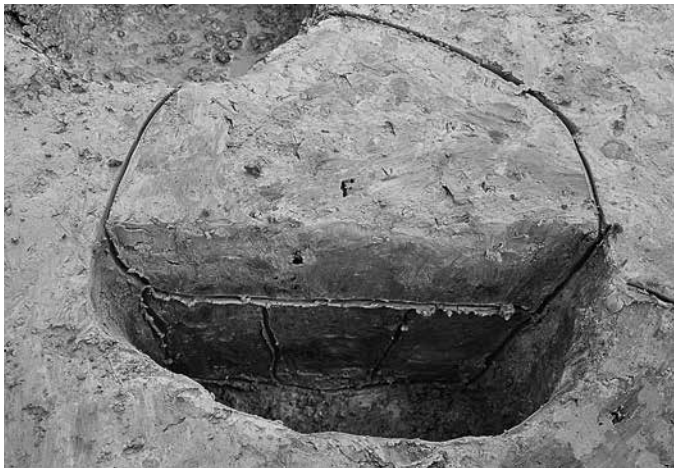
SB10394-P10320　セクション（西から）



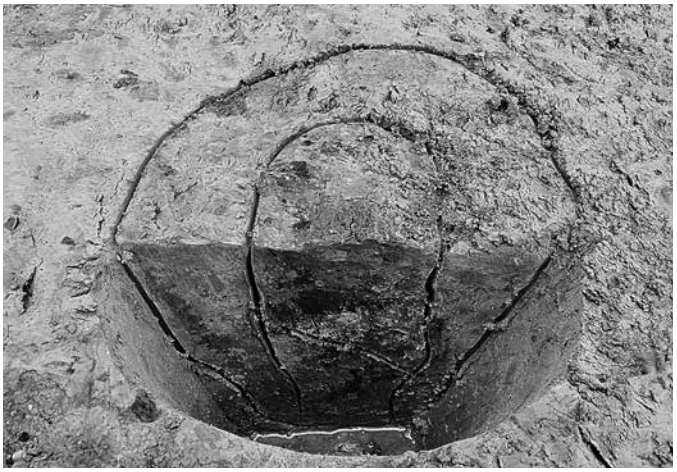
SB10395-P10075　セクション（西から）



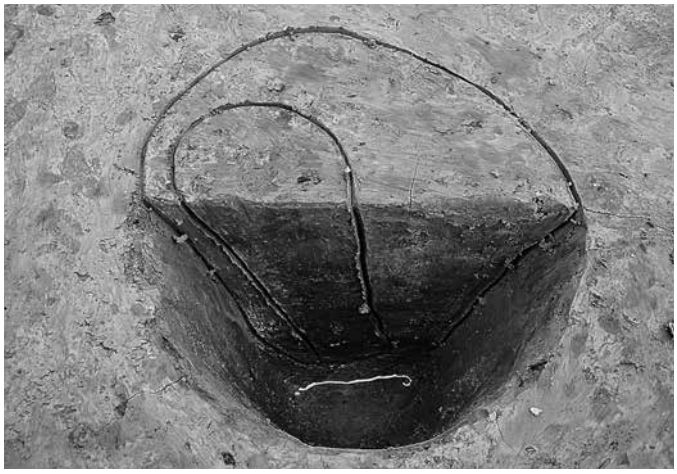
SB10396-P10220　セクション（南から）



SB10396-P10283　セクション（南から）



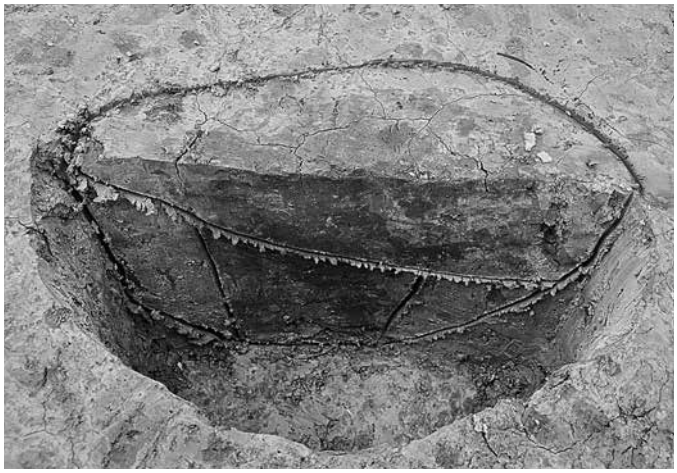
SB10397-P10118　セクション（南西から）



SB10397-P10123　セクション（南西から）

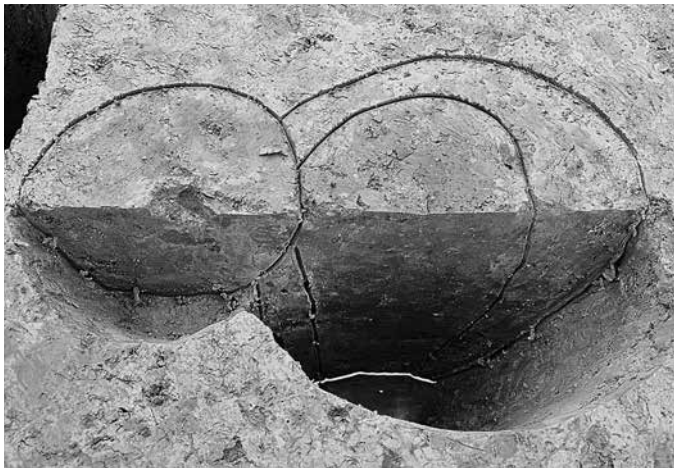
SB10397-P10129　セクション（南から）

SB10397-P10161　セクション（東から）

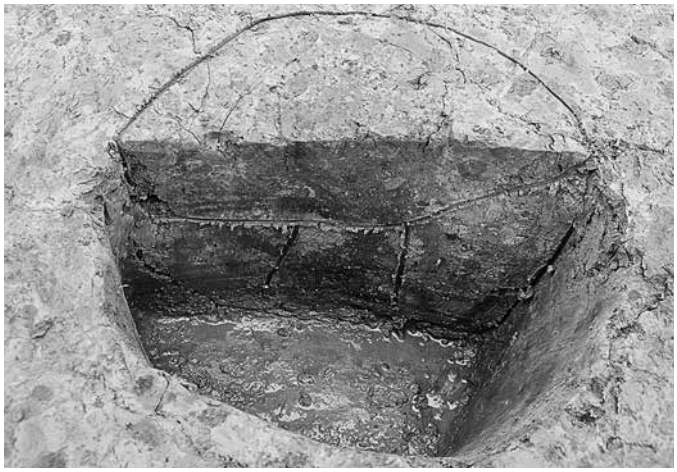


SB10398-P10124　セクション（東から）

SB10398-P10202　セクション（南から）

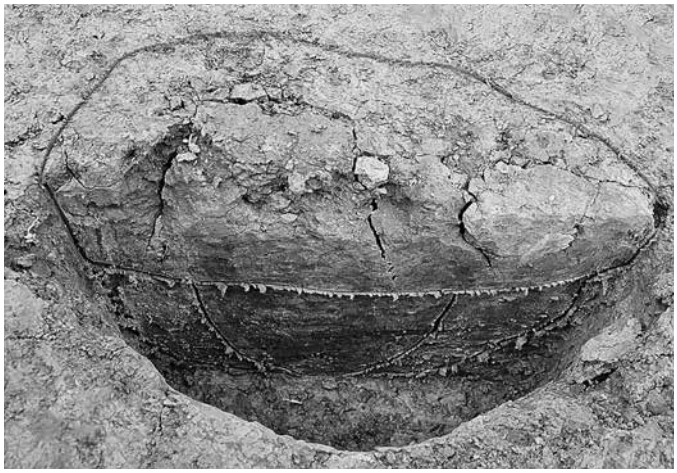


SB10399-P10254・P10253　セクション（南東から）



SB10400-P10125　セクション（南から）

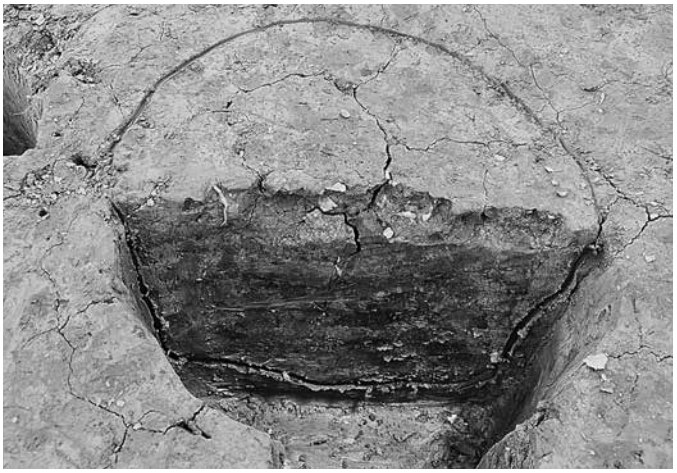
SB10400-P10160　セクション（南から）



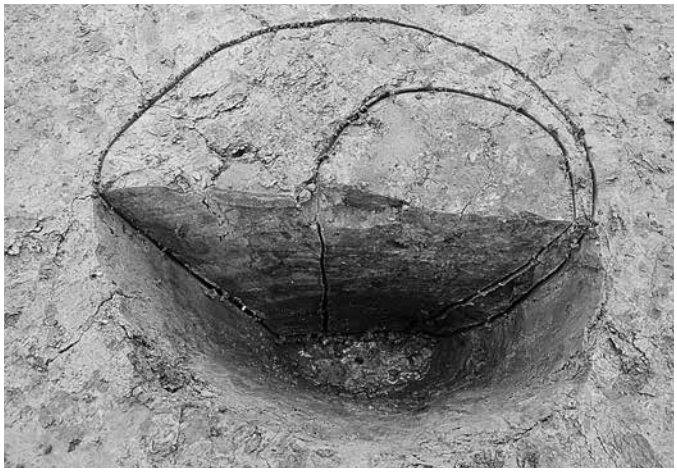
SB10400-P10332　セクション（南から）

SB10400-P10414　セクション（南から）

SB10442-P10148　セクション（南から）



SB10442-P10175　セクション（南から）



SB10442-P10331　セクション（南西から）

SE10053、P10054　セクション（西から）

SE10053、P10054　完掘（東から）

SE10057、P10055　セクション（南から）

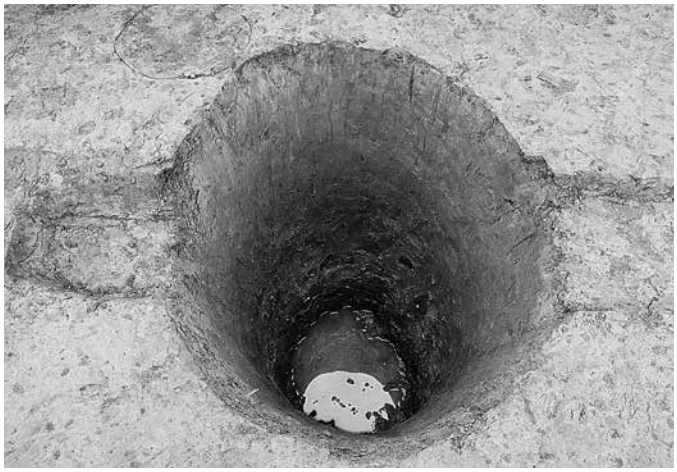
SE10057　出土状況（南から）

SE10057　完掘（南から）

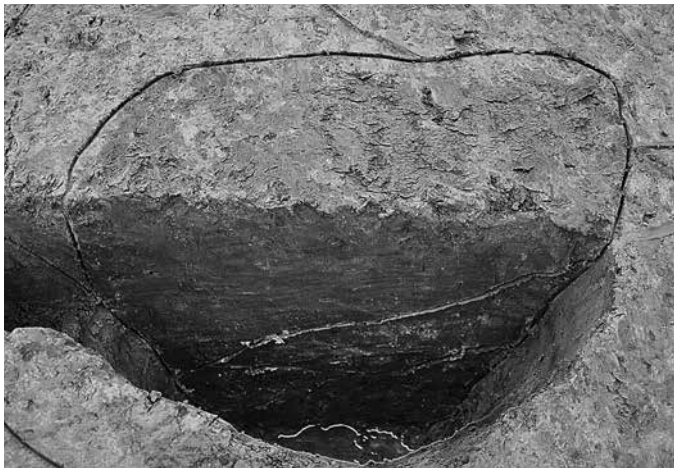
SE10069　セクション（西から）

SE10069　完掘（西から）

SE10132、SD9942　セクション（西から）



SE10132　完掘（西から）



SE10167　セクション（東から）

SE10167　完掘（東から）

SE10169　セクション（南西から）

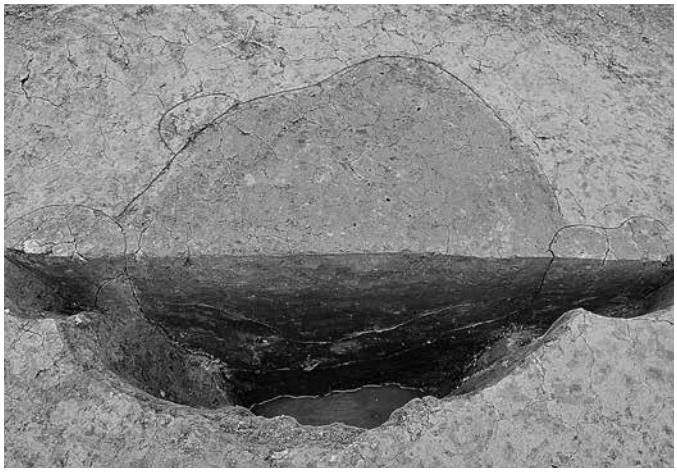
SE10169　完掘（南西から）

SE10170　セクション（南東から）

SE10170　完掘（南東から）

SE10241、P10255　セクション（南から）

SE10241、P10255　完掘（南から）



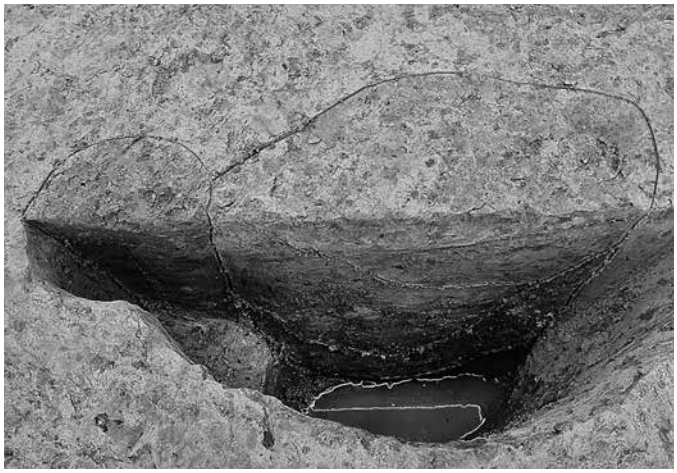
SE10280、P10279・P10416　セクション（東から）

SE10280、P10279・P10416　完掘（東から）

SE10321　セクション（南から）

SE10321　出土状況（北から）

SE10321　完掘（南から）



SE10339、P10338　セクション（南から）

SE10339、P10338　完掘（南から）

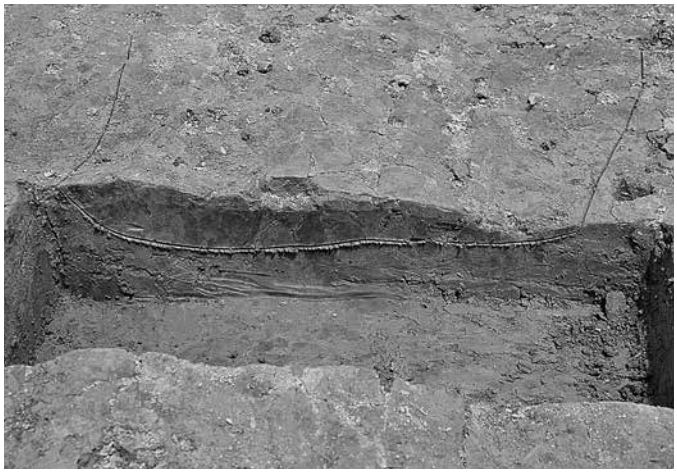
SK9944、SD9941・SD9942　セクション（南から）

SK9944　完掘（南から）

SK10115　セクション（南西から）

SK10115　完掘（南西から）

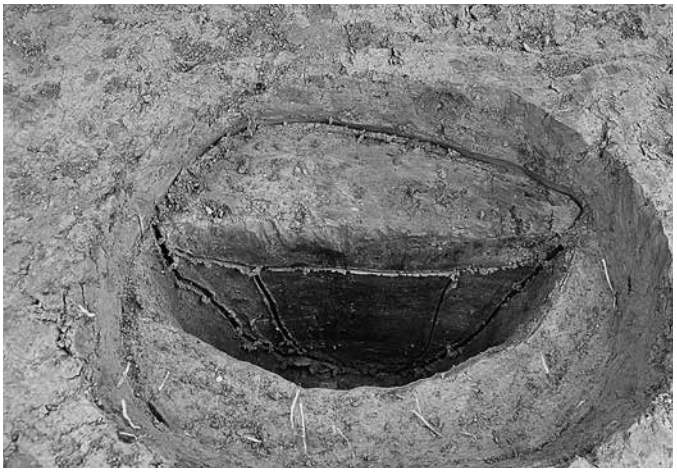
SD9941、SD9942・P9945　セクション（南から）



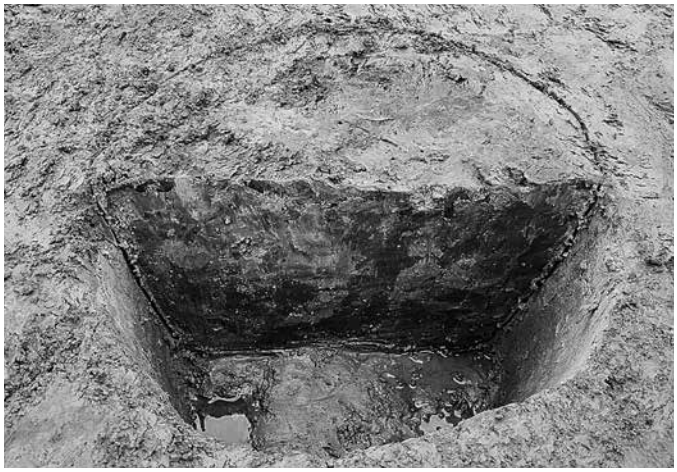
SD9943　セクション（南から）

SD10111　セクション（北から）

SD10249　セクション（北から）



P9956　セクション（西から）



P10107　セクション（北西から）

SX10450　検出状況１（南から）

SX10450　検出状況 2（西から）

SX10450　セクション 1（南から）

SX10450　セクション 1-1（南から）

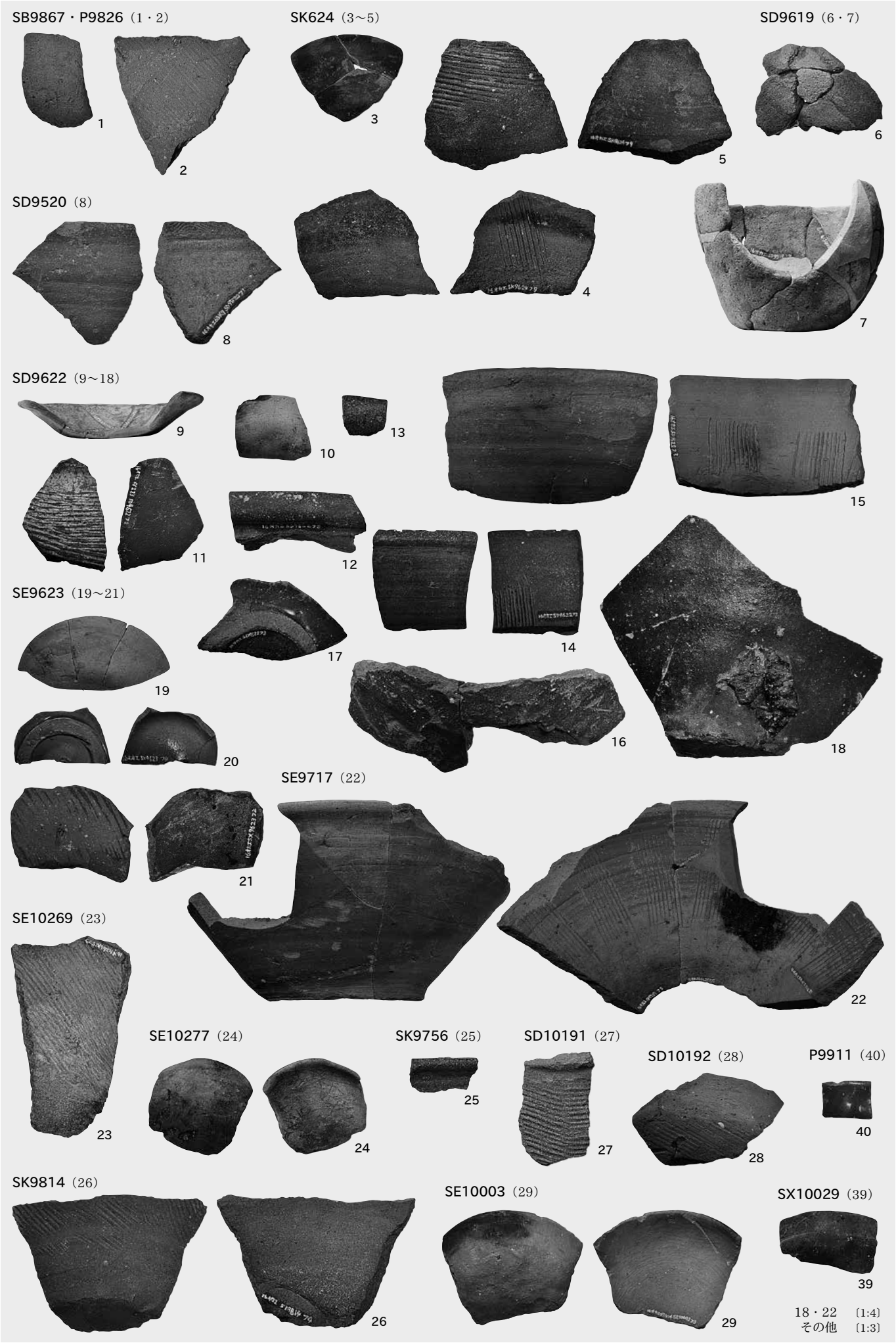
SX10450　セクション 1-2（南から）

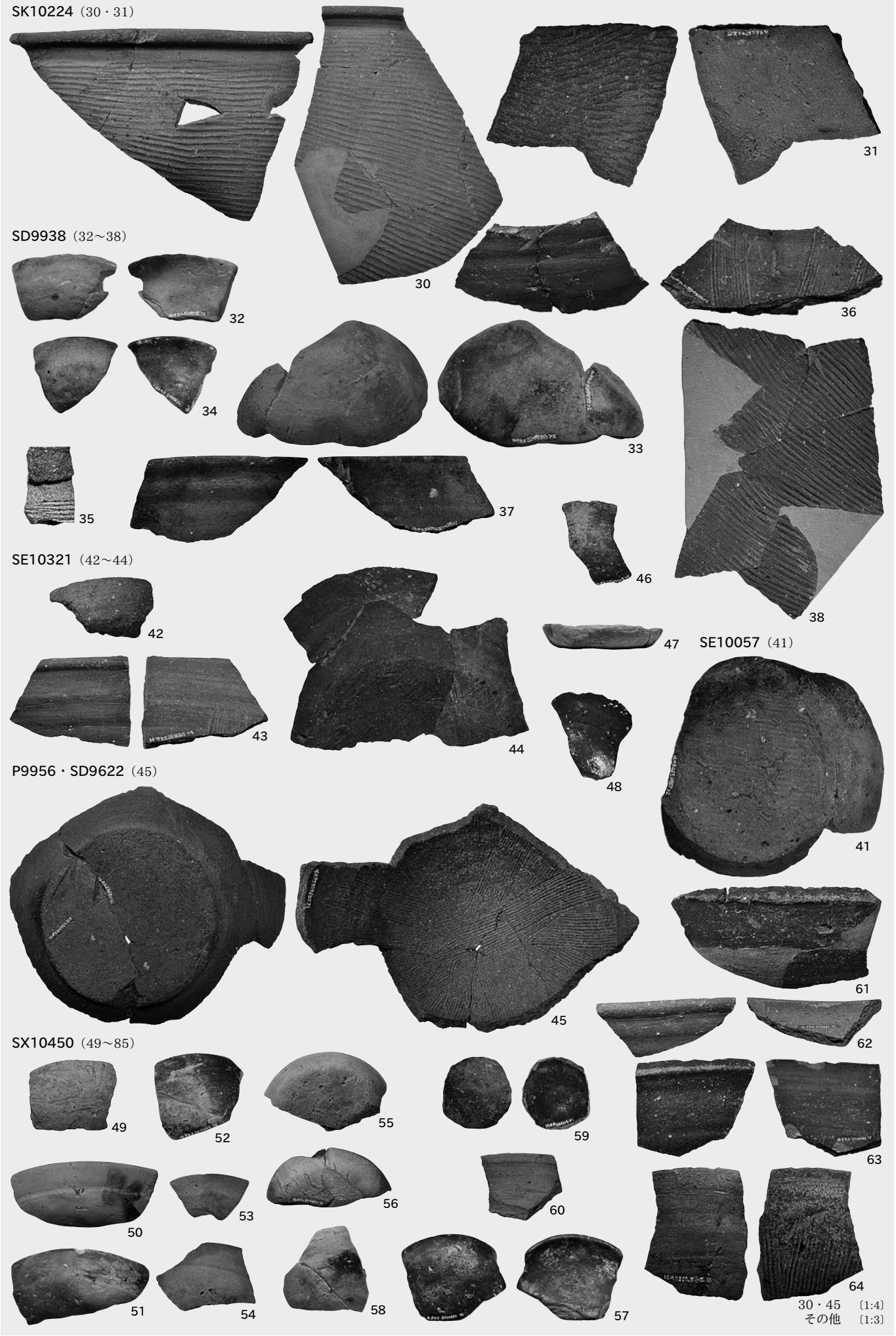
SX10450　セクション 2（南から）

SX10450　3 層検出状況 1（北東から）

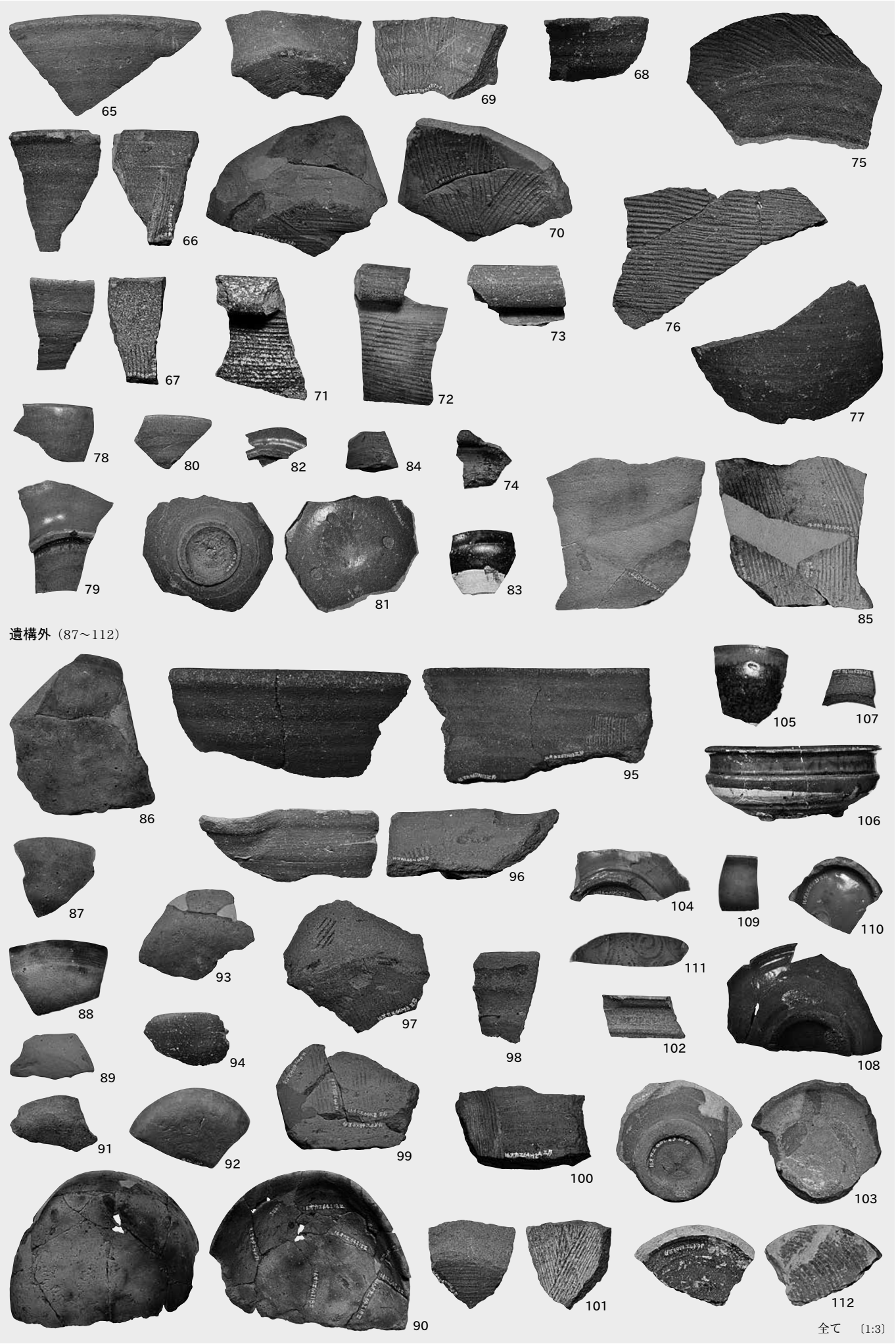
SX10450　3 層検出状況 2（南から）

作業風景

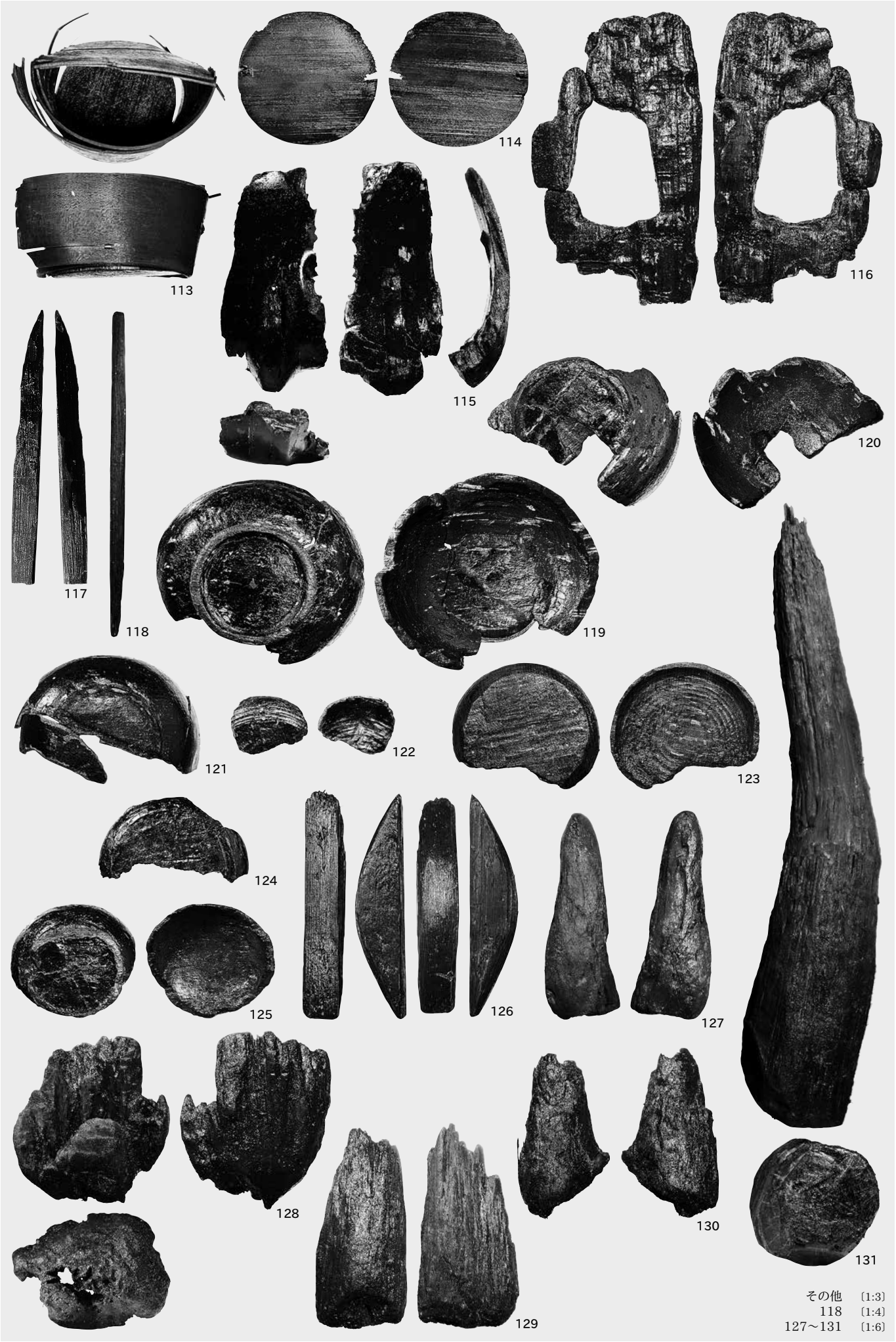

SB9867・P9826（1・2）
SK624（3～5）
SD9619（6・7）
SD9520（8）
SD9622（9～18）
SE9623（19～21）
SE9717（22）
SE10269（23）
SE10277（24）
SK9756（25）
SD10191（27）
SD10192（28）
P9911（40）
SK9814（26）
SE10003（29）
SX10029（39）
18・22　〔1:4〕
その他　〔1:3〕



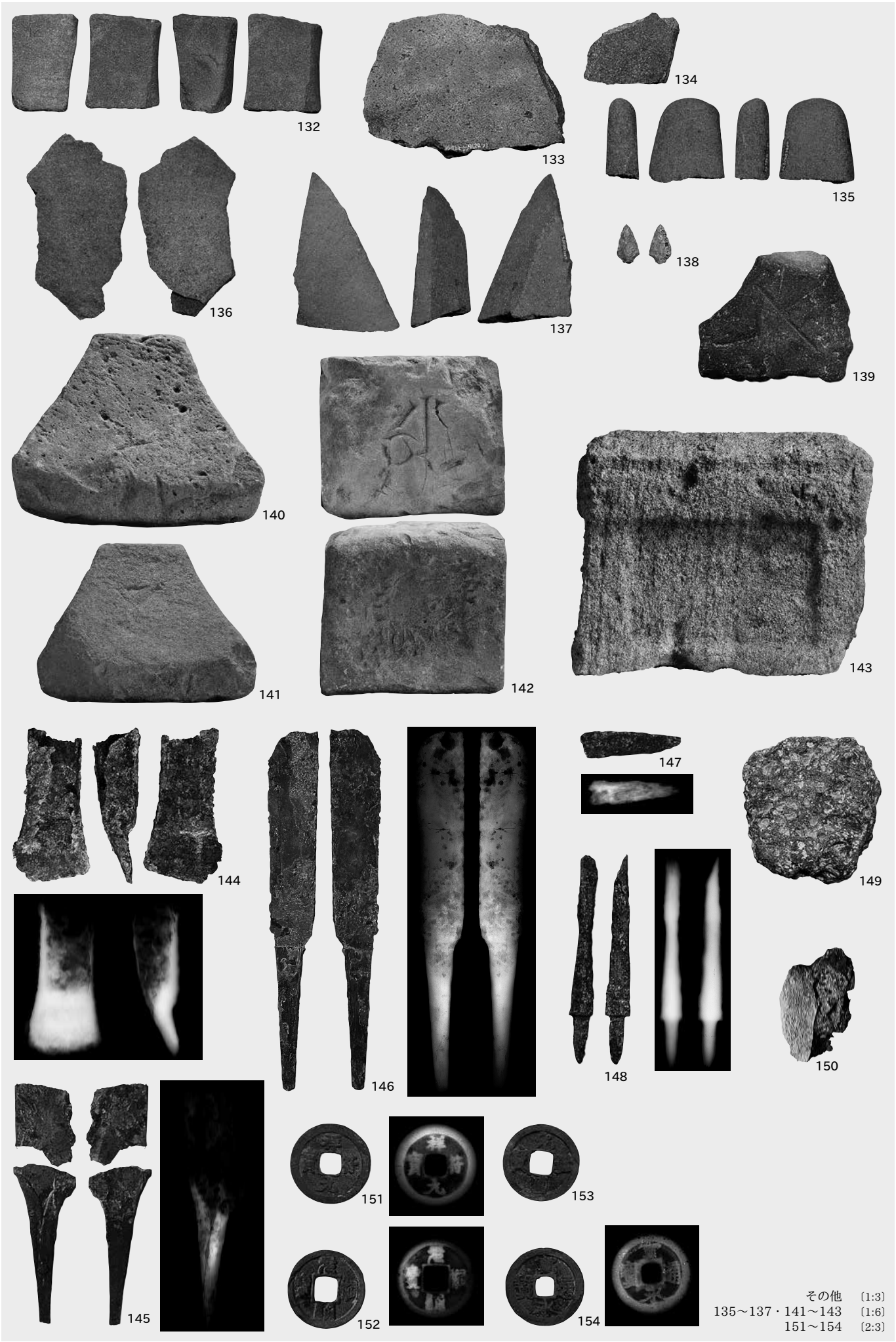
30・45　〔1:4〕
その他　〔1:3〕


65
69
68
75
66
70
76
67
71
72
73
77
78
80
82
84
74
79
81
83
85
遺構外（87～112）
86
95
105
107
106
87
96
104
109
110
93
97
111
88
98
102
108
94
89
99
100
91
92
103
90
101
112

全て　〔1:3〕



その他　〔1:3〕
118　〔1:4〕
127～131　〔1:6〕



その他　〔1:3〕
135～137・141～143　〔1:6〕
151～154　〔2:3〕

報告書抄録

ふりがな	おかえいせき
書名	丘江遺跡Ⅲ
副書名	一般国道８号柏崎バイパス関係発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	新潟県埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第 274 集
編著者名	春日真実（公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団）、今井昭俊・高柳俊輔（株式会社吉田建設）、黒沼保子・佐々木由香・鈴木正章・バンダリ　スダルシャン・藤根　久・森　将志（株式会社パレオ・ラボ）
編集機関	公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団、株式会社吉田建設
所在地	〒956－0845　新潟県新潟市秋葉区金津 93 番地１　　TEL　0250（25）3981
発行年月日	2018（平成 30）年３月 30 日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
丘江（おかえ）遺跡	新潟県柏崎市（にいがたけんかしわざきし）茨目３丁目地内	15205	1010	37°21′51″	138°34′56″	20160401 ～ 20161130	5,203㎡	一般国道８号柏崎バイパス建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
丘江遺跡	集落	鎌倉～室町時代（13 世紀～15 世紀）	掘立柱建物 26 棟、井戸 45 基、土坑 33 基、溝 40 条、性格不明遺構 12	土師質土器、珠洲焼、越前焼、瀬戸・美濃焼、越前系陶器、青磁、白磁、青白磁、木製品（漆器椀・盤・舌長鐙）、石製品（砥石・五輪塔・宝篋印塔）、金属製品（鉄斧・包丁・鑿）、銭貨	瀬戸・美濃焼袴腰形香炉、青白磁梅瓶、舌長鐙、五輪塔、宝篋印塔などが出土した。

要約	丘江遺跡は、柏崎平野北西部、鯖石川左岸の沖積地に立地する。13 世紀から 15 世紀を主体とする集落で、沢状地形を挟む形で建物群を３地点検出した。建物の総数は 26 棟である。出土遺物には青白磁梅瓶や漆塗り舌長鐙などの優品が含まれている。このほか五輪塔・宝篋印塔も出土した。遺跡は当地を支配していた毛利安田氏と関連し、有力な人物が存在した集落の可能性がある。

新潟県埋蔵文化財調査報告書　第 274 集

一般国道８号柏崎バイパス関係発掘調査報告書XIV

丘江遺跡Ⅲ

2018(平成30)年３月 29 日印刷
2018(平成30)年３月 30 日発行

編集・発行　新潟県教育委員会
〒950－8570　新潟市中央区新光町４番地１
電話　025（285）5511

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956－0845　新潟市秋葉区金津 93 番地１
電話　0250（25）3981
FAX　0250（25）3986

印刷・製本　株式会社ウィザップ
〒950－0963　新潟市中央区南出来島２丁目１番 25 号
電話　025（285）3311